取扱説明書

XF11NX 2S

11型ワイドXGA LED液晶 メモリーナビ

23Model Year

最初にクイックセットアップ
を完了させてください

操作は2 ～ 6ページで！

このたびは、お買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

ご使用前に、本書の「安全のために必ずお読みください」(11 ～ 15ページ)
を必ずお読みください。

1. はじめに

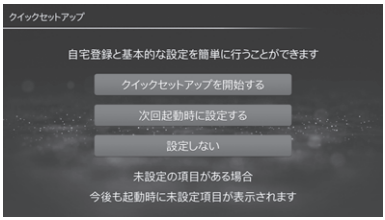
クイックセットアップをする

クイックセットアップをする

本機の初回起動時にクイックセットアップ画面が表示されます。お客様向けクイックセットアップを行うと、本機をより便利に使うことができます。

- 設定を行わない項目は 次へ→ にタッチします。
- 設定途中で 終了 にタッチすると、次回起動時にもクイックセットアップ画面が表示されます。

1 クイックセットアップを開始する にタッチする



- 次回起動時に設定する ：今回はクイックセットアップを行いません。次回起動時に再びクイックセットアップの画面が表示されます。
- 設定しない ：クイックセットアップを行いません。それぞれの項目は「各種設定」画面から個別に設定できます（109ページ）。

2 自宅を登録する

自宅を登録すると簡単に帰宅ルートを探索できるので便利です。自宅駐車場に車を停め、自車位置をタッチして登録できます。

1） 設定する にタッチする

2） 地図から にタッチする

3） 自車位置をタッチして 登録 にタッチする

4） 次へ→ にタッチする

- 電話番号から 住所から で自宅位置を探索して登録することもできます。

3 案内音声の音量を設定する

ルート案内中の案内音声の音量設定を行います。

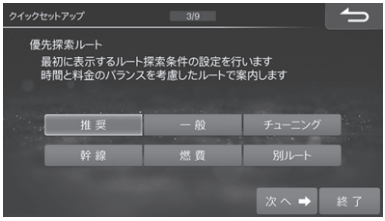
1） ＜ または ＞ にタッチして音量を調整する

2） 次へ→ にタッチする

4 優先して探索するルート条件を設定する

優先的に探索･表示するルート条件を設定します。ルート条件については46ページを参照してください。

1）優先したいルート条件をタッチして選ぶ

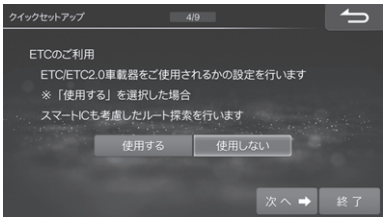


※「有料道路優先」（114ページ）を「する」にした場合、「推奨（有料優先）」と表示されます。

2）次へ→ にタッチする

5 ETC/ETC2.0車載器使用を設定する

1）使用する または 使用しない にタッチする



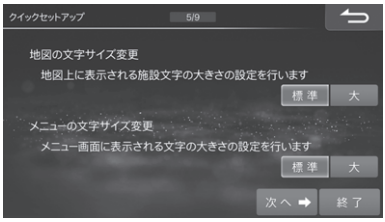
2）次へ→ にタッチする

- 「使用する」に設定すると、「スマートIC利用」（115ページ）設定も「する」に設定されます。

6 地図/メニュー画面の文字サイズを変更する

地図画面に表示される地名･施設名や、メニュー画面に表示される文字サイズを設定します。

1）変更するには 大 にタッチする

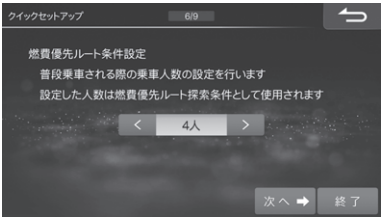


2）次へ→ にタッチする

7 燃費優先ルートの条件を設定する

乗車する人数の設定を行います。設定された人数は「燃費優先」ルート探索条件として使用されます。

1）< または > にタッチして人数を設定する



2）次へ→ にタッチする

8 Bluetooth接続を設定する

携帯電話を本機とBluetooth接続することでハンズフリー通話を利用したり、Bluetoothオーディオを楽しんだりすることができます。

- Bluetooth2.0以下のBluetooth機器は接続できません。

1） 設定する にタッチする

2） 登録/変更 → 未登録 → 機器登録 の順にタッチする

3） 携帯電話のBluetooth機能をオンにし、携帯電話で本機を検索する

4） 携帯電話にコードが表示されたら、ナビ画面のコードと同じであることを確認して登録する

5)-1 ハンズフリー オーディオ ハンズフリー＋オーディオ のいずれかにタッチする

ハンズフリー電話とBluetoothオーディオどちらにもお使いになる場合は ハンズフリー＋オーディオ にタッチします。

5)-2 Apple CarPlayを利用できるiPhoneを接続している場合は「Apple CarPlayが利用できます　利用しますか？」と確認メッセージが表示されます。利用する場合は はい にタッチするとBluetooth接続が開始されます。 いいえ にタッチした場合は5)-1に進んでください。

6) **Bluetooth**接続が開始されたら 次へ→ にタッチする

9 オンラインサービスを設定する

オリジナルスマートフォンアプリ「BIG X CONNECT」と連携して、本機の地図データ更新などを行うことができます。

1) アプリのインストール にタッチする

2) App StoreまたはGoogle Playで「BIG X CONNECT」を検索するか、QRコードを読み込んだリンク先でアプリをインストールする

■ iPhoneのお客様

3) iPhoneで「BIG X CONNECT」を立ち上げ、iPhoneをお使いの方 にタッチする

● 3ページの手順8でBluetooth接続したiPhoneを接続する場合

4) 登録済リストから選択する にタッチする

5) 接続 にタッチする

手順7)に進んでください。

● 3ページの手順8でBluetooth接続をしていない場合

4) 新しくワイヤレスで接続する にタッチする

5) iPhoneのBluetooth機能をオンにし、iPhoneで本機を検索する

6) iPhoneにコードが表示されたら、ナビ画面のコードと同じであることを確認して登録する

7) 完了 にタッチし、次へ→ にタッチする

- USBケーブルで本機とiPhoneを接続することもできます。USBケーブルで接続する場合は、手順4) ～ 6)の操作は不要です。

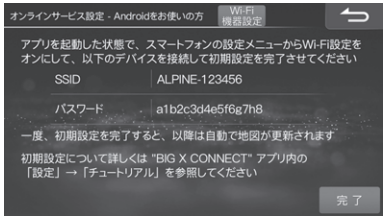
■ Androidスマートフォンのお客様

3) スマートフォンで「BIG X CONNECT」を立ち上げ、Androidをお使いの方 にタッチする

4) スマートフォンの設定画面を開いてWi-Fi機能をONにし、スマートフォンから本機を検索する

本機名称の初期値は「ALPINE-xxxxxx（6桁の数字）」です。

5) スマートフォンに本機Wi-Fiパスワードを入力して本機を登録する



6) 完了 にタッチし、次へ→ にタッチする

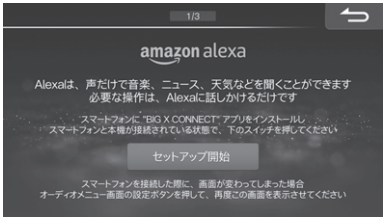
10 Amazon Alexa接続を設定する

Alexaに話しかけるだけで、施設の検索、音楽ストリーミングサービスの再生、ニュースや天気予報の確認など、さまざまな使い方ができます。

- 手順9でオリジナルスマートフォンアプリ「BIG X CONNECT」をインストールしたiPhoneまたはAndroidスマートフォンを使用してください。
- Amazon Alexaを使うには、Amazonアカウントが必要です。詳しくはAmazonのWebサイトでご確認ください。

1) Amazon Alexaの利用 にタッチする

2) セットアップ開始 にタッチする

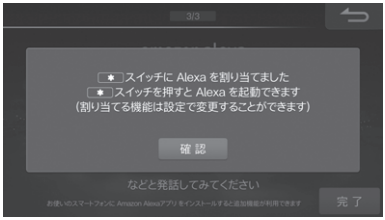


3) iPhoneまたはAndroidスマートフォンでQRコードを読み取り、Amazonログイン画面を表示する

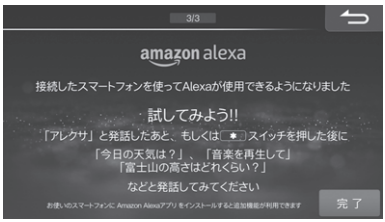
4) 画面の指示に従ってiPhoneまたはAndroidスマートフォンを操作し、Amazon Alexaのセットアップをする

本機でAmazon Alexaが使えるようになり、Alexa呼び出し機能が[＊](オプションスイッチ)に割り当てられます。

5) 確認 にタッチする



6) 「アレクサ」と発話する、または[＊]スイッチを押して、Amazon Alexaが起動するか確認する



7) 完了 にタッチし、次へ→ にタッチする

11 ステアリングリモコンキー割り当てを設定する

ステアリングリモコン対象車種の場合、ステアリングリモコンのボリュームアップ/ダウンキー以外のキーに本機の操作を割り当てることができます。

1) する にタッチする

2) リストから割り当てる動作を選択後、割り当てたいステアリングリモコンのキーを押す

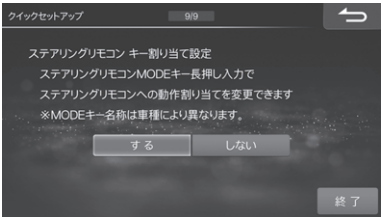
3) 確認画面が表示されたら はい にタッチする

4) 設定が終了したら ⮌ にタッチする

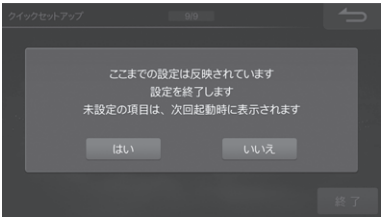
- 詳しくは「ステアリングリモコンに本機機能を割り当てて操作する」(25ページ)を参照してください。

12 クイックセットアップを終了する

1) 終了 にタッチする



2) 画面メッセージを確認して はい にタッチする



- 未設定の項目がある場合には、次回起動時に再びクイックセットアップ画面が表示されます。
- ボイスタッチについての機能紹介画面が表示されたら 閉じる にタッチします。

クイックセットアップ(販売店設定)をする

販売店設定は本機取り付け時に販売店で行いますので、通常は操作の必要はありません。クイックセットアップを初期化した場合、本設定を行ってください。本機初回起動時に設定画面が表示されます。

1 「ようこそ」画面が表示されたら はじめる にタッチする

2 車種専用チューニングをする

車に合わせた設定を行います。本機にプリセットされている車種から設定します。

1) お車のメーカーを選択 → 決定 → 車種を選択 → 決定 → グレードを選択 → 決定

2) 接続機器の設定

- カメラ接続※1:カメラの種類+製品名または カメラなし → 決定
- ステアリングリモコン※2: 設定する または 設定しない → 決定
- リアビジョン※3: あり または なし → 決定

3) 設定内容を確認 → 決定 → メッセージを確認 → はい → 閉じる ※4→ 再起動

※1 カメラによっては接続を検出して自動で設定されます。また、選択した車種に設定がないカメラの種類は設定できません。

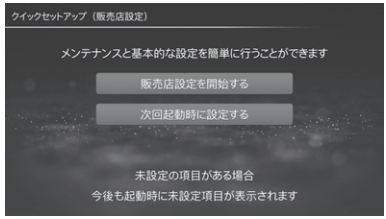
※2 選択した車種にステアリングリモコン設定がない場合、ステアリングリモコン設定画面は表示されません。

※3 リアビジョンをHDMI接続している場合のみ、リアビジョン選択画面が表示されます。

※4 選択した車種により 閉じる の操作を行わない場合があります。

- 車種専用モデルの場合は、車種専用チューニングは本機を購入された販売店で設定完了していますので、通常は設定する必要はありません。万が一設定が間違っていたり、本機を他の車に取り付けたりなど、再設定が必要な場合は「車種専用チューニング」(125ページ)を参照してください。データをダウンロードすることもできます。「オンラインデータ更新」(102ページ)、「メディアデータ更新」(103ページ)を参照してください。

3 販売店設定を開始する にタッチする



- 次回起動時に設定する にタッチすると、お客様向けクイックセットアップ画面が表示され、次回起動時に再びクイックセットアップ(販売店設定)が表示されます。
- リアビジョンを接続されている場合で、リアビジョン側の設定に[コーディネートカラーコントロール/プラズマクラスターコントロール]設定がある場合は、本設定を行う前に必ずリアビジョン製品側を[ナビ]に設定してください。

4 各項目の設定をする

1) 「販売店設定」をする

本機を取り付けした販売店の設定を行います。登録すると販売店へのルート検索･誘導が簡単にできます。

設定する → 地図から / 電話番号から / 住所から → 登録 → 次へ →

2) 「メンテナンス」設定をする

エンジンオイル･タイヤなど車両に関する各種点検時期を画面表示することができます。

設定する → 設定項目を入力 → 完了 → ⮌ → 次へ

- 車の使用状況により、お知らせするメンテナンス時期と実際に必要なメンテナンス時期に誤差が生じる場合があります。

3) 「カメラダイレクトキー設定」をする

本機では使用しないため、初期設定値「なし」のままお使いください。

初期設定値: なし

5 全ての項目の設定が完了したら 終了 にタッチする

6 メッセージを確認して、設定を終了する場合には はい にタッチする

目次

1. はじめに 2

クイックセットアップをする 2
- クイックセットアップをする 2
- クイックセットアップ(販売店設定)をする 6

目次 7

本書の見かた 10

安全のために必ずお読みください 11
- 取り付け・接続 11
- 使用方法 13
- 取り扱い上のご注意 14
- お読みください 14
- モニターのお手入れ 15

各部の名称とはたらき 16
- 本体スイッチ 16
- タッチスイッチの操作について 17

準備 18
- 電源のON/OFF 18
- ディスプレイの位置と角度を調整する 18

ボイスタッチ機能 19
- ボイスタッチ操作例 22

オプションスイッチ操作 24
- オプションスイッチに機能を登録する 24
- 登録した機能を呼び出す 24

ステアリングリモコンに本機機能を割り当てて操作する 25

ナビ・オーディオ2画面表示 26
- ナビ・オーディオを2画面で表示する 26
- 画面の位置を入れかえる 26

インジケータ表示について 27

文字入力のしかた 28
- キーボードの種類を選ぶ 28
- 文字を入力する 29
- 文節区切りを変更する 29
- 検索履歴を使用する 29

2. ナビゲーション 30

画面の見かた 30
- 現在地画面の見かた 30
- ルート案内画面の見かた 31
- ナビ操作/オーディオ操作スイッチについて 32

地図を操作する 33
- 地図をスクロールする 33
- 方位を切りかえる 34
- 縮尺を切りかえる 35
- 地図表示方法を切りかえる 35
- 地図設定について 37

目的地を設定してルートを探索する 38
- ルートを引いてナビゲーションを使う 38
- 自宅へ帰る 39
- ナビメニューから目的地を検索する 39
- 履歴を使用して検索する 41
- 登録地点を検索する 41
- 「お気に入り」で周辺を検索する 42
- 地図から目的地を検索してルートを探索する 43
- 経由地を設定する 44
- 目的地を追加する 44
- 目的地周辺の施設を経由地として探索する 44
- 施設の情報画面について 45
- ルート探索結果画面の操作 45
- ルートを選択する(6ルート) 46

ルートの確認・編集 47
- ルート案内方法 47
- 音声案内について 50
- ルートの確認・編集を行う 51

地点登録 54
- 現在地を地点登録する 54
- 地点を登録する 54
- 登録地点を編集する 55

VICS情報を見る 57
- VICSについて 57
- 提供されるVICS情報 57
- 情報を提供する媒体 58
- 表示されるVICS情報 58
- VICS情報の表示例 59
- 音声情報読み上げについて 62

3. オーディオ 63

基本操作 63
- オーディオメニューを表示する 63
- オーディオソースをOFFにする 63
- Hi-Resオーディオを再生する 63

テレビ操作 64
- テレビを見る 64
- テレビ操作を行う 64
- 番組表の操作 66

テレビ設定操作 66

ラジオ操作 68
ラジオを聴く 68
ラジオ操作を行う 68
交通情報を受信する 69

HDMI操作 70
HDMI/MHL対応機器(iPhoneやスマートフォンなど)をつないで使う 70
HDMI-CEC対応機器を操作する 70

iPhone/iPod操作 72
iPhone/iPodを聴く 72
iPhone/iPod操作を行う 72
iPhone/iPodの曲を探す 74

Bluetooth®オーディオ操作 75
Bluetoothオーディオ機器を接続する 75
Bluetoothオーディオ操作を行う 76

USB機器操作 78
USBメモリー /Androidスマートフォンのオーディオ/ビデオデータを再生する 78
USBオーディオ操作を行う 79
USBビデオ操作を行う 80
USBオーディオの曲を探す 81
USBビデオの映像を探す 82

外部機器操作 83
外部機器(ドライブレコーダーやゲームなど)の映像を見る 83

4. アプリ 84

オリジナルスマートフォンアプリ「BIG X CONNECT」を使う 84
「BIG X CONNECT」をインストールして本機と連携する 85
地図データを更新する 86
目的地・経由地を設定する 86

Apple CarPlay操作 88
iPhoneを接続する 88
Apple CarPlayの利用を開始する 89
Siriを使う 89

Android Auto操作 90
Androidスマートフォンを接続する 90
Android Autoの利用を開始する 90
音声認識を使う 90

Amazon Alexa操作 91
Amazon Alexa接続を設定する 92
Amazon Alexaを開始する 93
音楽を聴く 93
目的地を設定する 93
電話をかける 94

5. 電話 95

携帯電話・スマートフォンを接続する 95
携帯電話の接続を解除する/再接続する 96
接続する携帯電話を変更する 96

電話をかける・受ける 97
電話をかける 97
電話を受ける 98
通話中の操作 98
三者通話を行う 99

電話帳を読み込む 100

6. 情報・更新 101

地図更新について 101

オンラインデータ更新 102
オリジナルスマートフォンアプリ「BIG X CONNECT」を使ってデータ更新を行う 102

メディアデータ更新 103

VICS情報を見る 104

車両情報について 107

本機情報を確認する 108

7. 設定・調整 109

各種設定 109
地図表示設定 109
案内誘導設定 112
経路設定 114
VICS設定 116
接続機器設定 117
オーディオ設定 122
その他設定 122

車種専用チューニング 125

メディア編集 126

音質調整 127
基本設定 127
詳細設定1 128
詳細設定2 130

画質調整 131

音量調整 133
Apple CarPlay 133
Android Auto 134
Amazon Alexa 134
電話設定 135
通信設定 136
Bluetooth設定 136
Wi-Fi設定 137
オンラインサービス設定
Amazon Alexa機能設定 138
オンラインサービス設定
Apple CarPlay機器リスト 139
オンラインサービス設定
Android優先設定 140

8. オプション機器 141

ETC・ETC2.0を使う 141
ETC情報を表示する 141
ETC2.0情報を表示する 142
カメラ操作 143
リアカメラ操作 144
フロントカメラ操作 146
サイドカメラ操作 147
コーナーカメラ操作 148
ルームカメラ操作 149
カメラ画像の調整 149
映像を表示するカメラを切りかえる 150
リアビジョン操作 151
リアビジョン設定 151
ダブルゾーン設定 152
リアビジョンから本機を操作する 153
リアビジョンからオーディオソースを選ぶ 153
ダブルゾーンコミュニケーション 154
ダブルゾーンサウンドコントロール 155
リモコンから操作する 156

9. 付録 159

困ったときは（よくあるご質問） 159
トラブルシューティング
（故障かな？と思ったら） 163
トラブルシューティング
（表示メッセージと対処方法） 168
オーディオソースメディアについての注意 172
HDMIについてのご注意 172
USBメモリーについてのご注意 172
iPhone/iPodについてのご注意 172
本機対応のフォーマットについて 173
約款・規約、その他 175
VICS情報有料放送サービス契約約款 175
交通事故防止等安全確保のために必ずお守りください 176
路線別データ使用規約 176
地図データについて 177
セキュリティ設定について 178
カーナビゲーションに記録されるデータについて 178
FM VICS情報が受信できる代表的な周波数 178
VICSに関するお問い合わせ 178
電波に関する注意事項 178
ソフトウェアに関する重要なお知らせ 178
個人情報のお取扱いについて 179
保証について/規格 180
地図マーク一覧 183
索引 184
地図画面の見かた 189

本書の見かた

■ 本書の操作方法説明・スイッチ表記について

本書は本体スイッチとタッチスイッチを使って操作方法を説明しています。

本体スイッチ	[現在地] [AV]
画面のタッチスイッチ	案内開始

3. オーディオ

基本操作

オーディオメニューを表示する

オーディオソースはオーディオメニュー画面を表示して操作します。メニュー画面で希望のソースにタッチすると選んだソースのメイン画面が表示されます。音質調整画面を表示してお好みの音質に調整することもできます。

1 [♪]スイッチを押す

オーディオメニューが表示されます。

- iPhoneをUSB接続している場合は、USB が Apple CarPlay に変わります。
- iPhoneをBluetooth接続している場合は、Bluetooth AUDIO が Apple CarPlay に変わります。
- iPod をUSB接続している場合は、USB が iPod に変わります。
- AndroidスマートフォンをUSB接続している場合は、USB が Android Auto に変わります。
- AndroidスマートフォンをMTP設定でUSB接続している場合は、USB が MTP に変わります。

オーディオソースをOFFにする

ルート案内の音声・映像はそのままでオーディオソースをOFFにできます。同乗者が寝ている時など、車室内を静かにしたい場合に使用してください。

1 [♪]スイッチを押し、オーディオメニューの ソース タブにタッチしたあと、AUDIO OFF にタッチする

[AV]スイッチを2秒以上押してもOFFになります。

- オーディオモードをONにするには、[AV]スイッチを2秒以上押すか、オーディオメニュー画面で希望のソースにタッチします。

Hi-Resオーディオを再生する

本機はハイレゾ音源・Hi-Resオーディオ(High-Resolution Audio)を再生することができます。

Hi-Resオーディオ対応フォーマット

FLAC

- 拡張子:.flac/.fla

WAV

- 拡張子:.wav

- Hi-Resファイルを再生時、以下の条件を全て満たした場合は、Hi-Resアイコンを再生画面に表示します。
  - 拡張子:.flac/.fla/.wav
  - サンプリング周波数:96kHz以上
  - 量子化ビット数:24bit以上

1.セクションタイトル

2.項目タイトル

3.操作タイトル

4.操作手順
操作の手順を示しています。

5.結果文
操作を行ったあとの状態を示しています。

6.セクション見出し
セクションの見出しを表示しています。

7.操作画面
操作の画面を示しています。

8.補足
手順や結果に対する補足説明をしています。

安全のために必ずお読みください

● ご使用の前に、この説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後も、説明書を手元に置いてご使用ください。説明書の指示を守らなかったことによる事故やケガに対して、当社は責任を負いかねます。

● この説明書は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

■ 誤った使用をした場合に生じる危害・損害の程度の説明

⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う危険が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

■ お守りいただく内容の説明

強制	必ず実行していただく強制の内容を示しています。
禁止	禁止(やってはいけないこと)の内容を示しています。
⚠	注意(警告を含む)しなければならない内容を示しています。

取り付け・接続

⚠ 警告

強制

DC12Vマイナスアース車専用です

24V車で使用しないでください。事故・火災・故障の原因になります。

フィルムアンテナは、保安基準の取付許容範囲に貼り付ける

視界不良による事故の原因になります。

コードの被覆がない部分はテープなどで絶縁する

ショートにより、火災や感電、故障の原因になります。

取り付けと配線が終わったら、電装品が元通り正常に動作するか確認する

正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、交通事故の原因になります。

ネジなどの小物類は、幼児の手の届かないところに保管する

誤って飲み込み、事故・ケガの原因になります。飲み込んだ場合には、ただちに医師に相談してください。

配線作業の前にはバッテリーのマイナス端子からアース線を外して、配線作業をする

感電・ケガの原因になります。

コード類は運転操作の妨げとならないように束ねる

ハンドル・変速レバー・ブレーキペダルなどに巻き付くと、交通事故・故障の原因になります。

説明書に従って、取り付け・配線をする

作業は、手順通りに正しく行ってください。火災・事故の原因になります

強制

安全のため、パーキングブレーキ線を必ず接続する

交通事故の原因になります。パーキングブレーキ線の接続により、走行中はテレビ、ビデオの画像が表示されず、音声のみとなります。また、画面を注視する必要がある複雑な機能は操作できないようになっています。

取り付け・配線、取り付け場所の変更は、安全のため必ず販売店に依頼する

取り付け、配線や取り外しには、専門技術と経験が必要です。誤った取り付けや配線、取り外しをした場合、事故・火災・ケガ・故障の原因となります。また、お客様ご自身による取り付け・配線は、事故・火災・ケガ・故障の原因になります。

禁止

分解・改造をしない

特にコードの被覆を切って他の機器の電源を取るのは、絶対におやめください。事故・火災・感電の原因になります。

禁止

視界を妨げる場所、ハンドル・変速レバーなど運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には、取り付けない

事故・ケガの原因になります。

取り付け・アース接続には、ハンドル・ブレーキ・タンクなどのボルトやナットを使わない

制動不能・火災の原因になります。

助手席エアバッグの近くに取り付け・配線をしない

エアバッグの動作を妨げ、死亡事故・ケガの原因になります。

車体に穴を開ける場合には、パイプ・タンク・電気配線などを傷つけない

事故・火災の原因になります。

⚠ 注意

強制

車体のネジを使用して取り付けを行うときは、ネジが緩まないように確実に締め付ける

ネジが緩み、事故・故障の原因になります。

コード類を車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にはさんだり、突起部に当てないよう配線する

断線やショートにより、感電・火災の原因になります。

付属部品を指定通りに使い、確実に固定する

付属の部品以外の使用や指定用途以外の使用は、機器内部の部品を損傷したり、しっかりと固定できずに外れて運転の妨げとなり、事故・故障の原因になります。

禁止

コード類は絶対に途中で切断しない

コード類にはヒューズがついている場合があるため、保護回路が働かなくなり、火災の原因になります。

コード類の配線は、車体の高温部に接触させない

火災や感電の原因になります。

水のかかるところ、湿気やホコリの多いところには取り付けない

火災・故障の原因になります。

通風孔・放熱板をふさがない

火災・故障の原因になります。

使用方法

⚠警告

強制

ヒューズ交換は、規定容量(アンペア数)を守る

事故･火災･故障の原因になります。

運転者がテレビやビデオを見るときは、必ず停車してパーキングブレーキをかける

交通事故の原因になります。テレビやビデオは、安全のため走行中は表示されません。

緊急時に使用する場合は、本製品の情報のみに頼らない

交通事故の原因になります。警察や消防署、病院などに連絡をして、状況に応じて場所などの確認を行ってください。

探索したルートは、ルート上の安全性を考慮して探索されていません。危険な地域への誘導がされている場合は、事故や災害を避けるために、運転者はそのときの状況を判断して回避してください。

カメラ使用時も目視による安全確認を必ず行う

カメラの死角になっている人や障害物に接触する恐れがあり、事故の原因になります。

禁止

故障や異常な状態のまま使用しない

音や画面が出ない、異物が入った、煙が出る、変な臭いがしたときには、ただちに使用を中止して、必ず販売店(かサービス相談窓口)に相談する。そのまま使用すると事故･火災･感電の原因になります。

運転中は操作をしたり、画面を見ない

交通事故･ケガの原因になります。操作や画面を見る場合には、必ず安全な場所に停車してください。

カメラは周囲確認の補助装置です。カメラの画像だけを見て運転しない

カメラ画像で表示できる範囲には限りがあるため、人や障害物に接触する恐れがあり、事故の原因になります。

⚠注意

強制

実際の交通規制に従って運転する

ナビゲーションによるルート案内のみに従って走行すると、実際の交通規制に反する場合があり、交通事故の原因となります。

禁止

車以外には使わない

感電･ケガの原因になります。

モニター位置･角度調整時のすきまや機器内部に、指や異物を入れない

ケガ･故障の原因になります。

落下させる、たたくなどの強い衝撃を与えない

故障･火災の原因になります。

大きな音量で使用しない

車外の音が聞こえないことによる交通事故･故障または聴力障害の原因になります。

カメラ画像は車種や取り付け角度で見え方が異なるため注意して使用する

事故の原因になります。

取り扱い上のご注意

使用上のお願い

本機の近くでは携帯電話や無線機を使わない

- 本機側の雑音や誤動作の原因になったり、電話や無線機の正常な送受信ができなくなる場合があります。電話や無線機は、本機から離れてご使用になることをおすすめします。
  また、リモコンスターター・カーセキュリティも誤動作の原因になる場合があります。
- キーレスエントリーシステムが装着されている車では、キーを本機に近づけると、キーレスエントリーシステムがキーを認識しなくなる場合があります。
  また、キーを本機や**Bluetooth**オーディオ機器に近づけると、音飛びが発生する場合がありますので、キーを離してご使用ください。

測位状態が安定してから走行する

- GPSを測位してから走行してください。測位状態が不十分なときに走り出すと自車位置がずれる場合があります。

無理な力を加えない

- 製品は、精密な部品を用いて精密に組み立てられています。初期の性能を維持するためにやさしく丁寧な取り扱いをお願いいたします。

お手入れは乾いた布を使う

- お手入れは乾いた布か堅く絞った布でふいてください。ベンジンやシンナーなどの化学薬品は絶対に使わないでください。

極端な温度では使わない

- 車内の温度が極端に高い(炎天下駐車)ときや低い(厳冬期駐車)ときは、常温になってからお使いください。

可動部分の動作中は操作をしない

- ディスプレイの角度調整など、動作中に操作をしないでください。ケガや故障の原因になることがあります。

温度上昇について

- 可動ディスプレイの裏面が暖かくなりますが、故障ではありません。手をふれないでください。

可動ディスプレイについて

- 濡れたままの手や手袋をつけた手では操作しないでください。正常に動作しない場合があります。

お知らせ

本機は国内で使う

- 本機は国内でのみお使いいただけます。外国ではお使いになれません。

お読みください

- この取扱説明書に記載されているソフトウェアは、ライセンスの所有者にのみ供給され、同ライセンスの許可する条件のもとでのみ使用することが許されます。
- 当該ライセンスが許可している場合を除き、本出版物のいかなる部分もアルプスアルパイン株式会社の書面による事前の許可なしには、いかなる条件下でも、また電子的・機械的・録音・その他のいかなる手段によっても、コピー・検索システムの記憶・転送を行うことはできません。
- この取扱説明書に記載された内容は、情報の提供のみを目的にしており、予告無しに変更されることがあります。
- 仕様および外観は、改良のために予告なく変更する場合があります。
- 本説明書の写真やイラストは、撮影・印刷条件により、実物と印象が相違する場合があります。
- 本製品は日本国内専用です。

モニターのお手入れ

- モニターが汚れたら柔らかい布(シリコンクロスなど)でふいてください。
- 汚れがひどい場合は水で薄めた中性洗剤を柔らかい布に含ませ、よくしぼってからふきとってください。
- 「水」や「水で薄めた中性洗剤」は直接モニターにかけないでください。

  液体が内部に入り「シミ」や「故障」の原因になります。
- モニターは傷つきやすいため、硬いものでふいたり、こすったり、物をぶつけたり、強い力で押したりしないでください。
- ベンジン・アルコール・シンナーは使用しないでください。変色・変質の原因になります。

⚠ 注意

- 本製品を使用中にデータなどが消失した場合でも、データの保証は一切いたしかねます。

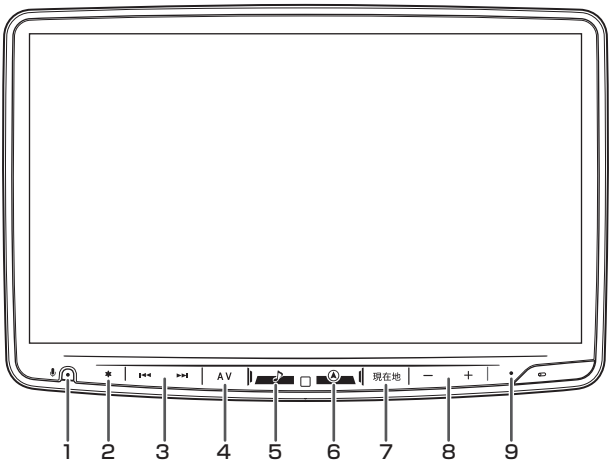
⚠ ご使用前にお読みください

- 本機には、交通規制データが収録されておりますが、運転に際しては、必ず現場の交通規制標識・掲示板等を確認し、もしデータと違うときには、現場の標識・掲示板等に従ってください。
- 運転中の操作は大変危険です。必ず停車中に操作してください。
- 情報の最終更新年月が地域によって格差があるため、ある特定地域での道路の整備状況によっては、未収録や更新されていない場合があります。
  天変地異による規制には対応しておりません。該当する周辺を走行する際には、警察・交通情報センター等へご確認ください。
- 本機を使用したことにより発生したお客様本人および第三者のいかなる損害についても、弊社はその責任を一切負いかねます。
- 本機収録の内容に誤字・脱字・位置ずれ等の表記または内容に関する誤りに対して、取り替え・代金の返却はいたしかねます。
- 本機収録の内容は予告なく変更されることがあります。
- 本機に含まれる機能がお客様の特定目的に適合することを、弊社は保証するものではありません。

各部の名称とはたらき

本体スイッチ

- お車がステアリングリモコン対象車種の場合、ステアリングリモコンに本機の本体スイッチ操作を割り当てることができます(「ステアリングリモコンに本機機能を割り当てて操作する」25ページ)。



1　音声認識スイッチ

Apple CarPlayおよびAndroid Auto接続時は音声認識が起動します。

- Apple CarPlayおよびAndroid Auto未接続時は、1秒以上押すとBluetooth機器登録画面が表示されます。すでにBluetooth接続している機器がある場合はBluetooth接続解除の確認画面が表示されます。

2　オプションスイッチ

オプションスイッチ設定で設定された機能を呼び出します(24、124ページ)。

<初期設定値>

1回押し:ボイスタッチワード一覧

長押し:　1.ダブルゾーンコミュニケーション、
　　2.画面OFF、3.ミュート

3　選局・選曲スイッチ

選局・選曲を行います。

2秒以上押すと早送り/早戻しを行います。

4　AV(オーディオ画面呼び出し)スイッチ

再生・視聴中の画面に戻ります。

2秒以上押すとオーディオソースのONとOFFを切りかえます。

5　♪スイッチ

オーディオメニュー画面を表示します。

6　Ⓐスイッチ

ナビメニュー画面を表示します。

7　現在地(現在地画面呼び出し)スイッチ

現在地画面を表示します。ルート案内中に自車位置画面で押すと音声案内を行います。また、地図画面下部の現在地名/道路名表示を切りかえます。

8　音量調整スイッチ

オーディオソースの音量を調整します。

- ナビの音声案内中/VICS音声情報読み上げ中の音声音量、電話着信中の着信音量、ハンズフリー通話中の受話音量も調整することができます。
- オーディオソースの音量が"0"(最小)やミュート状態の時にAmazon Alexaと対話を開始すると、音量が上がったり、ミュートが解除されたりする場合があります。

9　セキュリティインジケータ

セキュリティ設定をONにすると、ACC電源OFF時にセキュリティインジケータとして点滅します。

タッチスイッチの操作について

操作するときはタッチスイッチに軽くタッチしてください。操作できないタッチスイッチはグレーアウトしています。選択されているスイッチはオレンジ色になります。

- 画面保護のため、必ず指でタッチしてください。
- ボールペンの先など、先端が硬いものや、とがっているもので操作しないでください。タッチスイッチが正常に操作できなくなったり、故障の原因となったりします。

各画面共通タッチスイッチ

⮌:前の画面に戻ります。機能によってはタッチした画面で行った操作がキャンセルされる場合があります。
閉じる:現在の画面を終了し、元のモード(ナビゲーションなど)に戻ります。
✕:設定画面や割り込み画面などに表示され、タッチすると表示された画面を閉じます。

リスト画面のスクロール操作について

リスト画面は ▲ ▼ にタッチする、またはリスト画面を上下にフリックする(指で軽くはらう)ことでもスクロールすることができます。

準備

電源のON/OFF

1 車のエンジンスイッチをACCまたはONにする

本機の電源も連動してONになります。電源が入るとオープニング画面と安全のためのご注意画面に続いて、モード画面(地図画面やラジオ画面など)が表示され、スイッチ照明が明るく点灯します。

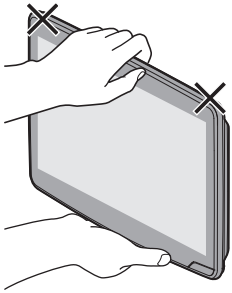
表示されるモード画面は、前回の電源OFFにしたモード画面を表示します。例えばテレビ画面のときエンジンスイッチをOFFにすると、次回はテレビ画面で起動します。

2 本機の電源をOFFにするには車のエンジンスイッチをOFFにする

ディスプレイの位置と角度を調整する

⚠ 注意

- **ディスプレイを動かすときは、必ず上下中央部を持って動かしてください。ディスプレイ保護のため、コーナー付近を持って動かさないでください。**

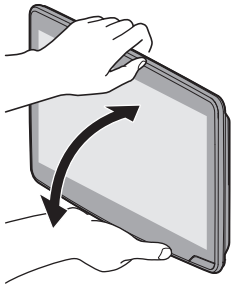


- **車両のシフトレバー、方向指示レバー、ハザードスイッチなど、操作の妨げにならない位置に調整してください。**

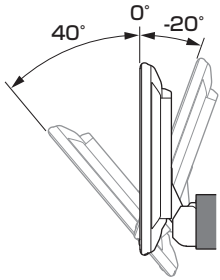
前後の角度を調整する

ディスプレイの上下の角度調整を手動で行います。

1 ディスプレイの上下中央部を両手で持ち、手動で角度を調整する



■ ディスプレイ角度調整範囲

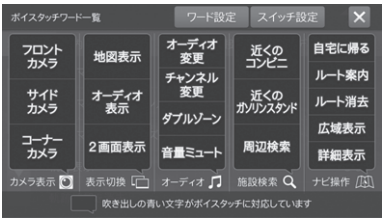


- 左右方向への角度調整はできません。

ボイスタッチ機能

本機は限定音声認識機能であるボイスタッチを使用することができます。
ボイスタッチワードを本機が認識すると、定められた操作が自動で実行されます。例えば「フロントカメラ」と発話すると、自動でフロントカメラ映像画面が本機に表示されます。ボイスタッチワードを発話するだけで認識するため、スイッチ操作などを行う必要はありません。

- [＊](オプションスイッチ)を押すと、ボイスタッチワード一覧を見ることができます。オプションスイッチ1回押しの初期設定値には「ボイスタッチワード一覧」が登録されています。
  Amazon Alexa接続設定をしたときは、オプションスイッチの1回押しにAlexa呼び出しが自動的に登録されますので、そのときは「オプションスイッチに機能を登録する」(24ページ)でボイスタッチワード一覧を設定してください。



- ボイスタッチワード一覧画面の ワード設定 にタッチすると、ボイスタッチワードに関する設定画面を表示することができます。設定内容については「ボイスタッチワード設定」「ボイスタッチチューニング」(123ページ)を参照してください。
- ボイスタッチワードはそれぞれON/OFFを選ぶことができます。すべてのワードを一括でON/OFFすることもできます。(「ボイスタッチワード設定」123ページ)。会話の中にボイスタッチワードが出てきて本機が意図せずに動作するような場合は、不要なボイスタッチワードをOFFに設定してください。
- ボイスタッチ機能の認識率が悪い、または誤検出が多い場合は、「ボイスタッチチューニング」(123ページ)で調整することができます。
- ハンズフリー通話中、Amazon Alexa/Apple CarPlay/Android Autoの対話中、ダブルゾーンコミュニケーション中、本機データ更新中はボイスタッチを使用することはできません。
- 地図画面下部の操作スイッチの 切換>> にタッチして操作スイッチをボイスタッチワードスイッチに変えることができます。
  また、ボイスタッチワード一覧画面の スイッチ設定 にタッチすると、操作スイッチに表示するボイスタッチワードを選択することができます。

切換スイッチ

■ 操作例:近くのコンビニを探す

地図画面表示中に発声

本機が音声を認識

検索結果画面表示(23ページ参照)

カメラ映像表示ではさらにビューの切りかえ、カメラの切りかえを行うことができます。周辺検索では表示されたリストもボイスタッチで操作することができます(「ボイスタッチ操作例」22ページ)。

- 「キャンセル」と発話すると、操作を途中でやめることができます。
- ボイスタッチワードスイッチは、画面をタッチするタッチ操作でも操作することができます。ただし走行中の検索リスト画面は、タッチ操作を行うことはできません。

ボイスタッチワード	本機の動作
地図表示	地図画面表示
オーディオ表示	オーディオ画面表示
2画面表示	地図/オーディオ2画面表示
音量ミュート	オーディオ音量ミュート、ミュート中にもう一度発話すると元の音量に戻る
フロントカメラ※	フロントカメラ映像画面表示
サイドカメラ※	サイドカメラ映像画面表示
コーナーカメラ※	コーナーカメラ映像画面表示
ルート案内	ルート案内中に音声案内を行う
広域表示	地図画面表示時、地図を縮小して広域地図を表示
詳細表示	地図画面表示時、地図を拡大して詳細地図を表示
ダブルゾーン	後席のオーディオ変更を行うダブルゾーンメニューを表示
ルート消去	確認画面が表示され、「消去する」と発話するとルートが消去される
自宅に帰る	自宅に帰るルートが検索され、確認画面で「設定する」と発話するとルートを設定
周辺検索	現在地画面/オーディオ画面表示時、周辺検索メニュー画面表示
近くのコンビニ	現在地画面/オーディオ画面表示時、周辺のコンビニリスト画面表示
近くのガソリンスタンド	現在地画面/オーディオ画面表示時、周辺のガソリンスタンドリスト画面表示
オーディオ変更	前席のオーディオ変更メニューを表示
チャンネル変更	テレビのチャンネル変更メニュー表示
キャンセル	交差点拡大図・ETC・VICSの割り込み画面表示時に割り込み画面解除/前の画面に戻る

※ 未接続および接続なしに設定されているときはカメラ映像画面を表示することはできません。

- リアカメラ接続時、シフトレバーがバックギア(R)に入っているときはフロントカメラ映像を表示することはできません。

ボイスタッチワードスイッチは
吹き出しと青字で表示されます

「外部接続機器選択」設定（117ページ）で「ドライブレコーダー」選択時は「ドライブレコーダーに変更」をボイスタッチワードとして使用することができます。発話すると、ドライブレコーダー画面が表示されます。

- アルパイン製ドライブレコーダー DVR-C320R/DVR-C370R接続時は、自動的にドライブレコーダーが外部接続機器に設定されています。

ボイスタッチ操作例

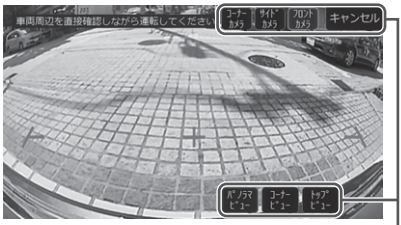
カメラ映像を表示する

発話するだけでカメラ映像を表示します。カメラ映像表示中に、ビューの切りかえ、カメラの切りかえを行うことができます。

1 **装着しているカメラ(「フロントカメラ」「サイドカメラ」「コーナーカメラ」)を発話する**

カメラ映像が表示されます。

2 **カメラまたは映像パターンを切りかえるには、カメラ映像に表示されているボイスタッチワードを発話する**



ボイスタッチワード

- マルチビューカメラ接続時に映像パターンを切りかえることができます。表示可能なビューはカメラによって異なります。
- 映像パターン切りかえのボイスタッチワードスイッチは約4秒で表示が消えます。再度表示させるには画面にタッチします。映像パターン切りかえ後もスイッチ表示が消えます。
- 映像パターン切りかえのボイスタッチワードが表示されていないときも、ボイスタッチで映像パターンを切りかえることができます。

オーディオ画面を表示する

再生･試聴中のオーディオ画面を表示することができます。

1 **「オーディオ表示」と発話する**

オーディオ画面が表示されます。

オーディオソースを変更する

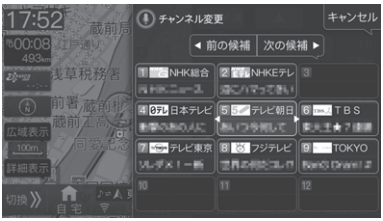
オーディオソースをボイスタッチで切りかえることができます。テレビを視聴する場合は続けてチャンネルを変更することができます。

1 **「オーディオ変更」と発話する**

オーディオ変更メニュー画面が表示されます。

2 **「テレビに変更」と発話する**

- チャンネルを変更する場合は、テレビを視聴中に「チャンネル変更」と発話して変更することができます。
  1) **「チャンネル変更」と発話する**
  2) **「次の候補」「前の候補」と発話してチャンネルを選ぶ**



周辺施設を検索する

現在地画面またはオーディオ画面表示中に、近くにある施設を検索することができます。

- コンビニとガソリンスタンド検索時は、手順1は不要です。「近くのコンビニ」「近くのガソリンスタンド」と発話すると、検索することができます。

1 現在地またはオーディオ画面表示中に「周辺検索」と発話する

周辺検索メニュー画面が表示されます。

2 行きたい施設のジャンルを選んで、画面に表示されているボイスタッチワード(「近くのファミレス」など)を発話する

現在地から近い順に施設候補が最大3件表示されます。中央に表示されている施設を目的地に設定することができます。

3 中央に表示されている施設を目的地に設定するときは「ここに行く」と発話する

目的地に設定できる施設
「ここに行く」

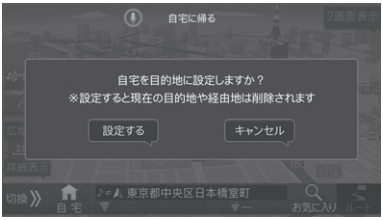
- 施設候補を切りかえるには、「前の候補」または「次の候補」と発話します。
  「前の候補」「次の候補」と発話すると、施設が一つずつ左右に送られ、施設候補を変更できます。
  施設名を左右にフリックしても施設候補を切りかえることができます。
- 検索した時点では「前の候補」は表示されません。「次の候補」と発話すると表示されます。
- ルート案内中はルート周辺の施設リストを表示することができます。「ルート周辺」「現在地周辺」と発話すると、リスト画面が切りかわります。

自宅に帰るルートを引く

自宅が登録されていれば、発話するだけで自宅に帰るルートを引くことができます。

1 「自宅に帰る」と発話する

確認画面が表示されます。



2 「設定する」と発話する

自宅までのルート探索が行われ、探索終了後、ルートが設定されます。

ルートを消去する

1 「ルート消去」と発話する

確認画面が表示されます。

2 「消去する」と発話する

現在のルート･目的地･経由地を消去します。

オプションスイッチ操作

よく使う機能(例えば、ミュートやハンズフリーなど)を[＊](オプションスイッチ)に登録すると、[＊](オプションスイッチ)スイッチを押すだけで登録した機能を呼び出すことができます。

オプションスイッチに機能を登録する

オプションスイッチに機能を登録します。[＊]スイッチを押すだけで機能を呼び出しできる「1回押し」と、[＊]スイッチを1秒以上押して、画面に表示される3つの機能から呼び出す機能を選べる「長押し」の2種類に登録ができます。

初期設定値

1回押し※1: **ボイスタッチワード一覧**

長押し※2: **1. ダブルゾーンコミュニケーション、2. 画面OFF、3. ミュート**

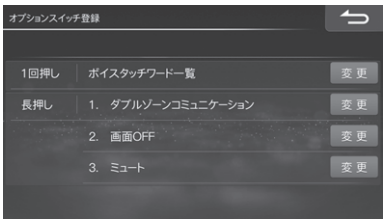
※1 Amazon Alexa接続設定をしたときは、Alexa呼び出しが自動的に登録されます。

※2 接続する外部機器によって、初期設定値が異なります。ルームカメラが接続設定されているときは、自動的にオプションスイッチの長押し機能に登録されます。

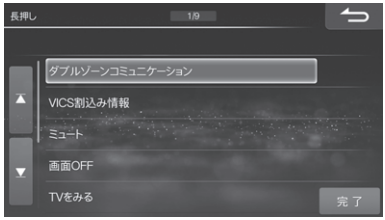
- 設定･調整画面からも登録を行うことができます。「オプションスイッチ」(124ページ)を参照してください。

1 [＊]スイッチを1秒以上押し、画面右下の ＋ にタッチする

2 オプションスイッチ登録画面で、変更したい機能の 変更 にタッチする



3 リストから希望の機能を選んでタッチし、完了 にタッチする



登録できる機能:

ダブルゾーンコミュニケーション･VICS割込み情報･ミュート･画面OFF･サイドカメラ(※)･コーナーカメラ(※)･ルームカメラ(※)･フロントカメラ(※)･TVをみる･自宅に帰る･後席個別ON/OFF･ダブルゾーンメニュー･ボイスタッチワード一覧･Alexa呼び出し

※ 未接続および接続なしに設定されているときは、選択リストに表示されません。

- 選択した機能が上書き登録されます。

登録した機能を呼び出す

■「1回押し」の場合

1 [＊]スイッチを押す

- 登録した機能が呼び出されます。

■「長押し」の場合

1 [＊]スイッチを1秒以上押す

2 リストから希望の機能を選んでタッチする

- 選んだ機能が呼び出されます。

ステアリングリモコンに本機機能を割り当てて操作する

お車がステアリングリモコン対象車種の場合、ステアリングリモコンに本機の操作を割り当てることができます。たとえば、あらかじめカメラ表示機能を割り当てておくことで、ステアリングリモコン操作でハンドルから手を離すことなくカメラ映像を表示させることができます。

- 機能を割り当てることができるステアリングリモコンのキーは、ボリュームアップ/ダウンキー以外のキーです。
- 機能割り当て操作は、「ステアリングリモコン」「ステアリングリモコンキー割り当て」(118ページ)を参照してください。

登録できる機能:

オーディオ画面表示・オーディオメニュー画面表示・ナビメニュー画面表示・地図表示/現在地表示/ルート案内・トラックアップ・トラックダウン・オーディオソース切換・電話に出る・電話を切る・ダブルゾーンコミュニケーション・VICS割込み情報・ミュート・画面OFF・サイドカメラ(※)・コーナーカメラ(※)・ルームカメラ(※)・フロントカメラ(※)・ＴＶをみる・自宅に帰る・後席個別ON/OFF・ダブルゾーンメニュー・ボイスタッチワード一覧・広域・詳細・割り込み画面のキャンセル・2画面切り換え・Alexa呼び出し

※ 未接続および接続なしに設定されているときは、選択リストに表示されません。

- 下記の機能は本機の本体スイッチと同様に動作します。

機能名	本機本体スイッチ
オーディオ画面表示	[AV]スイッチ
オーディオメニュー画面表示	[♪]スイッチ
ナビメニュー画面表示	[Ⓐ]スイッチ
地図表示/現在地表示/ルート案内	[現在地]スイッチ
トラックダウン	[⏮]スイッチ
トラックアップ	[⏭]スイッチ

1 ステアリングリモコンのMODEキーを1秒以上押す

- ステアリングリモコンカスタムモードになり、カスタムインジケータが点灯します。

カスタムインジケータ

2 機能を割り当てたステアリングリモコンのキーを押す

- ステアリングリモコンカスタムモードでは、長押し操作を行うことはできません。

3 ステアリングリモコンカスタムモードを解除するには、ステアリングリモコンのMODEキーを押す

- クイックセットアップで車種が設定されていない場合、設定された車種にステアリングリモコン設定がない場合、また「ステアリングリモコンキー割り当て」設定(118ページ)を「しない」に設定している場合は本機能を使用することはできません。

ナビ・オーディオ2画面表示

ナビ・オーディオを2画面で表示する

ルート案内画面を表示したまま音楽再生画面を表示するなど、ナビゲーションとオーディオの2つの画面を同時に表示することができます。

地図画面は、左右どちら側に表示された場合でも、ランドマークなどの地図表示設定の内容は1画面表示の地図と同じです

1 **[2画面表示]をタッチする**

1画面表示に戻すには

■ 地図画面に戻す

1 **[現在地]スイッチを押す、または地図画面をタッチする。**

■ オーディオ画面に戻す

1 **[AV]スイッチを押す、またはオーディオ画面をタッチする。**

■ 映像画面(テレビなど)に戻す

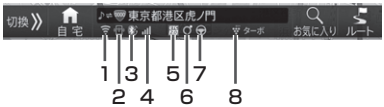
1 **[AV]スイッチを押す、または映像画面を2回タッチする。**

画面の位置を入れかえる

ナビ画面とオーディオ画面を入れかえるには、左右どちらかの画面にタッチしたまま、もう片方の画面までドラッグしてから指を離します。

インジケータ表示について

本機の画面にインジケータでさまざまな情報が表示されます。



1 Wi-Fi設定インジケータ

: Wi-Fi設定OFF(通信不可)

: Wi-Fi設定ON(通信可能)

2 スマートフォンアプリリンクインジケータ

オリジナルスマートフォンアプリ「BIG X CONNECT」との接続状態を表示します。

: USBケーブルでの接続確立中

: Bluetoothでの接続確立中

: Wi-Fiでの接続確立中

: 未接続

3 Bluetoothインジケータ

灰色は未接続、灰色点滅は接続試行時、青色は接続時、青色点滅は通信試行時です。

: ハンズフリー通話用携帯電話登録時

: Bluetooth オーディオ機器登録時

: 携帯電話とオーディオ機器どちらも登録してある場合

4 Bluetooth電界強度インジケータ

圏外: 圏外

(レベル0) ～ (レベル4):
電界強度をレベル0 ～ 4で表示します。

5 ETC/ETC2.0インジケータ

ETC車載器接続時はETCインジケータ、ETC2.0車載器接続時はETC2.0インジケータが表示されます。使用状態で色が異なります。

ETC(ライトグレー):
ETC車載器/ETCカード使用可

ETC(ダークグレー):
ETC車載/ETCカード使用不可

ETC 2.0(紫):ETC2.0車載器／ ETCカード使用可

ETC 2.0(ライトグレー):
ETC2.0車載器使用可･ETCカード使用不可

ETC 2.0(ダークグレー):ETC2.0車載器使用不可

6 Amazon Alexaインジケータ

(青):
Amazon Alexa利用可能(通知、アラーム/タイマー設定あり)

(青):
Amazon Alexa利用可能(通知あり)

(青):
Amazon Alexa利用可能(アラーム/タイマー設定あり)

(青):
Amazon Alexa利用可能

(グレー):
Amazon Alexa利用不可(通知、アラーム/タイマー設定あり)

(グレー):
Amazon Alexa利用不可(未接続)

7 カスタムインジケータ

ステアリングリモコンカスタムモード時に点灯します。

8 プラズマクラスターインジケータ

切 弱 強 ターボ

プラズマクラスター対応リアビジョン接続時、設定した風量がインジケータに表示されます。

⇒「プラズマクラスター」(151ページ)

9 進捗バー

データインストール中に進捗バーが表示されます。

10 Bluetooth機器バッテリーレベル

(レベル0) ～ (レベル4):
バッテリー残量をレベル0 ～ 4で表示します。レベル1(20%以下)時はバッテリー残量を赤色で表示します。

: 充電中(電話画面、Bluetoothオーディオ画面に表示)

オーディオソース情報マーク一覧

地図画面、オーディオ画面のインジケータに、情報アイコンが表示されます。

テレビ		チャンネル番号
ラジオ		周波数
オーディオ		再生中の曲番号

文字入力のしかた

文字の入力は登録操作や場所の検索などで必要になります。本機はお好みのソフトウェアキーボードを選択することができます。

- 使用する機能によって表示される画面や手順が多少異なります。
- 施設や住所を名称から探すときは、キーボードの切りかえはできません。

キーボードの種類を選ぶ

1 50音 QWERTY 10キー **いずれかにタッチしてソフトウェアキーボードの種類を切りかえる**

■ 50音入力

文字にタッチして入力します。

■ QWERTY入力

文字にタッチして入力します。日本語入力を行うことはできません。

■ 10キー入力

フリック入力とトグル入力を行うことができます。

<フリック入力>

いずれかのキーにタッチすると、キーに割り当てられた文字や数字、記号が表示されます。タッチしたまま文字が表示されている方向に指を動かすと文字を入力できます。

例)「あ行」を入力する場合

「あ」はタッチするだけで入力できます。例えば「う」は、「あ」をタッチしてそのまま上にフリックすると入力することができます。

<トグル入力>

同じキーに連続してタッチすると、キーに割り当てられた文字や数字、記号を入力できます。

例)「あ行」を入力する場合

「あ」はタッチするだけで入力できます。例えば「う」は、「あ」を3回連続してタッチすると入力することができます。「あお」と入力する場合は、あ に1回タッチ → ▶ にタッチ → あ に5回連続タッチします。

文字を入力する

ここでは登録地点の名称を入力する操作を、50音入力を例に説明します。

1 50音 QWERTY 10キー いずれかにタッチしてソフトウェアキーボードの種類を切りかえる

2 入力したい文字の種類をタッチする

選択できる文字種は かな カナ 英数 記号 です。英数字や記号の場合は 半角 を選択できます。

- 拗音(ょ)や促音(っ)などを入力するときは 小文字 をタッチします。
- グレーアウトしているスイッチは操作できません。

3 入力したい文字や記号をタッチする

- 間違って入力した場合は ✕ にタッチして入力しなおします。 ✕ にタッチするたびにカーソルの左側から1文字ずつ文字が削除されます。 ✕ にタッチし続けると入力したすべての文字が削除されます。
- カーソルは、◀ ▶ にタッチして移動します。

4 漢字に変換する場合は 変換 にタッチし目的の漢字を表示させる

別の漢字に変換するには、もう一度 変換 にタッチします。

- 変換前の状態に戻すには ✕ にタッチします。
- 文節区切りを変更するには ◀ ▶ にタッチします。

5 確定 にタッチする

漢字が確定されます。

- 確定したあとで修正する場合は ✕ にタッチして文字を削除し入力しなおします。 ✕ にタッチするたびにカーソルの左側から1文字ずつ文字が削除されます。 ✕ にタッチし続けると入力したすべての文字が削除されます。

6 完了 にタッチする

文字入力を終了し元の画面に戻ります。

文節区切りを変更する

変換後(確定前)に ◀ ▶ にタッチすると変換対象とする文節の区切りを変更できます。

1 ◀ ▶ にタッチして区切り位置を変更する

- ◀ ▶ にタッチするたびに文節の長さが1文字ずつ増減します。

検索履歴を使用する

以前入力した文字列を利用して入力することができます。

1 検索履歴 にタッチする

以前入力した文字列がリスト表示されます。

2 リストから希望の名称をタッチする

3 完了 にタッチする

選んだ文字列が入力されている状態で文字入力画面に戻ります。

- 20件を超えた場合は古いものから順に削除されます。
- 選択した検索履歴を消去するには 消去 にタッチします。すべての検索履歴を消去するには 消去 にタッチし続けます。

2. ナビゲーション

画面の見かた

現在地画面の見かた

[現在地]スイッチを押すと地図に現在の車の位置(自車位置)を主体に見た地図が表示されます(現在地画面)。

1　時計表示

「時計表示設定(ナビ画面)」(122ページ)が「する」になっている場合、時計表示エリアをタッチすると表示が一時的にOFFになります。再度タッチすると時計表示ONになります。また、エンジンスイッチをOFF/ONすると一時的にOFFにしていた場合も時計表示ONになります。

2　VICSタイムスタンプ

VICSレベル3情報が提供された時刻を表示します。

- 大雨や大雪、大津波などの特別警報情報を受信した場合は特別警報アイコンを表示します。

3　方位マーク

地図の向き(方位)を表示します。ヘディングアップ・3Dマップ表示時は、先端が北の方向です。タッチするたびに地図の向きが切りかわります(34ページ)。

4　スケール表示

表示している地図の縮尺が表示され、100m の長さがこの場合は100mを示しています(35ページ)。

5　情報表示

操作スイッチがナビモードのときは路線名または現在地名、オーディオソースモードのときは現在のソースのソース名、タイトル名などの情報を表示します。

6　インジケータ(27ページ)

7　自車位置マーク

車の位置と向いている方向とを示します。自車マークは変更することができます(111ページ)。

ルート案内画面の見かた

ルートを設定するとルート案内画面に切りかわります。

1　到着情報表示

目的地案内中、目的地･経由地までの残距離や到着予想時刻を表示します。

2　VICSタイムスタンプ

VICS情報がある場合、タッチすると高速道路上のJCT(ジャンクション)やIC(インターチェンジ)の混雑状況がわかる高速渋滞情報画面を表示します。

3　ルート表示

目的地までのルートを青色で表示します。

4　レーン(車線)表示

レーン情報のある交差点の手前では、走行する交差点までの距離とレーン図を表示します(48ページ)。

5　案内ポイント

交差点案内が表示される交差点に表示されます。レーン情報がある直進の交差点では ● を、案内する交差点では ◯ を表示します。

6　直線誘導線

現在地から見た目的地の方向をピンク色の直線で示します(111ページ)。

ナビ操作/オーディオ操作スイッチについて

地図画面下部の操作スイッチは、切換スイッチにタッチするたびに操作スイッチ内容も変わります。操作スイッチ表示をOFF にすることもできます。

切換スイッチ

■ ナビ操作モード1

1 タッチするとオーディオソース操作モードに切りかわります。

2 自宅までのルートを引き、ルート検索結果画面を表示します。自宅が登録されていない場合は、自宅登録画面が表示されます。

3 路線名/現在地名を表示します。タッチするとオーディオソース操作モードに切りかわります。
[現在地]スイッチを押すと路線名/地名表示を切りかえることができます。

4 現在地周辺の、「お気に入り」に登録している施設を検索することができます。ルート案内中は「ルート周辺」「目的地周辺」の施設を検索することもできます。

5 ルートの確認・編集を行うことができます。

■ オーディオソース操作モード

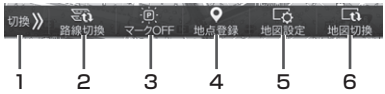
1 タッチするとナビ操作モード2に切りかわります。

2 タッチすると瞬時に音量が下がります。ミュート中は音量表示インジケータが点滅します。

3 タイトル/ソース名称、曲番号/受信チャンネル/受信周波数が表示されます。タッチするとナビ操作モード1に切りかわります。

4 選局/選曲操作を行います。音楽ソースによっては表示されません。

■ ナビ操作モード2



1 タッチするとボイスタッチワード表示に切りかわります。

2 ルート案内中、自車位置を修正します。自車位置が高速道路にある時は並走する一般道路、一般道路にある時は並走する高速道路に自車位置を切りかえます。

3 地図上のランドマーク表示/非表示をワンタッチで切りかえることができます。ランドマークで地図が見づらいときはマーク表示をOFFにしてください。ランドマーク表示時は マークOFF 、ランドマーク非表示時は マークON と表示されます。

4 タッチすると現在の地点を地点登録します。

5 地図設定画面が表示されます。

6 地図の表示方法切換画面が表示されます。1画面、2画面、行程ガイドを選択できます。

■ ボイスタッチワード表示

1 タッチすると操作スイッチ表示がOFFになります。

2 ボイスタッチワード

■ 操作スイッチOFFモード

1 タッチするとナビ操作モード1に切りかわります。

ナビ操作モード/オーディオ操作モード切りかえについて

タッチするとナビ操作モードとオーディオ操作モードを切りかえることができます。

地図を操作する

地図をスクロールする

フリック操作/ドラッグ操作で地図をスクロールします。

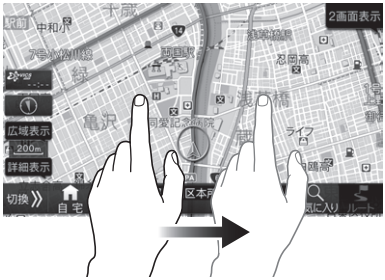
■ フリック操作

画面を指で軽くはらう(フリックする)ように動かすと、地図画面がフリックした方向に移動します。

- 指をはらう(フリックする)速度に応じて移動する長さが変わります。

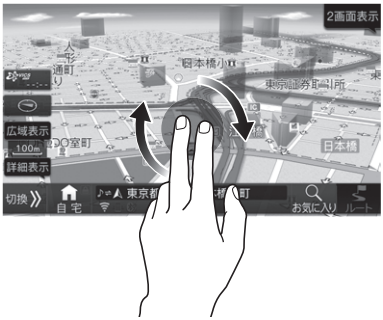
■ ドラッグ操作

画面を指でタッチしたままなぞる(ドラッグする)ように動かすと、地図画面が指の動きに合わせて移動します。



■ 地図を回転させる

画面を2本の指でタッチしたまま円を描くように指を回転させると、画面中央を基点に地図画面が回転します。3Dマップで立体表示させたビルの陰になっている場所を確認したい時などに便利です。



- 地図の回転に合わせて方位マークも回転します。
- 地図の回転中に指の間隔を変えると縮尺が変更できます。
- 2画面表示の場合は、左画面でのみ回転操作ができます。回転操作を開始すると全画面表示に切りかわります。

方位を切りかえる

常に北方向を上にして表示する地図(ノースアップ)と、進む方向を上に固定した地図(ヘディングアップ)があります。また、立体的な地図(3Dマップ)に切りかえることもできます。

1 方位マークにタッチするたびに、地図の向き(方位)が切りかわる

ノースアップ → ヘディングアップ → 3Dマップ →

■ ノースアップ

北方向が画面の上になる地図です。

■ ヘディングアップ

進行方向が画面の上になる地図です。

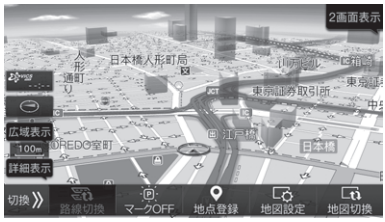
■ 3Dマップ

ヘディングアップの状態で立体的な地図(3Dマップ)を表示します。

3Dマップの角度を変更する

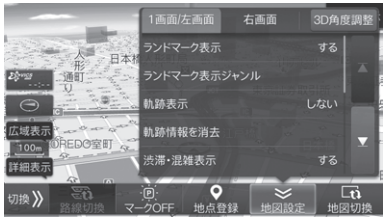
3Dマップを表示しているときの視点の角度をかえることができます。

1 現在地画面で 地図設定 にタッチする

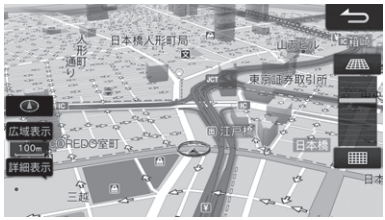


- 地図設定 が表示されていないときは、切換>> または ON>> にタッチして表示させてください。

2 3D角度調整 にタッチする



3 または にタッチして角度を調整し、調整が完了したら にタッチする



縮尺を切りかえる

スケールバーの操作

地図を拡大または縮小して表示します。地図画面に表示される情報は縮尺によって異なります。一方通行などは地図を拡大して詳細地図にすると表示されます。

1 現在地画面で 広域表示 または 詳細表示 にタッチする

市街地図が収録されている都市では50m以下のスケールにすると市街地図を表示し、さらに詳細な道路･建物形状･建物名称などが表示されます。

- 広域表示 または 詳細表示 をタッチすると13段階で縮尺が切りかわります。 広域表示 または 詳細表示 をタッチし続けると、無段階で縮尺を切りかえます。

ピンチイン/ピンチアウト操作

ピンチイン/ピンチアウト操作で地図のスケールを変更することができます。

■ ピンチイン

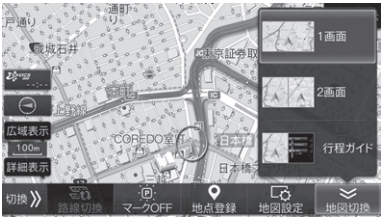
広域地図を表示します。2本の指で画面にタッチしたまま、指を近づけます。

■ ピンチアウト

詳細地図を表示します。2本の指で画面にタッチしたまま、指を広げます。

地図表示方法を切りかえる

地図画面で 地図切換 をタッチすると地図切換アイコン画面がポップアップ表示されます。地図画面の表示のしかたを1画面･ 2画面･ 行程ガイドから選択できます。

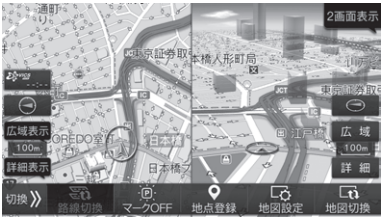


■ 1画面

地図を1画面で表示します。

■ 2画面

地図画面を左右に分割します。縮尺を変更して詳細スケールと広域スケールの2画面を表示させたり、3D市街地図とノースアップ地図とを組み合わせることなどができます。



- 2画面表示のときに左右の自車位置が若干ずれることがあります。これは左右別々に描画しているためで故障ではありません。
- 2画面表示のとき左右両画面で同時に3Dマップを表示することはできません。
- 高速･有料道路モード地図は左画面にのみ表示されます。

■ 行程ガイド

目的地案内中に、走行中のルートの簡易行程図を表示します。行程ガイド画面では、交差点や高速道路のインターチェンジ･SA/PAなどが現在地に近いほうから表示されます。

- 行程ガイド画面に表示されるマークについては「行程ガイドマーク一覧」(37ページ)および「行程ガイド施設マーク一覧」(37ページ)を参照してください。
- ▲ ▼ をタッチすると前後の行程を表示します。タッチし続けると連続して行程ガイドをスクロールします。行程ガイドを現在の位置に戻すには **[現在地]** スイッチを押します。
- ジャンクション間の混雑状況を表示することができます(50ページ)。

行程ガイドマーク一覧

	現在地	OUT	高速道路降り口	PA	パーキングエリア（PA）
G	目的地	¥	料金所	JCT	ジャンクション（JCT）
1 ～ 5	経由地	IC	インターチェンジ（IC）		案内交差点
IN	高速道路入り口	SA	サービスエリア（SA）		フェリー乗り場

行程ガイド施設マーク一覧

	ガソリンスタンド		ドラッグ		宝くじ
	温泉施設		ハイウェイ情報ターミナル		名産（ショッピングセンター）
FAX	FAX		ベッド（宿泊施設）		キャッシュコーナー
	インフォメーション		ポスト		トイレ
	お風呂		レストラン		自動販売機
	コインシャワー		休憩所		公衆電話
	コインランドリー		軽食	銀行	金融関連
	コイン洗車		身障者施設	郵便	郵便局
	コーヒー		ベビーベッド		

- 一部のガソリンスタンド、コンビニエンスストア、ファミリーレストラン、ファーストフード、ラーメン店、コーヒーショップなどではブランド別のアイコンが表示されます。

地図設定について

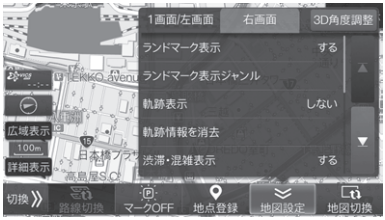
地図に表示する内容などを設定することができます。
設定内容については、「地図表示設定」（109ページ）を参照してください。

1 現在地画面で 地図設定 にタッチする

地図設定画面が表示されます。

2 1画面/左画面 または 右画面 タブにタッチする

地図に表示する内容などを左画面（1画面）と右画面で個別に設定することができます。



目的地を設定してルートを探索する

ルートを引いてナビゲーションを使う

ナビゲーションを使用するには目的地を検索してルートを決めます。目的地はさまざまな方法で探し出せますが、ここでは都道府県から住所を絞り込んで目的地を設定し、ルートを探索して案内開始するまでの流れを説明します。

1 [▲]スイッチを押してナビメニュー画面を表示し、住所 にタッチする

住所リスト画面が表示されます。

2 地方名タブにタッチし都道府県名にタッチする

3 50音タブにタッチし、市町村名→町名→丁目→番地などを順に選ぶ

検索した住所周辺の地図が画面右側に表示されます。

4 目的地 にタッチする

目的地までのルート探索が行われ、探索終了後、探索結果画面が表示されます。

5 選択したいルートにタッチする

ルート探索条件は「クイックセットアップ」(2ページ)、「優先探索ルート」(114ページ)で設定したルートとなります。別のルートを選択することもできます。ルート探索条件について詳しくは「ルートを選択する(6ルート)」(46ページ)を参照してください。

6 案内開始 にタッチする、または走行を開始すると現在地画面を表示しルート案内を開始する

複数地点に行きたいときは、ルート設定後に経由地を設定してください。「経由地を設定する」(44ページ)、「目的地を追加する」(44ページ)を参照してください。コンビニやガソリンスタンドなど、現在地やルート周辺にあるよく使う施設を簡単に検索することもできます。「「お気に入り」で周辺を検索する」(42ページ)を参照してください。

自宅へ帰る

自宅が登録されていれば、簡単な操作で自宅を目的地に設定できます。

1 現在地画面で 自宅 にタッチする

2 案内開始 にタッチする、または走行を開始する

- 自宅が登録されていない場合は、自宅設定画面になります(2ページ)。自宅の位置まで地図をスクロールして 登録 をタッチすると自宅が登録されます。または地点登録画面－ 特別地点 からも登録することができます(54ページ)。

ナビメニュー画面から操作する

1 [Ⓐ]スイッチを押してナビメニュー画面を表示する

2 自宅 にタッチする

自動的に現在地から自宅までのルートを探索して設定します。

ナビメニューから目的地を検索する

施設の名称や住所などから目的地を探してルート案内を開始します。

1 [Ⓐ]スイッチを押してナビメニュー画面を表示する

2 検索 タブにタッチし、ナビメニュー検索画面から探索方法を選んで目的地を探す

施設の地図が表示されます。

- その他検索 にタッチすると表示されていない検索方法が表示されます。

3 施設などをタッチして選び、目的地 にタッチする

目的地までのルート探索が行われ、探索終了後、探索結果画面が表示されます。

4 走行するか、案内開始 にタッチすると現在地画面を表示しルート案内を開始する

住所から探す

都道府県名から順に住所を選んで目的地を探します。

- 町名･丁目･番地などの選択画面で 数字入力 をタッチすると、番地などを直接入力することができます。

名称から探す

施設名の先頭から数文字分の読みを入力して目的地を探します。読みは数字や英字もかなで入力してください。
例)「1」→「いち」･「Z」→「ぜっと」

- 濁点や半濁点などを省略しても検索できます。大文字を小文字で、小文字を大文字で入力しても検索されます。
- 該当する施設が表示されないときは別の読み方で再度検索してください。登録されている名称は通称とは異なる場合があります。
- 件数が多い場合は、ジャンルや地域を指定したりキーワードを入力したりして絞り込むことができます。
- 検索結果のリスト画面を距離順、または50音順に並べかえることができます。 距離順▼ にタッチしてから 50音順 にタッチすると、リストが50音順表示になります。 50音順▼ にタッチしてから 距離順 にタッチするとリストが距離順表示になります。
- 文字入力のしかたについては28ページを参照してください。

電話番号から探す

電話番号を入力して目的地を探します。施設の電話番号のほか、個人の電話番号からも検索できます。

- 電話番号は市外局番から入力してください。
- 入力した電話番号が個人の電話番号と一致したときは個人名入力画面が表示されます。名字をひらがなで入力してください。入力した電話番号が電話帳の名字と一致しない場合は検索できません。
- 電話番号が正確にはわからないときは、市外局番と市内局番のみを入力しておおよその地図を表示し、そこから地図を動かして目的の施設などを探すことができます。

周辺施設から探す

現在地周辺･ルート周辺･案内地周辺の施設をジャンルから探します。

- ルート周辺と案内地周辺は目的地を設定していないと選択できません。
- 現在地周辺･ルート周辺検索の場合は現在地から近い順に、案内地周辺検索の場合は案内地から近い順に最大40件まで表示されます。
- 駐車場を検索したときは、駐車場のリスト画面で 車両情報考慮 をタッチすると車体の大きさや車高を考慮して駐車場を探すことができます。あらかじめ車種の情報を登録しておいてください(113ページ)。
- ガソリンスタンド、デパート、コンビニエンスストアを検索したときは、施設のリスト画面で 営業時間考慮 をタッチして時刻を入力すると、営業中かどうかを確認することができます。 指定無し をタッチすると、営業時間に関わらず施設を表示します。

緯度経度から探す

緯度･経度を入力して目的地を探します。

- 緯度や経度が一桁のときは「01」のように頭に「0」を付けて二桁で入力してください。

郵便番号から探す

郵便番号で検索すると代表地点の地図が表示されます。

- 郵便番号は7桁で入力してください。
- さらに住所を絞り込みたいときは代表地点の地図上で 住所検索 をタッチすると住所を指定して目的地を検索できます。

ジャンルから探す

ジャンルと都道府県名を選んで目的地を探します。

- 充電スタンドまたは駐車場を検索したときにVICS情報がある場合、本機内蔵データまたはVICS情報を選択して検索することができます。本機内蔵データから検索する場合は 充電スタンドデータ または 駐車場データ 、VICS情報から検索する場合は VICS充電施設情報 または VICS駐車場情報 のいずれかにタッチし検索してください。VICS情報については「VICS情報の表示例」(59ページ)を参照してください。
- 検索結果のリスト画面を距離順、または50音順に並べかえることができます。 距離順▼ にタッチしてから 50音順 にタッチすると、リストが50音順表示になります。 50音順▼ にタッチしてから 距離順 にタッチするとリストが距離順表示になります。
- 目的地に設定した回数の多いジャンル、施設はリストの上部に表示されます。

マップコードから探す

レジャーガイドなどに掲載されているマップコードを使って目的地を探します。

- マップコードとは日本全国の位置情報を6桁～ 10桁の数字で表したものです。10桁までの標準マップコードに加え、「＊」のあとに2桁まで追加することで高度な検索ができます。住所や電話番号では特定できない河川や観光地もマップコードを指定すると目的地として設定できます。
- マップコードは以下のホームページでも調べることができます。
  https://www.denso-communications.jp/mapcode/

住所名称から探す

観光地などおよその目的地はあってもそこでの施設名を特定していないようなときや、目的地の住所が正確にはわからないようなときは、地名の読みを入力して代表地点の地図を表示し、地図を動かして目的地を探すことができます。

- 濁点や半濁点などを省略しても検索できます。大文字を小文字で、小文字を大文字で入力しても検索されます。
- 件数が多い場合は絞り込みできない場合があります。
- 文字入力のしかたについては28ページを参照してください。

履歴を使用して検索する

過去に設定した目的地や経由地を再度目的地に設定することができます。目的地履歴は新しいものから順に最大200件まで記録されます。

1 [▲]スイッチを押してナビメニュー画面を表示する

2 履歴 タブにタッチし、表示された履歴リストから希望の施設にタッチする

- 日時順または頻度順で並べかえることができます。 日時順▼ または 頻度順▼ のいずれかにタッチしてから希望の表示方法にタッチしてください。
- 目的地 にタッチすると、選択した地点までのルートを探索します。

3 選択中の施設に再度タッチするか、画面右側の地図にタッチする

地点の地図が表示されます。

4 目的地 にタッチする

目的地までのルート探索が行われ、探索終了後、探索結果画面が表示されます。

5 走行するか、案内開始 にタッチすると現在地画面を表示しルート案内を開始する

- 目的地履歴には施設や地点名称と過去の設定日付が表示されます。
- リストから目的地履歴を選んで 消去 をタッチすると、選択した地点を消去できます。 消去 をタッチし続けるとすべての履歴を消去できます。

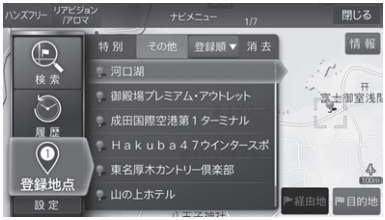
登録地点を検索する

よく行く場所を特別地点に登録しておくと、簡単な操作で目的地に設定できます。地点登録方法は「地点登録」(54ページ)を参照してください。

1 [▲]スイッチを押してナビメニュー画面を表示する

2 登録地点 タブにタッチし、特別 または その他 タブにタッチする

3 地点を選んでタッチする



地点の地図が表示されます。

4 目的地 にタッチする

目的地までのルート探索が行われ、探索終了後、探索結果画面が表示されます。

5 走行するか、案内開始 にタッチすると現在地画面を表示しルート案内を開始する

- 登録地点のリスト画面で その他 を選択すると、登録順･マーク順･距離順に並べかえることができます。 登録順▼ マーク順▼ 距離順▼ のいずれかにタッチしてから希望の表示方法にタッチしてください。

「お気に入り」で周辺を検索する

現在地･ルート･目的地周辺のよく使う施設（コンビニエンスストア（コンビニ）･ファーストフード･ファミリーレストラン･ガソリンスタンド･駐車場）を簡単に検索することができます。

- 自車位置がある都道府県の設置店舗数１位と２位のコンビニとガソリンスタンドアイコンが必ず表示されます。それ以外の４つのアイコンはカスタマイズが可能です（43ページ）。

1 [現在地]スイッチを押して お気に入り にタッチする

2 行きたい施設アイコンにタッチする

- 全てのコンビニ 駐車場全て にタッチすると全てのコンビニエンスストア･駐車場を検索することができます。
- その他ジャンル をタッチすると現在地周辺の全ての施設を検索することができます。

3 地点を選んでタッチする

- 施設リストが現在地から近い順に表示されます。
- 目的地がすでに設定されている場合は、ルート周辺にある施設を最初に検索します。 目的地 タブにタッチすると目的地周辺の施設リストを表示することができます。
- 検索範囲を変更することができます。 検索範囲 にタッチし、広域 または 標準 にタッチして切りかえます。 広域 にタッチすると、より広い範囲の施設を検索します。

4 目的地 にタッチする

目的地までのルート探索が行われ、探索終了後、探索結果画面が表示されます。

5 走行するか、案内開始 にタッチすると現在地画面を表示しルート案内を開始する

「お気に入り」をカスタマイズする

お気に入り周辺検索画面に表示されるブランドのアイコンを4つまで追加することができます。

- 現在地のコンビニとガソリンスタンドの都道府県設置店舗数1位、2位のアイコンが設定されています。さらにお好みのブランドを4つ選択することができます。

1 カスタマイズ にタッチする

カスタマイズ画面が表示されます。

2 表示項目変更 にタッチする

3 リストからアイコンを最大4つまで選択して、完了 にタッチする

カスタマイズ画面に戻ります。

- アイコンの位置を変更できます。カスタマイズ画面で位置を入れかえたいアイコンを2つ続けてタッチすると、アイコンの位置が入れかわります。

4 選択が終わったら 完了 にタッチする

地図から目的地を検索してルートを探索する

地図上の任意の地点を目的地に設定してルート案内を開始します。

1 地図をスクロールして目的地にしたい地点を表示し、タッチする

2 目的地 にタッチする

3 案内開始 にタッチする

- ルート探索条件はクイックセットアップ(2ページ)、優先探索ルート(114ページ)で設定したルートとなります。
- 他の探索条件のルートを選択することができます。他ルートについて詳しくは46ページを参照してください。

- 設定されたルートの詳細は「ルートの確認・編集を行う」(51ページ)で確認してください。

経由地を設定する

目的地に向かう途中で経由したい地点を設定します。経由地は最大5か所まで設定できます。

1 **検索・スクロール後の画面で、経由地 にタッチする**

経由地リストが表示されます。

2 **未登録 にタッチする**

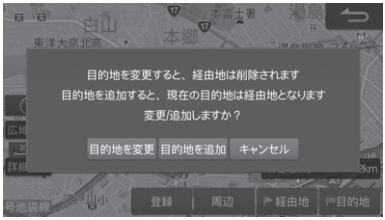
- ルートが自動的に再探索され、案内が開始されます。
- 経由地は「経由地編集」(52ページ)でも設定できます。
- すでにセットされている経由地をタッチすると、新たに指定した経由地が上書きされます。

目的地を追加する

すでに設定されている目的地を経由地に変更して、新たに探索した地点を目的地に設定することができます。

1 **目的地探索結果画面で 目的地 にタッチする**

2 **目的地を追加 にタッチする**



- 経由地が5箇所設定されている場合は、目的地を追加 は表示されません。
- 目的地を変更 にタッチすると、すでに設定されている目的地・経由地をすべて削除して新しい目的地に設定します。

目的地周辺の施設を経由地として探索する

目的地探索結果画面から、周辺の施設を経由地に設定することができます。経由地は最大5か所まで設定できます。

1 **目的地探索結果画面で 周辺 にタッチする**

2 **ジャンルを選択し、表示された施設リストから希望の施設にタッチする**

- 表示されていないジャンルを選択する場合は その他ジャンル から選択してください。
- 検索範囲を指定することができます。 検索範囲 にタッチして、標準 または 広域 にタッチしてください。

3 経由地 にタッチする

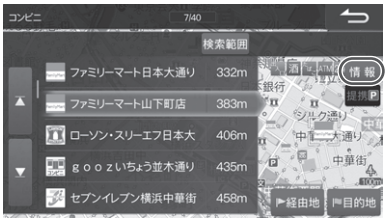
4 経由地1～5いずれかの 未登録 にタッチする

- ルートが自動的に再探索され、案内が開始されます。
- 経由地は「経由地編集」(52ページ)でも設定できます。
- すでにセットされている経由地をタッチすると、新たに指定された経由地が上書きされます。

施設の情報画面について

検索時にリスト表示された施設の詳細情報を見ることができます。

1 施設のリスト画面で 情報 にタッチする



施設の情報画面が表示されます。

- 提携P をタッチすると、施設と提携している駐車場を選ぶことができます。

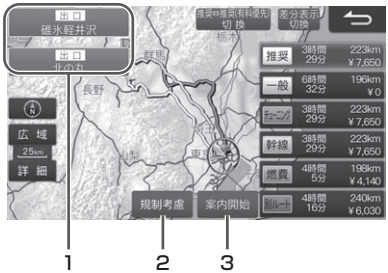
1 携帯電話を接続しているときは施設に電話をかけることができます(95ページ)。

2 コンビニエンスストア、ファーストフード店の詳細情報(24時間営業・ATMなど)がアイコンで表示されます。

3 目的地、経由地に設定することができます。

ルート探索結果画面の操作

ルート探索結果画面は目的地や経由地を設定すると自動的に表示されます。ルート選択については「ルートを選択する(6ルート)」(46ページ)を参照してください。



1 インターチェンジ名

利用するインターチェンジを変更したいときにタッチします。利用したいインターチェンジを選択して、決定 にタッチします。

- インターチェンジを変更すると入口･出口インターチェンジが経由地として設定されます。
- 経由地削除を行うとインターチェンジの変更も解除されます。

2 規制考慮

冬期は通行止めになるなど、設定したルートに季節規制のある区間が含まれる場合、通行止めの区間を回避したいときにタッチするとルートが再探索されます。

- 冬期閉鎖区間を考慮してルート探索するかどうかをあらかじめ設定しておくこともできます(115ページ)。

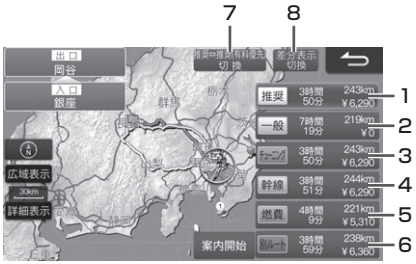
3 案内開始

ルート案内が開始されます。

- 選択されているルートで 案内開始 をタッチせずに走行してもルート案内を開始します。

ルートを選択する(6ルート)

目的地を設定すると表示されるルート探索画面で、お好みのルートを選択できます。



1 推奨

VICS情報、ルート学習情報、目的地への到着時間と料金バランスなどを考慮したルートが探索されます。

2 一般

できるだけ一般道路を通るルートが探索されます。

- 自車位置が有料道路上にある場合など有料道路を通った方が良いと判断される場合は、有料道路を通るルートを探索することがあります。

3 チューニング

推奨ルートをベースとして、有料道路優先(全般)・有料道路優先(近距離)・広い道路優先・渋滞回避優先の各パラメーターをお好みでチューニングしたルートが探索されます。

- パラメーター調整については、「ルートチューニング」(114ページ)を参照してください。

4 幹線

できるだけ幹線道路を通るようにルートが探索されます。

5 燃費

燃料消費量を節約するルートが探索されます。

- 燃費優先ルートが選択されている場合は、ルート探索時間が長くなることがあります。

6 別ルート

推奨・一般・チューニング・ 幹線・燃費以外のルートが探索されます。

- 他のルートと同じルートを探索する場合があります。

7 推奨⇔推奨(有料優先)切換

推奨ルートと、有料道路優先推奨ルートを切りかえます。推奨ルート選択時のみ操作可能です。

- 推奨ルートの初期設定を有料道路優先にあらかじめ設定することができます(「有料道路優先」114ページ)。

8 差分表示切換

選択しているルートと比較して、他のルートの所要時間/料金/距離の差分を表示します。再度タッチすると元の表示に戻ります。

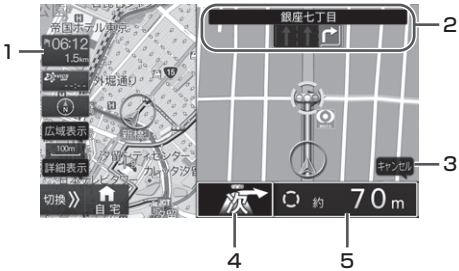
ルートの確認・編集

ルート案内方法

目的地までのルート走行中、さまざまな表示や音声によって案内します。

交差点拡大図表示

ルート案内中に案内ポイントが表示されている交差点が近づくと、交差点拡大図が表示されます。



1　到着情報表示(50ページ)

2　交差点名・交差点のレーン案内

3　キャンセルスイッチ

タッチすると拡大図が消え、ルート案内画面に戻ります(拡大図画面内をタッチすることでも案内が消えます)。

- 案内の内容を再表示したいときは案内ポイントを通過する前に**[現在地]**スイッチを押してください。

4　交差点右左折の矢印表示

- 音声案内設定が信号・交差点案内設定時には、残信号・交差点が表示されます。

5　交差点までの距離

- 案内される信号・交差点の数は、お車の走行状態により実際の数とずれが生じる場合があります。
- 「音声案内設定」(112ページ)が信号・交差点案内設定時には、地図データ収録の信号機データをもとに残信号・交差点数を表示・案内します。ただし実際の道路状況と異なる場合や、距離で案内する場合があります。信号機データ収録地域については、アルパインホームページを参照してください。
- 音声案内の長さを設定することができます(「音声案内の長さ変更」112ページ)。

ビッグアロー表示

交差点案内図を、矢印で進行方向を表示するビッグアロー表示に設定することができます。案内は、信号・交差点の数か、交差点までの距離で行い、交差点までの距離に応じて、矢印の色が青色→黄色→橙色に変化します。

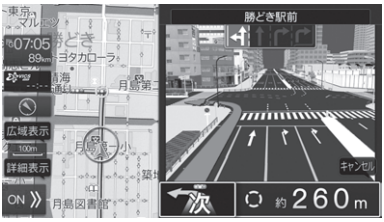
■ 信号・交差点案内

■ 残距離案内

- 交差点案内方法を、交差点拡大図にするかビッグアロー表示にするか設定できます(「案内図表示」113ページ)。
- ビッグアロー表示時の交差点案内方法を、信号・交差点案内か残距離案内かに設定することができます(「音声案内設定」112ページ)。
- 交差点接近を信号の数で案内する場合、目印となる施設を音声で案内するか設定できます(「カウントダウン目印フレーズ」112ページ)。
- ビッグアロー案内で表示される交差点形状は、実際の道路形状と異なる場合があります。

リアル3D交差点拡大表示

リアル3D交差点情報のある交差点が近づくと、よりリアルな拡大図が表示されます。



- 約700m手前になると音声案内が、約300m手前になると拡大画面が表示されます。
- リアル3D交差点拡大図を表示するかどうかを設定できます(「詳細案内図表示」113ページ)。

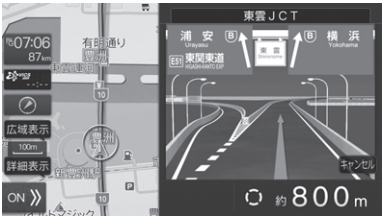
高速入口案内図

情報のある都市高速の入り口が近づくと拡大して表示されます。

- 約700m手前になると音声案内が、約300m手前になると拡大画面が表示されます。
- 高速入口案内図を表示するかどうかを設定できます(「詳細案内図表示」113ページ)。

高速分岐案内

有料道路や高速道路を走行中に情報のある分岐点(JCT)が近づくと表示されます。レーンごとに方面が表示されます。



- 約2000m手前になると音声案内が、約1000m手前になると拡大画面が表示されます。

ETCレーン表示

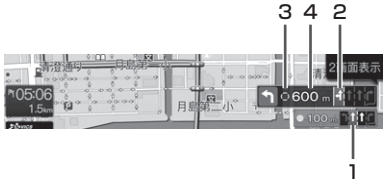
ETCレーン情報のある料金所が近づくと表示されます。ETC･ETC2.0車載器(別売)にETCカードが装着されている場合はETCレーンに矢印が表示されます。

- ETCレーンを表示するかどうかを設定できます(「料金所ゲート案内」113ページ)。

レーンガイド表示

レーン情報のある分岐交差点が近づくと(約10km以内)、交差点までの距離と走行レーンが表示されます。

- レーンガイドを表示するかどうかを設定できます(「レーンガイド表示」113ページ)。
- 一般道路上走行中、次以降の交差点で右左折する場合、走行を推奨する1つのレーンを青く表示します。ただし、右左折する交差点までの距離がある場合などは推奨レーン表示を行いません。



1 次の交差点での走行レーン

2 次の交差点以降の右左折交差点のレーンガイド

3 レーン情報がある交差点は ● が表示されます。右左折する場合は交差点拡大図が表示されるタイミングで ◯ が表示されます。

4 次の交差点までの距離

方面看板表示

方面看板情報のある交差点の約700m手前になると方面看板が表示されます。

- 方面看板を表示するかどうかを設定できます(「方面看板表示」113ページ)。

ハイウェイモード表示

高速道路に入ると自動的にハイウェイモードに切りかわります。ハイウェイモードではインターチェンジやサービスエリアの情報が表示されます。

- ハイウェイモードを解除するには 地図切換 をタッチし、地図切換画面で 1画面 または 2画面 を選択してください。
- ハイウェイモードを自動で表示するかどうかを設定できます(「自動ハイウェイモード」111ページ)。
- 高速渋滞 にタッチすると高速渋滞モード画面(50ページ)が表示されます。

フェリー航路表示

フェリーが利用できる場合はフェリーターミナルまでルート案内されます。フェリーを降りるとルート案内が再開されます。

- フェリー航路は－－－(破線)で表示されます。画面にフェリー航路が表示されていてもルート検索の対象外航路の場合があります。
- ルート探索のときにフェリー航路を含まないように設定することもできます(「フェリー使用」115ページ)。

細街路案内表示

細街路を走行すると自動で2画面表示に切りかわり、右画面に25m市街地図を表示して細街路案内を行います。

- 細街路案内表示を解除するには、**[現在地]**スイッチを押してください。
- 細街路案内地図を自動で表示するかどうかを設定できます(「細街路オートスケール」111ページ)。

行程ガイド表示

■ 行程ガイド

■ 高速渋滞モード

ルート案内中に高速道路上のジャンクションやインターチェンジの混雑状況を表示できます。行程ガイド表示中に 高速渋滞 にタッチするとジャンクション混雑状況を表示する高速渋滞モードに切りかわり、それぞれの距離および所要時間を示す数字の色が混雑状況に応じて変化します。

- 数字は、順調の場合は緑色･混雑の場合は橙色･渋滞の場合は赤色･不明の場合は白色、で表示されます。
- VICSの渋滞情報を受信していない場合は、高速渋滞モードを表示できません。
- ルートを設定していない場合は走行中の路線上にあるジャンクション名のみを表示します。
- 行程 にタッチすると行程ガイド画面に戻ります。
- ▲ にタッチすると先の情報を表示し、▼ にタッチすると手前の情報を表示します。

到着情報表示

ルート案内中に目的地までの残距離と到着予想時刻が表示されます。

- 経由地やフェリー航路が設定されている場合は、タッチするとそれぞれの残距離と到着予想時刻が表示されます。

ルート情報画面案内地点マーク一覧

G	目的地
1 ～ 5	経由地
	フェリー乗り場
¥	料金所
JCT	JCT
IN	高速道路入口
OUT	高速道路出口
▲	現在地

音声案内について

ルート案内中は案内ポイントの音声案内に加えて以下のような音声案内を行うことができます。音声案内を聞き逃したときなどは、任意のタイミングで **[現在地]** スイッチを押すと聞くことができます。

料金案内

有料道路や高速道路の出口料金所手前で料金が音声で案内されます。

- 正しい料金が案内されるようにあらかじめ車種の情報を登録してください(「車両情報」113ページ)。
- 高速道路走行中にルートを変更したときは、料金案内はされません。

合流案内・踏み切り・狭路

合流地点・踏み切り・道幅が狭い道路がある場合、音声とアイコンでお知らせします。

合流案内	
踏み切り	
狭路	

- 音声案内はルート案内中のみです。
- 合流地点・踏み切り・道幅が狭い道路を案内するかどうかを設定できます(「合流案内」「踏み切り案内」「狭路進入案内」112、113ページ)。

県境

都道府県の県境を越えるときに音声でお知らせします。

- 音声案内はルート案内中のみです。
- 県境を案内するかどうかを設定できます(「県境案内」112ページ)。

案内地点までの残距離

案内地点までの残距離が10km以内になったときに音声でお知らせします。

- 案内地点までの残距離を案内するかどうかを設定できます(「残距離音声案内」113ページ)。

到着予想時刻

目的地や経由地の到着予想時刻を音声でお知らせします。

- 到着予想時刻を案内するかどうかを設定できます(「到着予想時刻音声案内」113ページ)。

ルートの確認・編集を行う

ルート案内中に、ルートの確認やルートの編集を行うことができます。

1 **ルート案内中の現在地画面で ルート にタッチする**

ルート画面を表示します。

- 走行中は安全のため「ルート情報」・「デモ走行」はタッチできません。安全な場所に停車してから操作してください。

ルート情報

目的地までの全ルートを高速道路のインターチェンジや経由地などで分割し、それぞれの区間距離や高速道路などの料金やインターチェンジの通過予想時刻などを一覧で表示します。

- 道路によっては料金が表示されない場合があります。
- 料金は設定した車両情報から計算していますが、通行料金の変更などにより実際の料金と異なることがあります。
- 到着予想時刻は設定した車速(「到着予想時刻速度設定」113ページ参照)やVICS旅行時間を考慮して計算していますが、走行条件などにより誤差が生じることがあります。
- ルート情報で確認できる案内地点とマークについては、「ルート情報画面案内地点マーク一覧」(50ページ)を参照してください。

乗り降りIC変更

ルート案内中に利用するインターチェンジを変更することができます。

- 利用したいインターチェンジを選択して、決定 にタッチします。
- 経由地が設定されている場合は、IC変更操作を行うことはできません。
- インターチェンジを変更すると、入口/出口インターチェンジが経由地として設定されます。

経由地編集

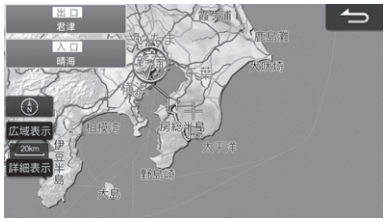
経由地を編集します。

- 未登録 を選択して 探して登録 をタッチすると経由地をナビメニューから検索できます。
- 経由地消去 をタッチすると選択した経由地を消去します。経由地を消去すると自動的にルートの再探索が行われます。探索条件は削除された経由地までの条件が新しい区間に適用されます。
- 上へ移動 または 下へ移動 をタッチすると目的地・経由地の順番を入れかえることができます。
- 経由地が2か所以上設定されている場合に、目的地・経由地を選択すると 探して探索 が 周遊 に変わります。 周遊 をタッチすると経由地を近い順に並べかえることができます。

全ルート表示

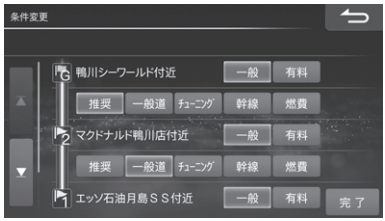
現在地から目的地までのルートと、乗り降りするインターチェンジが表示されます。

- 全ルート表示ではスクロール・方位変更・縮尺変更が行えます。3Dマップへの切りかえはできません。
- ルートの一部が画面に表示されない場合があります。



条件変更

探索条件を変更します。経由地を設定している場合は、経由地までの区間ごとに探索条件を変更することができます。また有料道路が近接している地点を目的地や経由地に設定したとき、誤って一般道路上または有料道路上に設定してしまった場合に地点属性を変更できます。



- 設定した目的地や経由地の近くに一般道または有料道路がある場合に 一般 ・ 有料 をタッチすると、目的地や経由地を一般道路上または有料道路上に切りかえます。
- 推奨 ・ 一般道 ・ チューニング ・ 幹線 ・ 燃費 をタッチすると、その区間のルート探索条件を変えて再探索します。
- すでに通過した区間は表示されません。
- 走行中は安全のため、条件変更画面はスクロールできません。

デモ走行

ルート探索後、目的地までのルートのデモを見ることができます。

- 実際に走行を開始するとデモ走行は終了します。
- デモ走行を終了するには[♪][▲]のいずれかのスイッチを押します。
- 方位･縮尺･地図表示方法を変更してデモ走行することができます。
- デモ走行の速度を変更することができます(113ページ)。
- デモ走行中は[＊](オプションスイッチ)操作など、一部の機能は操作できません。

リルート

ルート案内中にルートから外れると、その位置から目的地までのルートが自動的に再探索されます。自動で再探索されないときは リルート にタッチすると、ルートを再探索することができます。

周辺迂回

自車位置から一定の距離を迂回するルートを探索します。前方の道路が工事などで通行できないときなどに利用できます。

- 迂回地点をあらかじめ登録しておくこともできます(54ページ参照)。
- 迂回する距離を設定できます「迂回距離」(115ページ参照)。
- 案内中のルートから外れている場合は、迂回ルートは探索できません。
- 周辺の道路によっては迂回できない場合があります。

ルート再探索

ルートの再計算を行います。

- 走行中は安全のため ルート再探索 をタッチすることはできません。
- 経由地がセットされている場合は、ルートの再探索はできません。

経由地スキップ

案内中の経由地を通過済みにし、次の経由地または目的地へ案内します。

- 経由地に「到着した」と判断できず、いつまでも経由地への案内を繰り返す場合があります。そのような場合に経由地をスキップしてください。

ルート消去

現在のルート･目的地･経由地を消去します。

- 目的地に近づくとルート案内を自動的に終了します。近づき加減が不足しているときなどは「到着した」と判断できず、いつまでも目的地への案内を繰り返す場合があります。そのようなときはルートを消去してください。

アクティブルートサーチ機能

予期せぬ渋滞･通行止めなど道路状況の変化や交通情報を考慮して、目的地までの所要時間が走行中のルート案内よりも最短となるルートを探索したときにルートを変更できます。

- 現ルート にタッチすると、ルートを変更しません。また、次の場合も現ルートに決定されます。
  - 現在ルート(ピンク色のルート)をそのまま走行した場合
  - ⮌ にタッチした場合
  - [現在地]スイッチを押した場合
- 新ルート にタッチすると、新しいルートに変更します。また、次の場合も新ルートに決定されます。
  - 新ルート(水色のルート)を走行した場合
- 時間短縮できるルートが見つからない場合は、アクティブルートサーチ機能は働きません。詳しくは「アクティブルートサーチ」(114ページ)、「アクティブルートサーチ案内音声割込み」(114ページ)を参照してください。

地点登録

あらかじめ地図上に地点を登録しておくと、目的地や経由地の設定が簡単にできます(最大700か所)。登録した地点にマークを表示させたり、近づいたときに音声案内が流れるようにしておくこともできます。
地点登録には現在地を登録する方法･地図上の任意の地点を登録する方法の2つがあります。

- 登録した地点はUSBメモリーに保存することができます(126ページ)。

現在地を地点登録する

自車位置を地点登録します。

1 現在地画面で 地点登録 にタッチする

2 表示された地点情報を確認し、必要に応じて変更する

- 地点情報の変更方法は「登録地点を編集する」(55ページ)を参照してください。

地点を登録する

地図上にタッチして指定した任意の地点、または検索した地点を登録できます。

1 地図上の登録したい地点にタッチする、またはナビメニューなどから地点を検索する

2 登録 にタッチする

3 地点登録 カメラ表示地点 現在地 迂回する地点 特別地点 のいずれかにタッチする

4 表示された地点情報を確認し、必要に応じて変更する

- 地点情報の変更方法は「登録地点を編集する」(55ページ)を参照してください。

地点登録

カーソルのある地点をナビメニューの登録地点として登録します。

- 最大700か所まで登録することができます。
- 現在地画面上のナビ操作スイッチの 地点登録 をタッチしても登録することができます(32ページ)。

カメラ表示地点

カーソルのある地点をカメラ表示地点に登録します。走行中、カメラ表示地点に接近したときにフロントカメラまたはサイドカメラの映像を表示します。

- 最大50か所まで登録することができます。
- 登録地点の半径50m以内の映像が表示されます。
- 名称 をタッチするとカメラ表示地点の名称を変更できます。
- 位置 をタッチするとカメラ映像を表示する地点を変更できます。
- 「接近方向設定」では、設定した地点にどの方向から近づくとカメラ映像を表示するかを設定します。
  方向設定 で方向を指定したときは、指定した方向に向かって60°の範囲が対象となります。
- 「カメラ属性」で、その地点の映像を表示するカメラ(フロントカメラまたはサイドカメラ)を設定します。
- カメラ表示地点の登録は、フロントカメラまたはサイドカメラの接続が設定されているときのみ可能です。

現在地

カーソルのある地点を現在地(自車位置)に登録します。GPS受信状況の変化により画面上の自車マークの位置・方向が実際の車の向きと異なったときに修正します。

- 自車マークの向きは ↺ または ↻ にタッチして修正し、登録 にタッチします。
- ↺ :現在の角度から左回りに微調整した向きになります。
- ↻ :現在の角度から右回りに微調整した向きになります。
- 修正しなくても走行を続ければ、情報が補正され正しい位置・方位になります。

迂回する地点

カーソルのある地点を迂回する地点に登録します。狭くて走りにくい道や普段から渋滞が多い場所などは迂回地点に登録しておくと、ルート探索の際にそのエリアを避けたルートが設定されます。

- 最大10か所まで登録することができます。
- 名称 をタッチすると迂回地点の名称を変更できます。
- 位置 をタッチすると迂回地点を変更できます。
- 「範囲」では迂回地点を中心として何m四方の範囲を迂回するかを設定できます。
- 設定した迂回範囲は地図画面上で赤色の四角で表示されます。

特別地点

カーソルのある地点を特別地点に登録します。販売店・地点1・地点2・地点3・自宅の5か所を登録することができます。

- 通常の地点登録よりも簡単に目的地や経由地に設定できます。

登録地点を編集する

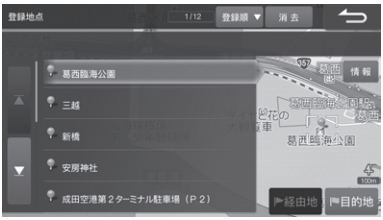
地点登録時に表示される登録地点情報画面で、地点名称など情報の編集を行います。または設定画面を表示して地点情報を編集することができます。

1 [▲]スイッチを押して、ナビメニュー画面で 設定 にタッチする

2 地点編集 にタッチする

3 地点の種類を選んでタッチする

4 地点を選んでタッチし、情報 にタッチする



- 消去 をタッチすると、選択した地点を消去できます。 消去 をタッチし続けるとすべての登録地点を消去できます。
- 登録地点と特別地点は手順5に進みます。
- 迂回地点の名称・位置・範囲を編集することができます(55ページ)。
- カメラ表示地点の名称・位置・接近方向・カメラ属性を編集することができます(55ページ)。

5 基本情報 マーク情報 位置情報 詳細情報 タブにタッチし、地点情報を編集する

- 本機に携帯電話が接続されていれば、地点情報画面の電話番号に電話をかけることができます。発信 にタッチしてください。

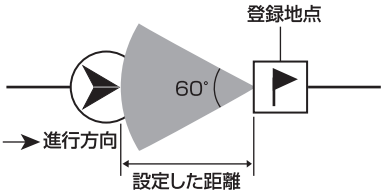
基本情報

登録情報の基本情報(名称･読み･電話番号)を確認または変更できます。

マーク情報

地図上に表示される登録地点マークや、登録地点に近づいたときに接近音を鳴らすかどうかを確認または変更できます。また、接近距離や接近方向も変更できます。

- 方向設定 で方向を指定したときは、指定した方向に向かって60°の範囲が対象となります。 または をタッチして方向を指定し、完了 にタッチし設定を保存します。



位置情報

位置情報の変更および登録地点への属性設定ができます。

- 登録地点の近くに一般道路/有料道路(高速道路)があり、登録地点を目的地または経由地に設定するときに地点属性設定を利用してください。
- 登録地点付近に一般道路/有料道路(高速道路)がない場合は、地点属性は設定できません。

詳細情報

登録地点や施設の詳しい情報を確認することができます。

VICS情報を見る

VICSについて

「楽しいドライブなのに突然渋滞。なんでこんなに混んでいるの？空から見下ろしてみたい！」この要求に答えたのがVICS(ビークル インフォメーション アンド コミュニケーションシステム)です。VICSは渋滞や障害・規制、駐車場などのさまざまな交通情報をリアルタイムに提供します。この情報を利用すれば渋滞を減らすことができ、交通の流れが分散されます。さらにイライラによる精神的なストレス・経済的なロス・排気ガスの削減なども期待できるのです。

VICSによる渋滞・混雑などの情報を地図上に表示するため、あらかじめ「地図」に情報提供用の道路単位(VICSリンク)を設定しています。道路形状や交通情報収集施設の変化にともない、より正確な情報提供表示を行うために毎年情報提供単位が追加・変更されます。

このためにVICSによる地図情報表示は「本製品」発売後およそ3年程度で一部のエリアでVICSの地図情報が表示されなくなる場合があります。より正確な情報を表示するためには最新の「地図」をご使用ください(本製品の道路単位は2021年11月版です)。

VICS WIDEについて

本機はFM多重放送による新サービス「VICS WIDE」に対応しています。

VICS WIDEは従来のVICS-FM多重放送に加え、道路の交差点間などの一定区間の通過に要する時間(リンク旅行時間)やプローブ情報をもとに、より精度の高いルート案内が可能となります。

また気象・津波情報に火山噴火を加えたすべての特別警報(地震を除く)や大雨が発生しているエリアの情報提供を受けることができます。

- 本機は進行方向別旅行時間表示には対応していません。
- VICS WIDEの情報提供は地域により異なります。VICS WIDEについて詳しくは、一般財団法人 道路交通情報通信システムセンターのホームページ https://www.vics.or.jp をご覧ください。

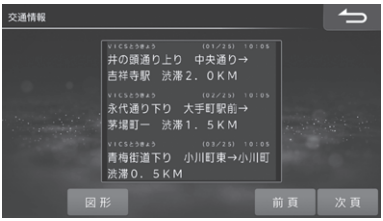
提供されるVICS情報

VICS情報には下記の4種類の情報があります。

文字情報

文字情報を表示します。

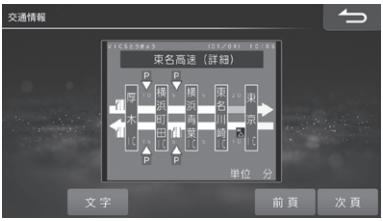
<表示例>



図形情報

簡易な道路図形などを表示します。

<表示例>



地図表示情報

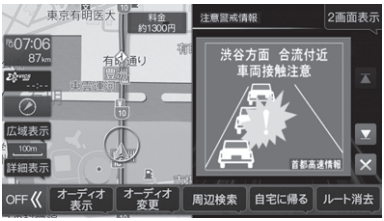
地図上に渋滞や規制情報などを表示します。

<表示例>

画像・音声情報(ETC2.0のみ)

画像を表示し、音声情報を読み上げます。

<表示例>



情報を提供する媒体

情報を提供する媒体には次のような種類があります。

FM多重放送

FM放送局から音声のすき間を使って配信されます。FM局を受信していれば利用でき、広域で情報を受けられます。

- FM多重放送によるVICS情報を利用するにはVICS情報を放送している放送局を選局してください。放送局の選局については「放送局選択」(106ページ)を参照してください。

電波ビーコン

主に高速道路に設置されています。ETC2.0はITSスポットが設置された場所で情報を受けることができます。

- ITSスポットによるVICS情報を受けるためには、別売のETC2.0車載器が必要です。

光ビーコン

一般道路に設置されています。ビーコンが設置された場所で周辺の情報を受けることができます。信号情報活用運転支援システム(TSPS)は光ビーコンの信号情報を用います。

- 光ビーコンによるVICS情報を受けるためには、別売の光ビーコン対応ETC2.0車載器が必要です。

表示されるVICS情報

VICS情報は次のように表示されます。

VICS情報表示

FM多重放送で受信した文字または図形情報を呼び出して見ることができます。

VICS割込み情報表示

光ビーコンまたはITSスポットから情報を受信したときや指定された地点で図形・文字・画像情報を自動的に表示します。

- ITSスポットからの情報に音声情報が含まれる場合は表示と共に自動的に読み上げを行います。
- 情報を割り込み表示しないようにするには「情報割込み」(116ページ)を参照してください。
- VICS割込み情報には以下のような種類があります。
  - 緊急情報/緊急メッセージ:大雨特別警報や地震・災害時の停車・避難等の行動指示(優先して表示します)
  - 安全運転支援:走行路線の安全運転支援情報(優先して表示します)
  - 注意警戒情報:工事・規制などの情報
  - ビーコン図形情報:走行中経路の交通情報
  - ビーコン文字情報:広域の交通情報
  - ネットワーク障害 / ことわり情報:VICSセンターなどからのお知らせ
  - 長文読み上げ情報:交通状況や気象情報などの音声情報
  - 多目的情報:道路交通情報・施設関連情報など
  - 電子標識:標識などの案内情報
- VICS割込み情報の表示画面は、「割込み時間」(116ページ)で設定した時間を経過するかまたは音声読み上げが終了すると解除されます。
- VICS割込み情報の表示中に、✕ をタッチすることで表示画面を解除することができます。
- VICS割込み情報の表示画面が複数ページある場合は ▲ または ▼ にタッチすると前後のページが表示されます。
- 交差点拡大図の表示中などVICS割込み情報を表示しない場合があります。
- 別売のETC2.0車載器が必要です。

信号情報活用運転支援システム(TSPS)表示

光ビーコンから取得した信号情報と、自車位置や速度情報を用いて、信号交差点を円滑に通行するための運転を支援する「信号情報活用運転支援システム(TSPS＝Traffic Signal Prediction Systems)」の支援情報を表示します。

本機では2つの支援情報を利用できます。

● **赤信号減速支援:**
早めのアクセルオフによる赤信号への緩やかな減速を促します。

● **発進遅れ防止支援:**
信号が赤から青に変わる残り時間の情報を表示します。

- 各支援の設定について詳しくは、「発進遅れ防止支援」「赤信号減速支援」(117ページ)を参照してください。
- 本機能はあくまでも補助機能です。実際の信号機の点灯状況と異なる場合は信号機の表示に従ってください。案内を過信せず、常に実際の道路状況や道路標識、前方の信号表示を優先して運転してください。
- 常に前方の交差点を直進方向に走行すると想定して案内を行います。矢印信号のある交差点では、点灯状態と異なる案内をする場合があります。
- 受信時点の情報のため、その後の状況の変化により、実際の信号機の灯色と合わない場合があります。
- TSPSアイコン有効表示のまま、案内が行われない場合があります。
  - 提供対象外の信号機があるとき
  - 信号機の色が変わる直前のとき
  - 対象となる交差点までの距離が短いとき
  - 高速走行しているときや低速走行しているとき
- 信号機のサイクルに応じた有効時間があります。有効時間が経過すると案内ができなくなります。
- 信号機の制御方式(押しボタン式、感応式など)により、信号情報が不確定なため、案内しない交差点があります。
- ご利用には、TSPSに対応した別売の光ビーコン対応ETC2.0車載器が必要です。
- すべての光ビーコンでTSPSの情報を提供している訳ではありません。対象路線情報についてはVICSセンターのWebサイト(https://www.vics.or.jp/)をご覧ください。

VICS情報の表示例

VICSで提供されるさまざまな交通情報を地図上に表示します。

- 表示されるマークについては「VICS情報マーク一覧」(62ページ)もあわせて参照してください。
- VICS情報の更新中は情報を表示することができません。また正確に情報を表示しない場合があります。

渋滞情報や道路交通情報マークの表示例

渋滞情報や駐車場、規制区間などの情報を地図上に表示します。

1　駐車場マーク

2　規制マーク

3　渋滞情報

4　充電施設マーク

■ 渋滞情報

渋滞地点や渋滞区間などを地図上に実線の矢印で表示します。

	赤	渋滞:交通の流れが非常に悪い状態
	橙	混雑:交通の流れがやや悪い状態
	緑	空き道:交通の流れが良い状態

- 渋滞情報を表示しないように設定できます(「渋滞・混雑表示」109ページ、「空き道表示」109ページ)。
- 渋滞情報は地図スケールが1km以下の詳細な地図で表示されます。

■ 駐車場マーク

VICSで提供された一般駐車場･臨時駐車場のマークを地図上に表示します。

P 一般駐車場 P 臨時駐車場	青	空車:利用可能な状態
	赤	満車:ほぼ満車の状態
	橙	混雑:利用率が高い状態
	黒	不明:駐車場情報がない状態

- マークにタッチまたはカーソルを合わせると情報画面が表示されます(「情報画面の表示例」60ページ)。
- 周辺のVICS提携駐車場を探すこともできます(「駐車場情報」105ページ参照)。
- 駐車場マークを表示しないように設定できます(「VICS駐車場･充電施設表示」110ページ)。
- 駐車場マークは地図スケールが1km以下の詳細な地図で表示されます。

■ 充電施設マーク

電気自動車用の充電施設を充電方法(急速･普通･プラグイン)に応じたマークを地図上に表示します。

急速 普通 中速 プラグ	青	利用可能な状態
	赤	混雑している状態
	橙	利用率が高い状態
	黒	充電施設情報がない状態

- マークにタッチまたはカーソルを合わせると情報画面が表示されます(「情報画面の表示例」60ページ)。
- 周辺の充電施設を探すこともできます(「充電施設」105ページ)。
- 充電施設マークを表示しないように設定できます(「VICS駐車場･充電施設表示」110ページ)。
- 充電施設マークは地図スケールが1km以下の詳細な地図で表示されます。

■ 規制マーク

現在規制されているさまざまな規制マークを地図上に表示します。また、規制対象区間は黄色線で道路上に表示されます。

	進入禁止
	入口閉鎖
	事故
	工事

- マークにタッチまたはカーソルを合わせると情報画面が表示されます(「情報画面の表示例」60ページ)。
- 規制マークを表示しないように設定できます(「規制マーク表示」110ページ)。
- 規制マークは縮尺1km以下の地図で表示することができます。ただし、通行止め･入り口閉鎖･オフランプ(出口)閉鎖は関連する事象も含めて、道路が表示されるスケールの地図まで表示します。

■ 情報画面の表示例

- 駐車場や充電施設、規制マークなどにタッチすると詳しい情報が表示されます。 情報 にタッチするとさらに詳しい情報が表示されます。
- 情報が重なっている場合は、 次へ にタッチすると近くの情報を表示します。

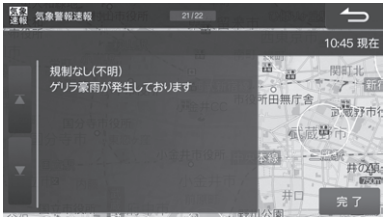
緊急情報画面の表示例

大雨･大雪･津波など気象に関する情報を受信すると緊急情報画面が表示されます。

- 情報 にタッチすると緊急情報の詳細情報が表示されます。詳細情報画面の 完了 または地図にタッチすると対象エリアを確認することができます(「規制や災害エリアの表示例」61ページ)。
- 一覧 にタッチすると今までに受信した 気象警報･災害などのリストが表示されます。

規制や災害エリアの表示例

規制･事故･災害･異常気象などが発生している対象エリア、または情報に応じたマークを地図上に表示します。対象エリアの表示方法および詳細については「VICS情報を見る」(104ページ)を参照してください。



- 情報によっては対象エリアとマークが表示されない場合があります。
- 今後規制やイベントなどが予定されているエリアも同様に表示することもできます(「予告配信表示」110ページ)。
- 対象エリアを表示しないように設定できます(「気象警報･災害エリア表示」「規制エリア表示」110ページ)。
- 対象エリアは情報に応じて赤紫色/赤色/橙色の境界線で表示されます。(情報によっては正確に表示されない場合があります。)
- マークにタッチまたはカーソルを合わせると情報画面が表示されます(「情報画面の表示例」60ページ)。

信号情報活用運転支援システム(TSPS)表示例

信号交差点を円滑に通行するための運転支援情報を表示します。

■ 赤信号減速支援

■ 発進遅れ防止支援

VICS情報マーク一覧

	事故		大型通行止め	急速 普通 プラグ 不明	充電施設(急速/普通/プラグイン/不明):空車(青)・満車(赤)・混雑(橙)・不明(黒)
	故障車		入口制限		
	路上障害		オフランプ、規制		
	工事		片側交互通行		
	凍結		チェーン規制	急速 普通 プラグ 不明	充電施設(急速/普通/プラグイン/不明):閉鎖(赤)
	作業		進入禁止		
	通行止め、閉鎖	P	一般駐車場:空車(青)・満車(赤)・混雑(橙)・不明(黒)		
	対面通行				
	車線規制		一般駐車場:閉鎖(赤)	特別警報	特別警報
	火災	P	臨時駐車場:空車(青)・満車(赤)・混雑(橙)・不明(黒)	気象速報 災害速報	気象・災害速報
	気象・災害・地震警戒宣言				
	気象		臨時駐車場:閉鎖(赤)	気象注意 災害注意	気象・災害注意報
	気象	SA	SA:空(青)/満車(赤)/混雑(橙)/不明(黒)		
	行事等				右折禁止
	徐行		SA:閉鎖(赤)		左折禁止
	入り口閉鎖	40	速度規制(40km/hの場合)		直進禁止

音声情報読み上げについて

VICS割込み情報に音声情報が含まれる場合は、表示と共に自動的に読み上げを行います。

- VICS割込み情報内容が音声情報のみの場合、「音声のみの情報です」と表示されます。
- 音声情報読み上げ中に画面遷移した場合、読み上げは中断されます。
- 音声情報読み上げ中に 停止 をタッチすると読み上げは中断されます。また 読み上げ をタッチすると最初から情報読み上げを行います(途中からの再生にはなりません)。
- ナビ音声案内中に優先される音声情報が含まれるVICS割込み情報がある場合、ナビ音声案内は中断されます。
- 自動的に読み上げを行わないように設定することができます(「VICSでの音声読み上げ」117ページ)。
- 別売のETC2.0車載器が必要です。

3. オーディオ

基本操作

オーディオメニューを表示する

オーディオソースはオーディオメニュー画面を表示して操作します。メニュー画面で希望のソースにタッチすると選んだソースのメイン画面が表示されます。音質調整画面を表示してお好みの音質に調整することもできます。

1 **[♪]スイッチを押す**

オーディオメニューが表示されます。

- iPhoneをUSB接続している場合は、USB が Apple CarPlay に変わります。
- iPhoneをBluetooth接続している場合は、Bluetooth AUDIO が Apple CarPlay に変わります。
- iPod をUSB接続している場合は、USB が iPod に変わります。
- AndroidスマートフォンをUSB接続している場合は、USB が Android Auto に変わります。
- AndroidスマートフォンをMTP設定でUSB接続している場合は、USB が MTP に変わります。

オーディオソースをOFFにする

ルート案内の音声･映像はそのままでオーディオソースをOFFにできます。同乗者が寝ている時など、車室内を静かにしたい場合に使用してください。

1 **[♪]スイッチを押し、オーディオメニューの ソース タブにタッチしたあと、AUDIO OFF にタッチする**

[AV]スイッチを2秒以上押してもOFFになります。

- オーディオモードをONにするには、[AV]スイッチを2秒以上押すか、オーディオメニュー画面で希望のソースにタッチします。

Hi-Resオーディオを再生する

本機はハイレゾ音源･Hi-Resオーディオ(High-Resolution Audio)を再生することができます。

Hi-Resオーディオ対応フォーマット

FLAC

- 拡張子:.flac/.fla

WAV

- 拡張子:.wav

- Hi-Resファイルを再生時、以下の条件を全て満たした場合は、Hi-Resアイコンを再生画面に表示します。
  - 拡張子:.flac/.fla/.wav
  - サンプリング周波数:96kHz以上
  - 量子化ビット数:24bit以上

テレビ操作

テレビを見る

走行中は安全のため映像が消えて音声だけになります。

1 **[♪]スイッチを押し、オーディオメニューの ソース タブにタッチしたあと、TV にタッチする**

テレビを初めて使うときは初期設定画面が表示されます。

2 **チャンネルを切りかえるには画面をタッチし、表示されたプリセットスイッチをタッチ、または[|◀◀] / [▶▶|]スイッチを押す**

プリセットスイッチ

- [AV]スイッチを2秒以上押し続けると、ルート案内の音声･映像はそのままでオーディオソースをOFFにすることができます(「AUDIO OFF」63ページ)。同乗者が寝ている時など、車室内を静かにしたい場合に使用してください。

初期設定を行う

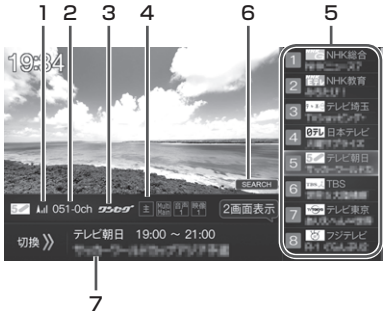
初めてテレビモードにすると初期設定画面が表示されます。画面に従ってお住まいの地域を設定し、最後に ホームスキャン をタッチしてください。

- ホームスキャン をタッチしたあとスキャンが終了するまではしばらく時間がかかります。そのままお待ちください。
- 初期設定(ホームスキャン)は自宅周辺で実行してください。ホームスキャンしたチャンネルは、ホームモードのプリセット番号として記憶されます。
- 引っ越しなどで居住地域が変わったときは、ホームスキャンをやり直してください。
- 受信電波の弱い地域ではホームスキャンで放送局が記憶できないことがあります。その時は、電波を受信できる場所に移動し、もう一度ホームスキャンを行ってください。

テレビ操作を行う

テレビ視聴中に画面にタッチすると、情報画面が表示されます。テレビ操作を行うには 切換>> をタッチして操作画面に切りかえます。しばらく(約8秒)操作しないと、情報･操作部分の表示が消えます。

■ **情報画面**



■ **操作画面**

■ **操作画面**

1 受信状態表示

2 チャンネル番号

3 現在の受信状態表示

SCAN: 受信可能な放送局スキャン時に表示
ワンセグ: ワンセグ放送受信時に表示
SEARCH: 自動サーチ中に表示(67ページ)。

4　モードインジケータ表示

モード切換 で選択した内容がインジケータに表示されます(66ページ)。

主: 音声多重放送の主音声/副音声切りかえ

映像1: 映像が複数ある場合の切りかえ

音声1: 音声が複数ある場合の切りかえ

字幕1: 字幕切りかえ

5　プリセットスイッチ(65ページ)

6　バックグラウンドサーチインジケータ

バックグラウンドサーチ中はインジケータ(SEARCH)が表示されます。

- バックグラウンドサーチインジケータ表示中は、一時的に受信感度が低くなります。

7　番組名表示

タッチすると番組情報画面を表示します。

プリセットスイッチ

ホームスキャンまたはお出かけスキャンを行うと、プリセットスイッチに放送局が最大12チャンネル記憶されます。プリセットされた放送局と番組名を表示し、タッチすると選択した番組に切りかわります。

- 上下にフリックするとプリセットされた放送局がスクロールします。
- 受信中の放送局のプリセットスイッチにタッチすると、地上デジタル放送とワンセグ放送が切りかわります。地上デジタル放送の映りが悪いときはワンセグ放送に切りかえてください。

[|◀◀] / [▶▶|]

プリセット番号順にチャンネルを切りかえます。

スキャン

お出かけモードやホームモードでは受信できない地域でテレビを見るときに、その地域で受信できる放送局をプリセットします(お出かけスキャン)。2秒以上タッチし続けると、視聴中の放送局の中継局や系列局をサーチします。

- お出かけスキャンしたチャンネルはお出かけモードのプリセットスイッチに記憶されます。
- お出かけスキャンを実行するとお出かけモードにすでに登録されているチャンネルは上書きされます。

ホーム⇔お出かけ

ホームモード/お出かけモードを切りかえます。

ホームモード:
お住まいの地域のチャンネルが設定されているモード

お出かけモード:
お出かけした際に、その地域のチャンネルを記憶するモード

番組表

番組表を表示します(66ページ)。

情報更新

番組名や放送局名を最新の情報に更新します。

- 受信状態によってはプリセットスイッチに放送情報が表示されない場合があります。表示させるには受信状態の良い場所で 情報更新 にタッチしてください。受信できない放送局の番組情報は更新されません。

d

データ放送に切りかえます。

✥

データ放送受信画面でタッチするとデータ放送操作スイッチが表示されます。

サービスリスト

視聴中の放送局と番組名の一覧を表示します。見たい番組を選んでタッチすると、選んだ番組を視聴できます。

設定▲

タッチすると モード切換 画面設定 設定 スイッチを表示します。

モード切換 ：主/副音声の切りかえ・字幕の切りかえ・多言語放送の音声切りかえを行うことができます。選択した内容はインジケータに表示されます。視聴している番組が音声多重放送かどうかなどについては、番組の詳細情報画面で確認できます。

画面設定 ： 画質の調整を行います。画質調整については131ページを参照してください。

設定 ： テレビの設定を行います。設定内容については66ページを参照してください。

番組表の操作

番組表画面はテレビの操作画面で 番組表 をタッチすると表示されます。

1 番組の日付表示

2 番組情報アイコン
- HV：ハイビジョン放送
- SD：標準画質放送
- 字：字幕放送
- 多：音声多重放送
- S：ステレオ放送
- 映像：複数の映像を持つ放送
- 音声：複数の音声を持つ放送

3 放送開始時間/番組名

4 現在受信中の番組映像

5 放送局のプリセット番号

▲ / ▼

前後の時間帯の番組を表示します。

次の日

次の日の番組表を表示します。続けてタッチすると、本日の番組表に戻ります。

ワンセグ

ワンセグ放送の番組表に切りかわります。
ワンセグ が 地上D に変わります。 地上D をタッチすると地上デジタル放送の番組表に切りかわります。

情報

選択している番組の番組名やあらすじなどの番組情報を表示します。音声多重放送かどうかやマルチビュー放送かどうかなども確認できます。

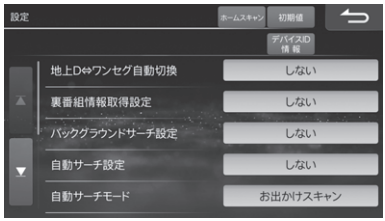
- 操作画面の番組情報表示エリアをタッチしても、番組情報画面を表示します。

⏮ / ⏭

前後のプリセット番号へ移動します。

テレビ設定操作

テレビ設定画面はテレビの操作画面で 設定▲ → 設定 をタッチすると表示されます。



地上D⇔ワンセグ自動切換

受信レベルが低下したときに、地上デジタル放送とワンセグを自動で切りかえるかどうかを設定します。

初期設定値： 標準

裏番組情報取得設定

視聴中の放送局の受信感度が良いときに、視聴を継続しながらプリセットスイッチに表示する番組情報を取得します。

初期設定値：する

バックグラウンドサーチ設定

視聴中の放送局の受信感度が低下した際に、視聴を継続しながら受信状態の良い中継局の放送局サーチを行います。

初期設定値：する

自動サーチ設定

一定時間放送局を受信できないときに、中継局や同系列局の放送局を自動で選局するまでのおおよその時間を設定できます。

初期設定値：5秒

- お出かけモードの場合のみ、自動サーチしたチャンネルはお出かけモードで選択中のプリセット番号に記憶されます。

自動サーチモード

自動サーチで中継局が受信できなかった場合、視聴局の系列局サーチを行うか、またはお出かけスキャンを実行してその地域で受信できる放送局をお出かけモードに登録するかどうかを設定します。

初期設定値：お出かけスキャン

- 「自動サーチ設定」が「しない」設定の場合、本設定を行うことはできません。
- 「お出かけスキャン」に設定すると、隣県へ移動したときなどに、視聴中の放送局以外にその地域で受信可能な放送局を登録します。
- お出かけスキャンを実行すると、すでに登録されているチャンネルがある場合は新しく登録した内容に書きかえられます。受信状況により放送局を受信できない場合は、スキャン開始前の状態に戻ります。

放送局自動選局

チャンネルのスキャンを行うときに、それまで視聴していた放送局と同じ系列の放送局を自動で受信するかどうかを設定できます。

初期設定値：する

- お出かけモードのときスキャンが行われると、お出かけモードのプリセットスイッチに上書きされます。ホームモードのときはプリセットスイッチには上書きされません。

文字スーパー表示

文字スーパーを表示するかどうかを設定します。表示する場合は言語を選択できます。

初期設定値：言語1

地域設定

ホームモードで受信する放送局の地域を設定します。

県域設定

ホームモードで受信するデータ放送視聴のための県域を設定します。

郵便番号設定

ホームモードで受信するデータ放送視聴のための郵便番号を設定します。

デバイスID情報

オリジナルRMPメーカIDと局管理RMPメーカIDが表示されます。

ホームスキャン

お住まいの地域で受信できる放送局をスキャンしてホームモードに記憶します。

- ホームスキャンしたチャンネルは、ホームモードのプリセット番号として記憶されます。
- 引っ越しなどで居住地域が変わったときは、ホームスキャンをやり直してください。

初期値

テレビ放送の設定値をお買い上げ時の状態に戻します。

- 記憶したプリセットチャンネルもリセットされます。

ラジオ操作

AM放送またはFM放送を受信します。本機はワイドFM(90.1MHz ～ 108.0MHz)に対応しています。AMラジオが入りにくいところでも、FM放送でAMラジオの番組が受信できます。

ラジオを聴く

1 [♪]スイッチを押し、オーディオメニューの ソース タブにタッチしたあと、ラジオ にタッチする

2 プリセットスイッチをタッチする

- [AV]スイッチを2秒以上押し続けると、ルート案内の音声･映像はそのままでオーディオソースをOFFにすることができます(「AUDIO OFF」63ページ)。同乗者が寝ている時など、車室内を静かにしたい場合に使用してください。

ラジオ操作を行う

1 バンド表示
受信中のバンド(FMまたはAM)が表示されます。

2 放送局名/周波数表示

3 プリセットスイッチ(68ページ)

プリセットスイッチ

プリセットされた放送局と周波数を表示し、タッチすると選択した放送局に切りかわります。プリセットスイッチを操作音がするまでタッチし続けると、受信中の放送局をそのスイッチに記憶します。
オートメモリーを行うと、プリセットスイッチに放送局が最大9局記憶されます。

《 / 》(ダウンスイッチ/アップスイッチ)[|◀◀] / [▶▶|]

プリセットで登録した放送局を選局します。

◀◀ / ▶▶

自動または手動で聴きたい放送局(周波数)を探します。選局モード設定(次項目)で手動選局か自動選局かを選びます。

- 受信電波の弱い地域では、自動選局ができないことがあります。

SEEK▲/MANUAL▲

シークモード(SEEKまたはMANUAL)を切りかえます。タッチスイッチには選んだシークモードが表示されます。

SEEK:　自動選局モード

MANUAL:　手動選局モード

オートメモリー

受信できる放送局をプリセットスイッチに自動で記憶します。

- 受信感度のよい放送局を周波数の低い順にAMとFM各9局まで自動的に記憶します。
- 受信電波の弱い地域ではオートメモリーでの自動受信ができないことがあります。受信できなかった場合はオートメモリー前の状態に戻ります。
- 受信電波の状態により記憶される放送局が異なることがあります。

マニュアル▲

放送局を本機に記憶(プリセット)するモードを切りかえます。タッチスイッチには前回選んだプリセットモードが表示されていて、初期設定は「マニュアル」です。

マニュアル:　手動で選局した放送局を記憶するとき。

オート:　オートメモリーで放送局を記憶するとき。

エリア:　本機に記憶されている各エリアの放送局を現在位置で判断して自動でプリセットします。

バンド

ラジオバンド(FMまたはAM)を切りかえます。

交通情報を受信する

1 [♪]スイッチを押し、オーディオメニューの ソース タブにタッチしたあと、交通情報 をタッチする

2 1620kHz または 1629kHz にタッチする

交通情報を終了するときは[♪]スイッチを押し、オーディオメニュー画面から他のソースアイコンを選択してください。

HDMI操作

iPhoneやスマートフォンまたはビデオカメラなどを本機とHDMI接続し、ビデオ･音楽･写真などを再生することができます。お使いになるiPhoneやスマートフォン･ビデオカメラによりHDMI接続ケーブルが異なります。お使いになる機種に合う別売のHDMI接続ケーブルをご用意ください。詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

- 本機で対応しているHDMI規格については「HDMIについてのご注意」(172ページ)を参照してください。

HDMI/MHL対応機器(iPhoneやスマートフォンなど)をつないで使う

1 HDMI接続ケーブルで本機とHDMI/MHL機器を接続する

- HDMI機器の接続方法について詳細は取付説明書をご覧ください。
- MHL機器の接続には別売のMHL接続ケーブル(KCU-610MH)を使用してください。
- 運転中はHDMI/MHL機器を接続しないでください。事故やケガの原因となります。
- HDMI/MHL機器を接続しても映像･音楽･写真などが再生できないときやHDMI/MHL機器を認識しない場合は、一度HDMI/MHL機器を外して再接続してください。
- HDMI/MHL機器に映像･音声出力設定がある場合は、本機に接続する際に「オン」にしてください。オンにしないと、映像･音声を本機に出力することができません。
- 本機とBluetooth接続している機器をHDMI/MHL接続すると、音声が出力されない場合があります。

2 [♪]スイッチを押し、オーディオメニューの ソース タブにタッチしたあと、HDMI にタッチする

- HDMI-CEC対応機器は、オーディオメニュー画面でHDMIが選択されると電源がオンになります。

3 HDMI/MHL機器でビデオ映像や写真の再生操作をする

- 運転中はHDMI/MHL機器を操作しないでください。事故やケガの原因になります。
- HDMI/MHL機器を使用しているときにエンジンスイッチをOFFにしてもHDMI/MHL機器の電源は切れません。HDMI/MHL本体の電源をOFFにしてください。
- お使いになる機種やコンテンツにより画像の表示品位が変わる場合があります。その場合には画面サイズの設定(131ページ)をしてください。
- 走行中は安全のため映像が消えて音声だけとなります。
- [AV]スイッチを2秒以上押し続けると、ルート案内の音声･映像はそのままでオーディオソースをOFFにすることができます(「AUDIO OFF」63ページ)。同乗者が寝ている時など、車室内を静かにしたい場合に使用してください。

HDMI-CEC対応機器を操作する

本機はHDMI-CEC(Consumer Electronics Control)という業界標準規格に対応しています。HDMIケーブルを使って接続した機器の一部機能(再生など)を、本機から操作することができます。
再生中に画面にタッチすると操作画面が表示されます。

- 接続する機器に応じてHDMI延長ケーブル(接続機器に付属されているHDMIケーブル)等を使用してください。

⮌ : **前の画面に戻ります。**

⌂ : **ホーム画面を表示します。**

≡ : **メニュー画面を表示します。**

⬆ ⬇ : **画面に表示されるコンテンツの選択、カーソルの移動などを行います。**

← → ： 画面に表示されるコンテンツの選択、カーソルの移動、動画の早送り/早戻しなどを行います。

決定 ： 選択した項目を決定します。

▶ ： コンテンツを再生します。

II ： 再生を一時停止します。

画面設定 ： 画質調整画面を表示します(131ページ)。

移動 ： 操作スイッチの表示位置を移動します。

- HDMI-CEC対応機器によっては、上記の動作と異なる場合があります。詳しくはHDMI-CEC対応機器の取扱説明書を参照してください。
- HDMI-CEC対応機器によっては、操作スイッチが表示されても本機から操作できない場合があります。
- 操作スイッチ表示中、約7.5秒間操作をしない場合、または操作スイッチ以外の画面領域をタッチした場合は元の画面に戻ります。
- HDMI-CEC対応機器は、HDMI以外のソースに切りかえたり、エンジンをオフにしたりすると、電源がオフになります。
- HDMI-CEC対応機器は、オーディオメニュー画面でHDMIが選択されると電源がオンになります。
- HDMI-CEC対応機器によっては、電源のオン/オフを本機から切りかえられない場合があります。
- 本機は、ワンタッチプレイに対応しています。ワンタッチプレイは、本機のソースがHDMI以外であってもHDMI-CEC対応機器を操作すると、本機のソースが自動的にHDMIに切りかわります。
- HDMI切替器や分配器は使用しないでください。

iPhone/iPod操作

iPhone/iPodを本機に接続して音楽を再生することができます。

- ビデオ再生を楽しむ場合には、iPhone/iPodをHDMI接続する必要があります。オーディオソースはHDMIとなります。
- 機種によってはBluetoothで接続できます。オーディオソースはBluetooth AUDIOとなります。詳しくは「Bluetoothオーディオ機器を接続する」(75ページ)を参照してください。
- iPhone/iPodなどは、車の中に放置したままにしないでください。車室内の熱による故障の原因になります。
- 本機で対応しているiPhone/iPodについては「iPhone/iPodについてのご注意」(172ページ)を参照してください。
- iPhoneを接続した場合は、Apple CarPlayモードになります。詳しくは「Apple CarPlay操作」(88ページ)を参照してください。

iPhone/iPodを聴く

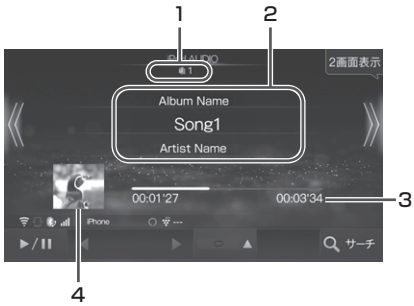
1 USB接続ケーブルにLightningケーブルを使用してiPhone/iPodを接続する

- 取付説明書もあわせてご覧ください。
- 運転中はiPhone/iPodの接続や取り外し、操作はしないでください。事故やケガの原因になります。
- 運転中はiPhone/iPodのイヤホンを使用しないでください。事故やケガの原因になります。
- iPhone/iPodを接続しても音が出ないときや、iPhone/iPodを認識できない場合は、一度iPhone/iPodを外して再接続するか、iPhone/iPodのリセットを行ってください。
- 本機にiPhone/iPodを接続する前に、iPhone/iPodのイコライザー(EQ)機能を「オフ」に設定することをおすすめします。
- USBメモリー・iPhone/iPodを同時に接続することはできません。
- iPhone/iPodの機種によっては、本機と接続中はiPhone/iPodは操作ができなくなります。
- iPod touchやiPhoneのインターネット機能や電話機能等は本機から操作することはできませんが、iPod touchやiPhone本体を操作して使用することができます。
- 「iPod自動ソース切換」(122ページ)を「する」に設定すると、iPhone/iPod接続時に自動的にソースをiPodへ切りかえることができます。

2 [♪]スイッチを押し、オーディオメニューの ソース タブにタッチしたあと、iPod にタッチする

- [AV]スイッチを2秒以上押し続けると、ルート案内の音声・映像はそのままでオーディオソースをOFFにすることができます(「AUDIO OFF」63ページ)。同乗者が寝ている時など、車室内を静かにしたい場合に使用してください。

iPhone/iPod操作を行う



1 曲番号

再生している曲の番号が表示されます。

2 曲情報表示

再生中の曲の曲名・アルバム名・アーティスト名が表示されます。

- Podcast再生時は、エピソード名･番組名･放送日が表示されます。
- タッチすると再生対象となっている曲名･アルバム名･アーティスト名をリスト表示します。リストから聴きたい曲･アルバム･アーティストを選ぶことができます。

3 再生時間表示

再生中の曲の再生経過時間が表示されます。

4 アートワーク/イメージ表示

iPhone/iPodに登録しているアルバムのジャケット画像などが表示されます。

- アートワークデータを取得する間(最大3秒間)は操作を行うことができません。
- 1つの曲に複数のアートワークが設定されていても、取得できるアートワークは1つになります。カラーとモノクロのアートワークがある場合はカラーが、サイズの大きさに違いがある場合は大きなサイズのアートワークが優先して取得されます。

(ダウンスイッチ)[|◀◀]

再生している曲と前の曲の頭出しをします。タッチし続けると早戻しします。

(アップスイッチ)[▶▶|]

次の曲の頭出しをします。タッチし続けると早送りします。

▶/II

再生を一時停止(ポーズ)します。一時停止中に ▶/II をタッチすると再生を開始します。

◀ アーティスト ▶ (ダイレクトアップ/ダウンスイッチ)

別のジャンルやアーティストなどの曲に切りかえて再生します。

- 画面に表示されるタッチスイッチは、サーチモードで決定したモードになります。

ダイレクトアップ/ダウンスイッチの種類:
ジャンル/アーティスト/アルバム/プレイリスト/Podcast/作曲者

⤮

曲･アルバムなどを順不同に再生することができます(シャッフル再生)。タッチするたびにシャッフル再生の種類が変わります。

⤮ SONGS → ⤮ ALBUMS →OFF→･･･

⤮ SONGS:
サーチモードで曲を選択した場合に、選択したモード内のすべての曲を順不同に再生します。

⤮ ALBUMS:
サーチモードで曲を選択した場合に、選択したモード内のアルバムをランダムに選択し、アルバムの曲の順番どおりに再生します。

- サーチで選択したモードによってシャッフル再生の種類が異なります。

⟲

曲を繰り返し再生します(リピート再生)。タッチするたびにリピート再生の種類が変わります。

⟲ ALL → ⟲ → OFF→･･･

⟲ ALL: **全曲を繰り返し再生します。**

⟲: **1曲のみを繰り返し再生します。**

サーチ

アルバムやアーティストごとにリスト表示させて聴きたい曲を選ぶことができます(74ページ)。

iPhone/iPodの曲を探す

iPod AUDIO再生画面で サーチ をタッチすると、曲やアーティストの検索画面が表示されます。
オーディオデータのタグ情報を使ってサーチすることができます。

- 1つのフォルダに1万曲以上格納されているとタグ情報を使用したサーチが可能になるまで時間がかかります。

プレイリスト

プレイリストのリストが表示されます。選んだプレイリストの曲が再生されます。

- 本機は音楽データとビデオデータが混在しているプレイリストの再生には対応していません。再生すると不具合が生じる場合がありますので、自動的に音楽データとビデオデータが混在してしまう「トップ25」や「購入したもの」「最近再生した曲」などのプレイリストを選ぶときは注意してください。また、不具合が生じた場合にはiPhone/iPodを取り外してリセットをしてください。

アーティスト

アーティストのリストが表示されます。選んだアーティストのアルバムが再生されます。

アルバム

アルバムのリストが表示されます。選んだアルバムの1曲目から再生されます。

曲

登録されている曲名リストが表示されます。選んだ曲が再生されます。

ジャンル

登録されているアルバムのジャンルのリストが表示されます。選んだジャンルのアルバムが再生されます。

Podcast

Podcastのリストが表示されます。

オーディオブック

オーディオブックのリストが表示されます。

作曲者

作曲者のリストが表示されます。選んだ作曲者の曲が再生されます。

Apple Music Radio

登録されているApple Music Radioのリストが表示されます。

アルファベットサーチ機能

リスト表示された曲などが多いときは、画面上部に表示されるスライダーバーの文字のいずれかをタッチすると、その文字から始まるタイトルがリスト表示され、選びやすくなります。

スライダーバー

Bluetooth®オーディオ操作

Bluetoothオーディオ機器を接続する

携帯電話･スマートフォンなどのBluetoothオーディオ機器と本機をBluetoothで接続すると、本機で曲を再生することができます。初めてお使いになるときは、お使いのBluetoothオーディオ機器を以下の手順に従って本機に登録してください。

1 **[⏏]スイッチを押し、 設定 → 通信設定 → Bluetooth設定 の順にタッチする**

2 **登録/変更 → 未登録 → 機器登録 の順にタッチする**

- 登録/変更 をタッチした後にBluetooth機器との接続解除のメッセージが出てきた場合は はい を選択してください。
- 本機にはBluetooth機器を5台まで登録できますが、Bluetoothオーディオ機器として2台以上を同時に使うことはできません。

3 **接続する機器のBluetooth機能をオンにし、接続する機器で本機を検索する**

4 **接続する機器にコードが表示されたら、ナビ画面のコードと同じであることを確認して登録する**

- Apple CarPlayを利用するかどうかの確認画面が表示されたら いいえ を選択してください。
  はい にタッチした場合は、Apple CarPlayに接続できます。「iPhoneをワイヤレスで接続する」(88ページ)の手順6に進んでください。

5 **オーディオ または ハンズフリー+オーディオ にタッチする**

- Bluetoothオーディオとして使うときは オーディオ、Bluetoothオーディオとハンズフリー電話どちらにも使う場合は ハンズフリー+オーディオ にタッチします。

6 **Bluetooth接続が開始される**

- オンラインサービスの登録メッセージが表示されたら はい または いいえ を選択してください。
  はい にタッチした場合は、「「BIG X CONNECT」をインストールして本機と連携する」(85ページ)を参照してください。

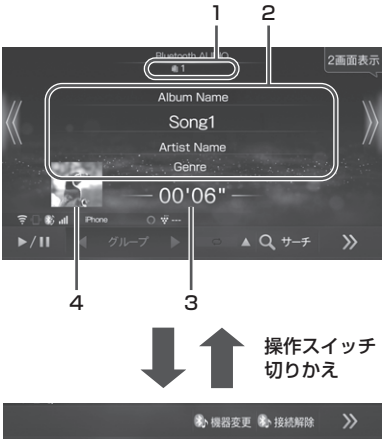
7 **[♪]スイッチを押し、オーディオメニューの ソース タブにタッチしたあと、Bluetooth AUDIO をタッチする**

- Bluetooth機器によっては自動的に再生を開始します。自動的に再生を開始しない場合はBluetooth機器または本機から操作してください。
- [AV]スイッチを2秒以上押し続けると、ルート案内の音声･映像はそのままでオーディオソースをOFFにすることができます(「AUDIO OFF」63ページ)。同乗者が寝ている時など、車室内を静かにしたい場合にご使用ください。
- 接続したBluetooth機器のリストに、本機は「ALPINE」と表示されます。
- i にタッチすると、接続した携帯電話の詳細情報を表示することができます。

Bluetoothオーディオ操作を行う

お使いの携帯電話のAVRCP(Bluetooth接続して音楽再生するためのプロファイル)のバージョンによって、再生画面に表示される内容や操作が異なります。

- 下記の画面は、AVRCPバージョン1.6に対応したBluetoothオーディオ機器を接続したときの表示例です。
- Bluetoothオーディオ使用中にハンズフリー機能・Wi-Fi通信機能・電話帳転送機能を使用すると、一時的にBluetoothオーディオ機能が停止したり、音切れやAVプロファイルが切断されたりする場合があります。



1 曲番号

再生している曲の番号が表示されます。

2 曲情報表示

再生中の曲の曲名・アルバム名・アーティスト名・ジャンル名が表示されます。

- 接続するBluetooth機器によっては対応していない場合があります。
- 曲名表示部分にタッチすると、再生対象となっている曲名をリスト表示します。リストから聴きたい曲を選ぶことができます。

3 再生時間表示

再生中の曲の再生経過時間が表示されます。

4 アートワーク/イメージ表示

アルバムのジャケット画像などが表示されます。

- 接続するBluetooth機器によっては対応していない場合があります。
- 1つの曲に複数のアートワークが設定されていても、取得できるアートワークは1つになります。カラーとモノクロのアートワークがある場合はカラーが、サイズの大きさに違いがある場合は大きなサイズのアートワークが優先して取得されます。

(ダウンスイッチ)[|◀◀]

再生している曲と前の曲の頭出しをします。タッチし続けると早戻しします。

(アップスイッチ)[▶▶|]

次の曲の頭出しをします。タッチし続けると早送りします。

▶/II

再生を一時停止(ポーズ)します。一時停止中に ▶/II をタッチすると再生を開始します。

◀ グループ ▶

別のグループの曲に切りかえて再生します。

- 接続するBluetooth機器によっては対応していない場合があります。

⤮

曲を順不同で再生します(ミックス再生)。タッチするたびにミックス再生の種類が変わります。

⤮ GROUP → ⤮ ALL → OFF→・・・

⤮ GROUP:グループ内の曲を順不同に再生します。

⤮ ALL: 全曲を順不同に再生します。

- 接続するBluetooth機器によっては対応していない場合があります。
- 接続するBluetooth機器によってGROUP再生の範囲が異なります。

⟲

曲を繰り返し再生します(リピート再生)。タッチするたびにリピート再生の種類が変わります。

⟲ → ⟲ GROUP → ⟲ ALL → OFF →・・・

⟲ : 1曲のみを繰り返し再生します。

⟲ GROUP:グループ内の曲のみを繰り返し再生します。

⟲ ALL: 全曲を繰り返し再生します。

- 接続するBluetooth機器によっては対応していない場合があります。
- 接続するBluetooth機器によってGROUP再生の範囲が異なります。

サーチ

再生対象となっている曲名をプレイリスト･アルバム･アーティストなどのリストで表示します。リストから聴きたい曲を選ぶことができます。

- 接続するBluetooth機器によっては対応していない場合があります。

機器変更

接続するBluetoothオーディオ機器を切りかえます。

- Bluetooth機器が 1 台も登録されていない場合、 機器設定 と表示され、Bluetooth機器を新規登録することができます。 機器設定 にタッチし、メッセージが表示されたら はい にタッチして「Bluetooth オーディオ機器を接続する」(75ページ)の手順2へ進んでください。

接続解除/再接続

登録しているBluetoothオーディオ機器と接続解除、または再接続します。

USB機器操作

本機にUSBメモリー /MTP接続したAndroidスマートフォンを接続して、音楽･動画を再生することができます。

- AndroidスマートフォンをMTP接続する場合は、「Android優先設定」(140ページ)を「MTP」に設定してください。
- 本機で対応しているUSBメモリーについては「USBメモリーについてのご注意」(172ページ)を参照してください。

USBメモリー /Androidスマートフォンのオーディオ/ビデオデータを再生する

1 USB接続ケーブルにUSBメモリー、またはスマートフォン付属のケーブルを使用してAndroidスマートフォンを接続する

- 取付説明書もあわせてご覧ください。
- 運転中はUSBメモリー･Androidスマートフォンの接続や取り外しはしないでください。事故やケガの原因になります。
- USBメモリー･Androidスマートフォンを接続しても音が出ないときやUSBメモリー･Androidスマートフォンを認識しない場合は、一度取り外して再接続してください。
- USBメモリー･Androidスマートフォン･iPhone/iPodを同時に接続することはできません。

2 [♪]スイッチを押し、オーディオメニューの ソース タブにタッチしたあと、USB または MTP にタッチする

■ USBメモリー接続時表示例

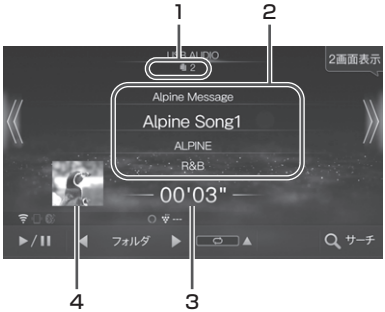
■ Androidスマートフォン接続時表示例

- 再生できるUSBメモリーおよびファイルの種類などについては「本機対応のフォーマットについて」(173ページ)を参照してください。
- Androidスマートフォンでは、データが格納されているフォルダ名称によって本機で再生できない場合があります。
  Android、DCIM、Download、Pictures、Camera等のフォルダにデータが格納されている場合は、別な名称のフォルダに移動して再生してください。
- [AV]スイッチを2秒以上押し続けると、ルート案内の音声･映像はそのままでオーディオソースをOFFにすることができます(「AUDIO OFF」63ページ)。同乗者が寝ている時など、車室内を静かにしたい場合に使用してください。

オーディオ再生モードとビデオ再生モードを切りかえる

USBメモリーにオーディオファイルとビデオファイルが混在する場合、本機が最初に読み込んだ種類のファイルのみ再生します。オーディオ再生とビデオ再生を切りかえる場合は、サーチ操作「USBオーディオの曲を探す」(81ページ)、「USBビデオの映像を探す」(82ページ)を行って、オーディオまたはビデオファイルを選択してください。

USBオーディオ操作を行う



1　曲番号
再生している曲の番号が表示されます。

2　曲情報表示
再生中の曲の曲名･アルバム名･アーティスト名が表示されます。
- タッチすると、再生対象となっている曲名･アルバム名･アーティスト名をリスト表示します。リストから聴きたい曲･アルバム･アーティストを選ぶことができます。

3　再生時間表示
再生中の曲の再生経過時間が表示されます。

4　アートワーク/イメージ表示
再生中の曲に登録しているアルバムのジャケット画像などが表示されます。

（ダウンスイッチ）[|◀◀]

再生している曲と前の曲の頭出しをします。タッチし続けると早戻しします。

（アップスイッチ）[▶▶|]

次の曲の頭出しをします。タッチし続けると早送りします。

▶/II

再生を一時停止（ポーズ）します。一時停止中に ▶/II をタッチすると再生を開始します。

◀ アーティスト ▶（ダイレクトアップ/ダウンスイッチ）

別のジャンルやアーティストなどの曲に切りかえて再生します。
- 画面に表示されるタッチスイッチは、サーチモードで決定したモードになります。

ダイレクトアップ/ダウンスイッチの種類：
ジャンル/アーティスト/アルバム/作曲者/プレイリスト

⤮

USBメモリー内の曲を順不同に再生することができます（ミックス再生）。
- もう一度 ⤮（ミックス）をタッチすると通常再生に戻ります。
- リピート再生･ミックス再生は同時に使用することはできません。

※ 例えば、サーチでアルバムを選択してからミックスモードにすると、アルバム内のミックス再生を行います。USBメモリー内全曲ミックス再生を行うには、サーチ画面の「曲」選択で何か曲を選んでから、ミックス再生を行ってください。

⟲

再生中の曲または再生リスト内の曲を繰り返し再生します（リピート再生）。タッチするたびにリピート再生の種類が変わります。

⟲ → ⟲ LIST → OFF→･･･

⟲：　**1曲のみを繰り返し再生します。**

⟲ LIST：　**再生リスト内の曲のみを繰り返し再生します。**

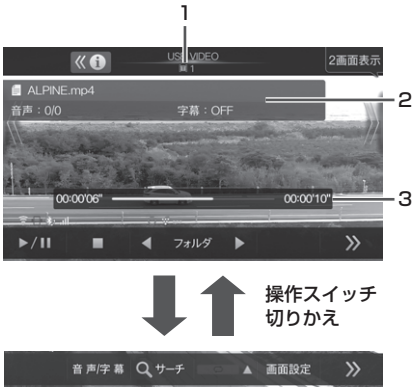
- リピート再生･ミックス再生は同時に使用することはできません。

サーチ

アルバムやアーティストごとにリスト表示させて聴きたい曲を選ぶことができます（81ページ）。サーチ画面で Audio にタッチします。

USBビデオ操作を行う

再生中に画面にタッチすると操作画面が表示されます。



1　映像番号
再生している映像の番号が表示されます。

2　映像情報表示
ファイル名と再生情報が表示されます。

3　再生時間表示
再生中の曲の再生経過時間が表示されます。

（ダウンスイッチ）[|◀◀]

再生中にタッチすると現在のファイルと前のファイルの頭出しをします。タッチし続けると早戻しします。

頭出し：　**現在のファイルの頭出しをします。続けてタッチすると前のファイルの頭出しをします。**

早戻し：　**タッチし続けると8倍速で早戻しします。その状態でタッチし続けると、速度が16倍速→32倍速に切りかわります。指を離すと通常再生に戻ります。**

（アップスイッチ）[▶▶|]

再生中にタッチすると次のファイルの頭出しをします。タッチし続けると早送りします。

頭出し：　**次のファイルの頭出しをします。**

早送り：　**タッチし続けると8倍速で早送りします。その状態でタッチし続けると、速度が16倍速→32倍速に切りかわります。指を離すと通常再生に戻ります。**

▶/II

再生を一時停止（ポーズ）します。一時停止中に ▶/II をタッチすると再生を開始します。

■

再生を停止します。▶/II をタッチすると再生を開始します。

◀ フォルダ ▶

フォルダを選ぶことができます。タッチするたびに前後のフォルダに切りかわります。

音声/字幕

音声/字幕切換画面が表示されます。再生中に音声や字幕を切りかえることができます。

音声：　**タッチするたびに収録されている音声を切りかえます。**

字幕：　**タッチするたびに収録されている字幕を切りかえます。**

字幕ON：　**字幕の表示/非表示を切りかえます。**

- USBメモリーによっては切りかえができない場合があります。

サーチ

フォルダとファイルをリスト表示させて映像を選ぶことができます（82ページ）。サーチ画面で Video にタッチします。

🔁

気にいった場面を繰り返し再生することができます（リピート再生）。タッチするたびにリピート再生の種類が変わります。

🔁 → 🔁 LIST → OFF →・・・

🔁：　**1つのファイルのみを繰り返し再生します。**

🔁 LIST：　**再生リスト内のファイルのみを繰り返し再生します。**

画面設定

画質調整画面が表示されます（131ページ）。

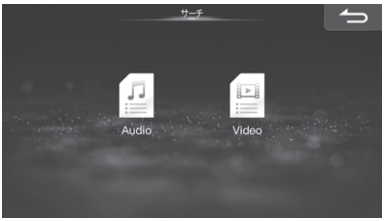
USBオーディオの曲を探す

オーディオデータのタグ情報を使ってジャンル/アーティスト/アルバム/曲/作曲者/プレイリストのサーチすることができます。またフォルダからファイルをサーチすることもできます。

- 1つのフォルダに1万曲以上格納されているとタグ情報を使用したサーチが可能になるまで時間がかかります。パソコン等を使用してUSBメモリーに曲を保存する場合、複数のフォルダに分けて格納してください。

1 USB再生画面で サーチ にタッチする

2 Audio にタッチする



3 希望のサーチモードにタッチする

ジャンル

アルバムのジャンルのリストが表示されます。選んだジャンルの曲が再生されます。

アーティスト

アーティストのリストが表示されます。選んだアーティストの曲が再生されます。

アルバム

アルバムのリストが表示されます。選んだアルバムの1曲目から再生されます。

曲

曲名リストが表示されます。選んだ曲が再生されます。

作曲者

作曲者のリストが表示されます。選んだ作曲者の曲が再生されます。

フォルダ

フォルダのリストが表示されます。選んだフォルダ内の曲が再生されます。

ダイレクトサーチ機能

リスト表示された曲などが多いときは、画面上部に表示されるスライダーバーの 1 ～ 100 のいずれかをタッチするとその近辺がリスト表示され、選びやすくなります。

例:リストされている曲が80曲あるとき、50 を選択すると40曲目前後のリストが表示されます。

スライダーバー

USBビデオの映像を探す

USBメモリー内のフォルダとファイルをサーチします。

1 USB再生画面で サーチ にタッチする

2 Video にタッチする

フォルダリストが表示されます。

3 フォルダを選んでタッチする

フォルダの中のファイルリストが表示されます。

4 再生したいファイルにタッチする

外部機器操作

外部機器の接続方法については、取付説明書を参照してください。

外部機器(ドライブレコーダーやゲームなど)の映像を見る

1 **[♪]スイッチを押し、オーディオメニューの ソース タブにタッチしたあと、外部入力 にタッチする**

- 著作権保護(コピーガード)の信号が記録されている映像はリアビジョンに表示できません。

外部接続機器を設定する

ドライブレコーダーやゲームなどを本機に接続したら、外部接続機器を設定してください。設定した表示名がソース名称として表示されます(初期設定は「外部入力」)。

1 **外部接続機器選択画面は[▲]スイッチを押し、設定 → 各種設定 → 接続機器 タブ→ 外部接続機器選択 の順にタッチする**

- 接続した機器に合わせて選択してください。選んだ表示名が外部入力モードのソース名として表示されます。
- 接続する外部機器によっては、音声がハウリングする場合があります。
- 走行中は安全のため映像が消えて音声だけとなります。

4. アプリ

オリジナルスマートフォンアプリ「BIG X CONNECT」を使う

オリジナルスマートフォンアプリ「BIG X CONNECT」をiPhoneまたはAndroidスマートフォンにインストールして本機を便利に使うことができます。

本機と連動して次の機能を使用することができます。

- **地図更新**
- **データ更新(本機プログラム、車種専用チューニングデータ)**
- **アプリで見つけた行きたい場所を本機に送信**
  - 本機で目的地･経由地として設定することができます。

ナビに送信

- **ルート案内中、おすすめの立ち寄り地点を本機に送信**
  - 本機で目的地･経由地として設定することができます。
  - お出かけ中にすぐに欲しい情報もサポートします。

お出かけサポート

また、本機のログデータをアルプスアルパイン株式会社またはそのグループ会社が管理するサーバーへアップロードします。ログデータは、今後の製品開発や不具合が発生した際のログ解析などの用途で使用させていただきます。

- 「BIG X CONNECT」(iOS版/Android版)は無料で利用することができます。
- 本機はNTTドコモ･au･ソフトバンクのスマートフォンに対応しています。動作確認済みのスマートフォン機種についてはアルパインのホームページ(https://www.alpine.co.jp)を参照してください。
- 「BIG X CONNECT」の詳細については、アルパインのホームページ(https://www.alpine.co.jp)を参照してください。
- 「BIG X CONNECT」を利用すると通信費が発生します。通信費はお客様負担となります。

「BIG X CONNECT」をインストールして本機と連携する

App StoreまたはGoogle Playで「BIG X CONNECT」を検索するか、下記QRコードを読み込んだリンク先でアプリをスマートフォンにインストールしてください。

本機では下記手順でQRコードを表示し、本機と連携できます。

- クイックセットアップ時にもQRコードが表示されます(4ページ)。

1 [▲]スイッチを押し、設定 → 通信設定 → オンラインサービス設定 の順にタッチする

2 BIG X CONNECT にタッチする

- 「BIG X CONNECT」がインストールされていない場合は、インストールしてください。

インストール後、スマートフォンと本機を接続します。iPhoneとAndroidスマートフォンでは接続方法が異なります。AndroidスマートフォンはWi-Fiで本機と接続します。iPhoneをご使用の場合、本機添付のUSBケーブルとiPhoneに添付の接続ケーブルを使用して接続するかBluetoothで接続します。

■ iPhoneのお客様

- ワイヤレスでApple CarPlayを使用しているiPhoneがある場合、そのiPhoneのみ「BIG X CONNECT」と接続できます。

3 スマートフォンで「BIG X CONNECT」を立ち上げ、iPhoneをお使いの方 にタッチする

● **Bluetooth登録しているiPhoneを接続する場合**

4 登録済のリストから選択する にタッチする

5 接続 にタッチする

手順7に進んでください。

● **Bluetooth接続をしていない場合**

4 新しくワイヤレスで接続する にタッチする

5 iPhoneのBluetooth機能をオンにし、iPhoneで本機を検索する

6 iPhoneにコードが表示されたら、ナビ画面のコードと同じであることを確認して登録する

7 完了 にタッチする

- USBケーブルで本機とiPhoneを接続することもできます。USBケーブルで接続する場合は、手順4～6の操作は不要です。

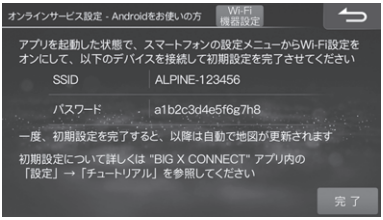
■ Androidスマートフォンのお客様

3 スマートフォンで「BIG X CONNECT」を立ち上げ、Androidをお使いの方 にタッチする

4 スマートフォンの設定画面を開いてWi-Fi機能をONにし、スマートフォンから本機を検索する

本機名称の初期値は「ALPINE-xxxxxx(6桁の数字)」です。

5 スマートフォンに本機Wi-Fiパスワードを入力して本機を登録する



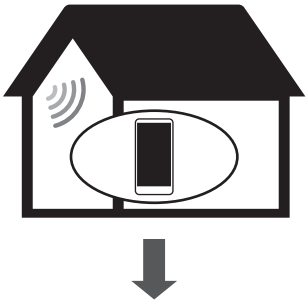
6 完了 にタッチする

地図データを更新する

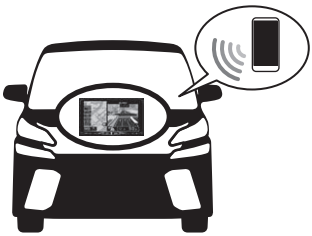
地図データなどの更新用データは自宅のWi-Fi接続時などにスマートフォンにダウンロードされます。ダウンロードされたデータは、スマートフォンと本機が接続されると自動的に本機に転送されます。転送が完了したデータは削除されます。
ダウンロードされるデータの大きさはスマートフォンの空きストレージ容量で変わり、一度にダウンロードできない場合は数回に分けてスマートフォンへのダウンロード･本機への転送を自動で繰り返します。更新に必要なデータがすべて転送されると、本機のデータ更新が開始されます。

- 「地図更新について」(101ページ)も参照してください。
- iPhoneから地図データを転送するときは、iPhoneをUSB接続で本機と接続してください。

■ 自宅で最新データをスマートフォンに自動でダウンロード



■ スマートフォンを持って車に乗ると本機のデータを自動で更新



1 インストールが可能になると本機に確認メッセージが表示される。
今すぐインストール または 後でする を選んでタッチする

- すぐにインストールをしない場合は 後でする にタッチします。

2 インストール開始 にタッチし、確認画面が表示されたら はい にタッチする

目的地･経由地を設定する

アプリから簡単に行きたい場所を本機に送信することができます。最大5つの地点を送信できます。

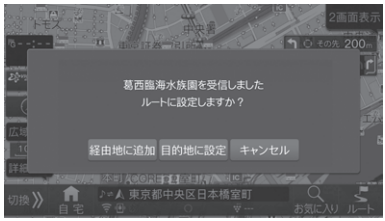
1 スマートフォンを操作して「BIG X CONNECT」を起動する

2 行きたい場所の記事画面で「🚗」をタップする

タップするとナビへ送信します。

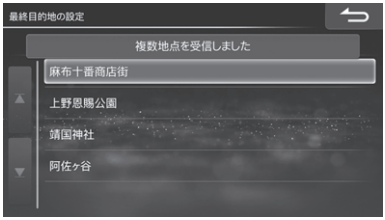
3 送信された地点が目的地に設定され、ルートが設定される

- すでに目的地が設定されている場合は、目的地に設定 または 経由地に追加 にタッチします。



複数地点が送信された場合

1 最終目的地設定画面で地点を選んでタッチする



残りの地点は経由地に設定されます。

2 ルート取り込み画面で立ち寄り順序を編集し、完了 にタッチする

ルートが設定されます。

- 上へ移動 または 下へ移動 にタッチすると経由地の順番を入れかえることができます。 周遊 にタッチすると近い順に経由地を並べることができます。

Apple CarPlay操作

Apple CarPlayは、よりスマートに、より安全に車内でiPhoneを使用することができます。
道順を調べたり、電話をかけたり、メッセージを送受信したり、音楽を聴いたりすることができます。また、Siriの音声コントロールを使ってiPhoneの操作が可能です。

- Apple CarPlayでできることの詳細については、AppleのWebサイトでご確認ください。
- Apple CarPlayを利用するには、iPhoneの"設定"でApple CarPlayとSiriを有効にしてください。
- 運転中は一部の機能が利用できない場合があります。
- 本機で対応しているiPhoneについては「iPhone/iPodについてのご注意」(172ページ)を参照してください。
- iPhoneは車の中に放置したままにしないでください。車室内の熱による故障の原因になります。

iPhoneを接続する

Apple CarPlayを利用するiPhoneを登録して接続します。

■ iPhoneをUSBケーブルで接続する

USB接続ケーブルにLightningケーブルを使用してiPhoneを接続してください。

- 運転中はiPhoneの接続や取り外し、操作はしないでください。事故やケガの原因になります。
- Bluetooth接続されているiPhoneをUSB接続した場合は、Bluetooth接続を切断します。
- 他の機器がBluetooth接続されていた場合は、ハンズフリー接続は切断され、Bluetoothオーディオ接続は維持されます。USB接続したiPhoneとハンズフリー接続します。

■ iPhoneをワイヤレスで接続する

1 **[♪]スイッチを押し、オーディオメニューの アプリ タブにタッチしたあと、Apple CarPlay機器リスト にタッチする**

- [♪]スイッチを2秒以上押してもBluetooth接続画面を表示できます。

2 **新規登録 にタッチする**

3 **iPhoneのBluetooth機能をオンにし、iPhoneで本機を検索する**

- 本機の初期名称は「ALPINE」です。

4 **iPhoneにコードが表示されたら、ナビ画面のコードと同じであることを確認して登録する**

5 **Apple CarPlayを利用する確認メッセージが表示されたら はい にタッチする**

6 **本機にiPhoneの表示を確認するメッセージが表示されたら、iPhoneに表示された「CarPlayを使う」をタップする**

Apple CarPlay画面が表示されます。

Apple CarPlayの利用を開始する

接続しているiPhoneのアプリを使用できます。本機画面に表示されるアプリは接続するiPhoneによって異なります。

1 **[♪]スイッチを押し、オーディオメニューの アプリ タブにタッチしたあと、Apple CarPlay にタッチする**

- ナビメニューおよびオーディオメニューの ハンズフリー にタッチしてもApple CarPlayを開始できます。
- オーディオメニューの ソース タブにタッチしたあと、Apple CarPlay にタッチしてもApple CarPlayを開始できます。

<Apple CarPlay画面例>

Siriを使う

Siriを起動します。

1 **[音声認識スイッチ]を押す**

Siriが起動します。

2 **希望の操作を発話する**

Android Auto操作

Android Autoは、運転にもっと集中できるように運転中でもAndroidスマートフォンを使用することができます。道順を調べたり、電話をかけたり、音楽を聴いたりすることができます。
また、音声操作でさまざまな便利な機能をお使いいただけます。

- Android Autoでできることの詳細については、AndroidのWebサイトでご確認ください。
- Android Auto は、Android バージョンが6.0以降のAndroidスマートフォンで使用できます。
- ドライバーの安全対策が講じられているGoogle承認のアプリのみを使用できます。運転中は一部の機能が利用できない場合があります。
- Androidスマートフォンは車の中に放置したままにしないでください。車室内の熱による故障の原因になります。
- Android 9以前のスマートフォンをご使用のお客様は、Google PlayストアからAndroid Autoアプリをダウンロードしてください。
- AndroidスマートフォンをAndroid Autoで接続する場合は、「Android優先設定」(140ページ)を「Android Auto」に設定してください。

Androidスマートフォンを接続する

本機添付のUSB接続ケーブルに、USBケーブルを使用してAndroidスマートフォンを接続してください。

- 運転中はAndroidスマートフォンの接続や取り外し、操作はしないでください。事故やケガの原因になります。
- 他の機器がBluetooth接続されていた場合は、ハンズフリー接続は切断され、Bluetoothオーディオ接続は維持されます。USB接続したAndroidスマートフォンとハンズフリー接続します。

Android Autoの利用を開始する

接続しているAndroidスマートフォンのアプリを使用できます。本機画面に表示されるアプリは接続するAndroidスマートフォンによって異なります。

1 **[♪]スイッチを押し、オーディオメニューの アプリ タブにタッチしたあと、Android Auto にタッチする**

- ナビメニューおよびオーディオメニューの ハンズフリー にタッチしてもAndroid Autoを開始できます。
- オーディオメニューの ソース タブにタッチしたあと、Android Auto にタッチしてもAndroid Autoを開始できます。

<Android Auto画面例>

音声認識が有効になります。

Android Autoのホーム画面を表示します。

- オーディオソースの音量がミュート状態の時にAndroid Auto画面から音楽を再生したり、Android Autoで受信したメッセージを読み上げたりしたときは、ミュートが解除される場合があります。

音声認識を使う

1 **[音声認識スイッチ]を押す**

音声認識が起動します。

2 **希望の操作を発話する**

Amazon Alexa操作

Amazon Alexaに話しかけるだけで、施設の検索、音楽ストリーミングサービスの再生、ニュースや天気予報の確認など、さまざまな使い方ができます。

- オリジナルスマートフォンアプリ「BIG X CONNECT」をインストールしたiPhoneをUSBケーブルかワイヤレス接続で、AndroidスマートフォンをWi-Fiで本機と接続してください。
  オリジナルスマートフォンアプリ「BIG X CONNECT」をBluetooth接続で使用している場合は、Amazon Alexaが使用できません。
- Androidスマートフォンの画面が消灯すると本機との通信が切れてしまいます。Alexa使用時は「BIG X CONNECT」アプリの設定を“ナビ接続時自動的に画面消灯しない”に設定してください。
  「BIG X CONNECT」アプリ→“設定”→“ナビ接続時の画面消灯”→“ナビ接続時自動的に画面消灯しない”
- Amazon Alexaを使うには、Amazonアカウントが必要です。詳しくはAmazonのWebサイトでご確認ください。
- Amazon AlexaはAmazonが提供するサービスです。本サービスは予告なく変更、停止または終了されることがあります。アルプスアルパイン株式会社は、本サービスの継続的な提供、また本サービスのご使用によって発生した責任について、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- Amazon Alexaはサポートされる地域が限定されています。ご使用の国、地域によっては、この機能をご使用になれない場合があります。
- Amazon Alexaでできることの詳細については、AmazonのWebサイトでご確認ください。

Amazon Alexaに発話するだけで次の機能を使用することができます。

- 今後AmazonによるAlexa Auto機能拡充により、本機から操作できる機能追加を予定しています。
  その際は、アルパインホームページ等でお知らせいたします。

● オーディオソースの音量調整
- 例:「アレクサ、音量を上げて」「アレクサ、音量を下げて」など
- 音声ミュート時にAmazon Alexaからオーディオソースの音量調整を行うと、音声ミュートは解除されます。
- オーディオソースの音量が“0”(最小)やミュート状態の時にAmazon Alexaと対話を開始すると、音量が上がったり、ミュートが解除されたりする場合があります。

● オーディオ音量ミュート
- 例:「アレクサ、ミュートして」「アレクサ、ミュート解除して」など

● 音楽の再生
- 例:「アレクサ、Jポップをかけて」など
- 以下の音楽ストリーミングサービスに対応しています。
  Amazon Music、Kindle、TuneIn、dヒッツ(docomo)、うたパス(au)、Audible

※ 音楽ストリーミングサービスの利用には別途登録·契約が必要な場合があります。
※ iPhoneまたはAndroidスマートフォンにAmazon Alexaアプリのインストールが必要です。

● ナビゲーション操作
- 施設名称を発話して目的地に設定することができます。
  例:「アレクサ、近くのコンビニを探して」など
- 発話で案内中のルートを消去できます。
  例:「アレクサ、ルートを消去して」など

※ Amazon Alexa機能設定の「自車位置情報の共有」(138ページ)を「する」に設定してください。
※ iPhoneまたはAndroidスマートフォンにAmazon Alexaアプリのインストールが必要です。Amazon Alexaアプリの位置情報サービスをオンに設定してください。
  Amazon Alexaアプリ→“デバイス”→“すべてのデバイス”→“○○'s ALPINE”→“位置情報サービス”→“オン”

● 電話をかける
- 連絡先に電話をかけることができます。
  例:「アレクサ、○○に電話をかけて」など

※ iPhoneまたはAndroidスマートフォンにAmazon Alexaアプリのインストールが必要です。Amazon Alexaアプリの連絡先情報を利用します。

● Alexaコール
- Amazon Alexaに話しかけるだけで、AlexaデバイスやAlexaアプリを使っている家族や友人に通話を発信することができます。通常の電話とは異なります。
  例:「家に電話をかけて」など
- 着信があった場合は、開始 にタッチして通話することができます。

※ iPhoneまたはスマートフォンにAmazon Alexaアプリのインストールが必要です。Amazon Alexaアプリの連絡先情報を利用します。
※ Alexaコールで通話中に電話がかかってきたときは、Alexaコールを終了し、電話着信画面に切りかわります。

● 呼びかけ(ドロップイン)
- 同一アカウントの指定したAlexaデバイスに呼びかけます。そのまま通話することもできます。
  例:「○○に呼びかけて」など

※ iPhoneまたはスマートフォンにAmazon Alexaアプリのインストールが必要です。Amazon Alexaアプリの連絡先情報を利用します。

● アナウンス
- 同一アカウントのすべてのAlexaデバイスに対して、録音した音声を一斉送信することができます。
  例:「アナウンスして」など

※ iPhoneまたはスマートフォンにAmazon Alexaアプリのインストールが必要です。Amazon Alexaアプリの連絡先情報を利用します。

● アラーム
- アラームを設定することができます。
  例:「アレクサ、アラームを12時にセットして」など

Amazon Alexa接続を設定する

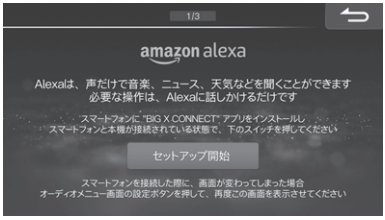
オリジナルスマートフォンアプリ「BIG X CONNECT」をインストールしたiPhoneをUSBケーブルかワイヤレス接続で、Androidスマートフォンを Wi-Fiで本機と接続してください。
オリジナルスマートフォンアプリ「BIG X CONNECT」をBluetooth接続で使用している場合は、Amazon Alexaが使用できません。

- Amazon Alexaを使うには、Amazonアカウントが必要です。詳しくはAmazonのWebサイトでご確認ください。
- クイックセットアップ(4ページ)で設定している場合は、本設定は不要です。
- 走行中は設定できません。車を安全な場所に移動し、停車後にパーキングブレーキを引いてから操作してください。

1 [▲]スイッチを押し、設定 → 通信設定 → オンラインサービス設定 の順にタッチする

2 各種サービス接続 → Amazon Alexa の順にタッチする

3 セットアップ開始 にタッチする

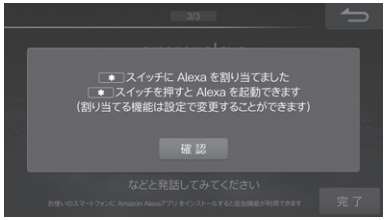


4 iPhoneまたはAndroidスマートフォンでQRコードを読み取り、Amazonログイン画面を表示する

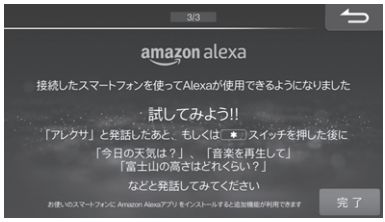
5 画面の指示に従ってiPhoneまたはAndroidスマートフォンを操作し、Amazon Alexaのセットアップをする

本機でAmazon Alexaが使えるようになり、Alexa呼び出し機能が[＊](オプションスイッチ)に割り当てられます。

6 確認 にタッチする



7 「アレクサ」と発話する、または[＊]スイッチを押して、Amazon Alexaが起動するか確認する



8 完了 にタッチする

Amazon Alexaを開始する

1 「アレクサ」と発話する、または[＊](オプションスイッチ)を押す

Amazon Alexaが起動し、アテンションバーが表示されます。

アテンションバー

- アテンションバーは状態によって色が変わります。
  青色/水色:Alexaが起動中、機能によってデザインが変わります。
  黄色:Alexaから通知あり。

2 希望の操作を発話する

- ⊗ にタッチすると対話が終了します。

- 以下の機能を利用中にAmazon Alexaを起動すると、Amazon Alexaモードに切りかわります。
  Amazon Alexaを終了すると元の画面に戻ります。
  - ルート案内中、交差点案内中
  - VICS割込み情報表示中
  - Apple CarPlay、Android Autoのルート案内中
- ダブルゾーンコミュニケーション中にAmazon Alexaを起動すると、ダブルゾーンコミュニケーションを終了します。
- Apple CarPlay、Android Autoの音声認識中にAmazon Alexaを起動すると、Apple CarPlay、Android Autoの音声認識を終了します。
- 電話中はAmazon Alexaを使用できません。
- 以下の場合はAmazon Alexaを終了します。
  - 数秒間何も発話しなかった
  - Apple CarPlay、Android Autoを起動
  - [＊](オプションスイッチ)以外の本体スイッチを押す、または ⊗ にタッチする
  - 電話着信があったとき

音楽を聴く

発話で音楽サービスから音楽を再生することができます。

1 「アレクサ」と発話する、または[＊]スイッチを押して、Amazon Alexaを起動する

2 希望の操作(「Jポップをかけて」など)を発話する

再生が始まり、Alexa専用のオーディオ再生画面が表示されます。

- 画面に表示されたボタンにタッチするか、発話して曲の切りかえやリピート再生などの操作をしてください。

目的地を設定する

行きたい場所の施設や周辺の施設を発話して検索し、目的地に設定することができます。

- Amazon Alexa機能設定の「自車位置情報の共有」(138ページ)を「する」に設定してください。
- iPhoneまたはAndroidスマートフォンにインストールしたAmazon Alexaアプリの位置情報サービスをオンに設定してください。
  Amazon Alexaアプリ→"デバイス"→"すべてのデバイス"→"○○'s ALPINE"→"位置情報サービス"→"オン"

1 「アレクサ」と発話する、または[＊]スイッチを押して、Amazon Alexaを起動する

2 希望の操作(「東京スカイツリーに行きたい」、「近くのファミレスに行きたい」など)を発話する

施設名リストが表示されます。

- 施設が1つしかない場合は、その施設までのルート探索が行われ、ルート案内を開始します。

3 施設名リストから希望する施設名称をタッチする

その施設までのルート探索が行われ、探索終了後、探索結果画面が表示されます。ルートを選んで 案内開始 にタッチしてください。

電話をかける

Amazon Alexaに発話して、Amazon Alexaアプリに同期した連絡先に電話をかけることができます。

- iPhoneまたはAndroidスマートフォンにインストールしたAmazon Alexaアプリに本機と同じAmazonアカウントでサインインしてください。
- 相手がAlexaデバイスやAlexaアプリを使っている場合は、通常の電話とは異なるAlexaコールも利用できます。Alexaコールについては91ページを参照してください。

1 「アレクサ」と発話する、または[＊]スイッチを押して、Amazon Alexaを起動する

2 電話をかける相手を発話する

- 「〇〇に電話をかけて」のように発話してください。
- 通話を終了するには 終了 にタッチしてください。

- 電話を受けるときは 開始 にタッチして受けてください。Amazon Alexaに発話して電話を受けることはできません。

5. 電話

携帯電話・スマートフォンを接続する

Bluetooth対応の携帯電話を本機とBluetooth接続することでハンズフリー通話ができます。ハンズフリー電話を使うと、本機から電話をかけたり受けたりすることができ、運転中でも携帯電話を持たないで通話することができます。また本機に携帯電話の電話帳を読み込んで電話をかけることもできます。
初めてお使いになるときは、お使いの携帯電話を以下の手順に従って本機に登録してください。登録した携帯電話は、Bluetooth機能がONになっていれば、エンジンスイッチをACCまたはONにするだけで本機と自動的に接続されます。

- Bluetooth2.0以下のBluetooth機器は接続できません。

1 [▲]スイッチを押し、設定 → 通信設定 → Bluetooth設定 の順にタッチする

2 登録/変更 → 未登録 → 機器登録 の順にタッチする

- 登録/変更 をタッチした後にBluetooth機器との接続解除のメッセージが表示された場合は はい を選択してください。
- 本機にはBluetooth機器を5台まで登録できますが、2台以上の携帯電話をハンズフリー機器として同時に使うことはできません。複数台を登録したときは、利用する携帯電話を切りかえてお使いください。

3 携帯電話のBluetooth機能をオンにし、携帯電話で本機を検索する

4 携帯電話にコードが表示されたら、ナビ画面のコードと同じであることを確認して登録する

- Apple CarPlayを利用するかどうかの確認画面が表示されたら いいえ を選択してください。
  はい にタッチした場合は、Apple CarPlayに接続できます。「iPhoneをワイヤレスで接続する」(88ページ)の手順6に進んでください。

5 ハンズフリー または ハンズフリー+オーディオ にタッチする

- ハンズフリー電話としてお使いになるときは ハンズフリー、ハンズフリー電話とBluetoothオーディオどちらにもお使いになる場合は ハンズフリー+オーディオ にタッチします。
- Bluetoothオーディオとしてお使いになる場合は オーディオ にタッチします。(76ページ)

6 Bluetooth接続が開始される

- オンラインサービスの登録メッセージが表示されたら はい または いいえ を選択してください。
  はい にタッチした場合は、「「BIG X CONNECT」をインストールして本機と連携する」(85ページ)を参照してください。
- Bluetooth機器設定画面に戻ります。
- 接続した携帯電話のBluetooth機器リストには「ALPINE」と表示されます。
- 登録した携帯電話が音楽機能つきの場合は、携帯電話の音楽も再生できます。
- i にタッチすると、接続した携帯電話の詳細情報を表示することができます。

長期間接続していないBluetooth機器のお知らせ機能

60日以上本機とBluetooth接続していないBluetooth機器がある場合、本機起動時にお知らせメッセージが表示されます。

消去する ： 表示されたBluetooth機器の登録が消去されます。

消去しない ：
登録は消去されず、次回本機起動時に再度通知されます。

今後表示しない ：
登録は消去されず、次回起動時から通知は行われません。

携帯電話の接続を解除する/再接続する

Bluetooth接続を解除します。

1 [▲]スイッチを押し、ハンズフリー にタッチする

2 接続解除 にタッチする

接続解除 が 再接続 に変わります。

3 再度Bluetooth接続を行うときは 再接続 にタッチする

接続する携帯電話を変更する

1 [▲]スイッチを押し、ハンズフリー にタッチする

2 機器変更 にタッチする

登録した携帯電話がリスト表示されます。

3 接続する携帯電話にタッチする

- Bluetooth機器が1台も登録されていない場合は 機器設定 と表示され、機器登録を行うことができます。

電話をかける・受ける

ハンズフリーで通話するときは窓を閉め、大きめの声ではっきりお話しください。

電話をかける

1 **[Ⓐ]スイッチを押し、ハンズフリー にタッチする**

2 **電話をかける方法を選ぶ**

- 走行中は短縮ダイヤルとリダイヤル以外は無効です。
- 短縮ダイヤルとリダイヤル発信のときは手順3は不要です。

3 **電話をかけたい相手を選び、発信 にタッチする**

- 通話を終了するには 終了 にタッチしてください。地図画面などを表示しているときは、 にタッチして通話中画面に切りかえ、終了 にタッチします。

通話履歴

携帯電話の発信履歴/着信履歴を使用して電話をかけます。

- 通話履歴合計60件まで表示します。60件を超えると古いものから削除されます。
- 携帯電話の履歴を自動的に同期するかどうかを設定できます(「履歴自動同期」135ページ)。
- 通話履歴を消去したいときは、通話履歴画面で消去したい相手を選び、消去 をタッチします。消去 をタッチしたままにすると履歴をすべて消去できます。ただし「履歴自動同期」(135ページ)が「する」に設定されている場合は、履歴を消去することはできません。

番号入力

相手の電話番号を入力して電話をかけます。電話番号は市外局番から入力してください。

電話帳

携帯電話の電話帳を本機に読み込んでおくと、本機の電話帳から電話をかけることができます。

- 取り込んだ電話帳を消去したいときは、電話帳画面で消去したい相手を選び、消去 をタッチします。
  消去 をタッチしたままにすると取り込んだ電話帳をすべて消去できます。ただし「電話帳自動同期」(135ページ)が「する」に設定されている場合は、電話帳を消去することはできません。また、本機の電話帳を消去しても携帯電話からは消去されません。
- i にタッチすると、読み込んだ電話番号の詳細情報を表示することができます。
- 電話帳の読み込みについては100ページを参照してください。

短縮ダイヤル

短縮ダイヤルに登録した相手に電話をかけます。

■ 短縮ダイヤルを登録するには

本機に読込んだ電話帳から短縮ダイヤルに登録します。

1 **[Ⓐ]スイッチを押し、ハンズフリー → 電話帳 の順にタッチ**

2 **短縮ダイヤルに登録したい相手を選択してタッチ**

3 **i → 電話番号 タブの順にタッチ**

4 **登録したい電話番号を選択してタッチ → 短縮登録 にタッチ**

5 **登録する短縮ダイヤルを選択**

- 短縮ダイヤルに登録されている電話番号には電話帳詳細情報画面に 1 2 3 のアイコンが表示されます。
- 上記手順5で登録済みの短縮ダイヤルを選ぶと電話番号が上書きされます。
- 手順5で 登録解除 にタッチすると、短縮ダイヤルを解除できます。

リダイヤル

直前にかけた相手に電話をかけます。

電話を受ける

1 電話がかかってきたら 開始 にタッチする

■ 着信全画面割込み設定が「する」の場合

■ 着信全画面割込み設定が「しない」の場合

- 電話がかかってくると着信音が鳴り、着信メッセージが表示されます。テレビの音声や音楽などはオフになります。着信メッセージ画面の大きさは変更できます(「着信全画面割込み」135ページ)。
- 通話を終了するには 終了 にタッチしてください。地図画面などを表示しているときは、 にタッチして通話中画面に切りかえ、 終了 にタッチします。通話を終了すると自動で元のソースに切りかわり、元の画面に戻ります。
- 応答拒否 にタッチすると、着信状態を解除します。なお、お使いの携帯電話によっては応答拒否機能が使用できない場合があります。
- かかってきた電話を自動的に受けるように設定することができます「自動着信」(135ページ)。
- 本機の電話帳に相手の名前と電話番号を登録しておくと、電話がかかってきたときにその名前と電話番号が画面に表示されます(相手が電話番号を通知して発信した場合)。登録してある画像を表示することもできます(「画像ファイル読み込み設定」135ページ)。
- 携帯電話で応答時間を設定している場合は携帯電話の設定が優先されます。

通話中の操作

通話中は下記の通話中画面が表示され、音量調整などを行うことができます。

1 名前

電話帳に登録されている名前が表示されます。

- 電話帳に登録した相手・登録地点・検索した施設に電話をかけた場合に表示されます。非通知発信の場合は表示されません。
- 画面に名前を表示しないようにすることもできます(「着信・通話画面情報表示」135ページ)。

2 電話番号

相手の電話番号が表示されます。

- 相手が電話番号を通知してこない場合などは何も表示されません。
- 画面に電話番号を表示しないようにすることもできます(「着信・通話画面情報表示」135ページ)。

3 通話時間

4 画像

電話帳に登録されている画像を読み込んだ場合、その画像が表示されます。

送話音量/受話音量

現在の音量が表示されます。 ◀ または ▶ をタッチすると音量を調整できます。

ナビ/携帯

本機のハンズフリー機能で通話するか、携帯電話で通話するかを切りかえます。

- ハンズフリー通話の場合:
- 携帯電話での通話の場合:
- 携帯電話で通話になっている場合でも、着信音は携帯電話とナビゲーションの両方で鳴ります。

トーン

トーン発信用の数字入力画面を表示します。

- 音声ガイダンスなどに従って数字を入力する必要があるときなどにタッチしてください。

終了

通話を終了します。

三者通話を行う

三者通話サービスに対応している携帯電話が接続されているときに、三者通話を行うことができます。通話中に電話をかける、または電話を受けることができます。

通話中電話をかける

1 発信 にタッチする

ハンズフリーメニュー画面が表示されます。発信方法を選んで電話をかけます。

通話中電話を受ける

1 開始 にタッチする

かかってきた電話と通話状態になり、今までの電話は保留中になります。

2 三者通話 にタッチする

三者通話をせずに通話相手を切りかえるには、通話切替 にタッチします。

電話帳を読み込む

本機の電話帳は携帯電話の電話帳を読み込んで登録します。本機に電話帳を登録しておくと、電話帳から電話をかけたり短縮ダイヤルを登録したりすることができます。

1 携帯電話を本機と接続する

2 [▲]スイッチを押し、ハンズフリー → 電話帳読み込み → 追加 の順にタッチする

- 電話帳を読み込む携帯電話がPBAPのプロファイルに対応している場合は、追加 をタッチするかわりに 同期 をタッチすると、本機の電話帳がすべて更新されます。

3 携帯電話から電話帳を転送する

本機に電話帳が登録されます。

- 携帯電話の電話帳を自動的に同期するかどうかを設定できます(「電話帳自動同期」135ページ)。
- 電話帳に登録されている画像ファイルを読み込むかどうかを設定できます(「画像ファイル読み込み設定」135ページ)。読み込みできる画像ファイルは携帯電話5台分合計で最大3000枚です。携帯電話によっては画像が読み込めない場合があります。
- 本機の電話帳には携帯電話1台につき最大3000件まで登録できます。
- 電話帳1件あたり最大5つまで電話番号を読み込むことができます。
- 取り込み可能な名称･読みは32文字まで、電話番号は31桁までです。
- 長い名称や電話番号は一部が表示されない場合があります。

6. 情報・更新

地図更新について

地図更新には、全国地図データ年度更新と、最新の高速道データだけを更新する高速道配信があります。年度更新を実施すると複数回の高速道配信が行われます。

全国の地図データ年度更新サービスは、2025年度版1回のみ全国地図データ年度更新を無償で行うことができます。2026年度以降の地図データ更新は有償の「地図更新データ」が必要になります。

■「お客様登録」のお願い

地図更新のご案内などのためにアルパインホームページで「お客様登録」を行ってください。
アルパインホームページ　https://www.alpine.co.jp

地図更新の方法について

● **年度更新はUSBメモリーを使用します。**

- アルパインホームページでお客様登録を行ってから地図更新用データをダウンロードしてください。（USBメモリーをご用意ください）
- 詳しい更新方法については年度更新開始時期になりましたらアルパインホームページに掲載いたします。

※ 年度更新はオリジナルスマートフォンアプリ「BIG X CONNECT」で実施することはできません。

● **高速道配信はオリジナルスマートフォンアプリ「BIG X CONNECT」をインストールしたiPhoneまたはAndroidスマートフォンを本機と接続して行います。「オリジナルスマートフォンアプリ「BIG X CONNECT」を使う」（84ページ）を参照してください。**

- 「BIG X CONNECT」を使用しない場合、高速道配信データはUSBメモリーを使用して更新することができます。「メディアデータ更新」（103ページ）を参照してください。

オンラインデータ更新

オリジナルスマートフォンアプリ「BIG X CONNECT」を使ってデータ更新を行う

更新可能なデータがある場合はメッセージで通知されます。手動でデータ更新をする場合は下記操作を行います。

1 [▲]スイッチを押し、情報/更新 にタッチする

2 オンライン更新 タブにタッチし、データ更新 にタッチする

更新可能なデータリストが表示されます。

3 インストール開始 にタッチし、確認画面が表示されたら はい にタッチする

メディアデータ更新

パソコンを利用して更新データをダウンロードし、USB メモリーに保存して本機に接続するとデータを更新できます。

- お客様登録が必要です。
  アルパインホームページ https://www.alpine.co.jp

1 [▲]スイッチを押し、情報/更新 にタッチする

2 メディア更新 タブにタッチし、USBで更新 にタッチする

更新可能なデータリストが表示されます。

3 インストール開始 にタッチし、確認画面が表示されたら はい にタッチする

VICS情報を見る

1 [Ⓐ]スイッチを押し、情報/更新 にタッチする

2 VICS情報 タブにタッチし、確認したい情報にタッチする

気象警報/災害エリア

大雨･大雪･津波など異常気象や災害に関する情報のリストを表示します。

- 走行中は安全のためリストは2行のみ表示されます。
- 気象警報･災害エリアリストは、特別警報アイコンが表示されたVICSタイムスタンプにタッチしても表示されます(30ページ)。
- リスト表示画面で 特別警報 全情報 にタッチすると、特別警報リストと全情報リストを切りかえることができます。
- リストを選択して 情報 にタッチすると詳細情報を見ることができます。
- リストを選択して 完了 または地図にタッチすると、対象となっている地点を地図上で確認できます(「規制や災害エリアの表示例」61ページ)。
- リストには警報や注意報の種類に応じたアイコンが表示されます。表示されるアイコンおよび地図上のマークは「VICS情報マーク一覧」(62ページ)を参照してください。

規制エリア

規制･事故･災害･異常気象などが発生しているエリアのリストを表示します。

- 走行中は安全のためリストは2行のみ表示されます。
- リストを選択して 情報 にタッチすると詳細情報を見ることができます。
- リストを選択して 完了 または地図にタッチすると、対象となっている地点を地図上で確認できます(「規制や災害エリアの表示例」61ページ)。
- リストには規制の種類に応じたアイコンが表示されます。表示されるアイコンおよび地図上のマークは「VICS情報マーク一覧」(62ページ)を参照してください。

割込み情報

別売のETC2.0車載器で、割り込みされたVICS割込み情報を呼び出して見ることができます。

- 別売のETC2.0車載器が接続されていれば、自動で割り込まれるように初期設定されています(「情報割込み」116ページ)。自動割り込みを解除することもできます。

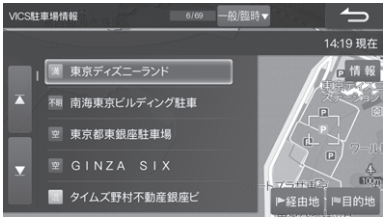
交通情報

道路状況を文字または簡易図形として表示します。

- 番号にタッチすると情報を確認することができます。
- 文字 図形 にタッチすると文字情報･図形情報を切りかえることができます。

駐車場情報

VICSと提携している駐車場(一般駐車場/臨時駐車場)リストを、高速道路ではサービスエリア(SA)/パーキングエリア(PA)のリストを表示します。



- 走行中は安全のため駐車場リストは2行のみ表示されます。
- リスト表示画面で 一般/臨時 SA･PA にタッチすると、駐車場リストとSA/PAリストを切りかえることができます。
- リストを選択して 情報 にタッチすると詳細情報を見ることができます。
- 地図上の駐車場マークをタッチしても情報を表示することができます。 情報 にタッチすると詳細情報を表示します。 次へ にタッチすると近くの駐車場を選択できます(60ページ)。
- リストには利用状況に応じたアイコンが表示されます。表示されるアイコンおよび地図上のマークは「VICS情報の表示例」(59ページ)および「VICS情報マーク一覧」(62ページ)を参照してください。

充電施設

電気自動車用の充電施設のリストを表示します。

- 走行中は安全のためリストは2行のみ表示されます。
- リストを選択して 情報 にタッチすると詳細情報を見ることができます。
- 地図上の充電施設マークをタッチしても情報を表示することができます。 情報 にタッチすると詳細情報を表示します。 次へ にタッチすると近くの充電施設を選択できます(60ページ)。
- リストには充電施設の種類に応じたアイコンが表示されます。表示されるアイコンおよび地図上のマークは「VICS情報の表示例」(59ページ)および「VICS情報マーク一覧」(62ページ)を参照してください。

予告配信

規制やイベントなどが予定されているエリアのリストを表示します。

- 走行中は安全のためリストは2行のみ表示されます。
- リストを選択して 情報 にタッチすると詳細情報を見ることができます。
- リストを選択して 完了 または地図にタッチすると、対象となっている地点を地図上で確認できます(「規制や災害エリアの表示例」61ページ)。
- リストには規制の種類に応じたアイコンが表示されます。表示されるアイコンおよび地図上のマークは「VICS情報の表示例」(59ページ)、および「VICS情報マーク一覧」(62ページ)を参照してください。

放送局選択

VICS情報を受信するための放送局を設定します。受信する地域は自動選択で設定されますが、特定の地域を選択することもできます。

初期設定値：自動選択・特定の地域を指定する場合は エリア選択 にタッチし、都道府県を指定してください。

- 放送局の周波数を指定する場合は 周波数選択 にタッチし ▼ または ▲ で周波数を指定してください。

車両情報について

1 [▲]スイッチを押し、情報/更新 にタッチする

2 車両情報 タブにタッチし、GPS情報 車両情報 メンテナンス のいずれかにタッチする

GPS情報を見る

衛星情報画面が表示されます

- 衛星(GPS･みちびき等)の受信情報を表示します。

車両情報を見る

GPSアンテナや周辺機器の接続状況、車速パルスなどの信号のON/OFF、距離補正学習やヨーレート学習の学習結果を表示することができます。

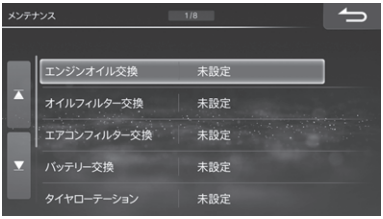
- 車両情報2 にタッチすると、カメラなどのオプション情報を表示できます。
- システム保存 をタッチするとシステム設定を保存します。電源OFF時に保存される情報ですので、通常はこの機能を使用する必要はありません。 はい をタッチすると再起動します。

メンテナンス機能

車速･GPSアンテナからの情報をもとに、エンジンオイル･タイヤなど車両に関する各種交換･点検時期を画面表示することができます。お知らせするメンテナンス時期は、事前に年月日または走行距離をもとに設定した項目をお知らせするものです。

- お知らせ表示例(オイルフィルターの場合)
  - お知らせ開始3日前:「オイルフィルター交換日が近づきました」

1 メンテナンス画面で設定したい項目にタッチする



お知らせ設定 :
する に設定するとお知らせ表示します(初期設定値:しない)。

お知らせ日 :
各種交換･点検日をお知らせする日付を設定します。

お知らせ開始日 :
「お知らせ日」で設定した日付の何日前からお知らせメッセージを表示するのかを設定します。 当日 3日前 7日前 から選んでください(初期設定値:7日前)。

お知らせ開始距離 :
何キロ走行するとお知らせするかを設定します。 ＋ － をタッチするたびに500km単位で入力できます。

日付リセット :
お知らせ日をリセットします。

走行距離リセット :
走行した距離(お知らせまでの残距離)がリセットされます。

- メンテナンス機能で計測される走行距離と実際の走行距離で誤差が生じることがあります。

本機情報を確認する

1 [▲]スイッチを押し、情報/更新 にタッチする

2 その他 タブにタッチし、確認したい情報にタッチする

バージョン情報

使用中のプログラムのバージョンやデータベースの情報を見ることができます。

- 車種データが取得できない場合は、車種データバージョンは「表示できません」と表示されます。

地図更新状況

最新のデータ更新の履歴が表示されます。データ更新中は進捗状況を確認することができます。

- 最後に更新した履歴が路線別更新の場合は 高速道更新情報 をタッチして高速道更新情報画面を表示することができます。高速道差分配信画面上で 情報 にタッチすれば詳細情報を確認することができます。
- 全国地図データ年度更新を行うと、高速道更新情報は消去されます。

お問い合わせ

本機に関するお問い合わせ先を表示できます。携帯電話を接続している場合は、お問い合わせ先に電話をかけることができます。

- QRコードのリンク先アドレスは下記の通りです。本機のWeb版取扱説明書を表示します。
  http://www.net-de-torisetsu.jp/22004/top.html

7. 設定・調整

各種設定

地図表示設定

地図表示設定の一部項目は、現在地画面で 地図設定 にタッチして操作することができます。その場合は、左画面(1画面)と右画面を個別に設定することができます(「地図設定について」37ページ)。

1 **[Ⓐ]スイッチを押し、設定 → 各種設定 → 地図表示 タブの順にタッチする**

2 **設定する項目にタッチする**

3 **画面説明を見て設定を行う**

ランドマーク表示

コンビニエンスストア(コンビニ)・ガソリンスタンドなど、お好みの施設のランドマークを地図上に表示します。

初期設定値: する

- ランドマークは200mスケール図以下の詳細な地図で表示されます。

ランドマーク表示ジャンル

「ランドマーク表示」を「する」設定時に、表示するブランド名をジャンルごとに選択できます。

初期設定値: ガソリンスタンド・コンビニのみ 全てする

- 最大20種類のジャンルを設定することができます。
- 1つのジャンルに設定できるブランド名は最大5つです。6つ以上設定するときは、全てする に設定してください。

ランドマーク表示サイズ変更

表示するランドマークの大きさを変更します。

初期設定値: 標準

軌跡表示

走行した軌跡を地図上に「点(白色)」として表示するかどうかを設定します。

初期設定値: しない

- 表示可能な距離(100km)を超えると古い軌跡から消えていきます。

軌跡情報を消去

地図上の軌跡をすべて消去します。

渋滞・混雑表示

VICS渋滞情報をもとに、渋滞・混雑している道路を矢印で表示します(渋滞:赤実線矢印、混雑:橙実線矢印)。

初期設定値: する

- 渋滞・混雑表示は縮尺1km以下の地図で表示されます。
- 高速・有料道路では縁取りのある矢印、一般道路では縁取りなしの矢印になります。

空き道表示

VICS渋滞情報をもとに、空いている道路を緑実線矢印で表示します。

初期設定値: しない

- 空き道表示は縮尺1km以下の地図で表示されます。
- 高速・有料道路では縁取りのある矢印、一般道路では縁取りなしの矢印になります。

渋滞推測(渋滞・混雑)表示

渋滞統計・渋滞学習情報をもとに、渋滞・混雑が予想される箇所を地図に破線で表示します(渋滞:赤破線矢印、混雑:橙破線矢印)。

初期設定値: する

- 実線矢印で表示されるVICS情報と破線表示の渋滞予測が両方ある場合は、VICS情報が優先して表示されます。
- 渋滞推測線(渋滞・混雑)は縮尺1km以下の地図で表示されます。

■ 渋滞推測機能について

- 本機能はJARTIC/VICSセンターから提供された現状情報をもとに、NTTデータが独自に作成した渋滞予測データを利用しています。
- 渋滞予測は現況の渋滞情報を考慮したものではありません。

渋滞推測(空き道)表示

渋滞統計・渋滞学習情報をもとに、渋滞が発生しないと予想される箇所を緑破線矢印で表示するかどうかを設定します。

初期設定値: しない

- 実線矢印で表示されるVICS情報と破線表示の渋滞推測が両方ある場合は、VICS情報が優先して表示されます。
- 渋滞推測線(空き道)は縮尺1km以下の地図で表示されます。

気象警報・災害エリア表示

VICS情報で受信した大雨特別警報や土砂災害警戒情報などに関するエリアを地図上に表示するかどうかを設定します。

初期設定値: する

VICS駐車場・充電施設表示

VICSが提供する駐車場を地図上に表示するかどうかを設定します。

初期設定値: しない

- 駐車場マークは縮尺1km以下の地図で表示されます。

規制エリア表示

規制・事故・災害・異常気象などが発生しているエリアを地図上に表示するかどうかを設定します。

初期設定値: する

予告配信表示

規制やイベントなどが予定されているエリアを地図上に表示するかどうかを設定します。

初期設定値: しない

規制マーク表示

規制マーク(工事・通行止めなど)を案内画面に表示します。

初期設定値: する

- 規制マークは縮尺1km以下の地図で表示することができます。ただし、通行止め・入り口閉鎖・オフランプ(出口)閉鎖は関連する事象も含めて20kmスケール以下の道路が表示されるスケールの地図まで表示します。

VICS提供道路

VICS情報を提供する道路を全道路・高速道・一般道から選択することができます。

初期設定値: 全道路

路上駐車場マーク表示

市街詳細地図に路上駐車場のマークを表示します。

初期設定値: する

渋滞線明滅表示

渋滞している区間の渋滞線(赤実線矢印)・混雑線(橙実線矢印)を点滅表示します。

初期設定値: する

地図色切換

昼画面と夜画面を切りかえることができます。昼・夜それぞれの地図表示色は4種類(標準(昼)・標準(夜)・道路強調(昼)・道路強調(夜))から選択することができます。

初期設定値: 昼→標準(昼)、夜→標準(夜)

地図色昼/夜切換

車両のイルミネーション信号に連動して、昼画面/夜画面を切りかえるかどうかを設定します。

初期設定値: する

行政界色分け

市街地図で行政界(大字)の色を分けて表示します。

初期設定値: する

誘導方向表示

ルート案内中に目的地の方向を直線の誘導線で表示するかどうかを設定します。

初期設定値：しない

ビル立体表示

3Dマップでビルを立体的に表示します。

初期設定値：する

3Dランドマーク表示

主要施設のリアルな立体的アイコンを地図上に表示させることができます。

初期設定値：する

- 3Dランドマークは縮尺200m以下の地図で表示されます。

冬期規制アイコン表示

冬に通行止めとなる箇所にアイコンを表示します。

初期設定値：する

- 冬期規制アイコンは縮尺1km以下の地図で表示されます。
- する に設定すると、冬期（11月～ 3月）の間、冬期規制アイコンが表示されます。道路によっては4月～10月の期間内でも冬期閉鎖になっている場合がありますのでご注意ください。

細街路オートスケール

目的地案内中に細街路を走行すると、自動的に2画面表示に切りかわります。右画面には25mスケール市街地図が表示され、細街路の案内を行います。

初期設定値：する

- 市街地図が収録されていない地域では50mスケール地図が表示されます。
- 音声案内は行われません。

走行連動地図切換

走行中の市街詳細地図を見やすく簡略化して表示します。

初期設定値：する

高速・有料モード地図

高速・有料道路走行中に、高速・有料道路を見やすく強調した地図を表示します。

初期設定値：する

自動ハイウェイモード

高速・有料道路を走行するときに行程ガイド（ハイウェイモード）が自動的に表示されます。

初期設定値：する

地図の文字サイズ変更

地図上に表示される文字サイズをお好みに合わせて設定することができます。

初期設定値：標準

自車マーク

自車マークの表示をマーク1・マーク2・マーク3の中からお好みに合わせて変更することができます。

初期設定値：マーク1

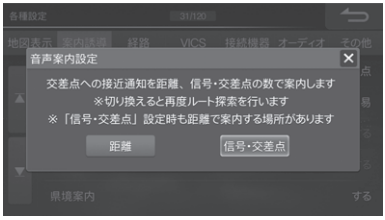
- マーク3のイラストは「車種専用チューニング」（6、125ページ）で設定した車種に連動します。

案内誘導設定

1 [▲]スイッチを押し、設定 → 各種設定 → 案内誘導 タブの順にタッチする

2 設定する項目にタッチする

3 画面説明を見て設定を行う



音声案内設定

交差点案内を、信号・交差点で行うか、交差点までの距離で行うかを設定します。

初期設定値：信号・交差点

- 「信号・交差点」設定時も、距離で案内する場合があります。

音声案内の長さ変更

交差点接近時の音声案内の長さを設定します。
簡易 に設定すると必要最小限の案内フレーズになります。通常の案内にする場合は 標準 に設定してください。

初期設定値：簡易

カウントダウン目印フレーズ

する に設定すると、交差点案内を信号・交差点の数で行う場合、目印になる施設が案内フレーズに入ります。

初期設定値：する

- 「音声案内の長さ変更」を「標準」に設定した場合、本設定を行うことができます。

交差点名称案内設定

交差点案内時、交差点名称を音声案内するかどうかを設定します。

初期設定値：する

- 「音声案内の長さ変更」を「標準」に設定した場合、本設定を行うことができます。

県境案内

都道府県境を越えるときに音声で案内します。

初期設定値：する

合流案内

一般道路や高速道路のインターチェンジ(IC)・ジャンクション(JCT)・SA/PA出口など、合流が近づいたときに警告するかどうかをそれぞれ設定することができます。

初期設定値：「一般道・する」「SA・PA・する」「IC・する」「JCT・する」

踏み切り案内

踏み切りに近づいたときに警告します。

初期設定値：する

逆走警告案内

高速道路で逆走を検知したときに警告します。

初期設定値：する

- 下記のような場合は、逆走していても警告案内を行わないことがあります。
  - 本機の地図に収録されていない道路、または形状が変わった道路を走行しているとき
  - 形状が複雑なIC付近を走行しているとき
  - 本機が故障している、または車両信号情報が正常でないとき
  - GPSアンテナ上に障害物があり、GPS信号が正常に受信できていないとき
  - トンネル、高架橋、高層ビルなどの遮蔽物により、GPS信号が正常に受信できていないとき
  - 本機の地図画面上の自車マークの位置と、実際の自車位置が違うとき
  - 直前に自車位置、または方位の補正が行われたとき

- 下記のような場合は、逆走していなくても警告案内を行うことがあります。
  - 本機の地図に収録されていない道路、または形状が変わった道路を走行しているとき
  - 本機の地図画面上の自車マークの位置と、実際の自車位置が違うとき
  - 本機が故障している、または車両信号情報が正常でないとき
  - 警察や道路管理会社の誘導によりUターンをしたとき

狭路進入案内

道幅が狭い道路に近づいたときに警告します。

初期設定値：する

残距離音声案内

案内地点までの距離が残り10kmになると音声で案内します。

初期設定値：する

到着予想時刻音声案内

目的地や経由地への到着予想時刻を音声案内します。

初期設定値：する

到着予想時刻速度設定

目的地や経由地への到着時間予想のための条件（速度）を設定します。

初期設定値：「一般道・30km/h」「有料道・60km/h」「高速道・80km/h」

案内図表示

交差点に近づいた時に表示する案内図を、交差点拡大図にするかビッグアローにするかどうかを設定できます。

初期設定値：交差点拡大図

- 「車種専用チューニング」（125ページ）」または「クイックセットアップ（販売店設定）」（6ページ）で選択した車種によっては、「ビッグアロー」が初期設定になります。

詳細案内図表示

3Dイラスト情報のある交差点の詳細案内図を表示します。

初期設定値：する

方面看板表示

交差点の手前で方面看板を表示します。

初期設定値：する

レーンガイド表示

ルート案内中に右左折専用などのレーン情報を表示します。

初期設定値：する

ナビ案内画面割込み

オーディオ画面にナビの案内映像を割り込み表示します。

初期設定値：する

ナビ案内画面割込み時画面状態

オーディオ画面を表示している場合のナビ案内割込み時に、左側画面にオーディオ画面を表示するのか地図画面を表示するのか選択することができます。

初期設定値：オーディオ

料金所ゲート案内

インターチェンジの入口や出口でETCの情報を案内します。

初期設定値：しない

車両情報

軽自動車や普通車などの車種を設定しておくと、高速道路の通行料金を車種に合わせて表示することができます。さらに車のサイズもあわせて登録しておくと、駐車場を探す際に立体駐車場など条件に合わないところを避けることができます。

初期設定値：「車両種別・普通」「長さ・450cm」「幅・160cm」「高さ・150cm」

- 車両寸法は車検証を参照してください。

デモ走行速度設定

デモ走行の速度を変更することができます。

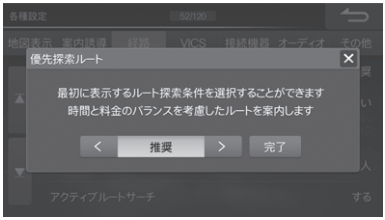
初期設定値：標準

経路設定

1 **[▲]スイッチを押し、設定 → 各種設定 → 経路 タブの順にタッチする**

2 **設定する項目にタッチする**

3 **画面説明を見て設定を行う**



優先探索ルート

優先的に探索･表示するルート条件を選択することができます。探索条件は「推奨」「一般」「チューニング」「幹線」「燃費」「別ルート」の6ルートです。

初期設定値：推奨

- 「有料道路優先」(次項目)を「する」に設定すると、「推奨」は「推奨(有料優先)」と表示されます。

有料道路優先

推奨ルート設定時、有料道路を優先して案内するかどうかを設定します。

初期設定値：しない

- しない に設定すると、目的地までの距離が短いときは、一般道路を優先したルートで案内します。

ルートチューニング

推奨ルートをベースとして、有料道路優先(全般)/有料道路優先(近距離)/広い道路優先/渋滞回避優先の各パラメーターを調整することにより、より好みの条件のルートを検索することができます。

初期設定値：5

- 設定する項目にタッチし ◀ または ▶ をタッチして調整します。

燃費優先ルート条件

普段乗車される際の乗車人数の設定を行います。設定された人数は燃費優先ルート探索条件として使用されます。

初期設定値：4人

- 乗車人数選択範囲は1人～ 10人です。

アクティブルートサーチ

ルート案内中に、距離･時間･VICSの渋滞情報･スマートIC規制などあらゆる道路情報を常時演算し、時間短縮できるルートを発見した場合にリアルタイムに新しいルートを探索します。

初期設定値：する

- 時間短縮できるルートが見つからない場合はアクティブルートサーチ機能は働きません。
- 「短縮時間」(114ページ)で設定した時間よりも到着予想時刻が短縮できる場合のみ、アクティブルートサーチ案内が行われます。

短縮時間

アクティブルートサーチで通知する短縮時間の目安を設定します。5分刻みで時間を選択し、完了 をタッチすると設定されます。

初期設定値：15分以上

- ここで設定した時間を短縮できない場合は、アクティブルートサーチ案内は行われません。
- 「アクティブルートサーチ」設定が「する」の場合のみ設定できます。

アクティブルートサーチ案内音声割込み

アクティブルートサーチが行われる際に音声案内を割り込みするかどうかを設定します。

初期設定値：する

- 「アクティブルートサーチ」設定が「する」の場合のみ設定できます。

スマートIC利用

ルート探索時にスマートインターチェンジを利用するかどうかを設定します。

初期設定値：しない

- スマートICを利用するには別売のETC車載器またはETC2.0車載器が必要です。
- スマートICには、営業時間･営業期間･対象車種･出入り方向などに制約があります。また社会実験として期間限定で開設されているスマートICもあります。ご利用の際はご注意ください。

時間曜日規制考慮

時間や曜日によって規制される区間を避けたルートを探索します。

初期設定値：する

フェリー使用

フェリー航路を利用したルートを探索することができます。

初期設定値：しない

迂回エリア考慮

あらかじめ登録しておいた迂回地点を避けてルートを探索します。

初期設定値：する

迂回距離

一般道と有料道路･高速道路に分けて設定できます。

初期設定値：「一般道5km」「有料･高速20km」

- 「迂回エリア考慮」(115ページ)を「する」に設定した場合のみ、迂回距離を設定できます。

冬期閉鎖区間考慮

冬に通行止めとなる区間を避けてルートを探索することができます。

初期設定値：する

- 冬期(11月～3月)の期間に考慮されます。4月～10月は通常ルートとなります。道路によっては4月～10月の期間内でも冬期閉鎖になっている場合があります。
- しない に設定すると、冬期閉鎖区間が発見された時点でメッセージが表示され、避けるかどうかを選択できます(「ルート探索結果画面の操作」－「規制考慮」45ページ参照)。

ルート学習

よく通る道が優先してルート探索されるように、走行記録を記憶します。

初期設定値：する

- ナビが探索した推奨ルートまたは一般道優先ルートを走行中に、ルートからの離脱と復帰をそれぞれ同じ地点で2回繰り返すと、次回のルート探索を行う際に、そのルートが推奨ルートまたは一般道優先ルートとして探索されます。
- 案内対象外道路はルート学習に反映されません。離脱･復帰地点が同じでも、途中のルートが案内対象外道路になると学習結果は無効になります。
- ルート学習中に目的地や経由地を変更したり別のルートの選択や周辺迂回を行った場合は、ルート学習は中止されます。
- 最大200ルートまで学習することができます。

ルート学習結果を消去

ナビが記憶した学習ルートをすべて消去します。

VICS設定

1 [▲]スイッチを押し、設定 → 各種設定 → VICS タブの順にタッチする

2 設定する項目にタッチする

3 画面説明を見て設定を行う

渋滞学習

渋滞や混雑する地点を季節別･曜日別･時間帯別に記憶して、それらを避けてルート案内されるように設定します。

初期設定値：する

渋滞学習結果を消去

ナビが記憶した渋滞学習結果をすべて消去します。

情報保持時間

受信したVICS情報の保存時間を120分、60分または30分に設定します。ここで設定した時間が経過すると情報は自動的に消去されます。

初期設定値：60分

情報割込み

ビーコンによる図形･文字情報を画面に割り込ませて表示します。

初期設定値：する

- 緊急情報や安全運転支援に関わる情報は、しない に設定しても割り込みを行います。

割込み時間

ビーコンの情報割込み画面の表示時間を5 ～ 20秒まで、5秒刻みで設定します。

初期設定値：10秒

- 「情報割込み」を する に設定した場合のみ本項目を設定できます。

オーディオモード画面への割込み

ビーコンによる図形･文字情報を、サウンド･映像モード画面に割り込ませて表示することができます。

初期設定値：する

- 「情報割込み」を する に設定した場合のみ本項目を設定できます。

特別警報アイコン表示

大雨･大雪･大津波などの特別警報情報を受信した際、VICSスタンプに特別警報アイコンを表示するかどうかを設定します。

初期設定値：する

プローブ通信

ナビと路側機で通信を行うかどうかを設定します。走行情報の送受信により各種サービスや信号情報活用運転支援システムを利用できるようになります。

初期設定値：する

- ETC2.0車載器が接続されていない場合は設定できません。
- プローブ情報についてはETC2.0車載器の取扱説明書をご覧ください。
- 「発進遅れ防止支援」(117ページ)、「赤信号減速支援」(117ページ)を「する」に設定した場合、本設定も自動的に「する」に設定されます。

発進遅れ防止支援

信号が青になるまでの目安時間を音声と表示で案内することができます。

初期設定値：する

- 「プローブ通信」(116ページ)を「しない」に設定した場合、本設定も自動的に「しない」に設定されます。
- 案内は対象路線を走行中に行われます。

赤信号減速支援

前方の信号が赤に変わると予測すると、音声と表示で案内します。

初期設定値：する

- 「プローブ通信」(116ページ)を「しない」に設定した場合、本設定も自動的に「しない」に設定されます。
- 案内は対象路線を走行中に行われます。

VICSでの音声読み上げ

ビーコンによる音声情報を読み上げます。

初期設定値：する

- 音声読み上げは別売のETC2.0車載器の接続が必要です。

接続機器設定

1 [▲]スイッチを押し、設定 → 各種設定 → 接続機器 タブの順にタッチする

2 設定する項目にタッチする

3 画面説明を見て設定を行う

外部接続機器選択

ビデオやゲームなど、外部機器を接続する場合に設定します。設定した表示名がソース名称としてオーディオメニュー画面やソース別音量調整画面に表示されます。

初期設定値：外部入力

後席個別　リアビジョン連動設定

リアビジョンのモニター開閉･電源OFF/ON･休憩モードに連動して後席個別のOFF/ONを切りかえることができます。

初期設定値：する

- リアビジョンがリアビジョン連動設定に対応していない場合は本設定を行うことはできません。

リアビジョン　プラズマクラスター設定

接続するリアビジョンにプラズマクラスター機能がある場合は、あり に設定してください。

初期設定値：あり

- リアビジョン製品側のNAVIリンク設定を「ナビ」に設定してください。「リアビジョン」に設定すると本機からの操作を行うことができません。

リアビジョン　イルミネーション設定

接続するリアビジョンにイルミネーション切りかえ機能がある場合は、 あり に設定してください。「リアビジョン　イルミネーション色」(次項目)で色を設定することができます。

初期設定値：あり

- リアビジョン製品側のNAVIリンク設定を「ナビ」に設定してください。「リアビジョン」に設定すると本機からの操作を行うことができません。

リアビジョン　イルミネーション色

リアビジョンのイルミネーション色をホワイト･ブルー･グリーン･アンバー･レッド･パープル･スカイブルーの中から選択できます。OFFにすることもできます。

ダブルゾーンサウンドコントロール

前席/後席それぞれの音量が最適値を超えた場合、本機画面にメッセージ表示してお知らせします。

初期設定値：ON

- 「車種専用チューニング」(125ページ)を行っていない場合は、本設定を行うことはできません。

ステアリングリモコン

車種専用チューニング後、ステアリングリモコン設定のみ変更したい場合は本設定を行ってください。

- 選択した車種にステアリングリモコン設定がない場合は本設定を行うことはできません。

ステアリングリモコンキー割り当て

ステアリングリモコンのボリュームアップ/ダウンキー以外のキーに本機の操作を割り当てます。

初期設定値：しない

- リストから割り当てたい機能にタッチし、続けて割り当てるステアリングリモコンのキーを押します。確認画面が表示されたら はい にタッチします。
- 割り当てた機能を解除するには 設定一覧 にタッチし、リストから解除する機能にタッチします。確認画面が表示されたら はい にタッチします。
- 詳しくは「ステアリングリモコンに本機機能を割り当てて操作する」(25ページ)を参照してください。

カメラダイレクトキー設定

本機では使用しません。

初期設定値：なし

カメラ接続再設定

リア/フロント/サイドカメラを変更した場合やカメラを正しく認識しない場合に本設定を行ってください。「カメラ接続再設定」にタッチし、メッセージが表示されたら「再設定」にタッチすると、接続されているカメラを検出します。

- 通常は本設定を行う必要はありません。

カメラ接続

接続するカメラ機器を設定します。

初期設定値：なし

- インターフェースボックス接続時は、接続を検出して自動で設定されます。

インターフェースボックス　リアカメラ接続

インターフェースボックス接続時、インターフェースボックスにリアカメラを接続した場合は「あり」に設定してください。

初期設定値：なし

- 接続するカメラによっては接続を検出して自動で設定されます。
- 「カメラ接続」(118ページ)設定が「なし」の場合は、本設定を操作することはできません。

インターフェースボックス　フロントカメラ接続

インターフェースボックス接続時、インターフェースボックスにフロントカメラを接続した場合は「あり」に設定してください。

初期設定値：なし

- 接続するカメラによっては接続を検出して自動で設定されます。
- 「カメラ接続」(118ページ)設定が「なし」の場合は、本設定を操作することはできません。

インターフェースボックス　コーナーカメラ接続

インターフェースボックス接続時、インターフェースボックスにコーナーカメラを接続した場合は「あり」に設定してください。

初期設定値：なし

- 「カメラ接続」(118ページ)設定が「なし」の場合は、本設定を操作することはできません。

インターフェースボックス　サイドカメラ接続

インターフェースボックス接続時、インターフェースボックスにサイドカメラを接続した場合は「あり」に設定してください。

初期設定値：なし

- 接続するカメラによっては接続を検出して自動で設定されます。
- 「カメラ接続」(118ページ)設定が「なし」の場合は、本設定を操作することはできません。

インターフェースボックス　ルームカメラ接続

インターフェースボックス接続時、インターフェースボックスにルームカメラを接続した場合は「あり」に設定してください。

初期設定値：なし

- 「カメラ接続」(118ページ)設定が「なし」の場合は、本設定を操作することはできません。

インターフェースボックス　汎用カメラ接続

インターフェースボックス接続時、インターフェースボックスに汎用カメラを接続した場合は「あり」に設定してください。

初期設定値：なし

- 「カメラ接続」(118ページ)設定が「なし」の場合は、本設定を操作することはできません。
- インターフェースボックスにリアカメラ、コーナーカメラ、サイドカメラ、ルームカメラ接続が「あり」に設定されている場合は、そのカメラは設定できません。

カメラ詳細設定

接続するカメラのガイド調整、連動設定を行います。

リアカメラガイド調整

リアカメラの固定ガイド、ステアリング連動ガイドの調整を行うことができます。
ステアリング連動ガイドはステアリング連動リアカメラの接続およびステアリング連動対応車種とのCAN接続が必要となり、「車種専用チューニング」(6、125ページ)で対象車種およびステアリング連動リアカメラを選択した場合のみ表示されます。

■ 固定ガイドを調整する

ビュー切りかえ可能なカメラ接続時は
パノラマ トップ バック を先に選択し、
固定ガイド調整 にタッチしてください。コーナービューはガイド調整できません。
画面に表示される ▲ ▼ で調整したいガイドを選び、↑ ↓ ← → にタッチして位置を調整します。
OFF または ON にタッチすると選択したガイド線を消去または表示することができます。
最後に セット にタッチすると調整位置が記録されます。

■ ステアリング連動ガイドを調整する

ビュー切りかえ可能なカメラ接続時は バック を先に選択し ステアリングガイド調整 にタッチしてください。
ステアリングガイド調整 にタッチし確認メッセージの 確認 にタッチしてください。
カメラ映像画面にタッチし表示される
↑ ↓ ← → にタッチして位置を調整します。
固定ガイドOFF または 固定ガイドON にタッチすると固定ガイド線を消去または表示することができます。
最後に セット にタッチすると調整位置が記録されます。

- 「カメラ接続」(118ページ)、「インターフェースボックス　リアカメラ接続」(118ページ)、「インターフェースボックス　汎用カメラ接続」(119ページ)のいずれかがリアカメラ接続に設定されている場合、操作することができます。
- 固定ガイド線およびステアリングガイド線は車種専用で設定されるため「車種専用チューニング」(6、125ページ)を設定した後は、「リアカメラガイド調整」は行わないでください。車の状態によりガイド線の微調整が必要な場合のみ調整を行ってください。
- 固定ガイド線とステアリング連動ガイド線は連動して調整されます。

- 固定ガイド調整はガイド線に直接タッチして、なぞり操作で調整することができます。
- 固定ガイドまたはステアリングガイドを調整中、初期値 にタッチすると調整値が初期化されます。固定ガイドの場合は調整前の設定に戻り、ステアリングガイドの場合は車種専用チューニング時の状態に戻ります。初期化するには、確認メッセージが表示されたら はい にタッチしてください。
- 調整中 クリア にタッチすると、調整前の設定に戻ります。
- 走行中は調整できません。車を安全な場所に移動し、停車後にパーキングブレーキを引いてから操作してください。
- ステアリング連動対応のリアカメラについてはアルパインホームページをご覧ください。

リアカメラパノラミックビュー設定

する に設定すると、一部純正カメラを接続した場合のカメラガイド表示を最適化します。

初期設定値：しない

- 設定が必要な純正カメラが接続されている場合は工場出荷時に する に設定されているため、通常は操作の必要はありません。
- 設定が不要な車種の場合は、しない に設定されています。 する に設定すると、クイックセットアップなどで設定したカメラガイド線がずれて表示されますのでご注意ください。
- 「全設定項目初期化」「全情報初期化」を行うと、本項目は しない に変更されます。
- 「カメラ接続」(118ページ)、「インターフェースボックス　リアカメラ接続」(118ページ)、「インターフェースボックス　汎用カメラ接続」(119ページ)のいずれかがリアカメラ接続に設定されている場合、操作することができます。
- する に設定すると、リアカメラガイド線表示が自動でOFFになります。再度リアカメラガイド線を表示するには、「カメラ画像の調整」－「ガイド表示のON/OFF」(149ページ)を参照してください。

フロントカメラガイド調整

フロントカメラのガイドの調整を行うことができます。
ビュー切りかえ可能なカメラ接続時は パノラマトップ を先に選択し、固定ガイド調整 にタッチしてください。コーナービューはガイド調整できません。
画面に表示される ▲ ▼ で調整したいガイドを選び、↑ ↓ ← → をタッチして位置を調整します。 OFF または ON をタッチすると選択したガイド線を消去または表示することができます。
最後に セット をタッチしてください。

- 「カメラ接続」(118ページ)、「インターフェースボックス　フロントカメラ接続」(118ページ)、「インターフェースボックス　汎用カメラ接続」(119ページ)のいずれかがフロントカメラ接続に設定されている場合、操作することができます。
- ガイド調整中、初期値 にタッチすると調整値が初期化され、工場出荷時の状態に戻りますのでご注意ください。初期化するには、確認メッセージが表示されたら はい にタッチしてください。
- 調整中 クリア をタッチすると調整前の設定に戻ります。
- 走行中は調整を行うことはできません。車を安全な場所に移動し、停車後にパーキングブレーキを引いてから操作してください。
- ガイド線に直接タッチして、なぞり操作で調整することができます。

フロントカメラ速度連動表示

走行速度が約8km/h以下になったとき、フロントカメラの映像を自動的に表示するように設定ができます。

初期設定値：しない

- 「カメラ接続」(118ページ)、「インターフェースボックス　フロントカメラ接続」(118ページ)、「インターフェースボックス　汎用カメラ接続」(119ページ)のいずれかがフロントカメラ接続に設定されている場合、操作することができます。

フロントカメラ地点連動表示

あらかじめ登録した地点に近づいたとき、フロントカメラの映像を自動的に表示するように設定ができます。

初期設定値：しない

- 「カメラ接続」(118ページ)、「インターフェースボックス　フロントカメラ接続」(118ページ)、「インターフェースボックス　汎用カメラ接続」(119ページ)のいずれかがフロントカメラ接続に設定されている場合、操作することができます。
- カメラ表示地点の登録については54ページを参照してください。

コーナーカメラガイド調整

コーナーカメラのガイドの調整を行うことができます。
画面に表示される ▲ ▼ で調整したいガイドを選び、↑ ↓ ← → をタッチして位置を調整します。最後に セット をタッチすると調整位置が記録されます。

- 「カメラ接続」(118ページ)、「インターフェースボックス　コーナーカメラ接続」(119ページ)、「インターフェースボックス　汎用カメラ接続」(119ページ)のいずれかがコーナーカメラ接続に設定されている場合、操作することができます。
- ガイド調整中、初期値 にタッチすると調整値が初期化され、車種専用チューニング設定前の状態に戻りますのでご注意ください。初期化するには、確認メッセージが表示されたら はい にタッチしてください。
- 調整中 クリア にタッチすると調整前の設定に戻ります。
- 走行中は調整を行うことはできません。車を安全な場所に移動し、停車後にパーキングブレーキを引いてから操作してください。
- ガイド線は車種専用で設定されるため、「車種専用チューニング」(6、125ページ)を設定した後は、「コーナーカメラガイド調整」は行わないでください。車の状態により、ガイドの微調整が必要な場合は調整を行ってください。
- ガイド線に直接タッチして、なぞり操作で調整することができます。

コーナーカメラソナー連動

左前方のクリアランスソナーが反応したとき、自動でコーナーカメラ映像を表示することができます。レベル1→レベル2→レベル3の順で、ソナーが反応する障害物までの距離が遠くなります。OFFにすることもできます。

初期設定値：OFF

- 「カメラ接続」(118ページ)、「インターフェースボックス　コーナーカメラ接続」(119ページ)、「インターフェースボックス　汎用カメラ接続」(119ページ)のいずれかがコーナーカメラ接続に設定されている場合、操作することができます。
- 本設定は、コーナーカメラソナー連動対応車種で車種専用チューニングを行うと操作することができます。

サイドカメラガイド調整

サイドカメラのガイドの調整を行うことができます。
画面に表示される ▲ ▼ で調整したいガイドを選び、↑ ↓ ← → をタッチして位置を調整します。最後に セット をタッチすると調整位置が記録されます。

- 「カメラ接続」(118ページ)、「インターフェースボックス　サイドカメラ接続」(119ページ)、「インターフェースボックス　汎用カメラ接続」(119ページ)のいずれかがサイドカメラ接続に設定されている場合、操作することができます。
- ガイド調整中、初期値 にタッチすると調整値が初期化され、車種専用チューニング設定前の状態に戻りますのでご注意ください。初期化するには、確認メッセージが表示されたら はい にタッチしてください。
- 調整中 クリア にタッチすると調整前の設定に戻ります。
- 走行中は調整を行うことはできません。車を安全な場所に移動し、停車後にパーキングブレーキを引いてから操作してください。
- ガイド線は車種専用で設定されるため、「車種専用チューニング」(6、125ページ)を設定した後は、「サイドカメラガイド調整」は行わないでください。車の状態により、ガイドの微調整が必要な場合は調整を行ってください。
- ガイド線に直接タッチして、なぞり操作で調整することができます。

サイドカメラ地点連動表示

あらかじめ登録した地点に近づいたとき、サイドカメラの映像を自動的に表示するように設定ができます。

初期設定値：しない

- 「カメラ接続」(118ページ)、「インターフェースボックス　サイドカメラ接続」(119ページ)、「インターフェースボックス　汎用カメラ接続」(119ページ)のいずれかがサイドカメラ接続に設定されている場合、操作することができます。
- カメラ表示地点の登録については54ページを参照してください。

サイドカメラウィンカー連動表示

左のウィンカーに連動してサイドカメラを割り込み表示することができます。

初期設定値：しない

- 本設定はHCE-CS20HD接続時、ウィンカー連動対応車種で車種専用チューニングを行うと操作することができます。

オーディオ設定

1 [▲]スイッチを押し、設定 → 各種設定 → オーディオ タブの順にタッチする

2 設定する項目にタッチする

3 画面説明を見て設定を行う

HDMI CECの利用

本機能を する に設定すると、HDMI-CEC対応機器の機能を利用することができます。

初期設定値：する

- HDMI-CECについては70ページを参照してください。

HDMI連動ソース切換

本機能を する に設定すると、HDMI-CEC対応機器操作時に自動的にソースをHDMIへ切りかえることができます。

初期設定値：する

- 「HDMI-CECの利用」を しない に設定した場合はグレーアウトして操作できません。

iPod自動ソース切換

本機能を する に設定すると、iPod接続時に自動的にソースをiPodへ切りかえることができます。

初期設定値：しない

リバース連動ミュート設定

シフトレバーをリバースに入れたときにオーディオソース再生音量をミュートすることができます。

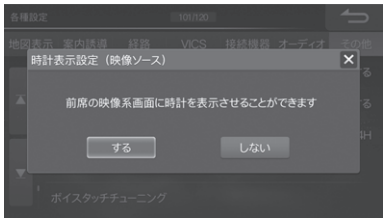
初期設定値：しない

その他設定

1 [▲]スイッチを押し、設定 → 各種設定 → その他 タブの順にタッチする

2 設定する項目にタッチする

3 画面説明を見て設定を行う



時計表示設定（映像ソース）

テレビなどの本機の映像ソース画面に時計を表示するかどうかを設定できます。

初期設定値：する

時計表示設定（ナビ画面）

ナビの地図画面に時計を表示するかどうかを設定できます。

初期設定値：する

時計表示

時刻の表示形式を12時間制または24時間制に設定します。

初期設定値：24H

ボイスタッチワード設定

ボイスタッチワードを使用するかどうかを設定することができます。 する に設定したワードを発声すると、音声で本機を操作することが可能になります。ボイスタッチ機能を使用しないワードは しない に設定してください。一括で切りかえる場合には 全てする または 全てしない にタッチします。

初期設定値：する

- テスト にタッチすると、選んだワードを発話して認識するかどうかを確認することができます。

ボイスタッチチューニング

ボイスタッチワードの認識率を設定することができます。ワード全体の認識率を設定する方法と、それぞれのワードを個別に調整する方法があります。

初期設定値：推奨

- 推奨 には各ワードのメーカー推奨値が設定されています。
- テスト にタッチすると、ワードを発話して認識するかどうかを確認することができます。

■ 各ワード個別調整

ワードごとに認識率を調整することができます。初期設定値には各ワードの推奨値が設定されています。

- ボイスタッチワード全体を設定すると、すべてのワードの個別調整の設定値に反映されます。「認識率：低　誤検出：少」に設定すると各ワード個別調整値は「MIN(0)」に、「推奨」に設定すると各ワードの推奨値に、「認識率：高　誤検出：多」に設定すると「MAX(10)」に変更されます。

メニューの文字サイズ変更

メニュー画面の文字表示サイズを変更します。 大 に設定すると、オーディオメニュー画面・ナビメニュー画面で文字を大きく表示します。

初期設定値：標準

アートワークアニメーション表示

アートワークをアニメーション表示します。

初期設定値：する

メニューアニメーション表示

ナビメニュー画面とオーディオメニュー画面をアニメーション表示します。

初期設定値：する

距離補正

本機はGPSからの位置情報と車速パルス信号による計算上の走行距離とを比較し、それらの情報を蓄積・学習することで自車位置を補正しています。地図上の自車位置が実際の位置と大きくずれてしまう場合は、まず距離補正値を初期化して数十キロ程度走行してください。それでもずれてしまう場合には手動で距離補正を行ってください。

- 通常は距離補正を行う必要はありません。
- 走行距離はタイヤ1回転ごとに発生させる車速パルスの数にタイヤの円周を乗じて計算します。このためタイヤを交換したときは自車位置がずれる場合があります。

■ 自動距離補正設定

距離補正を自動で行います。

初期設定値：ON(自動)

■ 自動距離補正値

自動距離補正を開始する値を設定します。

初期設定値：-1.2%

■ 手動距離補正値

自車位置が実際の位置と合うように計算上の走行距離を微調整します。

- はじめは0.5 ～ 1%程度の調整で様子を見ることをおすすめします。極端な補正は誤動作の原因になる場合があります。

■ 学習結果

距離補正の学習状況です。

■ 初期化

自車位置が大きくずれる場合やタイヤを交換したときは距離補正値を初期化してください。

イルミネーション連動設定

車両のイルミネーション信号に連動してディスプレイと照光スイッチの明るさを切りかえ、画面を見やすくすることができます。

初期設定値：する

夜用明るさ調整

「イルミネーション連動設定」を する に設定すると夜用の画面の明るさを調整することができます。

初期設定値：0

夜用照光明るさ調整

「イルミネーション連動設定」を する に設定すると夜用の本体スイッチの明るさを調整することができます。

初期設定値：標準

オプションスイッチ

ダブルゾーンコミュニケーション･VICS割込み情報･ミュート･画面OFF･サイドカメラ(※)･コーナーカメラ(※)･ルームカメラ(※)･フロントカメラ(※)･TVをみる･自宅に帰る･後席個別ON/OFF･ダブルゾーンメニュー･ボイスタッチワード一覧･Alexa呼び出し、のいずれかの機能を割り当てることができます。

初期設定値：1回押し※1…ボイスタッチワード一覧
長押し※2…1. ダブルゾーンコミュニケーション、2. 画面OFF、3. ミュート

※1 Amazon Alexa接続設定をしたときは、Alexa呼び出しが自動的に登録されます。

※2 ルームカメラ接続に設定されている場合は、自動で[＊](オプションスイッチ)の「長押し 3.」にルームカメラが登録されます。

- [＊](オプションスイッチ)でフロントカメラを表示させた場合、「フロントカメラ速度連動表示」(120ページ)、「フロントカメラ地点連動表示」(120ページ)設定が する になっていてもフロントカメラの映像は解除されません。
- フロントカメラとリアカメラを接続した場合は、シフトレバーをバックギア(R)に入れるとフロントカメラの[＊](オプションスイッチ)操作は無効となります。

自車位置修正

地図上の自車マークの位置と向きが実際とは異なっている場合は手動で修正することができます。

自車位置修正 をタッチしたら自車マークが実際の位置にくるまで地図をスクロールし、 または を タッチして向きを調整します。 登録 をタッチすると自車位置がセットされます。

- 自車位置修正については「現在地」(55ページ)を参照してください。

画面カラー変更

ナビメニュー画面やオーディオメニュー画面などのタッチスイッチ･背景の色を変更します。

初期設定値：ホワイト

セキュリティ設定

セキュリティコードを設定します。バッテリーを外して再度使用を開始したときに、設定したセキュリティコードを入力しないと本機を使用することができなくなります。

する にタッチした後セキュリティコードを入力し、完了 をタッチします。

初期設定値：しない

- セキュリティ設定を解除するにはセキュリティコードが必要です。セキュリティコードを忘れてしまった場合には、お客様登録したうえで、アルパイン･インフォメーションセンターにご相談ください。

セキュリティインジケータ設定

「セキュリティ設定」(前項目)と「セキュリティインジケータ設定」が する に設定されている状態で、車のエンジンスイッチをACC OFFにした時にセキュリティインジケータ用の照光スイッチが点滅します。

初期設定値：しない

クイックセットアップ状態初期化

既に設定した設定値を保持した状態で、セットアップ状態を初期化することができます。

- リセット後に再起動します。

全設定項目初期化

本機で設定したすべての項目の設定値を初期化します。USBメモリーを取り外してから操作を行ってください。

- 一度消去したものは復活できませんのでご注意ください。

全情報初期化

登録地点や設定項目の設定値などすべての情報を初期化し、工場出荷時の状態にします。USBメモリーを取り外してから操作を行ってください。

- 一度消去したものは復活できませんのでご注意ください。
- 他人に譲渡または処分などされる際は、お客様が入力された個人情報(登録地の住所や電話番号など)、登録ルートなどの登録情報を必ず削除してください。

車種専用チューニング

一部の車種に限りますが、アルパインホームページから車種データをダウンロードして設定できます。オリジナルスマートフォンアプリ「BIG X CONNECT」、またはメディアデータ(USBメモリー)を使用して本機にインストールしてください。

- オリジナルスマートフォンアプリ「BIG X CONNECT」を使用する場合、アルパインホームページで車種データを作成時にオンラインアップデート経由を選択すると、Wi-Fi接続したスマートフォンに車種データがダウンロードされます。ダウンロードされたデータは、スマートフォンと本機が接続されると自動的に本機に転送されます。車種データがあるときは本機にメッセージが表示されます。
- USBメモリーを使用する場合、ダウンロードしたデータはZIPファイルです。ZIPファイルを解凍したデータをUSBメモリーに保存してください。

1 **[▲]スイッチを押し、設定 → 車種専用チューニング の順にタッチする**

2 **設定する項目にタッチし、設定を行う**

車種選択

車種データを設定できます。

- 車種データ設定は下記の内容を登録します
  - オープニング画面/オープニングサウンド※
  - 車種専用サウンド(音響空間の設定)
  - カメラ接続
  - カメラ接続･ガイド線･コーション位置･ソナー連動設定
  - バックドアガイド線設定
  - 案内図表示(交差点拡大図またはビッグアロー)
  - 自動距離補正値設定
  - 車両情報(車種/サイズ)
  - ステアリングリモコン設定
  - アロマアイコンデザイン
  - エンジンタイプ設定
  - 燃費ルート探索パラメータ
  - メニュー画面デザイン
  - ダブルゾーンサウンドコントロール設定(前後席の推奨Vol値)
  - エコーキャンセラー/ノイズリダクションパラメータ(ダブルゾーンコミュニケーション)
- 車種データのダウンロードを行う前に、アルパインホームページでお客様登録が必要です。
- 車種を選択または車種データを読み込むとカメラ設定画面が表示されます。続けて設定を行ってください。
- 車種データ更新後に車種設定画面が表示された場合は 終了 をタッチしてください。

※ 一部の車種にのみオープニングサウンドが適用されます。

オープニング画像

車種データに含まれる、オープニング画像データを設定できます。

初期設定値: デフォルト画像(ALPINE)

1) 設定したいオープニング画像を選択し、完了 をタッチします。

2) 確認メッセージが表示されたら はい をタッチします。

- 車種専用チューニングを行っていない場合はオープニング画像を変更できません。
- オープニング画像に設定できるデータはアルパインが提供する画像データのみです。
- 追加可能なデータは1点です。すでにデータが読込まれている場合は古いデータは削除されます。
- 一部の車種にのみオープニングサウンドが適用されます。

メニューデザイン

車種データに含まれる、アイコンデザイン･背景色データを設定できます。

初期設定値: ホワイト

1) 設定したいメニューデザインを選択し、完了 をタッチします。

2) 確認メッセージが表示されたら はい をタッチします。

- メニューデザインを変更できない車種があります。
- 追加可能なデータは1点です。すでにデータが読込まれている場合は古いデータは削除されます。

メディア編集

1 [▲]スイッチを押し、設定 → メディア編集 の順にタッチする

2 項目を選んでタッチし、メディア操作を行う

メディアへの地点保存

本機で設定した登録地点をUSBメモリーにコピーして保存することができます。

- 登録地点保存用のフォルダがUSBメモリー内に自動的に作成されます。
  - フォルダ名: NAVDATDRフォルダ - POIXフォルダ
  - 地点ファイル拡張子: .poix
- 作成したファイルの削除とファイル名の変更はパソコンから行うことができます。ただし拡張子.poixを変更するとファイルが認識されなくなりますので、拡張子の変更は行わないでください。なおファイル名に使用できる文字は半角英数字のみになります。
- メディア内に同一登録地点が存在する場合は上書き保存されます。
- 登録地点をメディアへコピーしている途中で他の画面に移動した場合、コピー処理はキャンセルされます。

メディアからの地点追加

USBメモリーに保存した地点を本機の地図メモリーにコピーすることができます。

- 本機の登録地点の最大数(700か所)を超えた場合は、地点のコピーは行われません。
- 本機とメディアに同一地点のデータが存在した場合は、その地点のデータはコピーされません。

メディア情報

USBメモリーの残容量を確認することができます。

音質調整

基本設定

1 [♪]スイッチを押し、音質調整 → 基本設定 タブの順にタッチする

2 設定する項目にタッチし、設定を行う

車種専用サウンド

登録されている車種名をリストから選択します。

- 車種専用サウンドの設定はMedia Xpander·Parametric EQ·T.CORR·X-OVERに反映され、Bass Max EQの設定が解除されます。
- ディフィートがONのときは操作できません。また、リアビジョンのサウンドスピーカー設定が「前席のみ」または「後席のみ」および後席個別がONのときも操作できません。
- 「車種専用チューニング中です」と表示されているときは電源をOFFにしないでください。
- 車種専用設定中はハンズフリー機能が使用できない場合があります。

Media Xpander

映画などの音声を聞き取りやすくしたり、Bluetooth AUDIOの音楽をメリハリのある音で再生するなど、音声や楽器の音をメディアごとに際立たせて再生することができます(Media Xpander)。

初期設定値：OFF

メディア	レベル			
	OFF	1	2	3
COMPRESS MEDIA※	OFF			
FM	OFF			
AM	OFF	ー	ー	ー
外部入力/ドライブレコーダー/ゲーム/ウォークマン	OFF	圧縮オーディオ	MUSIC	MOVIE
HDMI	OFF			
TV※	OFF			
Bluetooth AUDIO※	OFF			

- MP3·WMA·AAC·WAV·FLAC·ALAC·iPod·USBオーディオ/ビデオは「COMPRESS MEDIA」に割り当てられます。
- MXレベルは1→2→3の順で効果が大きくなります。
- ディフィートがONのときは操作を受けつけません。

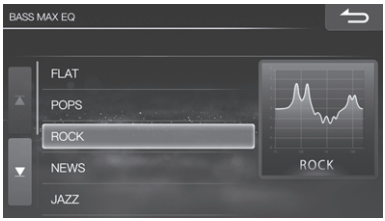
※ COMPRESS MEDIA·TV·Bluetooth AUDIOは、いずれかの設定を変えると同じMXレベルに設定変更されます。

BASS MAX EQ

あらかじめ設定されているイコライザー特性を選択し、お好みの音質に設定できます。

初期設定値： FLAT

設定値： FLAT・POPS・ROCK・NEWS・JAZZ・ELECTRICAL DANCE・HIP HOP・EASY LISTENING・COUNTRY・CLASSICAL



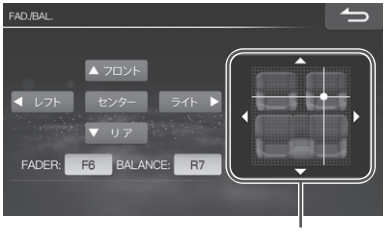
- ディフィートがONのときは操作できません。
- Bass Max EQで各音響特性を選択すると選択したEQカーブがParametric EQへ反映されます。
- 右側画面に表示されているEQカーブはイメージです。

FAD./BAL.

前後・左右のスピーカーの音量バランスを別々に調整することにより、届きにくいスピーカーからの音を強調することができます。バランスポイントのお好みのポイントにタッチします。

BALANCE： L15 ～ R15（初期設定値は「0」）

FADER： R15 ～ F15（初期設定値は「0」）



バランスポイント

- 微調整するときは、▲フロント ▼リア ◀レフト ライト▶ をタッチしてください。
- 初期設定値に戻すには センター をタッチします。
- 「スピーカー設定」（130ページ）でリアスピーカーが「OFF」設定の場合はFADERは設定できません。
- 本設定は詳細設定１画面・詳細設定２画面からも操作することができます。
- リアビジョンのサウンドスピーカー設定が「前席のみ」または「後席のみ」および後席個別ONのときは操作できません。

DEFEAT

ONに設定すると、MXをOFFに、EQを初期設定状態に戻します。OFFにすると、設定した値に戻ります（初期設定値は「OFF」）。

DEFEAT ON表示： ディフィートがONのとき。

DEFEAT OFF表示： ディフィートがOFFのとき。

- ディフィートをONに設定すると 車種専用サウンド Media Xpander Bass Max EQ Parametric EQ はトーンダウンしてタッチできなくなります。
- 本設定は詳細設定１画面・詳細設定２画面からも操作することができます。

詳細設定１

1 [♪]スイッチを押し、音質調整 → 詳細設定１ タブの順にタッチする

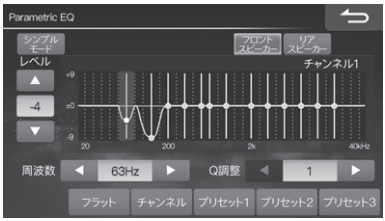
2 設定する項目にタッチし、設定を行う

Parametric EQ

Parametric EQ(パラメトリックEQ)は、中心周波数・Q(帯域幅)・レベルをそれぞれ調整できるので、狙った帯域だけを微妙に調整することができます。高度で本格的な補正や音創りを行うことができます。
本機では4種類のスピーカーの設定が可能な「詳細モード」と、2種類のスピーカーの設定が可能な「シンプルモード」があります。

■ 詳細モード

■ シンプルモード



1) 詳細モード または シンプルモード にタッチしてモードを選ぶ

2) 調整したいスピーカーを選ぶ

シンプルモード:
フロントスピーカー、リアスピーカー

詳細モード:
左フロントスピーカー、右フロントスピーカー、左リアスピーカー、右リアスピーカー

3) チャンネル にタッチして調整するチャンネルを選ぶ、または調整したいチャンネルのエリアにタッチする

4) レベル、周波数、Q調整を行う

レベル: −9～+9

Q調整: 1、2、3

周波数: フロント/リアスピーカー:チャンネル1～13

- チャンネル1: 20Hz～100Hz
- チャンネル2: 63Hz～315Hz
- チャンネル3: 100Hz～500Hz
- チャンネル4: 160Hz～800Hz
- チャンネル5: 250Hz～1.25kHz
- チャンネル6: 315Hz～1.6kHz
- チャンネル7: 500Hz～2.5kHz
- チャンネル8: 1kHz～5kHz
- チャンネル9: 1.6kHz～8kHz
- チャンネル10: 2.5kHz～12.5kHz
- チャンネル11: 4kHz～20kHz
- チャンネル12: 6.3kHz～31.5kHz
- チャンネル13: 10kHz～40kHz

5) 設定値を記憶するには プリセット1 プリセット2 プリセット3 のいずれかにタッチし続ける

記憶した設定値を呼び出すには プリセット1 プリセット2 プリセット3 のいずれかにタッチします。

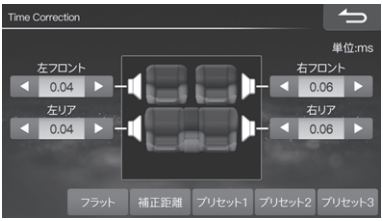
- ディフィートがONのときは操作できません。
- 隣り合うチャンネルの周波数を超えて設定することはできません。
- Parametric EQ設定時は、Bass Max EQの設定は解除されます。
- 設定したいチャンネルのエリアにタッチしても調整できます。
- フラット をタッチすると、設定した内容をフラットの状態にすることができます。
- 「スピーカー設定」(130ページ)で OFF に設定しているスピーカーは、Parametric EQの設定画面に表示されません。
- リアビジョンのサウンドスピーカー設定が「前席のみ」または「後席のみ」および後席個別がONのときは操作できません。

T.CORR(タイムコレクション)

T.CORR(タイムコレクション)は音が各スピーカーから耳に届くまでの時間を補正し、距離の違いによって生じる到達時間差を調整することができます。
補正時間 または 補正距離 にタッチするたびに補正モードが切りかわります。

補正時間: 時間補正値で調整します(単位はms)

補正距離: リスニングポジションと各スピーカーまでの距離で調整します(単位はcm)

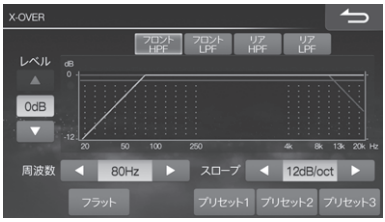


- 1ch・20msまで調整することができます。
- 「スピーカー設定」(130ページ)で OFF に設定しているスピーカーは、タイムコレクションの設定画面に表示されません。
- リアビジョンのサウンドスピーカー設定が「前席のみ」または「後席のみ」および後席個別がONのときは操作できません。

- プリセット1 プリセット2 プリセット3 のいずれかにタッチし続けると調整した設定値を記憶します。タッチするとスイッチに記憶されていた設定値が呼び出されます。
- フラット をタッチすると、設定した内容を「0」の状態にすることができます。

X-OVER

X-OVER(クロスオーバー)は、HPF(ハイパスフィルター)とLPF(ローパスフィルター)を設定することでお好みの音響空間を再現することができます。



1) フロントHPF フロントLPF リアHPF リアLPF **にタッチして調整するチャンネルを選ぶ**

2) レベル、周波数、スロープ調整を行う

レベル: −12 ～ 0dB

周波数: フロントHPF:20Hz ～ 250Hz
フロントLPF:4kHz ～ 20kHz
リアHPF:20Hz ～ 250Hz
リアLPF:4kHz ～ 20kHz

スロープ: 0/6/12/18/24dB/oct

3) 設定値を記憶するには プリセット1 プリセット2 プリセット3 **のいずれかにタッチし続ける**

記憶した設定値を呼び出すには プリセット1 プリセット2 プリセット3 のいずれかにタッチします。

- 「スピーカー設定」(130ページ)で OFF に設定しているスピーカーは、X-OVERの設定画面に表示されません。
- 接続するスピーカーの再生周波数を確認して調整してください。
- リアビジョンのサウンドスピーカー設定が「前席のみ」または「後席のみ」および後席個別がONのときは操作できません。
- フラット をタッチすると、設定した内容を「0」の状態にすることができます。

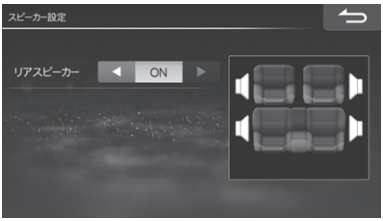
詳細設定2

1 **[♪]スイッチを押し、** 音質調整 **→** 詳細設定2 **タブの順にタッチする**

2 **設定する項目にタッチし、設定を行う**

スピーカー設定

リアスピーカーのON/OFFを設定します。

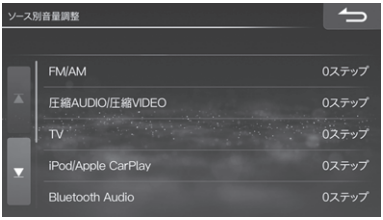


初期設定値: リアスピーカー・ON

- リアビジョンのサウンドスピーカー設定が「前席のみ」または「後席のみ」および後席個別がONのときは操作できません。

ソース別音量調整

ソースごとに基準となる音量レベルを調整します(初期設定値はいずれも「0ステップ」)。



画質調整

画質調整は、全ての画面(映像ソース画面･カメラ画像以外)･映像ソース画面･カメラ(接続設定がされているカメラ画像)によって調整できる項目が変わります。本項では映像ソース画面を例に説明しています。

- オーディオソースのテレビ･外部入力･HDMI･USBビデオは、それぞれで画質を調整し、設定値を記憶することができます。
- カメラの画質調整については149ページを参照してください。

1 [▲]スイッチを押し、設定 → 画質調整 の順にタッチする

2 全ての画面 映像ソース フロントカメラ リアカメラ ルームカメラ サイドカメラ コーナーカメラ のいずれか設定したいモードにタッチする

3 調整する項目の 設定 にタッチし、◀ または ▶ にタッチして調整する

- 映像ソース画面の調整内容を記憶/呼び出しできます。
  プリセット1 または プリセット2 にタッチし続けると調整した設定値を記憶します。タッチするとスイッチに記憶されていた設定値が呼び出されます。

画面サイズ

表示する映像をワイド、シネマ、ノーマルの3つのサイズに変えることができます。

ワイド: 16:9の映像を見るときに選択します。

シネマ: 映像を上下方向に拡大して表示したいときに選択します。画面の上下が少しカットされます。

ノーマル: 4:3の映像を見るときに選択します。画面の左右が黒く表示されます。

- テレビ以外の映像ソース画面のみで調整ができます。

ライブコントラスト

画面の明るすぎる部分や暗すぎる部分の明るさを自動的に調整し、自然な明るさに補正します。

設定値: OFF/弱/強(初期設定値は「弱」)

- 映像ソース画面とカメラ画面のみで調整ができます。

VISUAL EQ

設定値: フラット(OFF)/ナイトモード/ソフト/シャープネス/ハイコントラスト

フラット(OFF): 工場出荷時設定

ナイトモード: 暗いシーンが中心の映画に最適

ソフト: CGやアニメーションの映画に最適

シャープネス: 映像がくっきりしていない古い映画に最適

ハイコントラスト: 最新の映画に最適

- 映像ソース画面のみで調整ができます。
- お好みで映像の明るさや色の濃さなどを調整した場合は「カスタム」と表示されます。

明るさ

設定値: −15 〜+15(初期設定値は「0」)

- 最大値時は「MAX」、最小値時は「MIN」と表示します。
- 全ての画面で調整ができます。

色の濃さ

設定値: −15 〜+15(初期設定値は「0」)

- 最大値時は「MAX」、最小値時は「MIN」と表示します。
- 映像ソース画面とカメラ画面で調整ができます。

コントラスト

設定値:　　−15 〜+15(初期設定値は「0」)

- 最大値時は「HIGH」、最小値時は「LOW」と表示します。
- 全ての画面で調整ができます。

シャープネス

設定値:　　−5 〜+5(初期設定値は「0」)

- 最大値時は「HARD」、最小値時は「SOFT」と表示します。
- 映像ソース画面のみで調整ができます。

音量調整

1 **[▲]スイッチを押し、設定 → 音量調整 → 全ての音量 の順にタッチする**

2 **設定したい項目にタッチし、◀ または ▶ にタッチして調整し、完了 にタッチする**

前席操作音

本機スイッチを押した時の操作音の音量を7段階で調整します。操作音は前席スピーカーから出力されます。

初期設定値：3

後席操作音

リモコン操作する時の操作音の音量を5段階で調整します。操作音は後席スピーカーから出力されます。

初期設定値：3

案内音声

ナビゲーション案内音声の音量を7段階で設定します。音声をOFFにすることもできます。

初期設定値：4

音声読み上げ

VICS･ETC音声読み上げの音量を7段階で設定します（117ページ）。

初期設定値：4

着信音量

電話着信音の音量を11段階で設定できます。

初期設定値：4

受話音量

受話音量を11段階で設定できます。

初期設定値：4

送話音量

送話音量を11段階で設定できます。

初期設定値：6

オープニングアニメーション音量

オープニングアニメーションの音量を7段階で設定できます。音量をOFFにすることもできます。

初期設定値：3

- 車種専用チューニング（6、125ページ）で選択したオープニングアニメーション適応車種のみ音量設定をすることができます。

Apple CarPlay

1 **[▲]スイッチを押し、設定 → 音量調整 → Apple CarPlay の順にタッチする**

2 **設定したい項目にタッチし、＜ または ＞ にタッチして調整し、完了 にタッチする**

受話音量

受話音量を11段階で設定できます。

初期設定値：4

着信音量

電話着信音の音量を11段階で設定できます。

初期設定値：4

送話音量

送話音量を11段階で設定できます。

初期設定値：6

音声認識/案内音量

音声認識/案内音量を7段階で設定できます。

初期設定値：4

Android Auto

1 **[▲]スイッチを押し、設定 → 音量調整 → Android Auto の順にタッチする**

2 **設定したい項目にタッチし、< または > にタッチして調整し、完了 にタッチする**

受話音量

受話音量を11段階で設定できます。

初期設定値：4

着信音量

電話着信音の音量を11段階で設定できます。

初期設定値：4

送話音量

送話音量を11段階で設定できます。

初期設定値：6

音声認識/案内音量

音声認識/案内音量を7段階で設定できます。

初期設定値：4

Amazon Alexa

1 **[▲]スイッチを押し、設定 → 音量調整 → Amazon Alexa の順にタッチする**

2 **設定したい項目にタッチし、< または > にタッチして調整し、完了 にタッチする**

音声読み上げ

音声認識の対話やメッセージなどを読み上げるときの音量を7段階で設定できます。

初期設定値：4

通知音量

Alexaから通知があったときの音量を7段階で設定できます。音量をOFFにすることもできます。

初期設定値：3

Alexaコール着信音量

Alexaコールの着信音量を11段階で設定できます。

初期設定値：4

Alexaコール受話音量

Alexaコールの受話音量を11段階で設定できます。

初期設定値：4

Alexaコール送話音量

Alexaコールの送話音量を11段階で設定できます。

初期設定値：6

電話設定

1 [▲]スイッチを押し、設定 → 電話設定 の順にタッチする

2 設定する項目にタッチし、画面説明を見て設定を行う

着信全画面割込み

電話がかかってきたときに、着信全画面を自動で表示するかどうかを設定します。

初期設定値：する

- する に設定していても、カメラ画面表示中は簡易画面表示となります。

着信・通話画面情報表示

着信時または通話時に、相手の電話番号や名前などを画面に表示するかどうかを設定します。

初期設定値：する

画像ファイル読み込み設定

電話帳を本機に読み込むときに、画像ファイルも読み込むかどうかを設定します。

初期設定値：する

- する に設定した場合、携帯電話によっては電話帳の読み込みに時間がかかる場合があります。
- Alexaコールには対応していません。

自動着信

電話がかかってきたときに、自動的に電話を受けるかどうかを設定します。

初期設定値：しない

自動着信時間

自動着信設定時に何秒経過したら電話を受けるのかを5秒～ 20秒の範囲で5秒刻みに設定することができます。

初期設定値：10秒

- 「自動着信」(前項目)を する に設定した場合のみ、本項目を設定することができます。

履歴自動同期

通話履歴を自動的に同期するかどうかを設定します。

初期設定値：する

- Alexaコールには対応していません。

電話帳自動同期

電話帳を自動的に同期するかどうかを設定します。

初期設定値：する

- Alexaコールには対応していません。

エコー・ノイズ軽減設定

通話時のエコーとノイズ音を軽減するかどうかを設定できます。

初期設定値：ON

- Alexaコールには対応していません。

バッテリー残量警告

接続している携帯電話のバッテリーが少なくなったときに警告音で通知します。

初期設定値：する

- Alexaコールには対応していません。

通信設定

Bluetooth設定、Wi-Fi設定、オンラインサービス設定を行います。
オンラインサービス設定は、オリジナルスマートフォンアプリ「BIG X CONNECT」、Amazon Alexa、Apple CarPlay、Android Autoを利用するための設定です。「BIG X CONNECT」については、「「BIG X CONNECT」をインストールして本機と連携する」(85ページ)を参照してください。

Bluetooth設定

1 **[▲]スイッチを押し、設定 → 通信設定 → Bluetooth設定 の順にタッチする**

2 **設定する項目にタッチし、画面説明を見て設定を行う**

自機情報編集

自機名称を設定します。

自機名称初期設定値：ALPINE

- 自機名称の最大入力文字数は英数記号合計32文字です。

ハンズフリー

接続している携帯電話の名称と接続状況、通信接続先を表示します。 再接続 / 接続解除 をタッチすると接続状態が切りかわります。

オーディオ

接続しているBluetoothオーディオ機器の名称と接続状況を表示します。Bluetooth AUDIOソース時に 再接続 / 接続解除 をタッチすると接続状態が切りかわります。また、自動接続をするかどうかを設定します。

初期設定値：しない

- 「自動接続」を する に設定した場合、オーディオソースにBluetooth AUDIOを選択すると自動的にBluetoothオーディオ機器に接続します。前回接続したBluetooth機器に接続することができます。前回接続した機器に接続できなかった場合は、ハンズフリーで接続している機器、または以前接続した履歴のある機器へ接続を開始します。

登録/変更

Bluetooth機器設定画面を表示します。Bluetooth機器の登録方法については「携帯電話・スマートフォンを接続する」(95ページ)を参照してください。

ⓘ：　登録Bluetooth機器の詳細情報(機器名称・機器アドレス・機器種別・利用可能プロファイル)を表示します。

消去：　登録したBluetooth機器を消去します。

- Bluetooth機器設定リストから削除すると、Apple CarPlay機器リストからも削除されます。

接続機器変更：
接続機器を変更します。登録している機器をリストから選択し 接続機器変更 をタッチします。接続するサービス(Apple CarPlay※・ハンズフリー・オーディオ・ハンズフリー＋オーディオ)から選択し変更します。

※ Apple CarPlay対応機器の場合

機器登録：　本機に接続するBluetooth機器を登録します。「携帯電話・スマートフォンを接続する」(95ページ)を参照してください。

- 未登録を選択しているときは 機器登録 のみ選択できます。

Wi-Fi設定

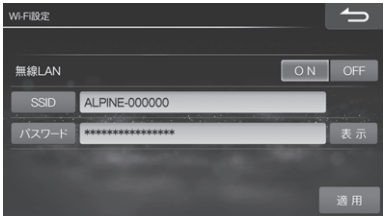
本機とスマートフォンなどをWi-Fiで接続すると、専用スマートフォンアプリ「BIG X CONNECT」を使用することができます。（Androidスマートフォンの場合）

1 **[▲]スイッチを押し、 設定 → 通信設定 → Wi-Fi設定 の順にタッチする**

2 **設定が完了したら 適用 にタッチする**

無線LAN-本機と携帯電話をWi-Fi接続する

1 **Wi-Fi設定画面で「無線LAN」の ON にタッチする**



2 **携帯電話のWi-Fi機能をONにし、携帯電話から本機を検索して登録する**

本機のWi-Fi名称（初期値は「ALPINE-xxxxxx（6桁の数字）」）を検索し、画面に表示されているパスワードを入力して登録してください。

SSID

携帯電話などに表示されるWi-Fi名称を変えることができます。 SSID にタッチし、半角英数字8 ～ 32桁の範囲で設定します。

パスワード

Wi-Fi接続の際に携帯電話などに入力するパスワードを変更することができます。 パスワード にタッチし、半角英数字16 ～ 63桁の範囲で設定します。 表示 にタッチするとパスワードが表示されます。パスワード非表示にする場合は 非表示 にタッチします。

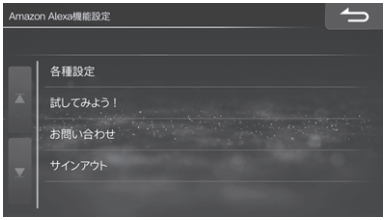
オンラインサービス設定
Amazon Alexa機能設定

- 走行中は設定できません。車を安全な場所に移動し、停車後にパーキングブレーキを引いてから操作してください。
- オーディオメニューの アプリ にタッチしたあと、Amazon Alexa機能設定 にタッチしてもAmazon Alexa機能設定画面を表示できます。

1 **[▲]スイッチを押し、設定 → 通信設定 → オンラインサービス設定 の順にタッチする**

2 **サービス詳細設定 → Amazon Alexa機能設定 の順にタッチする**

3 **設定する項目にタッチし、画面説明を見て設定を行う**



各種設定＿ウェイクワードでの起動

「アレクサ」と発話してAmazon Alexaを起動するかどうかを設定します。

初期設定値：する

各種設定＿オプションスイッチでの起動

オプションスイッチの1回押しでAmazon Alexaを起動するかどうかを設定します。

初期設定値：する

- 「しない」に設定した場合は、オプションスイッチの「1回押し」または「長押し」でAlexaの呼び出しはできません。また、ステアリングリモコンキーに割り当てている場合も、Alexaを呼び出しすることはできません。

各種設定＿Alexaからの通知受信

Amazon Alexaから通知があったときに割込み表示をするかどうかを設定します。

初期設定値：する

各種設定＿自車位置情報の共有

Amazon Alexaで天気予報や交通情報を調べたり、近くの施設を探したりするときに自車位置情報をAmazonに送信します。

初期設定値：する

各種設定＿リクエスト時の開始音

Amazon Alexaへのリクエストが開始されるときに音でお知らせすることができます。

初期設定値：する

各種設定＿リクエスト時の終了音

Amazon Alexaへのリクエストが終了するときに音でお知らせすることができます。

初期設定値：する

試してみよう！

Amazon Alexaに発話するワードの例をカテゴリー別に確認することができます。
画面に表示されたワードを発話して、Amazon Alexaが答えてくれるか試してください。

お問い合わせ

Amazon Alexaに関するお問い合わせ先を表示できます。携帯電話を接続している場合は、お問い合わせ先に電話をかけることができます。

- QRコードのリンク先アドレスは下記の通りです。
  https://aojaalpine.force.com/s/

サインアウト

Amazonからサインアウトして Amazon Alexaの利用を停止します。

- Amazonにサインインしていない場合はグレーアウトして操作できません。

オンラインサービス設定
Apple CarPlay機器リスト

Apple CarPlayを利用するiPhoneを登録します。

- iPhoneをUSBケーブルで本機と接続した場合は、新規登録設定は不要です。
- オーディオメニューの アプリ にタッチしたあと、Apple CarPlay機器リスト にタッチしてもApple CarPlay機器リスト画面を表示できます。

1 [▲]スイッチを押し、設定 → 通信設定 → オンラインサービス設定 の順にタッチする

2 サービス詳細設定 → Apple CarPlay機器リスト の順にタッチする

3 設定が完了したら 完了 にタッチする

新規登録

Apple CarPlayを利用するiPhoneを登録します。

1 新規登録 にタッチする

2 iPhoneのBluetooth機能をオンにし、iPhoneで本機を検索する

- 本機の初期名称は「ALPINE」です。

3 iPhoneにコードが表示されたら、ナビ画面のコードと同じであることを確認して登録する

4 Apple CarPlayを利用する確認メッセージが表示されたら はい にタッチする

5 本機にiPhoneの表示を確認するメッセージが表示されたら、iPhoneに表示された「CarPlayを使う」をタップする

Apple CarPlay画面が表示され、iPhoneがApple CarPlay機器リストに登録されます。

- 「携帯電話･スマートフォンを接続する」(95ページ)で登録したiPhoneもApple CarPlay機器リストに表示されます。

接続

利用するiPhoneをApple CarPlayに接続します。

1 Apple CarPlay機器リストから利用したいiPhoneにタッチし、接続 にタッチする

- 接続したiPhoneは、iPhoneのBluetooth機能がONになっていれば、エンジンスイッチをACCまたはONにするだけで本機と自動的に接続されます。

登録消去

登録しているiPhoneを消去します。

- Apple CarPlay機器リストから削除すると、Bluetooth機器設定リストからも削除されます。

オンラインサービス設定
Android優先設定

Androidスマートフォンを接続したときに、優先して動作する機能を設定できます。

- オーディオメニューの アプリ にタッチしたあと、Android優先設定 にタッチしてもAndroid優先設定画面を表示できます。

1 [▲]スイッチを押し、設定 → 通信設定 → オンラインサービス設定 の順にタッチする

2 サービス詳細設定 → Android優先設定 の順にタッチする

3 画面説明を見て設定を行う

初期設定値：Android Auto

- 設定した内容は次回の接続時に反映されます。

8. オプション機器

ETC・ETC2.0を使う

ETC・ETC2.0画面は別売のETC車載器(HCE-B063)またはETC2.0車載器(HCE-B120V/HCE-B120)を接続すると表示されます。

- ETC2.0車載器とETC車載器は同時に接続することはできません。

ETCについて

ETC(Electronic Toll Collection System: 有料道路自動料金収受システム)とは、自動車に装備した車載器と料金所に設置したアンテナとの間で無線通信により料金支払いに必要な情報がやりとりされ、ノンストップで自動的に通行料金を支払うシステムです。
本機では別売のETC 車載器またはETC2.0車載器を接続してETCカードを挿入することにより、料金所の手前でETC 専用レーンの案内を表示するなど、ナビゲーション機能に連動してETC 情報を提供します(48ページ)。

- ETC車載器またはETC2.0車載器の取扱説明書も参照してください。

ETC2.0について

ETC2.0とは、高度道路交通システム(ITS)で採用されている双方向無線通信技術のひとつDSRC(Dedicated Short Range Communication)を使用したシステムです。5.8GHz帯を使用し、数十mでの狭い範囲で双方向通信を行い、通信範囲内では最大4Mbpsの通信が可能となっています。すでにETCでも利用されており、さまざまな ETC2.0サービス(旧ITSスポットサービス)を提供することができます。
本機では別売のETC2.0車載器を接続することにより、ITSスポット(ETC2.0の路側アンテナ)で、ナビゲーション機能と連動し道路交通情報(VICS情報)などを提供します。
別売の光ビーコン対応ETC2.0車載器を接続している場合は、信号交差点を円滑に通行するための運転を支援する「信号情報活用運転支援システム(TSPS)」を表示できます。

- VICSについては「VICSについて」(57ページ)を参照してください。
- 信号情報活用運転支援システム(TSPS)については、「信号情報活用運転支援システム(TSPS)表示」(59ページ)を参照してください。
- ETC2.0車載器の取扱説明書も参照してください。
- ETC2.0サービスで提供される情報によっては対応できない場合があります。
- ETC2.0サービスについては、国土交通省のホームページをご覧ください。
  http://www.mlit.go.jp/road/ITS/j-html/etc2/index.html

ETC情報を表示する

ETC車載器接続時に表示することができます。

1 **[▲]スイッチを押し、情報/更新 → ETC タブの順にタッチする**

2 **料金履歴 または ユーザー情報 にタッチする**

料金履歴

ETCを利用した日時や料金をリスト表示し、利用したインターチェンジ(IC)名などの詳細情報を確認することができます。 i にタッチすると料金の詳細情報が表示されます。

- ETCカードを挿入していないときは利用できません。
- 取得できるETCカードの料金履歴は最大で100件です。100件を超えると古い順に消去されます。
- 走行中は安全のため操作できません。安全な場所に停車してから操作してください。

ユーザー情報

ETC車載器に登録されているユーザー情報を確認します。車載器管理番号などのユーザー登録情報が表示されます。

ETC2.0情報を表示する

別売のETC2.0車載器(HCE-B120V/HCE-B120)を本機に接続することにより、道路交通情報や安全運転支援情報を音声や画像で案内したり、渋滞･規制情報を考慮したルート探索(「VICS情報を見る」57～62ページ)ができます。さらに、ETC機能と連動して、本機から料金案内や料金履歴表示することもできます。

■ ETC2.0車載器を本機に接続してできること

● ETCゲート通過案内

ETCゲートを通過する際に利用料金の表示･音声案内を行います(48ページ)。

● 安全運転支援

走行ルート上に渋滞や落下物などがある場合、簡易図形と音声で注意喚起を行います。

● 道路交通情報提供

広範囲の道路の渋滞情報や、簡易図形と音声での道路交通状況の提供を行います(105ページ)。

1 [▲]スイッチを押し、情報/更新 → ETC タブの順にタッチする

2 料金履歴 ユーザー情報 のいずれかにタッチする

料金履歴

ETCを利用した日時や料金をリスト表示し、利用したインターチェンジ(IC)名などの詳細情報を確認することができます。 i にタッチすると料金の詳細情報が表示されます。

- ETCカードを挿入していないときは利用できません。
- 取得できるETCカードの料金履歴は最大で100件です。100件を超えると古い順に消去されます。
- 走行中は安全のため操作できません。安全な場所に停車してから操作してください。

ユーザー情報

ETC2.0車載器に登録されているユーザー情報を確認します。車載器管理番号などのユーザー登録情報が表示されます。

カメラ操作

本機は別売のリアカメラ、フロントカメラ、サイドカメラ、コーナーカメラまたはルームカメラのいずれかを接続できます。別売のインターフェースボックス(IFB-N200)を接続した場合は、最大5台接続することができます。
フロントカメラ、サイドカメラ、コーナーカメラを装着した場合、本機のオプションスイッチ、ボイスタッチ(19ページ)でカメラ映像に切りかえます。ルームカメラを装着した場合、本機のオプションスイッチでルームカメラ映像に切りかえることができます。

- ステアリングリモコンにカメラ映像呼び出し機能を割り当てることができます(25ページ)。

■ リアカメラ

バックギアにシフトすると本機の画面に自動で後方のカメラ映像およびガイド(車両の車幅や距離感覚を補う補助ライン)を映すことができます。

■ フロントカメラ

見通しの悪い道路などで車両前方の状況を確認することができます。

■ サイドカメラ

車のミラーなどに装着したサイドカメラの映像を、本機に表示することができます。

■ コーナーカメラ

右ハンドル車の場合は車両の左前方に装着し、特に狭い道路で、右左折時に死角となる車両前方の状況を確認することができます。

■ ルームカメラ

車室内にルームカメラを装着すると、後部座席の様子を運転席から確認することができます。ダブルゾーンコミュニケーションでは、後部座席の映像を見ながら会話できます(154ページ)。

カメラ接続時の注意

⚠ 警告

●警告

- **運転者は走行中に本機のカメラ画像を注視しないでください。運転者が走行中、画面を注視することは法律で禁止されています。**
- **カメラをご使用の際は事故防止のため、カメラ画像だけでなく、必ず目視やルームミラー/ドアミラーにより、周囲の安全を直接確認しながら運転してください。**
- **カメラ画像はドライバーの視界を補助するためのものであり、全ての危険および障害物をカメラで映し出せるものではありません。**

●注意

- **カメラ画像は車種や取り付け角度で見え方が異なるため、注意が必要です。**
- **乗車人数や積載量により車両が傾き、カメラ映像のガイドの示す位置と実際の路面上の距離や障害物との距離が変化します。必ず、後方および周囲の安全を直接確認しながら運転してください。**

- タイヤおよびサスペンションを交換すると、画面に表示される距離目安ラインやガイドの示す位置に誤差が生じることがあります。
- 本機起動直後は下記の表示･操作を行うことができません。
  - シフトレバーをバックギア(R)に入れたときのリアカメラガイド表示
  - シフトレバーをバックギア(R)に入れたときのリアカメラ映像パターン切りかえ
  - フロントカメラの速度連動表示
  - フロントカメラ/サイドカメラの地点連動表示
  - リアカメラ/フロントカメラ/コーナーカメラのソナー連動表示
- 接続しているカメラ側の取扱説明書も合わせてご覧ください。
- 以下のような状況では使用しないでください。
  - 凍結したりすべりやすい路面または雪道。
  - ドアが完全に閉まっていないとき。
  - タイヤチェーンや応急タイヤを使用しているとき。

リアカメラ操作

本機にリアカメラを接続した場合は「カメラ接続」を リアカメラ に設定してください(118ページ)。インターフェースボックスを使用して接続する場合は「カメラ接続」を インターフェースボックス 、「インターフェースボックス　リアカメラ接続」を あり に設定してください(118ページ)。

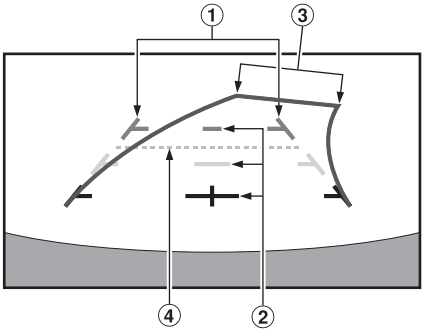
- 接続するカメラによっては接続を検出して自動で設定されます。

リアカメラ映像を表示する

後方の映像はシフトレバーをバックギア(R)に入れると自動的に映し出されます。解除するにはシフトレバーをバックギア(R)以外に入れる、または キャンセル にタッチするか、[+] [−] [|◀◀] [▶▶|]以外の本体スイッチを押してください。シフトレバーがバックギア(R)の状態であれば本機画面に表示される リアカメラ にタッチすると、再度リアカメラ映像が表示されます。

リアカメラのガイド線について

■ ガイド線の見かた



● 固定ガイド線

① **車幅延長ライン(手前より赤色、黄色、緑色のライン)**
車幅の延長線で、車をまっすぐ後退させたいときの進路の目安を示します。

② **距離目安ライン**
クルマの後方(バンパー後端から)の距離を示します。

- それぞれの中心位置で、約0.5m先(赤色)・約1m先(黄色)・約2m先(緑色)を示します。

● ステアリング連動ガイド線

③ **予測進路ガイド線(青色のライン)**
車両のステアリング操作に連動し、車両の予想進路を表示します。

- ステアリング連動ガイドはステアリング連動対応車種とのCAN接続が必要です。また「車種専用チューニング」(6、125ページ)で対象車種および対象リアカメラを選択した場合のみ表示されます。

● バックドア開閉ガイド線

④ **バックドアガイド線(水色のライン)**
バックドア(トランク)の開け閉めスペースを考慮したガイド線を表示します。

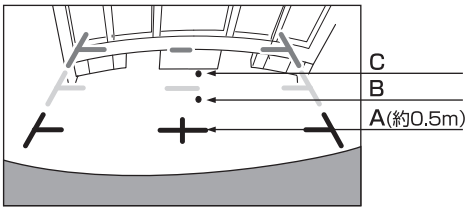
- 「車種専用チューニング」(6、125ページ)で対象車種を選択した場合のみ表示されます。

- ナビゲーション起動時は、ガイド線が表示されるまでに時間がかかります。
- 車や路面の状況により映る範囲は異なることがあります。
- カメラに映る範囲には限度があり、バンパーの両端付近やバンパーの下にあるものは映りません。
- 映像は実際の色合いと異なる場合があります。
- 車両によりガイドが左右にずれて表示されることがありますが、故障ではありません。

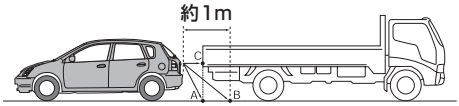
■ 距離目安ライン

距離目安ラインは路面に対して表示されているため、立体物との距離を判断することはできません。

<画面>



<A,B,Cの位置>



画面では距離目安ラインにより約1m先(Bの位置)にトラックが駐車してあるように見えますが、実際にはAの位置まで後退するとぶつかります。画面ではA･B･Cの順に近く見えますが実際の距離はAとCは同じ距離で、BはAやCより遠い距離にあります。

- 車幅延長ラインは路面上の距離を示す目安となりますので、画面に立体物が映しだされた場合は実際の距離感とは異なります。

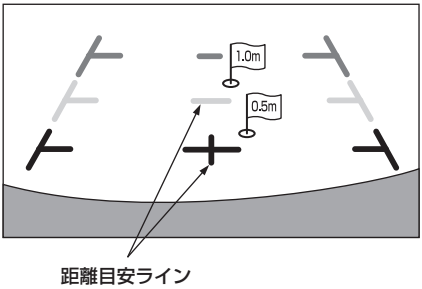
- 次のようなときは画面が見づらくなることがありますが異常ではありません。
  - 暗いところ(夜間など)。
  - レンズ付近の温度が高い、または低いとき。
  - カメラに水滴がついたときや湿度が高いとき(雨天時など)。
  - カメラ付近に異物(泥など)がついたとき。
  - 太陽やヘッドランプの光が直接カメラのレンズに当たったとき。

画面と実際の路面との誤差

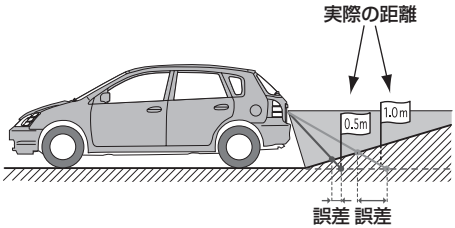
以下の状態のときは画面のガイドと実際の路面上の距離･進路に誤差が生じます(イラストは標準的なカメラ取付位置の場合を示します)。

■ 急な上り坂が後方にあるとき(例)

<画面>



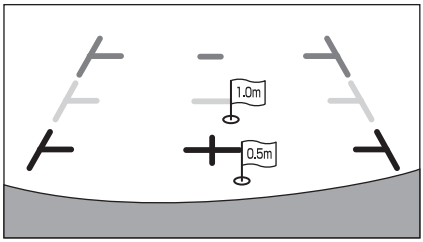
<車の状況>



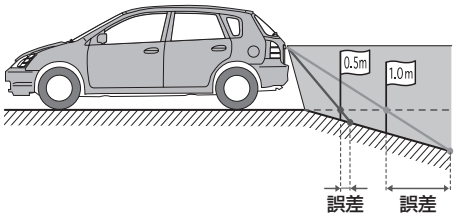
距離目安ラインは平らな路面に対しての距離の目安を示しています。そのため上り坂が後方にあるときには、実際の距離より手前に距離目安ラインが表示されます。例えば上り坂に障害物があった場合には、実際より遠くにあるように見えます。同様にガイドと実際の路面上の進路にも誤差が生じます。

■ 急な下り坂が後方にあるとき(例)

<画面>



<車の状況>



下り坂が後方にあるときには、実際の距離よりうしろに距離目安ラインが表示されます。そのため下り坂に障害物があった場合には、実際より近くにあるように見えます。同様にガイドと実際の路面上の進路にも誤差が生じます。

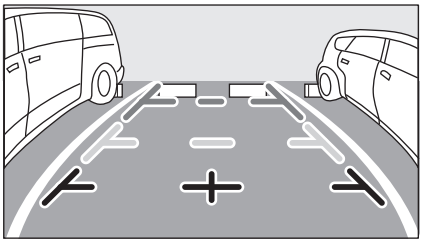
映像パターンを切りかえる(マルチビューカメラ接続時)

マルチビューリアカメラ接続時は、本機から映像パターンの切りかえ操作を行うことができます。カメラ映像表示中に

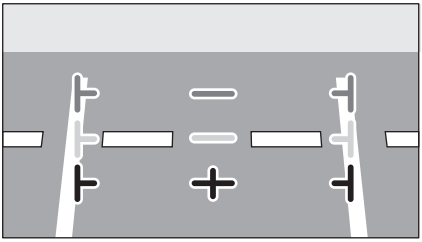
パノラマビュー　コーナービュー　トップビュー　バックビュー のいずれかをタッチすると映像パターンが切りかわります。

- 映像パターン切りかえのスイッチは約4秒で表示が消えます。再度表示させるには画面にタッチします。映像パターン切りかえ後もスイッチ表示が消えます。
- マルチビューリアカメラ接続時は、映像パターンによってガイド線の表示のしかたが異なります。

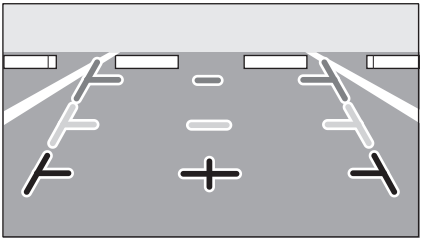
■ パノラマビュー表示例



■ トップビュー表示例



■ バックビュー表示例



- 映像パターンが「コーナー」に設定されている場合は、ガイド線は表示されません。
- ステアリング連動ガイド線はバックビューのみ表示されます。
- ガイド線の調整は「リアカメラガイド調整」(119ページ)を参照してください。
- 「車種専用チューニング」(6、125ページ)を設定した後は、「リアカメラガイド調整」は行わないでください。お車の状態によりガイド線の微調整が必要な場合は調整を行ってください。
- 映像パターンについて詳しくは、カメラの取扱説明書を参照してください。

フロントカメラ操作

本機にフロントカメラを接続した場合は「カメラ接続」を フロントカメラ に設定してください(118ページ)。インターフェースボックスを使用して接続する場合は「カメラ接続」を インターフェースボックス 、「インターフェースボックス　フロントカメラ接続」を あり に設定してください(118ページ)。

- 接続するカメラによっては接続を検出して自動で設定されます。

フロントカメラの映像を表示する

フロントカメラの映像は、ボイスタッチ(19ページ)、[＊](オプションスイッチ)(24ページ)を操作して表示します。ステアリングリモコンにカメラ映像呼び出し機能を割り当てることもできます(25ページ)。また、速度や指定した地点に連動して表示ができます。

- フロントカメラとリアカメラを接続した場合は、シフトレバーをバックギア(R)に入れるとフロントカメラの[＊](オプションスイッチ)操作/ボイスタッチ操作は無効となります。
- フロントカメラ映像表示中、 キャンセル をタッチすると元の画面に戻ります。または[＋][－][⏮][⏭]以外の本体スイッチを押すとフロントカメラ映像が解除されます。

■ ボイスタッチでフロントカメラ映像を表示する

1 「フロントカメラ」と発話する

2 元の画面に戻るには「キャンセル」と発話する

■ オプションスイッチでフロントカメラ映像を表示する

[＊](オプションスイッチ)にフロントカメラを登録し(24ページ)、[＊](オプションスイッチ)を押す、または1秒以上押して フロントカメラ にタッチします。

■ 車の速度と連動してフロントカメラ映像を表示する

車が減速し停止前(8km/hくらい)になると、自動的にフロントカメラの映像が本機に表示されます(「フロントカメラ速度連動表示」(120ページ)が する に設定されている場合)。

■ 地点を登録してフロントカメラ映像を表示する

あらかじめフロントカメラの映像を表示したい地点を登録しておくと、その地点では自動的にフロントカメラの映像が本機に表示されます(「フロントカメラ地点連動表示」(120ページ)が する に設定されている場合)。

フロントカメラのガイド線について

フロントカメラガイド線の表示は、初期設定ではOFFに設定されています。

■ ガイド線の見かた

① **車幅ライン**
車幅の目安を示します。

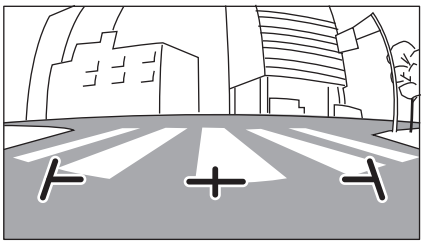
- 中心位置で約0.5m先を示します。
- 車や路面の状況で写る範囲が異なることがあります。
- カメラに写る範囲には限度があり、バンパーの両端付近やバンパーの下にあるものは写りません。
- 映像は実際の色合いと異なる場合があります。
- 車両によりガイドが左右にずれて表示されることがありますが、故障ではありません。

映像パターンを切りかえる(マルチビューカメラ接続時)

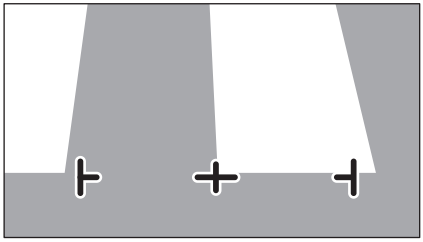
マルチビューフロントカメラ接続時は、本機から映像パターンの切りかえ操作を行うことができます。カメラ映像表示中に
パノラマビュー コーナービュー トップビュー のいずれかをタッチすると映像パターンが切りかわります。

- 映像パターン切りかえのスイッチは約4秒で表示が消えます。再度表示させるには画面にタッチします。映像パターン切りかえ後もスイッチ表示が消えます。
- マルチビューフロント接続時は、映像パターンによってガイド線の表示のしかたが異なります。

■ パノラマビュー表示例



■ トップビュー表示例



- 映像パターンが「コーナー」に設定されている場合は、ガイド線は表示されません。
- ガイド線の調整は「フロントカメラガイド調整」(120ページ)を参照してください。
- 映像パターンについて詳しくはカメラの取扱説明書を参照してください。

サイドカメラ操作

本機にサイドカメラを接続した場合は「カメラ接続」を サイドカメラ に設定してください(118ページ)。インターフェースボックスを使用して接続する場合は「カメラ接続」を インターフェースボックス 、「インターフェースボックス　サイドカメラ接続」を あり に設定してください(119ページ)。

サイドカメラの映像を表示する

サイドカメラの映像は、ボイスタッチ(19ページ)、[＊](オプションスイッチ)(24ページ)を操作して表示します。ステアリングリモコンにカメラ映像呼び出し機能を割り当てることもできます(25ページ)。また、指定した地点やウィンカーに連動して表示ができます。

- サイドカメラ映像表示中、キャンセル をタッチすると元の画面に戻ります。または[＋] [－] [|◀◀] [▶▶|]以外の本体スイッチを押すとサイドカメラ映像が解除されます。

■ ボイスタッチでサイドカメラ映像を表示する

1 「サイドカメラ」と発話する

2 元の画面に戻るには「キャンセル」と発話する

■ オプションスイッチでサイドカメラ映像を表示する

[＊](オプションスイッチ)にサイドカメラを登録し(24ページ)、[＊](オプションスイッチ)を押す、または1秒以上押して サイドカメラ にタッチします。

■ 地点を登録してサイドカメラ映像を表示する

あらかじめサイドカメラの映像を表示したい地点を登録しておくと、その地点では自動的にサイドカメラの映像が本機に表示されます(「サイドカメラ地点連動表示」(121ページ)が する に設定されている場合)。

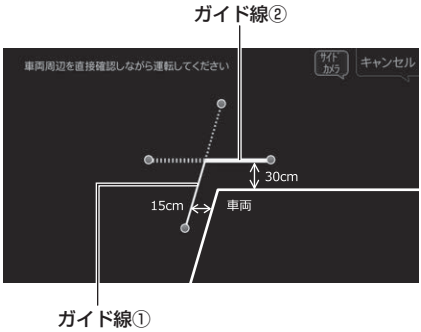
■ ウィンカーに連動してサイドカメラ映像を表示する

左ウィンカーに連動して、自動でサイドカメラ映像を表示することができます(「サイドカメラウィンカー連動表示」(121ページ)が「する」に設定されている場合)。

- HCE-CS20HD接続時、ウィンカー連動対応車種で車種専用チューニングを行った場合のみ使用することができます。

サイドカメラガイド線について

■ ガイド線の見かた



ガイド線①: 車両側方から約15cmの距離を示します。

ガイド線②: 車両前方から約30cmの距離を示します。

- 車や路面の状況で写る範囲が異なることがあります。
- 映像は実際の色合いと異なる場合があります。
- ガイド線の調整は「サイドカメラガイド調整」(121ページ)を参照してください。
- 「車種専用チューニング」(6、125ページ)を設定した後はサイドカメラガイド調整を行わないでください。車の状態によりガイド線の微調整が必要な場合のみ調整を行ってください。

コーナーカメラ操作

本機にコーナーカメラを接続した場合は「カメラ接続」を コーナーカメラ に設定してください(118ページ)。インターフェースボックスを使用して接続する場合は「カメラ接続」を インターフェースボックス、「インターフェースボックス　コーナーカメラ接続」を あり に設定してください(119ページ)。

コーナーカメラの映像を表示する

コーナーカメラの映像は、ボイスタッチ(19ページ)、[＊](オプションスイッチ)(24ページ)を操作して表示します。ステアリングリモコンにカメラ映像呼び出し機能を割り当てることもできます(25ページ)。また、ソナーに連動して表示ができます。

- コーナーカメラ映像表示中、キャンセル をタッチすると元の画面に戻ります。または[＋][－][|◀◀][▶▶|]以外の本体スイッチを押すとコーナーカメラ映像が解除されます。

■ ボイスタッチでコーナーカメラ映像を表示する

1 「コーナーカメラ」と発話する

2 元の画面に戻るには「キャンセル」と発話する

■ オプションスイッチでコーナーカメラ映像を表示する

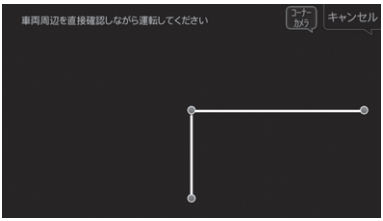
[＊](オプションスイッチ)にコーナーカメラを登録し(24ページ)、[＊](オプションスイッチ)を押す、または1秒以上押して コーナーカメラ にタッチします。

■ クリアランスソナーに連動してコーナーカメラ映像を表示する

一部車種ではクリアランスソナーが反応したとき、自動でコーナーカメラ映像を表示することができます(「コーナーカメラソナー連動」(121ページ)のレベルがOFF以外に設定されている場合)。

- クリアランスソナー対応車種とのCAN接続が必要です。また、「車種専用チューニング」(6、125ページ)で対応車種と対応コーナーカメラを選択した場合のみ使用することができます。
- コーナーカメラのソナー連動表示は、フロントカメラ/サイドカメラ地点連動表示、フロントカメラ速度連動表示より優先して表示されます。

コーナーカメラガイド線について



- 車両とガイド線の距離はコーナーカメラの取扱説明書を参照してください。
- 車や路面の状況で写る範囲が異なることがあります。
- 映像は実際の色合いと異なる場合があります。
- ガイド線の調整は「コーナーカメラガイド調整」(121ページ)を参照してください。
- 「車種専用チューニング」(6、125ページ)を設定した後はコーナーカメラガイド調整を行わないでください。車の状態によりガイド線の微調整が必要な場合のみ調整を行ってください。

ルームカメラ操作

本機にルームカメラを接続した場合は「カメラ接続」を ルームカメラ に設定してください(118ページ)。インターフェースボックスを使用して接続する場合は「カメラ接続」を インターフェースボックス 、「インターフェースボックス　ルームカメラ接続」を あり に設定してください(119ページ)。

ルームカメラの映像を表示する

ルームカメラの映像は、[＊](オプションスイッチ)(24ページ)を操作して表示します。ステアリングリモコンにカメラ映像呼び出し機能を割り当てることもできます(25ページ)。また、ダブルゾーンコミュニケーション中にルームカメラの映像を本機に写すことができます。

■ オプションスイッチでルームカメラ映像を表示する

[＊](オプションスイッチ)にルームカメラを登録し(24ページ)、[＊](オプションスイッチ)を押す、または1秒以上押して ルームカメラ にタッチします。

- ルームカメラ映像表示中、 キャンセル をタッチすると元の画面に戻ります。

カメラ画像の調整

ルームカメラの画質調整は、設定画面から行ってください。

カメラ画像を調整する

1 **カメラ画面にタッチし、 画質調整 にタッチする**

調整操作、設定内容/設定値については「画質調整」(131ページ)を参照してください。

ガイド表示のON/OFF

1 **カメラ画面にタッチし、 画質調整 にタッチする**

2 **固定ガイドOFF または ステアリングガイドOFF にタッチする**
とすべての固定ガイドまたはステアリング連動ガイドが消える

ステアリングガイドはリアカメラのみ表示されます。

3 **再度表示させるには 固定ガイドON または ステアリングガイドON にタッチする**

コーション表示位置の変更

画面に表示される注意文の位置を変更することができます。

1 **カメラ画面にタッチし、 画質調整 にタッチする**

2 **コーション↑ または コーション↓ にタッチする**

センサー表示のON/OFF

- センサー対応車種とのCAN接続が必要です。

1 カメラ画面にタッチし、画質調整 にタッチする

2 センサー表示OFF にタッチするとセンサー表示が消える

3 再度表示させるには センサー表示ON にタッチする

センサー位置調整

画面に表示されるセンサーの位置を変更することができます。

- センサー対応車種とのCAN接続が必要です。

1 カメラ画面にタッチし、画質調整 にタッチする

2 センサー位置調整 にタッチする

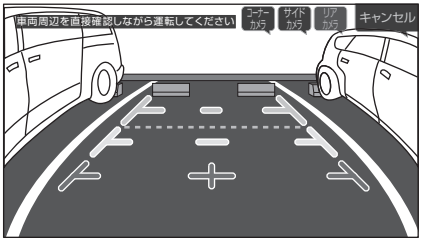
3 右下 左下 左上 右上 にタッチしてセンサーの位置を調整する

映像を表示するカメラを切りかえる

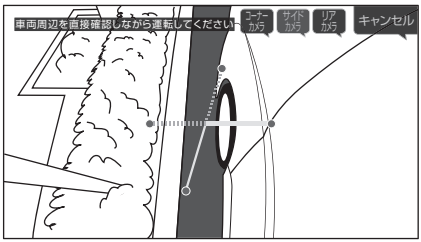
リアカメラ映像表示中にサイドカメラ/コーナーカメラの映像に切りかえて周囲を確認できます。また、フロントカメラ･サイドカメラ･コーナーカメラのいずれかのカメラを複数接続している場合、カメラ間の映像を切りかえることができます。

切りかえたいカメラ名を発話するか、カメラ名のタッチスイッチにタッチすると、選んだカメラの映像に切りかわります。

■ リアカメラの映像表示例



■ サイドカメラの映像表示例



リアビジョン操作

本機にリアビジョンを接続すると、車室内の前席(運転席、助手席)と後部座席で、同じオーディオソースを楽しむことはもちろん、それぞれ独立した空間をつくり出すこともできます。例えば、前席でラジオを聴きながら、後部座席ではテレビを楽しむことができます(後席個別モード)。
リアビジョン連動設定に対応したリアビジョンを接続してダブルゾーンメニューで後席個別に設定した場合、リアビジョンのモニター開閉や電源OFF/ONに連動して、リアビジョン側で再生されている映像の再生が中断/再開します。また、リアビジョン側の休憩モードにも連動して、映像の再生を中断/再開します(「後席個別」(152ページ)を「する」設定時)。

リアビジョン設定

1 **[♪]または[▲]スイッチを押し、リアビジョン/アロマ にタッチする**

2 **設定する項目にタッチし、設定を行う**

プラズマクラスター

リアビジョンのプラズマクラスター機能を操作できます。タッチするたびに「弱」→「強」→「ターボ(※)」→「切」に風量設定が切りかわります。

※ ターボ付きリアビジョンのみ

- 「リアビジョン　プラズマクラスター設定」(117ページ)を「あり」に設定してください。
- 設定した風量はインジケータに表示されます。
- リアビジョン製品側のNAVIリンク設定を「ナビ」に設定してください。「リアビジョン」に設定すると本機からの操作を行うことができません。

イルミネーション

イルミネーション切りかえ機能付きリアビジョンのイルミネーション色を、ホワイト･ブルー･グリーン･アンバー･レッド･パープル･スカイブルーから選ぶことができます。OFFにすることもできます。

- 「リアビジョン　イルミネーション設定」(118ページ)を「あり」に設定してください。
- 「リアビジョン　イルミネーション色」(118ページ)でも設定ができます。
- リアビジョン製品側のNAVIリンク設定を「ナビ」に設定してください。「リアビジョン」に設定すると本機からの操作を行うことができません。

サウンドスピーカー設定

出力するスピーカーを選ぶことができます。

前席のみ: **フロントスピーカーのみ音声を出力します。後席で子どもが寝ているとき等に使用してください。**

後席のみ: **リアスピーカーのみ音声を出力します。後席モニターで視聴中のソースを前席では聞かないときに使用してください。**

前後座席: **設定されているすべてのスピーカーから出力されます。**

- 前席のみ または 後席のみ を選択中は、下記の音質調整操作を行うことはできません。また、設定した音質調整は無効になります。
  - 車種専用サウンド
  - T.CORR
  - X-OVER
  - FAD./BAL.
- 後席のみ に設定した場合でも、ナビ音声案内･電話･操作音は前席スピーカーから出力されます。

前席優先/後席優先

T.CORR(タイムコレクション)(129ページ)のリスニングポジションを切りかえることができます。

前席優先: **運転席に最適な数値に設定されます。**

後席優先: **後席に最適な数値に設定されます。**

- 「車種専用チューニング」(6、125ページ)で、車種を設定していない場合は設定ができません。また、選択した車種に、T.CORR(タイムコレクション)データがない場合も設定ができません。
- 「スピーカー設定」を 前後座席 に設定している場合にだけ、本設定を行うことができます。

アロマ

カーアロマの噴出量設定を強/中/弱/OFFから選ぶことができます。

- カーアロマ接続時のみ設定することができます。
- カーアロマとリアビジョンを接続する場合は、カーアロマに対応したリアビジョンが必要です。
- 開閉カバー付きカーアロマを接続している場合、カバーが閉じていると操作できません。

ダブルゾーン設定

1 **[♪]スイッチを押し、ダブルゾーン にタッチする**

2 **設定する項目にタッチし、設定を行う**

後席個別

後席モニターに表示する映像を設定できます。

TV/HDMI/USB/外部入力:
後席個別モード。前席(本機)のオーディオソースに関わらず、後席モニターに選んだオーディオソースの映像が表示されます。音声は後席スピーカーから出力されます。

フロントリンク:
前席(本機)と同じ映像が後席モニターに表示されます。

前と同じ: **前席(本機)と同じオーディオソース画面がリアビジョンでのリモコン操作向けに簡易表示されます。**

- 「後席個別」モードに切りかえたとき、「後席スピーカー音量」が21以上に設定されている場合は、20に変更されます。

前席スピーカー音量

前席スピーカーの音量レベルを調整できます。
消音 にタッチするとフロントスピーカーの音を消すことができます。

設定値: **0 ～ 35(初期設定値は10)**

- 「後席個別」で 前と同じ フロントリンク を選んだときは、前席スピーカー音量は調整できません。

後席スピーカー音量

後席スピーカーの音量レベルを調整できます。
消音 にタッチするとリアスピーカーの音を消すことができます。

設定値: **0 ～ 35(初期設定値は10)**

- 「後席個別」で 前と同じ フロントリンク を選んだときは、後席スピーカー音量は調整できません。
- ナビの案内音声・通話音は後席スピーカーからは出力されません。
- 後席スピーカーから出力されるオーディオ音声には音質調整の設定は適用されません。「後席個別」で フロントリンク を選んだときは、音質調整の設定は適用されますが、Media Xpanderの効果のみ反映されません。

リアビジョンから本機を操作する

別売リモコン(RUE-RST01/RUE-RST02)の[リア専用メニュー]スイッチを押すと、リアビジョンにダブルゾーンメニュー画面が表示されます。リモコンでダブルゾーンメニュー画面を操作すると、後席(リアビジョン)から本機の操作ができます。リモコン操作については「リモコンから操作する」(156ページ)および、リアビジョンの取扱説明書を参照してください。

目的地を探す:
ナビメニュー画面が表示されます。

TVをみる: 後席個別TVモードになり、後席側でTV放送を見ることができます(64ページ)。

HDMIをみる:
後席個別HDMIモードになり、後席側でHDMIの映像を見ることができます(70ページ)。

USBをみる: 後席個別USBモードになり、後席側でUSBの音楽や動画を再生することができます(78ページ)。

外部入力をみる:
後席個別外部入力モードになり、後席側で外部入力機器の映像を見ることができます(83ページ)。

前の席と同じ オーディオ:
後席表示設定を「前と同じ」に設定します。

地図をみる: 現在地の地図画面が表示されます(30ページ)。

リアビジョンからオーディオソースを選ぶ

後席(リアビジョン)から別売のリモコンを使ってオーディオソースを選ぶことができます。リモコンの操作方法については「リモコンから操作する」(156ページ)を参照してください。

1 リモコンの≪♪AUDIO≫を押す

2 ジョイスティックを上下に押してオーディオソースを選択し、≪決定≫を押す

- 後席個別モード時にオーディオソースを変えると、後席個別モードは解除されます。
- 後席専用画面が表示されます。

ダブルゾーンコミュニケーション

後部座席では聞こえにくい運転手の声を、ハンズフリーマイクを利用してリアスピーカーから出力することができます。運転中でも、後ろを振り返ることなく会話がしやすくなります。
本機にルームカメラ(別売)を接続すると、後部座席の映像を映すことができます。また、アルパイン製ドライブレコーダー(別売)をリアビジョン(別売)と接続すると、後席の搭乗者はリアビジョン側に表示される前席側(運転席もしくは助手席)の車室内映像を見ながら会話することができます。

■ 本機側の画面表示例(ルームカメラ未接続時)

■ リアビジョン側の画面表示例(テレビソース視聴・後席個別モード時)

- アルパイン製ドライブレコーダーの映像をリアビジョンに映すには、リアビジョンリンクに対応したリアビジョンおよびリアビジョン側での設定が必要です。詳しくはリアビジョン側の取扱説明書をご覧ください。

1 **[＊](オプションスイッチ)を1秒以上押し、表示されたリストの ダブルゾーンコミュニケーション にタッチする**

■ ダブルゾーンコミュニケーション画面以外の表示例

- (マイクアイコン)が画面に表示されます。
  にタッチすると、ダブルゾーンコミュニケーション画面が表示されます。
- ルームカメラ接続時は後部座席の映像が表示されます。
- 「ダブルゾーンコミュニケーション」は[＊](オプションスイッチ)の長押しに設定されています。変更する場合は「オプションスイッチに機器を登録する」(24ページ)を参照してください。
- ステアリングリモコンにダブルゾーンコミュニケーション機能を割り当てることができます(25ページ)。
- Amazon Alexa/Apple CarPlay/Android Autoの画面表示中および対話中は、ダブルゾーンコミュニケーションは使用できません。

2 **ハンズフリーマイクに向かって発話する**

3 **ダブルゾーンコミュニケーションを終了する場合は、 終了 にタッチする、または[＊](オプションスイッチ)を1秒以上押して ダブルゾーンコミュニケーション にタッチする**

ダブルゾーンコミュニケーション発話が終了します。

- 室内の状況により、送話音量･オーディオミュートをそれぞれ調整してください。
- 車種によっては、スピーカーの位置が後席から遠いため、前席の発話音声が聴き取りにくい場合があります。
- ダブルゾーンコミュニケーション中は、音質調整を行うことはできません。
- 取付車両のサイズ、形状、スピーカー位置などによってはダブルゾーンコミュニケーション使用時にハウリングが起き、本機能を使用できない場合があります。

2画面表示⇔全画面表示を切りかえる

ダブルゾーンコミュニケーション時、ルームカメラ映像の表示を2画面または全画面に切りかえることができます(「ルームカメラ2画面表示」155ページ「する」設定時)。

1 ルームカメラ画面にタッチし、全画面表示 にタッチする

2 2画面表示にするにはルームカメラ画面にタッチし、2画面表示 にタッチする

ダブルゾーンコミュニケーション設定

ダブルゾーンコミュニケーションに関する設定を行うことができます。

1 ダブルゾーンコミュニケーション画面にタッチし、設定したい項目の、◀ または ▶ にタッチして設定する

- 送話音量 :リアスピーカーに出力する音量を調整します。
  設定値: 1 ～ 7(初期設定値は5)
- オーディオミュート :ダブルゾーンコミュニケーション時のオーディオソース音量のミュートレベルを調整します。
  初期設定値: 弱
- ルームカメラ連動 :ルームカメラ接続時、ダブルゾーンコミュニケーション画面にルームカメラ映像を表示するかどうか設定します。
  初期設定値: する
- ルームカメラ2画面表示 : する に設定すると、ルームカメラ映像の2画面表示を行うことができます。
  初期設定値: する

2 設定が終了したら ⮌ にタッチする

- 終了 にタッチするとダブルゾーンコミュニケーションモードが解除されます。

ダブルゾーンサウンドコントロール

後席(リアビジョン)のソースが「後席個別」モードのときに、前席(本機)または後席(リアビジョン)の視聴の妨げとならない音量の目安をインジケータ色で表示します。
前席(本機)の音量が大きいときは、本機の音量調整スイッチ[−]で、後席(リアビジョン)の音量が大きいときは、別売のリモコン(RUE-RST01/RUE-RST02)でリアビジョンの音量を下げてください。

- ダブルゾーン設定画面の「後席スピーカー音量」(152ページ)でも後席(リアビジョン)の音量調整をすることができます。
- 「ダブルゾーンサウンドコントロール」(118ページ)を「ON」に設定してください。

■ 前席側(本機)の画面表示例

(前席音量をVol. 21にしたとき)

赤色

音量が適正値を超えると、インジケータが青色から赤色に変化します。

- 車種専用チューニング設定が未設定の場合には、本機能を使用することはできません。

リモコンから操作する

ダブルゾーン設定でリアビジョンに映し出される本機の地図画面やオーディオソースを別売のリモコンRUE-RST01/ RUE-RST02で、リアビジョン側から走行中でも操作することができます。

- RUE-RST02の操作は、RUE-RST02添付の取扱説明書を参照してください。
- 本機を直接リモコン操作することはできません。
- リアビジョンに映し出される映像によりスライドスイッチを切りかえてください。
- 後席個別モードまたは後席表示設定で設定したリアビジョン映像によりリモコンの操作は異なります。
- HDMIソースの再生操作はリモコンでは操作できません。
- リモコンの操作音は後席スピーカーから出力されます。ただし、ダブルゾーン設定を「フロントリンク」に設定したときと音量調整操作の操作音は、前席スピーカーから出力されます。

■ スライドスイッチ

【NAVI】	ダブルゾーンメニュー /地図操作などを行う時に切りかえてください。
【DVD】	オーディオソースの操作を行う時に切りかえてください。
【MONITOR】	リアビジョンのモニターの設定を行うときに切りかえてください。

■ 基本操作:スライドスイッチ【DVD】

AV	[地図画面表示時]:オーディオソース画面を表示します。 長押しするとオーディオソースをOFFにします。オーディオソース OFFの状態で長押しすると、オーディオソースがONに戻ります。
現在地	<後席表示設定「フロントリンク」>:現在地画面を表示します。 現在地画面では音声案内を出力し(ルート案内中のみ)、路線名/現在地名の表示切りかえを行います。 長押しすると路線名/現在地名の表示切りかえのみを行います。
♪ AUDIO	オーディオソース選択画面を表示します。 [地図画面表示時]:オーディオメニュー画面を表示します。 [オーディオソース画面時]:オーディオソースを選ぶ画面を表示します。
戻る	一つ前の画面に戻ります。 [地図画面表示時]:長押しすると自宅地点を表示します。
NAVI	<後席表示設定「フロントリンク」>:ナビメニュー画面を表示します。
ジョイスティック(上/下/左/右)	画面に表示される項目を選びます。 [地図画面表示時]:地図の移動を行います。押し続けると高速でスクロールします。
◀/▲/▼/▶	
決定	選択した項目を決定します。 [地図画面表示時]:スクロールした地図の地点を決定します。
トップメニュー	使用しません。
DVDメニュー	使用しません。
テレビ	ソースをテレビに切りかえます。
DVD	使用しません。
HDMI	ソースをHDMIに切りかえます。
リア専用メニュー	ダブルゾーンメニュー画面を表示します。
音量 ∧/∨	音量を調整します。 後席個別モード時は、TV·HDMIの音量(後席スピーカー)調整になります。

🎤	ダブルゾーンコミュニケーションモードに切りかわります。
消音	音量をミュートします。再度押すと元の音量に戻ります。
チャンネル ∧ / ▶▶I (オーディオ操作時のみ)	[テレビ･ラジオ]:プリセットが1つずつアップします。ラジオは押し続けると選局モードによって、自動選局または手動選局で連続して周波数を切りかえます。 [テレビ･ラジオ以外のオーディオ]: 曲の頭出しをします。押し続けると早送りをします。
チャンネル ∨ / I◀◀ (オーディオ操作時のみ)	[テレビ･ラジオ]:プリセットが1つずつダウンします。ラジオは押し続けると選局モードによって、自動選局または手動選局で連続して周波数を切りかえます。 [テレビ･ラジオ以外のオーディオ]: 曲の頭出しをします。押し続けると早戻しをします。
▶/II (オーディオ操作時のみ)	[テレビ･ラジオ以外]:一時停止/再生をします。 [テレビ]:ホームモード/お出かけモードを切りかえます。押し続けるとお出かけスキャンを実行します。お出かけスキャン実行中に押すと、お出かけスキャンを中止します。 [ラジオ]:バンドを切りかえます。押し続けるとオートメモリーを行います。
1 ～ 9(※1)	数字の1 ～ 9を入力します。 [テレビ]:プリセット1 ～ 9の放送局を受信します。 [ラジオ]:プリセット1 ～ 9の放送局を受信します。長押しするとプリセットスイッチに放送局を記憶します。
0(※1)	数字の0を入力します。 [テレビ]:プリセット11の放送局を受信します。
削除(※1)	入力した文字を1つ削除します。 [テレビ]:プリセット10の放送局を受信します。
完了(※1)	数字入力を完了します。 [テレビ]:プリセット12の放送局を受信します。
設定	設定画面を表示します。 スライドスイッチ【NAVI】:本機の設定画面を表示します。 スライドスイッチ【DVD】/【MONITOR】:リアビジョン側の設定画面を表示します。

※1 テレビ:プリセットした放送局受信中は、ワンセグ/地上デジタル放送を切りかえます。

■ 地図画面専用操作:スライドスイッチ【NAVI】

1	地図の方位(ノースアップ/3Dマップ/ヘディングアップ)を切りかえます。
2(※2)	現在地画面の、ナビ操作/オーディオ操作スイッチの表示(切換>> → 切換>> → 切換>> → OFF<< → ON>>)を切りかえます。
3(※2)	ナビ操作スイッチの 自宅 または 路線切換、オーディオ操作スイッチの ミュート と同じ操作です。それぞれ自宅誘導、ルート案内中の一般道/高速道切りかえ、ミュートON/OFFを行います。
4(※2)	現在地画面のナビ操作スイッチ/オーディオ操作スイッチを切りかえます。または地図画面のランドマークの表示/非表示を切りかえます。
5(※2)	ナビ操作スイッチの お気に入り または 地点登録、オーディオ操作スイッチの ⏮ と同じ操作です。それぞれお気に入り周辺検索画面表示、地点登録画面表示、曲/映像/放送局等の頭出し・長押しで早戻しを行います。
6(※2)	ナビ操作スイッチの ルート または 地図設定、オーディオ操作スイッチの ⏭ と同じ操作です。それぞれルート画面表示、地図の表示設定、曲/映像/放送局等の頭出し・長押しで早送りを行います。
7(※2)	ナビ操作スイッチの 地図切換 と同じ操作です。地図切換画面表示を行います。
0(電話番号)	ナビメニューの「電話番号から探す」画面を表示します。
削除(周辺)	お気に入り周辺検索画面を表示します。
完了(名称)	ナビメニューの「名称で探す」画面を表示します。

※2 現在地画面に表示されているナビ操作スイッチ/オーディオ操作スイッチ(32ページ)の左から順に、リモコンの2・3・4・5・6・7が割り当てられています。

■ リアビジョン操作:スライドスイッチ【MONITOR】

⏻(電源)	リアビジョンの電源をON/OFFします。
入力切替	リアビジョンの入力を切りかえます。
設定	スライドスイッチ【DVD】/【MONITOR】:リアビジョン側の設定画面を表示します。
(プラズマクラスター)	プラズマクラスターのモードを切りかえます。 • プラズマクラスター付リアビジョンのみ
(ルームランプ)	リアビジョンのルームランプを一定時間点灯させます。 • ルームランプ付リアビジョンのみ
エアコン	リアエアコン操作画面を表示します。 • 対象のリアビジョンとエアコン・コントロールユニットを取り付けた場合のみ

9. 付録

困ったときは(よくあるご質問)

Q　自車位置って何?

A　現在、自分の車がいる場所のことです。どの画面からでも現在地(自車位置画面)を表示できます。

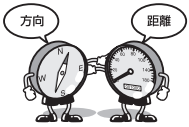
Q　どうして自車位置(現在地)がわかるの?

A　自車位置は「GPS信号とジャイロ/車速センサー」を組み合せたシステムで割り出します。

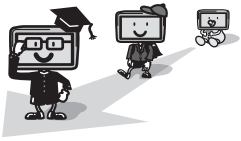
● GPS(グローバル・ポジショニング・システム)とは
高度21,000kmの宇宙空間に浮かぶ3個以上のGPS衛星の電波を受信して、自車位置を割り出すシステムです。4個以上の衛星を受信すると3次元側位(高度/経度/緯度)となり、3個の場合は2次元(経度/緯度)となります。この情報は、米国国防総省によって管理されており、意図的に精度をかえる場合があります。

● 高い精度で使い続けるために次のような利用をおすすめします。
- ナビ画面でGPS信号が受信できていることを確認してから走行する
- 良好な信号が受信できるようにアンテナをきれいにする
- アンテナや車速信号の接続に異常がないか定期的に確認する
- やさしくていねいに扱う

● ジャイロ・車速センサーとは
ジャイロセンサーとは航空機や船舶などの移動体の方向変化を計測するためのもので、カーナビゲーション用に使用する場合は車速センサーと共に用います。ジャイロセンサーで方向を、車速センサーで走行距離を検出して自車位置を算出します。



● 使い始めの自車位置精度について
ジャイロ・車速センサーはその車の走行情報を蓄積しなければ本来の性能を発揮できません。今までの情報がないシステムの取り付け直後や今までの情報が生かせないタイヤ交換直後などは、自車位置が正しく表示されないことがあります。そのまま走行を続けると、センサーの情報から算出した位置とGPSの位置の誤差量を学習して次第に精度が上がっていきます。



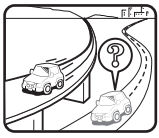
このシステムの場合、GPS信号を受信できない場合でも測位が続けられますし、ジャイロセンサーだけの走行で表われる「ずれの積み上げ」も発生しないメリットがあります。

Q　どうして自車位置がずれるの?

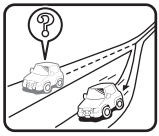
A　記憶されている車速信号情報は車やタイヤの種類で異なります。別の車に付けかえる/タイヤを履きかえる/タイヤローテーションを行うと、車速信号情報と実際の位置情報にずれが生じます。このような場合は距離補正値を一度初期化して、再度、自動距離補正を行う必要があります(「距離補正」123ページ)。

- GPS衛星は米国の国防総省により管理されており衛星自体が故意に位置精度を落とすことがあります。このようなときは自車位置マークがずれることがあります。多少の「ずれ」は本機性能の限界も考えられます。またGPSが受信できない場合や次のようなときにも自車位置がずれることがあります。

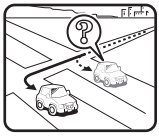
高速道路を走行している場合、その側道に自車位置マークがのるときがあります。またその逆もあります。



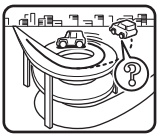
角度の小さなY字路や平行路を走行しているとき他方の道路に自車位置マークがのる場合があります。



碁盤目状の道路を走行している場合、隣りの道路に自車位置マークがのるときがあります。



螺旋状の道路やヘアピンの道路などを走行している場合、自車位置マークがずれるときがあります。



勾配の急な山岳等を走行している場合、自車位置マークがずれるときがあります。

雪道や舗装していない道路などの滑り易い道路を走行しているとき、自車位置マークがずれることがあります。また、タイヤチェーン等を装着して走行している場合でも、自車位置マークがずれることがあります。

以下の場合は故障ではありません。そのまましばらく走行を続けると自動的に修正します。
- 直線または緩やかなカーブを長い距離走行した直後。
- 立体駐車場などで切り返しや旋回をした場合。
- 混雑や渋滞で低速発進や停止を繰り返した場合。

ただし、高速道路と一般道路が重なっているときなどでは自動的に修正できない場合があります。このようなときは、自車位置を修正してください(「自車位置修正」124ページ)。
また、経路誘導中の場合は路線切換(「路線切換」32ページ)を行ってください。

Q　画面上に表示された「十字カーソル」を消すには?

A　地図をスクロールしたときの「十字カーソル」を消すには、**[現在地]** スイッチを押して現在地画面に戻してください。

Q　止まっているのに、どうして自車位置が勝手に動き回るの?

A　車速の接続が正しいか確認してください。接続が正しいときは、スピードセンサーコード(車速信号線)にノイズが乗っている可能性があります。ナビのACCやバッテリーコードにノイズサプレッサーを入れたり、スピードセンサーコードを車両配線から離してください。

Q　正しい案内がされなくなった

A　以下の事項を確認してください。

- タイヤを交換していませんか?
  タイヤ交換後、記憶されている車速信号情報と実際の位置情報にずれが生じてしまう場合がありますが、走行すると自動で補正されます。それでもずれが生じる場合には、距離補正値を初期化してください(「距離補正」123ページ参照)。
- スピードセンサーコード(車速信号線)は外れていませんか?
  「車両情報」(107ページ)で確認し、お買い上げの販売店にご相談ください。
- GPSアンテナを確認する。
  「車両情報」(107ページ)で確認し、お買い上げの販売店にご相談ください。

Q　音声案内が遅れるのは?

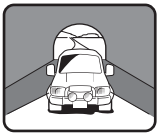
A　自車位置と現在地に誤差が生じるためです。
本機は距離係数などを学習し、自動補正を行いますので、走行するたびに自車位置精度が向上していきます。どうしても案内が遅れる場合には手動補正する必要があります(「距離補正」123ページ)。

Q　VICS渋滞情報の一部がいつのまにか表示されなくなった

A　道路交通情報をナビゲーションなどに的確に表示できるよう、VICSリンク(主要交差点毎に道路を区切った単位)というデータ方式を採用しています。このため、道路の新設や改築、信号機の設置等により道路交通状況に変化をきたす場合は、VICSリンクの追加や変更を行っています。この結果、新しいVICSリンクにより情報の提供が行われると、ごく一部の地域ですが、変更前のVICSリンクでは情報が提供されなくなります。
ただし情報提供サービスを維持するため、変更前のVICSリンクにも変更後3年間は、従来通り情報を提供する仕組みになっています。そのため、地図ソフトの発売時期から3年間程度経過すると、地図画面上で渋滞情報(赤・橙・緑色の矢印等)などを表示できない場所が徐々に出てきます。この現象はVICS地図表示でのみ発生します。VICSリンクは随時更新されますので、できるだけ新しい地図のご利用をおすすめします(本製品の道路単位は2021年11月版です)。

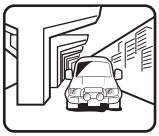
Q　どうしてGPSが受信できないの?

A　GPSアンテナ近くで携帯電話などを使用したり、次のような場所ではGPSが受信できないことがあります。



トンネルの中

高層ビル等の間



高架道路の下

樹木の間

- ルーフキャリアなどの使用時には、GPS衛星の電波がさえぎられて自車位置を測位できなくなることがあります。このようなときは、アンテナとルーフキャリアを離して設置してください。
- ナビ本体のアースの接続は確実でしょうか?
  お買い上げの販売店にご相談ください。

Q　ナビゲーションを高い精度で使うには?

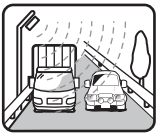
A　使いはじめなどは、受信感度の良い状態で100km以上走行することをおすすめします。

Q　VICSサービスの提供区域なのに受信されない

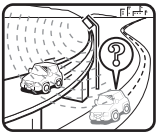
A　VICSサービスの提供区域は、全都道府県の区域でおおむねNHK-FM放送を受信することができる範囲です。ただしサービスの提供区域であっても、電波の状況によりVICSサービスを利用できない場合があります。

Q　どうしてFM多重放送やVICS情報が受信できないの?

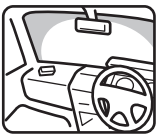
A　FM多重放送は、FM放送の音声のすき間にVICS情報を盛り込みます。利用する場合は、情報を提供している放送局に周波数を合わせる必要があります。また、情報を取り込んでから表示するので、受信状態になるとすぐに表示されるわけではありません。受信しにくいときは、受信エリアの確認をしてください。
VICSには、さらに狭い範囲を対象にした「光ビーコン」、「電波ビーコン」があります。別売のETC2.0車載器が必要です。
この情報は次のようなとき受信できないことがあります。


大型車と並走

アンテナの上に物を置く


高速高架道路の下

雪などの悪天候


アンテナ受光部の汚れ
フロントガラスの汚れ

- 高速高架下の一般道を走行している場合に、高速道路のITSスポットから情報を受信してしまう場合があります。

Q　VICSの渋滞情報ってなに？

A　VICS渋滞情報は、地図上に渋滞地点や渋滞区間を「矢印」で提供します。方向は矢印で、混み具合は色(渋滞は赤)で表します(「渋滞情報や道路交通情報マークの表示例」59ページ)。

Q　ルートを外れたらどうするの?

A　ルートの外れには「測位誤差」によるもの「運転ミス」によるものの二つがあります。ルートを走行中に自車位置が近接する道路に移動してしまうのが「測位誤差」によるものです。
この場合はそのまま走行を続けると自車位置は「本来の道路」に戻ってきます。
案内している交差点で曲がれなかったときなどの間違いによるルートの外れは、リルート機能によって「新たなルート」を自動的に探し出してくれます(「リルート」53ページ)。

Q　ルートを消すにはどうするの?

A　ルートは目的地周辺で案内を終了しますが、目的地情報は残ります。また、目的地への接近が少ないといつまでも目的地への案内を続けます。
これらを消す場合は、ナビメニュー画面でルートを消去してください(「ルート消去」53ページ)。

Q　ルートは記憶できないの?

A　ルートを記憶させることはできません。

Q　ルート探索対象道路は？

A　ルート探索対象道路は道幅が5.5m(一部3.0m)より広い道路となります。

Q　ルート探索のコツってなに?

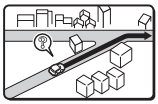
A　いろいろな使い方がありますが、下記は周遊コース設定のコツの一例です。
2泊3日の旅行で出発地に戻ってくる場合は以下の操作を行います。
1) 出発地(自車位置)を目的地に設定します(当然コースは表われません)。
2) 立ち寄る地点(経由地)をすべて設定します(44ページ)。
3) 自車位置から2泊3日のコースを確認します。
各経由地を宿泊地にしておくと、それぞれの日の走行距離を知ることができます。

Q　こんなルートは故障なの?

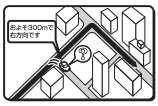
A　ルート探索やルート案内において、次のような場合がありますが故障ではありません。

- 冬期の閉鎖･歩行者天国･時間規制などで通行できない場合
- 新道の開通などにより通行できない場合
- 実際に通行できない道を表示する場合
- 再探索してもルートがかわらない場合
- ルートが渋滞している場合
- 目的地まで道路がなかったり、細い道しかない場合は目的地から離れた所までしかルート表示しない場合
- 高速優先であっても、高架下の一般道路の案内を行う場合または逆の場合
- Uターンするルートを表示する場合

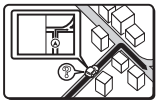
交差点で、案内されない場合があります。
また、交差点名称が案内されない場合もあります。



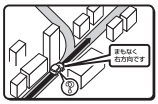
手前の交差点等で曲がったときなど音声案内される場合があります(案内ルートを外れた場合)。



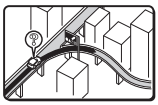
交差点拡大図が実際の道路形状と異なる場合があります。



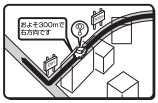
右左折案内が実際の道路形状と異なる案内をする場合があります。



高速/有料道路で方面案内が表示/案内されない場合があります。



案内距離が実際の道路状況と異なる場合があります。



Q　思い通りのルートを引くには？

A　ナビが自動で設定したルート以外の道を通って目的地まで行きたい場合は、利用するインターチェンジ(IC)を変更したり、通りたいルート上に経由地を追加すると、その地点を通るルートに変更することができます。経由地は最大で5箇所まで指定できます(44ページ)。

Q　時計(現在の時刻)がずれたら？

A　本機の時計表示はGPS情報から時間を算出していますので、時計表示がずれることはありません。ただし長い期間GPSが受信されない状態が続いた場合は時計がずれることがあります。GPSが受信されると正常な時間表示に戻ります。GPSを受信していてもずれている場合は本機を点検に出してください。

Q　バッテリーを外してもメモリーは消えないの?

A　地点情報、設定、ルート学習･渋滞学習、電話帳などは消えません。

Q　どうして夜画面がちらつくの?

A　電圧が低いときは画面がちらつくことがあります。

Q　駐車場マークを消すにはどうするの？

A　駐車場マークには、ランドマークとVICS情報マークがあります。地域によっては駐車場マークが画面いっぱいに表示され、地図が見づらくなる場合があります。109、110ページを参照して駐車場マークを消してください。

トラブルシューティング(故障かな？と思ったら)

操作のミスや勘違いを故障と間違えていませんか？ ⇨ 下の表または「Web版取扱説明書」(裏表紙)をご覧ください。 ⇨ お買い上げ店またはお近くのお問い合わせ窓口(裏表紙)までご相談ください。

操作中に停止したままになったり、画面が暗くなるなど正常に動作しなくなった場合は、一度エンジンスイッチをOFF/ONしてください。それでも正常動作しない場合は以下の表または「Web版取扱説明書」(裏表紙)を参照して処置を行ってください。

■ ナビゲーション関係

症状	原因	対処	参照ページ
動作しない	ヒューズが切れている	所定容量のヒューズと交換する	
	周囲の温度が50度以上である	窓を開けてしばらく走行するなど、車内の温度を50度以下にする	
	結露している	しばらく(1時間程度)放置し、乾いてから使う	
	正しく接続されていない	取付説明書を参照して正しく接続されているか確認する。また、コードなどが極端に折れ曲がっていないか確認する	
	内部のマイコンがノイズなどの原因で誤動作してしまった	一度エンジンスイッチをOFF/ONし、本機をリセットする	
画面がふらつく	電圧が低い	車両のバッテリーや充電系を点検する	
走行しても地図が動かない	現在地画面以外になっている	現在地画面を表示させる	30ページ
自車位置を正しく測定できない	ACCが「OFF」になってから自車位置が変わった フェリーボートによる移動 駐車場のターンテーブルによる回転 レッカー車による移動等	GPS信号受信状態(測位状態)でしばらく走行する	
自車位置マークが表示されない	現在地画面以外になっている	現在地画面を表示させる	30ページ
GPS信号が受信できない	GPS情報を利用できない状態である	周囲に障害物がない所へ移動する	
	GPSアンテナの近くで携帯電話を使っている	電話の使用をやめる	
	GPSを利用したレーダー探知機を使っている	本機のGPSアンテナと離して使用してください	
自車位置の誤差が大きい	衛星の配置が悪い	衛星の電波が受信しやすい場所へ移動する	
	2次元測位をしている		
	車速(スピードセンサーコード)が正しく接続されていない	取付説明書を参照して接続を確認してください	
データが保存できない	周囲の温度が50度以上である	窓を開けてしばらく走行するなど、車内の温度を50度以下にしてから保存する	
タッチスイッチがグレーになり操作できない	操作できないタッチスイッチをタッチした	車を安全な場所に移動し、停車後パーキングブレーキを引いてから操作する。また、状況・設定などにより、操作できないスイッチがある場合があります	

症状	原因	対処	参照ページ
音声案内が出力されない	音声案内の音量が小さく(音声OFFに)なっている	音量を大きくする	133ページ
案内音量が大きすぎる/小さすぎる	案内音量が調整されていない	音量を調整する	133ページ
画面が見にくい	画面のコントラストや明るさ調整が不適正である	コントラストや明るさを調整する	131ページ
VICS読み上げ音声が出力されない	音声読み上げの設定が「しない」になっている	VICSでの音声読み上げ設定を「する」にする	117ページ
VICS読み上げ音量が大きすぎる/小さすぎる	音声読み上げ音量が調整されていない	音量を調整する	133ページ
VICSで受信した文字・図形などの情報を表示できない	VICSの情報として送出されていない	地区等により送出される情報は異なる	
	VICSの放送エリア外である	VICSの放送エリアに移動する	
	放送局の周波数が合っていない	受信可能な放送局に周波数を合わせる	106ページ
	データの取り込みが完全ではない	更新データを受信するまで待つ	
VICS情報(渋滞、規制、駐車場)の地図表示ができない	「VICS設定」でこれらの表示条件が表示しない設定になっている	「する」に設定する	116、117ページ
	VICSの放送エリア外である	VICSの放送エリアに移動する	
VICS渋滞が考慮探索されない	「アクティブルートサーチ」が「しない」の設定になっている	「する」に設定する	114ページ
VICS情報の表示が乱れる	電波や光の情報がうまく受信されない	情報を受信次第表示が更新されます	
VICSの時間が時刻と違う	時計ではなく、表示中のVICS情報の提供時刻を示しています VICS情報を長時間受信していない場合は古い時間が表示されます	情報を受信次第更新されます	
有料道路に目的地/経由地を設定できない	付近の一般道路に目的地/経由地が設定されている	目的地/経由地の属性を「有料」に変更する	52ページ
メンテナンス機能でお知らせ設定(距離)をしても残距離が減らない	走行距離を計測するための車速パルス(スピードセンサーコード)が正しく接続されていない。	取付説明書を参照してスピードセンサーコードが正しく接続されているか確認する。また、コードが極端に折れ曲がっていないか確認する	

一部の付属部品は補修部品も用意しています。部品を無くしたり壊したりしたときは、お買い上げの販売店に問い合わせてください。

■ システム/オーディオ関係

症状	原因	対処	参照ページ
動作しない	ヒューズが切れている	所定容量のヒューズと交換する	
	周囲の温度が50度以上である	窓を開けてしばらく走行するなど、車内の温度を50度以下にする	
	結露している	しばらく(1時間程度)放置し、乾いてから使う	
操作していないのに本機が勝手に動作する	会話やオーディオの音声に反応してボイスタッチ機能が動作している	不要なボイスタッチワードをOFFに設定する	19、123ページ
		「ボイスタッチチューニング」で認識率の調整を行う	123ページ
セキュリティコードを忘れてしまい、セキュリティを解除できない	—	お客様登録したうえでアルパイン・インフォメーションセンターにご相談ください	

症状	原因	対処	参照ページ
映像が不鮮明になったり、雑音が入ったりする	電波が弱い	他の場所に車を移動して再確認する	
	バッテリー電圧が低下している	バッテリー電圧/バッテリー液量/バッテリー液比重および配線を確認する(負荷状態で11ボルトを下回ると誤動作の原因となります)	
映像が出ないまたは動きが悪い	車室内の温度が低い	車室内の温度を常温にする	
映像に斑点やしま模様が出る	ネオンサイン、高圧線、アマチュア無線、自動車などからの影響	妨害電波を受けない場所に車を移動する	
モニターの画面中に小さな斑点や輝点がある	液晶パネル特有の現象です。液晶パネルは非常に精密度の高い技術でつくられており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものが生じることがあります	故障ではありませんので、そのままご使用ください	
低温時に電源をONにした場合、しばらく画面が暗い	液晶の特性によるもの	故障ではありません。しばらくそのままでお待ちください	
電源をONにした後、しばらく画面にムラがある	液晶のバックライトの特性によるもの	故障ではありません。しばらくすると安定します	
音が出ない	音量の調整不良	音量スイッチを押して確認する	16ページ
片側のスピーカーだけ音が出る	スピーカーコードが外れている	スピーカーコードの接続を確認する	
	音量の調整不良	左右音量調整をして確認する	128ページ
音質調整をしても音質が変化しない	調整した音質が放送やメディアに含まれていない	放送やメディアを変更して確認する	
映像も音も出ない	オーディオソースがOFFになっている	AUDIO OFFモードを解除する	63ページ
	接続コードの接続が不完全	各接続コードの接続を確認する	
MP3/WMA/AAC/WAV/FLAC/ALACが再生されない	書き込みに失敗している/対応フォーマット以外で書き込まれている	書き込みに失敗していないか確認する。または、「ファイル規格について」を参照し、本機対応のフォーマットで書き込みを行う	173ページ
放送局が受信できない/雑音が入る(ラジオ)	アンテナが接続されていない(ラジオ)	アンテナが確実に接続されているか確認する(ラジオ)	
	放送局の周波数(チャンネル)が合っていない	周波数(チャンネル)を正しく合わせる	68ページ
	周りに障害物などがあり、受信状態が良くない	見通しが良いところに移動する	
自動的に放送局が選べない(ラジオ)	電波の弱い地域にいる	手動で受信する	68ページ
テレビ放送が受信できない	テレビ放送用のアンテナが接続されていない	添付のテレビ放送用のアンテナを接続する	
	放送が行われていない	他のチャンネルを選ぶ	
映像がモザイク状になるブロックノイズが出る(テレビ)	電波状態が悪い	場所を移動する	
	アンテナが外れている	アンテナの接続を確認する	
映像に字幕が出ない(テレビ)	字幕が設定されていない	字幕を設定する	66ページ
	字幕情報のない番組を視聴している	字幕情報のある番組を視聴する	
iPodが再生しない/iPodの音が出ない	iPodが認識されていない	iPodをリセットする iPodのリセットについては、iPod側のユーザーズガイドを参照してください	

症状	原因	対処	参照ページ
USBメモリー、MTP接続Androidスマートフォン、iPhone/iPodを接続した後、オーディオデータのサーチ操作が可能になるまで時間がかかる	1つのフォルダに1万ファイル以上を格納している場合はタグ情報を使用したサーチが可能になるまで時間がかかる	複数のフォルダに分けてファイルを保存する	
	メディアに15000ファイル(本機対応最大ファイル数)近く格納している場合、「曲」でサーチした後にメディアを再接続すると、タグ情報を使用したサーチが可能になるまで時間がかかる	フォルダサーチで曲を選択する	81ページ
メディア接続時、オーディオデータを再生するまで時間がかかる	メディアに15000ファイル(本機対応最大ファイル数)近くを格納している場合、メディアを抜き差しすると再生まで時間がかかる	そのまま約20秒待つ、またはメディアを抜いた後、約20秒待ってからメディアを接続する	
メディア接続時、黒画面で曲再生を行っている	メディアを接続して本機がメディア内のファイルサーチが完了するまでの間、拡張子が *.mp4/.mkv/.aviでオーディオデータしか格納されていないファイルを再生した場合に黒画面再生を行う	本機がメディア内のファイルサーチが完了すると、黒画面で再生しているファイルをスキップして正しく再生を開始します	
スマートフォンで撮影した動画を再生することができない	撮影した動画が「DCIM」フォルダに格納されている	別な名称のフォルダ(「Video」や「Movie」など)に再生したいファイルを移動する	
映像または音が出ない(HDMI)	本機対応以外の規格で出力設定されている	HDMI機器の出力設定を確認し、本機対応の規格に設定する	172ページ
	HDMI機器から映像/音声が出力されていない	HDMI機器側で出力設定を行う	
		一度HDMI機器のOFF/ONを行う	
		HDMI機器が画面OFFになっている場合は、HDMI機器を操作して画面を表示する	
	HDMI機器がBluetoothオーディオ機器として、本機またはそれ以外の製品に接続されている	Bluetoothオーディオ接続を解除する	75ページ
HDMI-CEC再生中に画面にタッチしても操作画面が表示されない	HDMI-CEC対応機器側の連動設定がオフになっている	HDMI-CEC対応機器側で本機との連動設定をオンにする	
	HDMI切替器や分配器を使用している	HDMI切替器やHDMI分配器を使用せずに、再生したいHDMI-CEC対応機器を直接接続する	
	HDMI-CEC対応機器が本機を認識していない	一度HDMI-CEC対応機器を外して再接続する。またはHDMI-CEC対応機器のオフ/オンを行う	
HDMI-CEC操作画面は表示されるが操作できない	HDMI-CEC対応のHDMI切替器や分配器を使用している	HDMI切替器やHDMI分配器を使用せずに、再生したいHDMI機器を直接接続する	
	HDMI-CEC非対応機器がHDMI-CEC対応機器として認識されている	「HDMI CECの利用」を「しない」に設定する	122ページ
ソースが勝手にHDMIに切りかわる	HDMI-CEC対応機器からワンタッチプレイの信号が送られてきている	「HDMI連動ソース切換」を「しない」に設定する	122ページ
ハンズフリー通話中にエコー(残響音)やハウリングが起こる	本機側の受話音量が大きすぎる	受話音量を小さくする	98ページ
ハンズフリー通話中、こちらの声が相手側に聞こえない	外部ハンズフリーマイクを接続していない	外部ハンズフリーマイクを接続する	

症状	原因	対処	参照ページ
ハンズフリー通話中、相手側の音声が聞き取りにくい	自分と相手側が同時に発声している	お互いに一呼吸おいて交互に通話してください	
	受話音量が小さい	受話音量を大きくする	98ページ
ハンズフリー通話中やBluetoothオーディオ再生中に音切れやノイズが発生する	2.4GHz帯が干渉している	Bluetooth接続機器とWi-Fi接続機器が近くにある場合は、なるべく離して使用する	
	Bluetooth接続機器を車の3列目シート付近に置いている	2列目シートより前で使用する	
	本機とBluetooth接続機器の間に遮蔽物がある	接続機器と本機の間に人など遮蔽物がある場合は、遮蔽物がない環境で使用する	
Wi-Fi通信がつながりにくい データのダウンロードに時間がかかる	Bluetooth接続をしている	Bluetooth接続を解除してください	75ページ
リアカメラのガイド線が2重に表示される	リアカメラと本機の両方からリアカメラガイド線が出力されている	リアカメラ映像表示中に画質調整画面で「固定ガイドOFF」に設定してください。	149ページ
リアカメラのガイド線が消せない			
リアビジョンに映像が出ない	リアビジョンが正しく接続されていない	取付説明書を参照して、正しく接続されているか確認する。また、エンジンスイッチをACC OFF/ONする リアビジョン製品に添付されているリモコンでリアビジョン側の映像出力を切りかえる。切りかえ方法については、リアビジョン側の取扱説明書を参照してください	
ボイスタッチ機能が動作しない	外部ハンズフリーマイクを接続していない	外部ハンズフリーマイクを接続する	
車のエンジンスイッチをOFF→ONしたあとに、AndroidスマートフォンのWi-Fiが自動接続されない	本機以外のデバイスにWi-Fi接続されている	スマートフォンと本機をWi-Fi接続し直す	137ページ
AndroidスマートフォンでAmazon Alexaが使用できない	スマートフォンの画面が消灯し、本機のスマートフォンアプリリンクが切断されている(スマートフォンアプリリンクインジケータ が消灯している)	スマートフォンの画面を点灯させ、オリジナルスマートフォンアプリ「BIG X CONNECT」画面を表示させる(スマートフォンアプリリンクインジケータ が点灯したことを確認する)	27ページ
	スマートフォンをBluetooth接続している	スマートフォンをWi-Fiで本機と接続する	

トラブルシューティング(表示メッセージと対処方法)

■ 表示メッセージ(システム)

メッセージ	原因	対処	参照ページ
異常高温を検出しましたので電源をOFFします 車内の温度が下がれば自動的に復帰します	車内温度が高すぎる	車内温度を常温まで下げる	
データの読み込みに失敗しました メディアを確認してください	USBメモリーの地図更新データ読み込みに異常が発生した	一度USBメモリーの抜き差しを行い、再度更新を行う。それでも直らないときは、再度データ取得を行ってください	
車種専用チューニング中は操作できません チューニング完了後に再度操作を行ってください	車種専用チューニング中に音質調整、リアビジョン/アロマ、ダブルゾーン にタッチした	車種専用チューニングが完了後に操作してください	
車種データが破損しています 再度ダウンロードしてください	ダウンロードしたコンテンツデータ、もしくはメディア(USBメモリー)へ保存したコンテンツデータが破損している	一度USBメモリーの抜き差しを行い、再度更新を行う。それでも直らないときは、車種データファイルを再度ダウンロードし、車種専用チューニング操作を行ってください	
車種専用チューニングに失敗しました	車種専用チューニング中にUSBメモリーを取り外した	再度チューニング操作を行う	6、 125ページ
車種データの読み込みに失敗しました	車種データが破損している	車種データファイルを再度ダウンロードし、車種専用チューニング操作を行う	125ページ
データの読み込みができないため操作できません	なんらかの原因で本機の地図データにアクセスエラーが発生した	お問い合わせ窓口にご相談ください	裏表紙
データの読み込みができません 詳細は販売店へお問い合わせください	アクセスエラー後に復帰しない。本機の地図データが破損している	お問い合わせ窓口にご相談ください	裏表紙
携帯電話を確認してください	携帯電話が正しく接続されていない	携帯電話の接続と、「Bluetooth設定」を確認してください	95、 136ページ
USB機器の接続を確認してください	接続エラー	一度本機からUSB機器を外し、再接続する	
カードかETC車載器を確認してください	ETCカードやETC車載器のシステムエラーが発生した	ETCカードを抜き差ししてください。それでも直らない場合はお買い上げの販売店にご相談ください	
セットアップされていません	接続されているETC車載器のセットアップが未完了の場合に表示される	販売店にてセットアップを行ってください	
ETC車載器がセットアップされていません	接続されているETC2.0車載器のセットアップが未完了の場合に表示される	販売店にてセットアップを行ってください	
走行中は安全のため操作できません	走行中にメニュー操作を行った	車を安全な場所に移動し、必ず停車後パーキングブレーキを引いてから操作する。停車している状態でも変わらない場合は、取付説明書を参照して、スピードセンサーコードが正しく接続されているか確認する	
設定に失敗しました	スマートフォンとのWi-Fi接続設定に失敗した	スマートフォンのWi-Fi機能をONにし、本機を検索して登録する	

メッセージ	原因	対処	参照ページ
アップデートに失敗しました メディアを抜かずにエンジンをOFF/ONしてください アップデートが再開します	メディア(USBメモリー)でのプログラムアップデート中にエラーが発生した	メディアを抜かずに、エンジンスイッチをACC OFF/ONする	
オープニング画像が破損しています オープニング画像設定画面から書き換えをしてください	ダウンロードしたオープニング画像データ、もしくはメディア(USBメモリー)へ保存したオープニング画像データが破損している	オープニング画像データを再度ダウンロードし、オープニング画像設定画面から書きかえをしてください	125ページ
ボイスタッチワード設定が しない に設定されています	ボイスタッチワード一覧画面表示時、ボイスタッチワード「しない」設定にしているワードを発話した、またはボイスタッチワードが「全てしない」に設定されている	「ボイスタッチワード設定」で使用するボイスタッチワードを する に設定する	123ページ
フロントカメラの接続設定を確認してください	ボイスタッチワード一覧画面表示時、フロントカメラの接続が設定されていない状態でボイスタッチワード「フロントカメラ」を発話した	フロントカメラを接続し、「フロントカメラ接続」を あり に設定する	118ページ
サイドカメラの接続設定を確認してください	ボイスタッチワード一覧画面表示時、サイドカメラの接続が設定されていない状態でボイスタッチワード「サイドカメラ」を発話した	サイドカメラを接続し、「サイドカメラ接続」を あり に設定する	119ページ
コーナーカメラの接続設定を確認してください	ボイスタッチワード一覧画面表示時、コーナーカメラの接続が設定されていない状態でボイスタッチワード「コーナーカメラ」を発話した	コーナーカメラを接続し、「コーナーカメラ接続」を あり に設定する	119ページ
スピーカーの接続に異常が発生しました 販売店へお問い合わせください	スピーカーの接続に異常がある状態で本機を起動した	スピーカーの接続を確認してください。または販売店へお問い合わせください	
BIG X CONNECTアプリと通信できません スマートフォンとの接続、インターネットの接続を確認してください	オリジナルスマートフォンアプリ「BIG X CONNECT」、Amazon Alexa対応スマートフォンとの通信が切断された	スマートフォンの画面を点灯させ、オリジナルスマートフォンアプリ「BIG X CONNECT」画面を表示させる	
インターネットに接続できません スマートフォンの状態を確認してください	オリジナルスマートフォンアプリ「BIG X CONNECT」、Amazon Alexa対応スマートフォンの通信が途絶した	スマートフォンがインターネットに接続できるか確認する	
"BIG X CONNECT"アプリのバージョンが古いためAlexaを使用できません アプリストアから最新版に更新してください	オリジナルスマートフォンアプリ「BIG X CONNECT」のバージョンが規定よりも古い	App StoreまたはGoogle Playでオリジナルスマートフォンアプリ「BIG X CONNECT」を最新版に更新してください	

■ 表示メッセージ(ナビゲーション関係)

メッセージ	原因	対処	参照ページ
ルート計算できませんでした	目的地を指示したとき、周辺に道路がなくルート探索ができない	付近の主要道路にカーソルを合わせ、再度目的地を指示する	
これより広域の地図ではVICS情報を表示できません	10m ～ 1kmスケールの地図を表示中に2kmスケールの地図にした	VICS情報を表示させる場合は地図スケールを1km以下の詳細な地図に切りかえる	35ページ
情報受信中につきしばらくお待ちください	FM多重放送やVICS情報を受信していない	しばらくしてもメッセージを表示する場合は選局し直してください	
情報がありません	FM多重放送を行っている放送局を選局していないか、または情報を受信していない	他の放送局を選局する	
ETCゲートを通行できません	通信エラーまたはETC車載器/ETC2.0車載器のエラー	料金所の係員の指示に従ってください	
切り換える道路がありません	路線切換操作を行ったときに、近くに切りかえられる有料道路または一般道路が存在しない	他の場所で路線切換操作を行う	32ページ
自宅が登録されていません	自宅が登録されていない状態でボイスタッチワード「自宅に帰る」を発話した	自宅を登録してから発話する	55ページ

■ 表示メッセージ(オーディオ関係)

メッセージ	原因	対処	参照ページ
読み込み異常が発生しました	書き込みに失敗している/対応フォーマット以外で書き込まれている	書き込みに失敗していないか確認する。または「オーディオソースメディアについての注意」を参照し、本機対応のフォーマットで書き込みを行う	172ページ
iPodとの通信ができません 接続を確認してください	通信エラー	一度本機からiPhone/iPodを外し、再接続する	70ページ
このチャンネルは視聴できません	本機が対応していない受信方式のチャンネルを受信した	受信可能なチャンネルを選ぶ	
	有料放送を受信している	本機では有料放送には対応していないため、受信可能なチャンネルを選ぶ	
データを取得できません	データ放送において閲覧対象のコンテンツが取得できない	再選局を行う	
双方向サービスには対応していません	データ放送受信時に双方向サービス対応のコンテンツ操作を行っている	双方向サービスには対応していないため、双方向サービスではないデータ放送コンテンツを選ぶ	
受信できません	存在しないチャンネルを受信しようとした	受信可能なチャンネルを選ぶ	
ワンセグ放送がありません	ワンセグ放送を行っていないチャンネルでワンセグ放送を受信しようとした	受信可能なチャンネルを選ぶ	
ワンセグ放送のみ受信可能です	受信状態が悪く地上デジタル放送は視聴できない状態であるが、ワンセグ放送であれば視聴可能であるチャンネルを視聴した	ワンセグ放送を視聴する 地上デジタル放送が視聴可能な場所へ移動する	
未対応のサービスです	本機で対応できないサービスを受信しようとした	受信可能なチャンネルを選ぶ	
放送チャンネルではありません	放送用のチャンネルではないチャンネルを受信しようとした	受信可能なチャンネルを選ぶ	

メッセージ	原因	対処	参照ページ
このチャンネルは放送を休止しています	定常サービス／臨時サービスにおいて、CHは存在しているが、番組が放送されていないチャンネルを受信しようとした	受信可能なチャンネルを選ぶ	
TVのスキャンで受信できませんでした	ホームスキャン／お出かけスキャン完了後に、受信可能な放送局が全く無かった場合に表示される	テレビ放送が受信可能な場所へ移動して、再度スキャンを実施する	
	情報更新完了後に一つも番組情報を取得できなかった	テレビ放送が受信可能な場所へ移動して、再度情報更新を実施する	
TVの自動サーチを中止します	TVの自動サーチ中にGPS衛星情報が受信できなくなり、自車位置を測定できない	GPS衛星の電波が受信しやすい場所へ移動する	
情報が取得できなかった番組があります	情報更新完了後に一部番組情報を取得できなかった放送局があった	テレビ放送が安定して視聴可能な場所へ移動し、再度情報更新を実施する	65ページ
TVのアンテナ接続に不具合があります 接続をもう一度確認してください	テレビのアンテナがショートしている	テレビのアンテナの接続方法を確認してください	
HDMI外部機器との通信ができません 機器との接続確認または映像の出力操作を行ってください	HDMI機器が正しく接続されていない	一度本機からHDMI機器を外し、再接続する／ HDMI機器側の出力設定を行う	
HDMI外部機器の電源ラインに異常が発生しました 接続をもう一度確認してください	接続エラー	一度本機からHDMI機器を外し、再接続する	
非対応データのため再生できません	対応フォーマット以外の映像･音声データになっている	「HDMIについてのご注意」を参照し、本機対応のデータを再生する	172ページ
HDMIモニターとの通信ができません モニターとの接続確認またはエンジンをOFF/ONしてください	接続エラー	エンジンスイッチをOFF/ONする。またはHDMI対応モニター側のHDMI接続ケーブルを確認する	
接続HDMIモニター数がオーバーしています 接続を確認してください	HDMI対応モニターが5台以上接続されている	HDMI対応モニターの接続数を4台以内にする	70、180ページ

操作中の画面にはいろいろなメッセージが表示されます。メッセージには現在の状態を知らせたり次の操作をガイドしたりするもののほか、上記のようなエラーメッセージを表示する場合があります。上記のエラーメッセージが表示された場合は「対処」の内容をよくお読みになり、その指示に従ってください。

オーディオソースメディアについての注意

HDMIについてのご注意

本機で対応しているHDMI規格は次の通りです。下記以外の動作保証および性能保証はいたしかねます。

- **映像規格**
  入力解像度:1080p/720p/480p/VGA
  出力解像度:480p/720p
- **入力音声規格**
  サンプリング:32kHz/44.1kHz/48kHz
- **出力音声規格**
  サンプリング:48kHz

USBメモリーについてのご注意

<再生できるUSBメモリーについて>

- 本機はUSB Mass Storage Class 対応のUSBメモリーを操作できます。
- 本機対応のフォーマットで記録されたデータのみ再生することができます。「本機対応のフォーマットについて」(173ページ)を参照してください。

<再生できないUSBメモリー >

- ハブ付USBメモリーは再生できません。またUSBハブも接続対象外です。

<取り扱い上のご注意>

- USBメモリーの動作保証はしておりません。ご使用の際にはUSBメモリーの使用条件内でのご利用をお願いします。USBメモリーの取扱説明書もよくお読みください。
- また以下のような場所での使用や保存は避けてください。
  - 高温になった車内や炎天下など気温の高い場所
  - 直射日光のあたる場所
  - 湿気の多い場所や腐食性のものがある場所
  - 特に以下の点について十分に注意してください。
    車内や製品内に長時間放置しない。特に直射日光下には絶対放置しない。高温多湿の環境に弱いため、USBメモリーが劣化し再生不能となる場合があります。
- USBメモリーは運転に支障をきたさない場所に固定してください。
- USBメモリーは高温･低温時には正常に動作しない場合があります。
- USBメモリー規格に準拠したUSBメモリーを使用しても、USBメモリーの種類や状態により正常に動作できない場合があります。
- USBメモリーの種類や記録状態、エンコードソフトの設定によっては再生や表示ができない場合があります。
- コピープロテクト(著作権保護)されたファイルは再生できません。
- 複数のパーティションを持つUSBメモリーはサポート対象外です。
- セキュリティ機能を持つUSBメモリーはサポート対象外です。
- 大切なデータはパソコン等を用いてバックアップを取っておくことをおすすめします。

iPhone/iPodについてのご注意

<再生できるiPhone/iPodについて>

- 本機はiOS10.0.2以降のiPhone/iPodのミュージック再生に対応しています。
  Made for
  - iPhone 11 Pro Max
  - iPhone 11 Pro
  - iPhone 11
  - iPhone XS
  - iPhone XS Max
  - iPhone XR
  - iPhone X
  - iPhone 8 Plus
  - iPhone 8
  - iPhone 7 Plus
  - iPhone 7
  - iPhone SE
  - iPhone 6s Plus
  - iPhone 6s
  - iPhone 6 Plus
  - iPhone 6
  - iPhone 5s
  - iPod touch (7th generation)
  - iPod touch (6th generation)
- 最新の接続確認情報は、アルパインホームページをご覧ください。

<取り扱い上のご注意>

- iPhone/iPodの機能については、iPhone/iPodユーザガイドを参照してください。
- 車内の温度が極端に高い(炎天下駐車)ときや低い(厳冬期駐車)ときにiPhone/iPod を車内に放置すると、iPhone/iPod 故障の原因になります。
- 本製品を使用中にiPhone/iPodのデータなどが消失した場合でも、データなどの保証は一切いたしかねます。
- iPod touchはApple CarPlayに対応していません。

本機対応のフォーマットについて

■ メディア規格について

USBメモリー	USB規格:USB 1.1/2.0 USBクラス:マスストレージクラス ファイルシステム:FAT 16/32、exFAT 認識可能なフォルダ階層:8階層 最大フォルダ数:1024 最大ファイル数:15000 ファイル名最大文字数:255文字(拡張子を含む)
Androidスマートフォン	USB規格:USB MTP 1.1 USBクラス:Media Transfer Protocol ファイルシステム:デバイス依存 転送速度:デバイス依存(USB 1.1/2.0規格に準拠) 認識可能なフォルダ階層:8階層 最大フォルダ数:1024 最大ファイル数:15000 ファイル名最大文字数:255文字(拡張子を含む)

※ 対応拡張子のファイルであれば本機対応のフォーマットでなくてもカウントされます。

■ ファイル規格について

対応メディア	フォーマット	規格
USBメモリー、 Androidスマートフォン	MP3※1※2	拡張子:.mp3 規格:MPEG-1 Audio Layer Ⅲ、MPEG-2 Audio Layer Ⅲ、 MPEG-2.5 Audio Layer Ⅲ サンプリング周波数:8 ～ 48kHz ビットレート:8 ～ 320kbps チャンネル:2chまで タグ:ID3 Tag v1.0、v1.1、v2.2、v2.3、v2.4 タグ最大文字数:64文字 1ファイルの最大対応サイズ:512MB
USBメモリー、 Androidスマートフォン	WMA※1※2※3	拡張子:.wma 規格:Ver. 7.x/8.x/9.x サンプリング周波数:8 ～ 48kHz ビットレート:8 ～ 320kbps チャンネル:2chまで タグ:Ver. 1.x タグ最大文字数:64文字 1ファイルの最大対応サイズ:512MB
USBメモリー、 Androidスマートフォン	AAC※2※3※4	拡張子:.aac/.m4a/.mp4 規格:MPEG-2 AAC、MPEG-4 AAC サンプリング周波数:8 ～ 48kHz ビットレート:16 ～ 320kbps チャンネル:5.1chまで(ダウンミックスし2ch再生) タグ:iTunesタグ タグ最大文字数:64文字 1ファイルの最大対応サイズ:512MB
USBメモリー、 Androidスマートフォン	WAV	拡張子:.wav サンプリング周波数:8 ～ 192kHz 量子化ビット数:8/16/24/32bit チャンネル:2chまで 1ファイルの最大対応サイズ:512MB

対応メディア	フォーマット	規格
USBメモリー、 Androidスマートフォン	FLAC	拡張子:.fla/.flac サンプリング周波数:8 ～ 192kHz 量子化ビット数:4/8/16/24bit チャンネル:5.1chまで(ダウンミックスし2ch再生) タグ:Vorbis commentに対応(対応文字コードはUTF-8) タグ最大文字数:64文字 1ファイルの最大対応サイズ:512MB
USBメモリー、 Androidスマートフォン	ALAC	拡張子:.m4a/.mp4 サンプリング周波数:8 ～ 192kHz 量子化ビット数:16/24bit チャンネル:5.1chまで(ダウンミックスし2ch再生) タグ:対応文字コードはUTF-8 タグ最大文字数:64文字 1ファイルの最大対応サイズ:512MB
USBメモリー、 Androidスマートフォン	AVI	拡張子:.avi オーディオコーデック:PCM、MP3、AAC、FLAC、WMA ビデオコーデック:H.264/MPEG-4 AVC プロファイル:Baseline、Main、High 解像度:64×64 ～ 1920×1080pixel 最大フレームレート:60fps 最大ビットレート:50Mbps 1ファイルの最大対応サイズ:4GB
USBメモリー、 Androidスマートフォン	MP4	拡張子:.mp4 オーディオコーデック:PCM、MP3、AAC ビデオコーデック:H.264/MPEG-4 AVC プロファイル:Baseline、Main、High 解像度:64×64 ～ 1920×1080pixel 最大フレームレート:60fps 最大ビットレート:50Mbps 1ファイルの最大対応サイズ:4GB
USBメモリー、 Androidスマートフォン	MKV	拡張子:.mkv オーディオコーデック:PCM、MP3、AAC、FLAC、WMA ビデオコーデック:H.264/MPEG-4 AVC プロファイル:Baseline、Main、High 解像度:64×64 ～ 1920×1080pixel 最大フレームレート:60fps 最大ビットレート:50Mbps 1ファイルの最大対応サイズ:4GB

- ファイルを作成したライティングソフトや変換ソフトによっては再生できない場合があります。また、文字情報が正しく表示されない場合があります。

※1 VBRに対応しています。

※2 低ビットレートのファイル再生時は十分な音質が得られない場合があります。

※3 DRM(デジタル著作権管理Digital Rights Management)で著作権保護されたファイルは、本機では再生できません。

※4 本機ではiTunesを使用してエンコードされたAACファイルのみの再生に対応しています。

約款・規約、その他

VICS情報有料放送サービス契約約款

第1章　総則

（約款の適用）

第1条　一般財団法人道路交通情報通信システムセンター（以下「当センター」といいます。）は、放送法（昭和25年法律第132号）第147条の規定に基づき、このVICS情報有料放送サービス契約約款（以下「この約款」といいます。）を定め、これによりVICS情報有料放送サービスを提供します。

（約款の変更）

第2条　当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後のVICS情報有料放送サービス契約約款によります。

（用語の定義）

第3条　この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。

（1）VICSサービス
当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス

（2）VICSサービス契約
当センターからVICSサービスの提供を受けるための契約

（3）加入者
当センターとVICSサービス契約を締結した者

（4）VICSデスクランブラー
FM多重放送局からのスクランブル化（攪乱）された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第2章　サービスの種類等

（VICSサービスの種類）

第4条　VICSサービスには、次の種類があります。

（1）文字表示型サービス
文字により道路交通情報を表示する形態のサービス

（2）簡易図形表示型サービス
簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス

（3）地図重畳型サービス
車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス

（VICSサービスの提供時間）

第5条　当センターは、原則として一週間に概ね120時間以上のVICSサービスを提供します。

第3章　契約

（契約の単位）

第6条　当センターは、VICSデスクランブラー 1台毎に1のVICSサービス契約を締結します。

（サービスの提供区域）

第7条　VICSサービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域（全都道府県の区域で概ねNHK－FM放送を受信することができる範囲内）とします。ただし、そのサービス提供区域であっても、電波の状況によりVICSサービスを利用することができない場合があります。

（契約の成立等）

第8条　VICSサービスは、VICS対応FM受信機（VICSデスクランブラーが組み込まれたFM受信機）を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。

（VICSサービスの種類の変更）

第9条　加入者は、VICSサービスの種類に対応したVICS対応FM受信機を購入することにより、第4条に示すVICSサービスの種類の変更を行うことができます。

（契約上の地位の譲渡又は承継）

第10条　加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。

（加入者が行う契約の解除）

第11条　当センターは、次の場合には加入者がVICSサービス契約を解除したものとみなします。

（1）加入者がVICSデスクランブラーの使用を将来にわたって停止したとき

（2）加入者の所有するVICSデスクランブラーの使用が不可能となったとき

（当センターが行う契約の解除）

第12条　当センターは、加入者が第16条の規定に反する行為を行った場合には、VICSサービス契約を解除することがあります。また、第17条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICSサービス契約は、解除されたものと見なされます。

2　第11条又は第12条の規定により、VICSサービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICSサービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

第4章　料金

（料金の支払い義務）

第13条　加入者は、当センターが提供するVICSサービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いを要します。なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

第5章　保守

（当センターの保守管理責任）

第14条　当センターは、当センターが提供するVICSサービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。

（利用の中止）

第15条　当センターは、放送設備の保守上又は工事上やむを得ないときは、VICSサービスの利用を中止することがあります。

2　当センターは、前項の規定によりVICSサービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

第6章　雑則

（利用に係る加入者の義務）

第16条　加入者は、当センターが提供するVICSサービスの放送を再送信又は再配分することはできません。

（免責）

第17条　当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他当センターの責めに帰すことのできない事由によりVICSサービスの視聴が不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。
また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICSサービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。
但し、当センターは、当該変更においても、変更後3年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICSサービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。

2　VICSサービスは、FM放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機によるVICSサービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3年以上の期間を持って、VICSサービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

■ 別表

視聴料金　300円（税抜き）
ただし、車載機購入価格に含まれております。

交通事故防止等安全確保のために必ずお守りください

この取扱説明書では、安全にかかわる注意事項をその危険の大きさの程度に応じて、次のように分類して記載しています。

その危険を回避できなかった場合に、死亡又は重傷を負う可能性のあるもの

- 運転者は走行中に操作をしないでください。
- 運転を誤り、交通事故を招くおそれがあります。
- 操作は安全な場所に車を停止させてからおこなってください。
- 安全な場所以外では追突・衝突されるおそれがあります。
- 運転中は画面を注視しないでください。
- 運転を誤り、交通事故を招くおそれがあります。
- 常に実際の道路状況や交通規制標識・標示などを優先して運転してください。
- 本商品に収録されている地図データ・交通規制データ・経路探索・音声案内などが実際と異なる場合があるため、運転を誤り、交通事故を招くおそれがあります。
- 一方通行表示については常に実際の交通規制標識・標示を優先して運転してください。
- 一方通行表示はすべての一方通行道路について表示されているわけではありません。また一方通行表示のある区間でも実際にはその一部が両面通行の場合があります。
- 本商品を救急施設などへの誘導用に使用しないでください。

路線別データ使用規約

本使用規定（「本規定」）は、アルプスアルパイン株式会社が提供する「高速道配信」サービスにより配信される「地図データ」（「本データ」）の提供元である株式会社ゼンリン（「弊社」）とお客様間の、本データの使用許諾条件を定めたものです。本データのダウンロード前に必ずお読みください。なお、お客様が本データをダウンロードされた場合は、本規定にご同意いただいたものとします。

＜使用規定＞

1. 弊社は、お客様に対し、お客様自身が管理使用するアルプスアルパイン株式会社製「XF11NX 2S」（「機器」）1台に限り、本データを以下のいずれかの方法によりインストールし、機器の取扱説明書（「取説」）および本規定の定めに従い使用することを許諾します。なお、お客様は、本データの機器へのインストールを一部でも開始した場合は、本データをインストールする機器を変更できないものとします。
「パソコン経由でのインストール」
(1) お客様自身が管理使用するパソコン1台に限り、本データをダウンロード（複製）する。
(2) 上記(1)に従いパソコンにダウンロード（複製）した本データを、USBメモリーにコピー（複製）する。
(3) 上記(2)に従いUSBメモリーにコピー（複製）した本データを、当該USBメモリーを機器に挿入し、機器にコピー（複製）する。
「携帯電話経由でのインストール」
お客様自身が管理使用する携帯電話と専用スマートフォンアプリを通じて本データをダウンロードし、機器にコピー（複製）する。

2. お客様は、本データのご使用前には必ず取説を読み、その記載内容に従って使用するものとし、特に以下の事項を遵守するものとします。
(1) 必ず安全な場所に車を停止させてから本データを使用すること。
(2) 車の運転は必ず実際の道路状況や交通規制に注意し、かつそれらを優先しておこなうこと。

3. お客様は、以下の事項を承諾するものとします。
(1) 本データの著作権は、弊社または弊社に著作権に基づく権利を許諾した第三者に帰属し、お客様は、本データに関して、本規定で許諾される権利以外の一切の権利を有しないこと。
(2) 本データおよび本データを使用することによってなされる案内などは、必ずしもお客様の使用目的または要求を満たすものではなく、また、すべてが正確かつ完全ではないこと。弊社は、このような場合においても本データの交換・修補・代金返還その他の責任を負わないこと。
(3) 本データに関する弊社のお客様に対する損害賠償責任は、弊社の故意または重過失による場合を除き、お客様が直接被った現実かつ通常の損害の賠償に限られ、また、機器の対価としてお客様がアルプスアルパイン株式会社またはその販売代理店に対して現実に支払った金額を限度とすること。なお、この規定は、本データに関する弊社の損害賠償責任のすべてを規定したものとすること。
(4) 本規定に違反したことにより弊社に損害を与えた場合、その損害を賠償すること。

4. お客様は、以下の行為をしてはならないものとします。
(1) 本規定で明示的に許諾される場合を除き、本データの全部または一部を複製、抽出、転記、改変、送信することまたは同時に2台以上の機器で使用すること。
(2) 第三者に対し、有償無償を問わず、また、譲渡・レンタル・リースその他方法の如何を問わず、本データ（形態の如何を問わず、その全部または一部の複製物、出力物、抽出物その他利用物を含む。）の全部または一部を使用させること。
(3) 本データをリバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルすること、その他のこれらに準ずる行為をすること。
(4) その他本データについて、本規定で明示的に許諾された以外の使用または利用をすること。

地図データについて

収録データについて

収録されているデータ情報及び作成年月	
高速･有料道路	2021年12月
国道･都道府県道	2021年10月
高速･有料道路料金データ	2021年12月
交差点情報(ランドマーク･名称)	2021年11月
交通規制データ	2021年11月
VICSリンク開示	2021年11月
電話番号検索(タウンページ)	2021年11月
電話番号検索(ハローページ)	2021年8月
市街地図データ	2021年7月
住所検索データ	2021年11月
目的地情報(文字情報)	2021年10月
一般道レーン情報	2021年11月
都市高速入口案内データ	2021年4月
3Dジャイロ用昇降データ	2021年12月
静止画3Dリアル交差点データ(作成日)	2021年8月
動画3Dリアル交差点データ(作成日)	2021年10月
VICS交通統計データ(データ鮮度)	2020年10月1日～ 2021年9月30日
収録データ件数	
住所検索件数	約3,219万件
電話番号検索データ数(タウンページ)	約500万件
市街地図格納都市数	1,102都市
VICS交通統計データ(距離数)	約8万km
ハローページ収録件数	約1,503万件
交差点拡大対象交差点数	約81万件
郵便番号件数	約15万件
最寄り検索総数	約18万件

<収録データの補足説明>

- 「個人宅電話番号･名称データ」による「電話番号」検索は、公開「電話番号」および公開電話番号登録者「名字」の入力で検索が可能です。なお、検索された物件の一部では家形図周辺の検索表示になる場合があります。また電話番号非公開訪問先宅(データ収録外物件)については入力電話番号「局番」周辺の位置検出となります。
- 「住所検索データ」による「住所」検索は住所の整備状況により一部検索出来ない住所があります。また検索された住所の一部では家形図周辺の検索表示になる場合があります。
- 「50音データ」および「タウンページ電話番号データ」によるピンポイント検索は、国土地理院発行地図の番号未掲載や電話番号登録時の状況により周辺地域による位置検出となる場合があります。
- 市街地カバー面積は収録地域によって全域をカバーしていない場合があります。

地図･情報について

このアルパインナビゲーションシステムの「地図」は「全国デジタル道路地図データベース」と「交通規制データベース」をもとに、株式会社ゼンリンが独自に収集した情報(高速道路･有料道路は2021年12月までに、国道･都道府県道は2021年10月現在までに)を網羅し、作成したものです。
本品に収録されている情報は、調査時期やその取得方法により、現場の状況と異なる場合があるため、使用に際しては、実際の道路状況および交通規制に従ってください。
地図の内容は、予告なく新しい地図データに更新されることがあります。
現在、2011年3月11日に発生した東日本大震災の影響により、以下の地区において地図データ更新を停止しております。

南相馬市／浪江町／双葉町／大熊町／富岡町／楢葉町／飯舘村／葛尾村

<地図版権について>

- このナビゲーションに搭載されている地図の内容の一部または全部の複製を禁じます。
- ©2022　一般財団法人日本デジタル道路地図協会
- 測量法に基づく国土地理院長承認(使用) R 2JHs 293－B233号
- 3次元地図の作成に当たっては、測量法に基づく国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図50mメッシュ(標高)を使用しております。(承認番号 R 1JHs 1112-001号)
- この地図作成に当たっては、一般財団法人日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベースを使用しました。(測量法第44条に基づく成果使用承認　12-0010、12-0020)
- この地図に使用している交通規制データは、道路交通法及び警察庁の指導に基づき全国交通安全活動推進センターが公開している交通規制情報、公益財団法人 日本道路交通情報センター(JARTIC)の交通規制情報を使用して、MAPMASTERが作成したものを使用しています。
- 「VICS」は財団法人道路交通情報通信システムセンターの商標です。
- 本品に使用している渋滞統計情報は、過去の統計情報を基にした渋滞情報表示となります。
(予測データ提供元:NTTデータ、予測の元となる情報:JARTIC/VICSセンター)

© 2022 ZENRIN CO., LTD.
© 2021 NIPPON TELEGRAPH AND TELEPHONE EAST CORPORATION
© 2021 NIPPON TELEGRAPH AND TELEPHONE WEST CORPORATION
© ジオ技術研究所
© 2022 ALPS ALPINE CO., LTD.

個人宅電話番号･名称データについて

個人宅電話番号･名称データは、おおむね2021年8月までに収集されたデータを使用しております。

※ 個人情報保護に関する基本方針、およびナビゲーション地図に搭載されております個人データのお取り扱いにつきましては下記アドレスのホームページを御覧ください。
https://www.alpine.co.jp/privacy.html

セキュリティ設定について

セキュリティコードを設定すると、盗難被害に遭ってナビを取り外されても、セキュリティコードを入力しないと本機を使用できません。セキュリティコードを設定することをお勧めします。

- 設定方法は「セキュリティ設定」124ページ)を参照してください。

カーナビゲーションに記録されるデータについて

カーナビゲーションは、お客様ご自身の操作によりメモリーに記録される「地点情報」や「走行軌跡」の他にも、製品の修理等に役立てることを目的に、自動的に記録されるデータがあります。

① カーナビゲーションが自動的に記録するデータ
電源がONの状態で下記データを自動的に記録します。

- 目的地設定履歴　等

② 記録されたデータの開示について
弊社および弊社関連会社(開発委託先・サービス会社等)は、カーナビゲーションに記録されたデータを製品の修理、カーナビゲーションの研究開発を目的に取得・流用することがあります。
また、弊社および弊社関連会社は、以下の場合を除き、取得したデータを第三者に開示・提供することはありません。

- カーナビゲーションを所有するお客様ご自身の同意がある場合。
- 裁判所命令などの法的強制力のある要請に基づく場合。
- 統計的な処置を行う等、使用者が特定されないように加工したデータを研究機関等に提供する場合。

FM VICS情報が受信できる代表的な周波数

全国のNHK FM放送局と同一周波数で放送しています。

- 情報提供地域の違いによって情報内容が異なります。詳しくはVICSのホームページをご覧ください。

VICSに関するお問い合わせ

- VICSの概念・計画、表示された情報内容、文字・図形情報の表示内容については
VICSセンター お客様相談窓口
【電話番号】0570-00-8831(PHS、IP電話等からは利用できません)
【受付時間】平日 9:30 ～ 17:45(土曜・日曜・祝日・年末年始休暇を除く)
【FAX番号】03-3562-1719(24時間受付)
【URL】https://www.vics.or.jp/
- 地図表示のサービスエリア・受信可否・車載機の調子・機能・使い方についてはアルパイン　インフォメーションセンターへお問い合わせください。

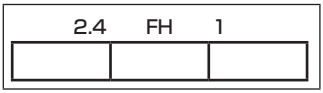
電波に関する注意事項

この機器の使用周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)が運用されています。

① この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。

② 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか又は電波の発射を停止した上、アルパイン　インフォメーションセンターまでご連絡いただき、混信回避のための処置等(例えばパーティションの設置など)についてご相談してください。

③ その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、アルパイン　インフォメーションセンターへお問い合わせください。



① 「2.4」GHz帯を使用する無線設備を表します
② 「FH」変調方式を表します
③ 「1」想定される与干渉距離(約10m)を表します

ソフトウェアに関する重要なお知らせ

本製品のソフトウェアライセンスについて

本製品に組み込まれたソフトウェアは、オープンソースソフトウェアを含みます。

オープンソースソフトウェアの詳細に関しては、以下のウェブサイトをご覧ください。

http://opensource.alpine.com/aft/

個人情報のお取扱いについて

「個人情報のお取扱いについて」に関し、ご確認･同意いただいた上で地図更新を申し込んでください。

(1) 個人情報保護方針
お客様から取得した個人情報は、「個人情報保護方針」に則って適切に取扱います。
個人情報保護方針（https://www.alpine.co.jp/privacy/policy/）

(2) 個人情報取扱い事業者名（当社名）
アルプスアルパイン株式会社、アルパインマーケティング株式会社及びアルパインカスタマーズサービス株式会社

(3) 個人情報の利用目的
お客様の個人情報は、地図更新USBメモリーの送付及び各種企画･商品に関するご案内の目的で利用されます。

(4) 個人情報の提供
当社は、次の場合を除き、お客様の個人情報を第三者に提供しません。
- お客様ご本人の同意がある場合
- 法的な根拠に基づいて開示が要求された場合
- 人の生命、身体又は財産の保護のために必要であって、お客様ご本人の同意を取ることが困難であるとき
- お客様に明示した目的を実施するために、当社の業務委託先に開示する必要がある場合
- 合併、会社分割、営業譲渡その他の事由による事業の承継に伴って開示する場合
- 国の機関もしくは地方公共団体又はその委託を受けた者が法令の定める事務を遂行することに対して協力する場合であって、お客様ご本人の同意を得ることによって当該事務の遂行に支障を及ぼすおそれがあるとき

(5) 個人情報の開示、訂正、利用停止等について
お客様が個人情報の開示、訂正、削除などを希望される場合には、「アルパイン･インフォメーションセンター」までお問い合わせください。当社は、お客様ご自身、もしくは代理人（お客様ご本人から委任された方、または親権者などの法定代理人）からのお問い合わせであることを確認させていただいた上で、合理的な期間及び範囲で対応いたします。

保証について/規格

<保証書について>

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げ店でお受け取りください。
- 必ず「販売店印・お買い上げの日」を確認し、よくお読みのうえ、大切に保管してください。
- 保証書は再発行できませんので、大切に保管してください。

<アフターサービスについて>

- 調子が悪いときは、この取扱説明書や「Web版取扱説明書」(裏表紙参照)でもう一度ご確認ください。
- それでも調子が悪いときは、保証書記載(裏面)に従い修理させていただきますので、お買い上げ店または「お問い合わせ窓口」にあるお近くの修理ご相談窓口に修理を依頼してください。
- 保証期間中の修理は、保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証期間後の修理は、修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。
- 補修用性能部品は、製造打切り後、最低6年間保有しています。
- アフターサービスについての詳細、その他ご不明な点は、お買い上げのお店または「お問い合わせ窓口」にお問い合わせください。
- 修理によって登録内容が消去される場合があります。修理を依頼する前には、必ず登録している内容の控えを取ってください。

<規格/付属品>

ナビゲーション部

受信周波数	GPS:1575.42MHz±1.023MHz GLONASS:1597.807MHz～1605.6305MHz
受信感度	−130dBm

モニター部

画面サイズ(アクティブエリア)(幅×高さ)	11型　237.12×133.38mm
表示方式	透過型FFS液晶
駆動方式	TFTアクティブマトリクス
画素数	2,764,800画素
有効画素数	99.99%以上
使用光源	LEDバックライト方式

地上デジタルテレビ・チューナー部

受信周波数	470～710MHz
回路方式	PLL周波数シンセサイザー
受信チャンネル	UHF13～52チャンネル
受信感度	−85dBm

ラジオ・チューナー部

受信周波数	AM:522～1629kHz
	FM:76.0～108.0MHz
実用感度	AM:30dBμV(20dB S/N)
	FM:5dBμV(3% THD)

FM VICSチューナー部

受信周波数	FM:76.0～90.0MHz

Bluetooth部

Bluetoothバージョン	Bluetooth4.2
対応プロファイル	HFP、OPP、PBAP、A2DP、AVRCP、SPP
出力	+4dBm(Power Class2)

HDMI入力部

対応I/F	480p(720×480p @59.94Hz/60Hz) 720p(1280×720p @59.94Hz/60Hz) VGA(640×480p @59.94Hz/60Hz) 1080p(1920×1080p @59.94Hz/60Hz)

HDMI出力部

対応I/F	720×480p @ 59.94/60Hz (4:3) 720×480p @ 59.94/60Hz (16:9) 1280×720p @ 59.94/60Hz (16:9)
接続可能台数	最大4台

USBメモリー部

ファイルシステム	FAT 16/32、exFAT
再生信号圧縮方式	AUDIO:MP3、WMA、AAC、WAV、FLAC、ALAC VIDEO:MP4、MKV、AVI VIDEO Format:MPEG4 AVC、H.264
供給電圧	5V

Wi-Fi通信部

対応規格(周波数帯域)	IEEE 802.11 b/g(2.4GHz)
対応チャネル	2.4GHz:1～13ch
セキュリティ方式	WPA2 Personal

総合

電源電圧	DC14.4V(動作範囲:11 ～ 16V) マイナスアース
最大出力	50W×4
プリアウト出力(音声最大出力レベル)	2V/10kΩ(最大)
動作温度範囲	−20° C ～ +60° C
外形寸法 (幅×高さ×奥行)	270.8mm×177.2mm×231.5mm(最大) ノーズ部: 270.8mm×177.2mm×20mm 筐体部: 178mm×100mm×166.5mm 接続部: 35mm、45mm
重量	約3.9kg
付属品	取扱説明書･取付説明書･保証書類一式･取付部品一式(取付説明書参照)

- 製品の規格および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
- 液晶パネルは非常に精度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効画素数がありますが、0.01%の画素欠けや常時点灯する画素があり得ますので、あらかじめご了承ください。

- この製品は日本オーディ協会のハイレゾ定義に準拠しています。ハイレゾロゴは日本オーディオ協会の登録商標です。
- Bluetooth®ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc.が所有権を有します。
  ALPS ALPINE CO., LTD.は使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。
- Copyright©2018 Techpoint, Inc. All rights reserved.
- Windows Media®は、米国Microsoft Corporationの、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- HDMI、High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIロゴは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または、登録商標です。
- Apple、iPhone、iPod、iPod touch、iTunes 、App Store、SiriおよびLightningは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。iPhoneの商標は、アイホン株式会社のライセンスにもとづき使用されています。
- Made for Appleマークの使用に関して、バッジ内に記してあるアップル製品に接続するように設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパによって認定されたアクセサリであることを示します。アップルは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。
- 本アクセサリをアップル製品と使用することにより、無線の性能に影響を及ぼすおそれがありますのでご注意下さい。
- IOSは、Ciscoの米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- Siriはマイクを通して機能します。
- Apple CarPlayはApple Inc. の商標です。
- Apple CarPlayロゴの使用に関して、車両のユーザーインターフェースがアップルが定める性能基準を満たしていることを示します。アップルは、車両の動作および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。本製品をiPhoneまたはiPodと使用することにより、無線の性能に影響を及ぼすおそれがありますのでご注意下さい。
- Amazon、Alexaおよび関連するすべてのロゴはAmazon.com, Inc.またはその関連会社の商標です。
- Google、Android、Google Play、Android Auto、およびその他のマークは Google LLC の商標です。
- QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。
- 「VICS」および「VICS WIDE」は一般財団法人道路交通情報通信システムセンターの商標です。
- マップコードは株式会社デンソーの登録商標です。
- ETC2.0 は一般社団法人ITSサービス高度化機構の登録商標です。
- 本製品にはデータ放送BMLブラウザとして株式会社ACCESSのNetFront DTV Profileを搭載しています。
- ACCESS、NetFrontは、株式会社ACCESSの日本またはその他の国における商標または登録商標です。
- Copyright© 2019 ACCESS CO., LTD. All rights reserved.
- 本製品の一部分に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- プラズマクラスターロゴ(図形)およびプラズマクラスター、Plasmaclusterはシャープ株式会社の登録商標です。
- Wi-Fi CERTIFIED™ロゴは、Wi-Fi Alliance®の登録商標です。
- iWnn© OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2008-2017 AH Rights Reserved.
- DynaFontは、DynaComware Taiwan Inc.の登録商標です。
- The typefaces included herein are solely developed by DynaComware Taiwan Inc.
- その他、本書で登場するシステム名、製品名は、一般的に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。
- 本地図上に表示される各社のロゴは、ビジネス上の所在地を示すものです。本製品におけるロゴの使用は、本製品と各社の間のスポンサー関係、承認、推奨することを何ら示すものではありません。

<次の点にご留意ください>

本製品は、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客さまが個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為に係る個人使用を除いてはライセンスされておりません。

- AVC規格に準拠する動画(以下、AVCビデオ)を記録する場合
- 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたAVCビデオを再生する場合
- ライセンスを受けた提供者から入手されたAVCビデオを再生する場合

詳細については米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。

POWERED BY ZENRIN

VICS WIDE

ETC 2.0

Made for iPhone | iPod

alexa built-in

Works with Apple CarPlay

androidauto

Hi-Res AUDIO

Wi Fi®

Bluetooth®

ACCESS™

ワイドFM

HDMI®
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

NetFront®

HD-TVI™

地図マーク一覧

表示	内容	表示	内容	表示	内容
	病院		マリーナ、ヨットハーバー		山
	学校		交差点		史跡、名所
	郵便局		冬期規制区間		公園
	消防署		商業施設		動物園
	警察署		ホテル		植物園
	都道府県庁		銀行		水族館
	市役所、区役所		工場、工場敷地		遊園地、テーマパーク
	町村役場		教会		博物館
	官公署(特定記号無)		神社		図書館
IC	インターチェンジ、ランプ		寺		美術館
SA	サービスエリア		墓地		ガソリンスタンド
PA	パーキングエリア		温泉		カー用品店
JCT	ジャンクション		海水浴場		国防施設(自衛隊、米軍など)
	ランプ出口		スキー場		JRA競馬場、ウインズ
¥	料金所(スマートIC含む)		ゴルフ場		レジャー一般
P	駐車場		運動施設(スタジアムなど)		バス停
	飛行場		城、城跡	P	路上パーキングメーター
	港、フェリー発着場		キャンプ場	●	その他施設

- **情報検索精度について**
  電話番号検索および50音検索などは、電話番号登録時の登録内容によっては、該当する施設付近を表示する場合があります。
  本機に収録されている情報は、調査時期やその取得方法により、現場の状況と異なる場合があります。使用に際しては実際の道路状況および交通規制に従ってください。
  本機は天変地異による規制には対応しておりません。該当する地域周辺を走行される場合は警察･交通情報センター等にご確認ください。
- **地図データベースについて**
  地図データベース上、最終更新されたものを使用していますが、地域によっては最終更新日が古い場所も存在し、現在の状況と異なる場合があります。
- 交差点拡大図に表示される地図マークは形状が異なる場合があります。

索引

■ 五十音順

あ

アートワークアニメーション表示 …… 123
赤信号減速支援 …… 117
明るさ …… 131
空き道表示 …… 109
アクティブルートサーチ …… 53, 114
アクティブルートサーチ案内音声割込み …… 114
アロマ …… 152
案内音声 …… 133
案内開始 …… 45
案内図表示 …… 113
案内誘導設定 …… 112

い

位置情報 …… 56
一般 …… 46, 52
緯度経度 …… 40
イルミネーション連動設定 …… 123
色の濃さ …… 131
インジケータ …… 27
インターフェースボックス …… 118

う

迂回エリア考慮 …… 115
迂回距離 …… 115
迂回する地点 …… 55
裏番組情報取得設定 …… 67

え

エコー･ノイズ軽減設定 …… 135

お

オーディオ設定 …… 122
オーディオソース情報マーク …… 27
オーディオメニュー …… 63
オーディオモード画面への割込み …… 116
オープニングアニメーション音量 …… 133
オープニング画像 …… 125
お気に入り …… 42, 43
お問い合わせ …… 108
オプションスイッチ …… 24, 124
音質調整 …… 127
音声案内 …… 50
音声案内設定 …… 112
音声案内の長さ変更 …… 112
音声情報読み上げ …… 62
音声読み上げ …… 133
オンライン更新 …… 102
オンラインサービス設定 …… 85
音量調整 …… 133

か

外部機器 …… 83
外部接続機器選択 …… 117
外部入力 …… 83
カウントダウン目印フレーズ …… 112
各種設定 …… 109
各部の名称 …… 16
画質調整 …… 131
画像ファイル読み込み設定 …… 135
カメラ …… 143
カメラ詳細設定 …… 119
カメラ接続 …… 118
カメラダイレクトキー設定 …… 118
カメラ表示地点 …… 55
画面OFF …… 24
画面カラー変更 …… 124
画面サイズ …… 131
幹線 …… 46, 52

き

キーボード …… 28
規格 …… 180
気象警報 …… 104
気象警報･災害エリア表示 …… 110
規制 …… 61
規制エリア …… 104
規制エリア表示 …… 110
規制考慮 …… 45
規制マーク …… 60
規制マーク表示 …… 110
軌跡情報を消去 …… 109
軌跡表示 …… 109
基本情報 …… 56
逆走警告案内 …… 112
行政界色分け …… 110
狭路進入案内 …… 113
距離補正 …… 123
緊急情報画面 …… 60

く

クイックセットアップ …… 2
クイックセットアップ(販売店設定) …… 6
クロスオーバー …… 130

け

携帯電話を接続する …… 95
経由地 …… 44
経由地スキップ …… 53
経由地編集 …… 52
経路設定 …… 114
県域設定 …… 67
県境案内 …… 112
現在地 …… 55
現在地画面 …… 30
検索履歴 …… 29

こ

広域表示 …… 35
交差点拡大図表示 …… 47
交差点名称案内設定 …… 112
後席個別 …… 152
後席個別　リアビジョン連動設定 …… 117
後席スピーカー音量 …… 152
後席操作音 …… 133
高速渋滞モード …… 50
高速道配信 …… 101
高速･有料モード地図 …… 111
交通情報 …… 105
交通情報を受信する …… 69
行程ガイド …… 36, 50
行程ガイド施設マーク …… 37
行程ガイドマーク …… 37
合流案内 …… 112
コーナーカメラ …… 148
コーナーカメラガイド調整 …… 121
コーナーカメラ接続 …… 119
コーナーカメラソナー連動 …… 121
固定ガイド …… 119
固定ガイド線 …… 144
困ったときは(よくあるご質問) …… 159
コントラスト …… 132

さ

サービスリスト …… 65
災害エリア …… 61, 104
細街路案内 …… 49
細街路オートスケール …… 111
サイドカメラ …… 147
サイドカメラウィンカー連動表示 …… 121
サイドカメラガイド調整 …… 121
サイドカメラ接続 …… 119
サイドカメラ地点連動表示 …… 121
差分表示切換 …… 46
残距離案内 …… 47
残距離音声案内 …… 113
三者通話 …… 99

し

時間曜日規制考慮 …… 115
自機情報編集 …… 136
自車位置修正 …… 124
自車マーク …… 111
自宅へ帰る …… 39
自宅を登録する …… 2
自動サーチ設定 …… 67
自動サーチモード …… 67
自動着信 …… 135
自動着信時間 …… 135
自動ハイウェイモード …… 111
シネマ …… 131
シャープネス …… 132
車種選択 …… 125
車種専用サウンド …… 127
車種専用チューニング …… 6, 125
車両情報 …… 107, 113
ジャンル …… 40, 81
住所 …… 40
住所名称 …… 41
渋滞学習 …… 116
渋滞･混雑表示 …… 109
渋滞情報 …… 59
渋滞推測(空き道)表示 …… 110
渋滞推測(渋滞･混雑)表示 …… 110
渋滞線明滅表示 …… 110
充電施設 …… 105
充電施設マーク …… 60
周辺 …… 40, 42
周辺迂回 …… 53
縮尺 …… 35
受話音量 …… 98, 133
条件変更 …… 52
詳細案内図表示 …… 113
詳細情報 …… 56
詳細表示 …… 35
情報保持時間 …… 116
情報割込み …… 116
信号･交差点案内 …… 47
信号情報活用運転支援システム(TSPS) … 59, 61

す

推奨 …… 46, 52
推奨⇔推奨(有料優先)切換 …… 46
図形情報 …… 57
ステアリングリモコン …… 25, 118
ステアリングリモコンカスタムモード …… 25
ステアリングリモコンキー割り当て …… 118
ステアリング連動ガイド …… 119
ステアリング連動ガイド線 …… 144
スピーカー設定 …… 130
スマートIC利用 …… 115
スマートフォンアプリ …… 84
スマートフォンを接続する …… 95

せ

セキュリティインジケータ設定 …… 124
セキュリティ設定 …… 124
接続機器設定 …… 117
全情報初期化 …… 124
前席スピーカー音量 …… 152
前席操作音 …… 133
全設定項目初期化 …… 124
全ルート表示 …… 52

そ

走行連動地図切換 …… 111
送話音量 …… 98, 133
ソース別音量調整 …… 130
その他設定 …… 122

た

タイムコレクション …… 129
タッチスイッチの操作 …… 17
ダブルゾーン …… 152
ダブルゾーンコミュニケーション …… 154
ダブルゾーンサウンドコントロール … 118, 155
短縮時間 …… 114
短縮ダイヤル …… 97

ち

地域設定 …… 67
地上D⇔ワンセグ自動切換 …… 66
地図切換 …… 35
地図更新 …… 84, 101
地図更新状況 …… 108
地図色切換 …… 110
地図色昼/夜切換 …… 110
地図設定 …… 37
地図データを更新する …… 86
地図の文字サイズ変更 …… 111
地図表示設定 …… 109
地図マーク一覧 …… 183
地点登録 …… 54
着信音量 …… 133
着信全画面割込み …… 135
着信･通話画面情報表示 …… 135
着信履歴 …… 97
駐車場情報 …… 105
駐車場マーク …… 60
チューニング …… 46, 52

つ

通信設定 …… 75, 95, 136
通話履歴 …… 97

て

データ更新 …… 84, 102
デバイスID情報 …… 67
デモ走行 …… 53
デモ走行速度設定 …… 113
テレビを見る …… 64
電話設定 …… 135
電話帳 …… 97, 100
電話帳自動同期 …… 135
電話番号 …… 40
電話を受ける …… 98
電話をかける …… 97

と

冬期規制アイコン表示 …… 111
冬期閉鎖区間考慮 …… 115
到着予想時刻音声案内 …… 113
到着予想時刻速度設定 …… 113
登録地点 …… 41, 55
特別警報アイコン表示 …… 116
特別地点 …… 55
時計表示 …… 123
時計表示設定(ナビ画面) …… 122
トップビュー …… 146, 147
トラブルシューティング
（故障かな？と思ったら） …… 163
トラブルシューティング
（表示メッセージと対処方法） …… 168

な

ナビ案内画面割込み …… 113
ナビ案内画面割込み時画面状態 …… 113
ナビメニュー …… 39

ね

年度更新 …… 101
燃費 …… 46, 52
燃費優先ルート条件 …… 114

の

ノースアップ …… 34
ノーマル …… 131
乗り降りIC変更 …… 52

は

バージョン情報 …… 108
ハイウェイモード …… 49
ハイレゾ …… 63
パスワード …… 137
バックグラウンドサーチ設定 …… 67
バックドア開閉ガイド線 …… 144
バックビュー …… 146
発進遅れ防止支援 …… 117
発信履歴 …… 97
バッテリー残量警告 …… 135
パノラマビュー …… 145, 147
パノラミックビュー設定 …… 120
パラメトリックEQ …… 129
番組表 …… 65, 66
番号入力 …… 97
ハンズフリー …… 95, 97
販売店設定 …… 6
汎用カメラ接続 …… 119

ひ

ビッグアロー …… 113
ビッグアロー表示 …… 47
ビル立体表示 …… 111

ふ

フェリー航路 …… 49
フェリー使用 …… 115
フォーマット …… 173
踏み切り案内 …… 112
プラズマクラスター …… 151
プローブ通信 …… 116
フロントカメラ …… 146
フロントカメラガイド調整 …… 120
フロントカメラ接続 …… 118
フロントカメラ速度連動表示 …… 120
フロントカメラ地点連動表示 …… 120

へ

別ルート …… 46
ヘディングアップ …… 34

ほ

ボイスタッチ …… 19
ボイスタッチチューニング …… 123
ボイスタッチワード …… 19, 20, 123
放送局自動選局 …… 67
放送局選択 …… 106
方面看板表示 …… 49, 113
ホームスキャン …… 67
本体スイッチ …… 16

ま

マーク情報 …… 56
マップコード …… 40

み

ミュート …… 24, 32

め

名称 …… 40
メディアからの地点追加 …… 126
メディア更新 …… 103
メディア情報 …… 126
メディアへの地点保存 …… 126
メディア編集 …… 126
メニューアニメーション表示 …… 123
メニューデザイン …… 125
メニューの文字サイズ変更 …… 123
メンテナンス …… 107

も

目的地履歴 …… 41
文字情報 …… 57
文字スーパー表示 …… 67
文字入力のしかた …… 28

ゆ

優先探索ルート …… 114
誘導方向表示 …… 111
郵便番号 …… 40
郵便番号設定 …… 67
有料 …… 52
有料道路優先 …… 114

よ

予告配信 …… 105
予告配信表示 …… 110
夜用明るさ調整 …… 124
夜用照光明るさ調整 …… 124

ら

ライブコントラスト …… 131
ラジオを聴く …… 68
ランドマーク表示 …… 109
ランドマーク表示サイズ変更 …… 109
ランドマーク表示ジャンル …… 109

り

リアカメラ …… 144
リアカメラガイド調整 …… 119
リアカメラ接続 …… 118
リアビジョン …… 151
リアビジョン/アロマ …… 151
リアビジョン　イルミネーション色 …… 118
リアビジョン　イルミネーション設定 …… 118
リアビジョン　プラズマクラスター設定 …… 117
リダイヤル …… 97
リバース連動ミュート設定 …… 122
リモコン …… 156
料金所ゲート案内 …… 113
リルート …… 53
履歴 …… 41
履歴自動同期 …… 135

る

ルート …… 47
ルート案内画面 …… 31
ルート学習 …… 115
ルート再探索 …… 53
ルート消去 …… 53
ルート情報 …… 51
ルート探索結果画面 …… 45
ルートチューニング …… 114
ルームカメラ …… 149, 154
ルームカメラ接続 …… 119

れ

レーンガイド表示 …… 48, 113

ろ

路上駐車場マーク表示 …… 110

わ

ワイド …… 131
ワイドFM …… 68
割込み時間 …… 116
割込み情報 …… 104
ワンセグ …… 66

■ アルファベット順

A

AAC …… 173
ALAC …… 174
Amazon Alexa …… 91, 134
Amazon Alexa機能設定 …… 138
Android Auto …… 90, 134
Android優先設定 …… 140
Apple CarPlay …… 88, 133
Apple CarPlay機器リスト …… 139
AUDIO OFF …… 63
AVI …… 174

B

BAL. …… 128
BASS MAX EQ …… 128
BIG X CONNECT …… 84
Bluetooth AUDIO …… 75
Bluetooth設定 …… 75, 95, 136

D

DEFEAT …… 128

E

ETC …… 141
ETC2.0 …… 141

F

FAD. …… 128
FLAC …… 174

G

GPS情報 …… 107

H

HDMI …… 70, 172
HDMI-CEC…… 70
Hi-Res …… 63

I

IC変更 …… 52
iPhone/iPod…… 172
iPhone/iPodを聴く…… 72
iPod自動ソース切換…… 122
ITSスポット …… 58, 141

M

Media Xpander …… 127
MHL…… 70
MKV …… 174
MP3 …… 173
MP4 …… 174
MTP…… 78
MX …… 127

P

Parametric EQ …… 129

Q

QWERTY …… 28

S

SSID …… 137

T

T.CORR …… 129
TSPS …… 59, 61

U

USBで更新…… 103
USBメモリー…… 78, 172

V

VICS …… 57
VICS WIDE …… 57
VICS情報 …… 57, 104
VICS設定 …… 116
VICSタイムスタンプ …… 30, 31
VICS駐車場･充電施設表示 …… 110
VICS提供道路 …… 110
VICSでの音声読み上げ …… 117
VISUAL EQ …… 131

W

WAV …… 173
Wi-Fi設定 …… 137
WMA …… 173

X

X-OVER …… 130

■ 数字順

1画面 …… 35
2画面 …… 35
2画面表示 …… 26
3Dマップ …… 34
3Dランドマーク表示 …… 111
50音 …… 28
6ルート …… 46
10キー …… 28

地図画面の見かた

■ 地図画面の表示について（地図色：標準（昼の場合））

「Web版取扱説明書」のご案内

本機のひとつひとつの機能に対しての操作説明・注意事項をより詳しく知ることができます。

＜Web版取扱説明書＞

パソコン・タブレット端末・スマートフォンを使って閲覧することができます。
バーコードリーダーで右記のQRコードを読み取るか、下記のURLを入力してアクセスしてください。

http://www.net-de-torisetsu.jp/22004/top.html

＜Web版取扱説明書（PDF版）＞

Web版取扱説明書をPDFファイル形式で閲覧・ダウンロード・印刷することができます。

- 仕様および外観は改良のために予告なく変更する場合があります。
- 本説明書の写真やイラストは撮影・印刷条件により実物と印象が相違する場合があります。
- 本製品は国内専用です。

お問い合わせ窓口

- 製品に関するご相談/お問い合わせは、お買い上げ店または下記の「製品ご相談窓口」をご利用ください。
- 修理に関するお問い合わせは、下記「修理ご相談窓口」をご利用ください。
- ご相談窓口の名称・電話番号・所在地は、変更になる場合があります。

＜製品ご相談窓口＞

（2022年8月現在）

お問い合わせはインフォメーションセンターへ

＜電話でのお問い合わせ＞
TEL：0570－006636

携帯OK

※ 全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。（携帯電話・PHS：20秒10円）

※ 一部IP電話など接続できない場合には、次の番号をご利用ください。03-6704-4926または03-6747-4221

＜メールでのお問い合わせ＞
ホームページのお問い合わせフォームより受け付けています。

＜FAXでのお問い合わせ＞
FAX：045－522－8700

＜LINEでのお問い合わせ＞
「友だち追加」から友だち追加できます。
※ LINEアカウントをお持ちでない場合には、LINE会員登録が必要になります。

- **電話受付時間（土、日、祝日、弊社休業日を除く）**
  月～金：9:30 ～ 17:30
- アルパインホームページ　https://www.alpine.co.jp
  アルパイン製品に関してのご質問と回答をご紹介しています。

＜修理ご相談窓口＞

問い合わせ窓口	電話番号	住所	管轄エリア
アルパインカスタマーズサービス（株） 東日本サービスセンター	048-664-9711	〒331-0812 埼玉県さいたま市北区宮原町 2-7-2	北海道 / 青森県 / 岩手県 / 秋田県 / 山形県 / 宮城県 / 福島県 / 栃木県 / 茨城県 / 群馬県 / 東京都 / 神奈川県 / 埼玉県 / 千葉県 / 新潟県 / 長野県 / 山梨県
アルパインカスタマーズサービス（株） 西日本サービスセンター	06-6386-4130	〒564-0044 大阪府吹田市南金田 1-5-7	静岡県 / 愛知県 / 三重県 / 岐阜県 / 福井県 / 富山県 / 石川県 / 滋賀県 / 京都府 / 大阪府 / 和歌山県 / 奈良県 / 兵庫県 / 岡山県 / 島根県 / 鳥取県 / 広島県 / 山口県 / 香川県 / 愛媛県 / 徳島県 / 高知県 / 福岡県 / 佐賀県 / 大分県 / 熊本県 / 長崎県 / 鹿児島県 / 宮崎県 / 沖縄県

お願い　本書はやさしく取り扱ってください。
無理に広げたり引っ張ったりするとページがバラバラになってしまう場合があります。やさしい取り扱いをお願いします。

アルプスアルパイン株式会社
Designed by ALPS ALPINE Japan
68-44781Z84-A (Y_A5)
Model：19AVNJ